

『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート

報 告 書

平成 27 年 2 月

横浜市緑区福祉保健課

目 次

第1章 調査概要	1
（1）調査目的	1
（2）調査概要	1
（3）回収結果	1
（4）調査票	1
第2章 単純集計結果	12
（1）回答者属性	12
問1 居住地区	
問2 性別	
問3 年齢構成	
問4 居住年数	
問5 住まいの種別	
問6 同居者の関係	
問7 回答者及び同居者の状況	
問8 仕事の状況	
（2）地域との関わり	17
問9 近隣の人へのあいさつ・声かけ	
問10 自治会加入状況	
問11 地域での助け合いの参加経験	
問12 地域の活動への参加意向	
（3）地域でのボランティア活動について	19
問13 隣近所の困っている方の手助けでできること	
問14 ボランティア活動に参加するための必要条件	
（4）地域活動のための機会・場について	21
問15 ボランティア活動の参加機会	
問16 地域の活動の施設・スペースとして重要な条件	
（5）福祉保健に関する情報	22
問17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員として知っているもの	
問18 知りたいと思う地域の福祉保健情報	
問19 地域の福祉保健に関する情報の取得手段	
問20 身近な相談相手	
（6）安全・安心	25
問21 日頃、防災・減災に関して取り組んでいること	
問22 「災害時に住民が支えあう地域づくり」に必要な取組	
問23 「地域における防犯活動」に必要な取組	

(7) 健康	28
問 24 自身の健康状態	
問 25 日頃から健康のために心がけていること	
問 26 自身の健康のために参加したいと思う活動	
(8) 身近な地域での福祉保健の取組について	30
問 27 『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度	
問 28 地域で、特に重要な福祉保健の取組	
(9) 緑区の福祉保健全般について	32
問 29 緑区の福祉保健のために、10年後大切だと思うこと	
問 30 『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対する意見	
第3章 地区別集計	33
(1) 各地区の概況	33
問 4 居住年数	
問 9 近隣の人とのあいさつ・声かけ	
問 11 地域での助け合いの参加経験	
問 12 地域の活動への参加意向	
問 15 ボランティア活動への参加機会	
問 21 日頃、防災・減災に関して取り組んでいること	
(2) 地区別集計結果	47
第4章 クロス集計結果	91
(1) 地域とのかかわりや地域活動について	91
問 10 自治会加入状況	
問 11 地域での助け合いの参加経験	
問 12 地域の活動への参加意向	
問 13 隣近所の困っている方の手助けでできること	
問 15 ボランティア活動の参加機会	
(2) 福祉保健に関する情報について	108
問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員として知っているもの	
問 18 知りたいと思う地域の福祉保健情報	
問 19 地域の福祉保健に関する情報の取得手段	
(3) 安全・安心	118
問 22 「災害時に住民が支えあう地域づくり」に必要な取組	

(4) 健康	119
問 24 自身の健康状態	
問 25 日頃から健康のために心がけていること	
問 26 自身の健康のために参加したいと思う活動	
(5) 身近な地域での福祉保健の取組について	132
問 27 『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度	
第5章 過去の調査との比較	133
(1) 回答者属性	133
問 1 居住地区	
問 2 性別	
問 3 年齢構成	
問 4 居住年数	
問 5 住まいの種別	
問 6 同居者の関係	
問 8 仕事の状況	
(2) 地域とのかかわり	138
問 9 近隣の人へのあいさつ・声かけ	
問 10 自治会への加入	
(3) 健康について	139
問 25 日頃から健康のために心がけていること	
問 26 健康のために参加したい活動	
第6章 自由記入	141
問 29 緑区の福祉保健のために、10年後も大切だと思うこと	
問 30 『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対する意見	
第7章 考察	175

第1章 調査概要

(1) 調査目的

緑区民の福祉保健に関する意識や生活課題を抽出するとともに、緑区の福祉保健施策への要望、新たな課題等について調査を実施し、第2期みどりのわ・ささえ愛プラン(H23～H27)の振り返りと評価を行う。また、第3期みどりのわ・ささえ愛プラン(H28～H32)策定に向けた基礎資料として活用する。

(2) 調査概要

- ①調査地域 横浜市緑区全域
- ②調査対象 緑区在住の20歳以上の男女
- ③標本数 4,500人(日本人区民4,435人、外国人区民65人)
- ④抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出
- ⑤調査方法 対象者への郵送配布・郵送回収
- ⑥調査時期 平成26年8月21日～9月8日
- ⑦調査機関 山路商事株式会社

(3) 回収結果

- ①有効回収数 1,301人
- ②回収率 28.9%

(4) 調査票

次項以降の依頼状及び調査票によって、アンケート調査を実施した。

『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート

緑区では、『誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして』～一人ひとりが
主役・共に支えあう つながりのあるまちづくり～を基本理念に、緑区地域福祉保
健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』(平成23年度～平成27年度)を区民の皆様
とともに推進しています。

今回のアンケートは、区民の皆様の地域福祉保健に関する意識と、『みどりのわ・
ささえ愛プラン』に対するご意見を伺い、平成28年度から始まる第3期計画策定の
参考とするために行うものです。

お忙しいところ大変恐縮ですが、緑区地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛
プラン』に区民の皆様のお声を反映させるための、本アンケートの趣旨をご理解の
上、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

平成26年8月 横浜市緑区長 名取 正彦

ご記入にあたってのお願い

- アンケート調査は、20歳以上の緑区民4,500人を無作為に抽出し、お送りしています。
- この調査票の回答は、お送りした **宛名のご本人様** をお願いします。
なお、ご本人様にご記入できない場合は、ご家族などご本人様の状況をご存知の方が
代理でご記入をお願いします。
- ご記入にあたっては次の要領をお願いします。
(1) 回答は、あてはまる番号に○をつけてください。
(2) 質問によっては、「○は1つ」、「○は2つまで」、「あてはまる番号すべてに○」、
といった指定がありますので、回答に注意してください。
(3) 回答が、「その他」にあてはまる場合には、[] に具体的な内容をご記入
ください。
- ご記入いただいた調査票は、**9月8日(月)**までに、同封の返信用封筒にてご返送
ください(切手は不要です。)
- アンケートについてご不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。
- お答えいただいた内容は本調査の目的以外に使用したり、個人の内容を公表する
ことは一切ありません。

〈問い合わせ先〉 緑区役所 福祉保健課 事業企画担当

TEL 930-2304 FAX 930-2355 E-mail: md-fukuho@city.yokohama.jp

開庁時間：平日(月曜日～金曜日)、8時45分～17時00分

同封の「みどりのわ・ささえ愛プラン」クリアフォルダは、
返送の必要はありませんので、どうぞご活用ください。





基本理念

『誰もが安心して暮らし続けられる 緑区をめざして』
 ～一人ひとりが主役・共に支えあうつながりのあるまちづくり～

『誰もが安心して暮らし続けられる緑区をめざして』～一人ひとりが主役・共に支えあうつながりのあるまちづくり～を基本理念に区民、団体、事業者、区社会福祉協議会、区役所が協働で進めていくための計画です。

第2期計画（計画期間平成 23～27 年度）では、日常生活に関連した課題などに対する地域の取組計画をまとめた「地区別計画」と、地域を越える課題や近隣では対応しにくい課題、区全体を対象とした課題、地域の取組を支援する計画などをまとめた「区計画」を策定しており、これらが互いに連動することで、より有効な計画となっています。

区計画 5つの基本目標とキーワード

- ◇基本目標1 地域での「つながり」のあるまちづくり
- ◇基本目標2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり
- ◇基本目標3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
- ◇基本目標4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり
- ◇基本目標5 「安全・安心・健康」のまちづくり

- つながり
- 人材・担い手
- 機会・場
- 情報
- 安全・安心・健康



※『みどりのわ・ささえ愛プラン』に関する情報は、緑区ホームページでもご覧いただけます。
あなたが住む街の地区別計画もぜひご覧ください。

みどりのわ・ささえ愛プラン **検索** 緑区ホームページ

クリック! <http://www.city.yokohama.lg.jp/midori/50info/55kyoudou/fukuho/>

『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査票

◆ あなた自身のことについて、お尋ねします。

問1 あなたのお住まいの町はどちらですか。（番地は必要ありません。）

横浜市緑区	(町)	丁目
-------	-----	----

問2 あなたの性別はどちらですか。（○は1つ）

1 男性	2 女性
------	------

問3 あなたの年齢は次のうちの区分に属しますか。（○は1つ）（平成26年9月1日現在）

1 20歳～29歳	2 30歳～39歳	3 40歳～49歳	4 50歳～59歳
5 60歳～64歳	6 65歳～69歳	7 70歳～74歳	8 75歳～79歳
9 80歳以上			

問4 あなたは緑区に何年間住んでいますか。（○は1つ）（平成26年9月1日現在）

1 1年未満	2 1年以上～5年未満
3 5年以上～10年未満	4 10年以上

問5 あなたの現在暮らしているお住まいはどれにあたりますか。（○は1つ）

1 持ち家（一戸建て）	2 持ち家（マンション・共同住宅）
3 借家（一戸建て）	4 借家（県営・市営の共同住宅）
5 借家（都市再生機構（旧公団） ・公社の共同住宅）	6 借家（社宅・公務員住宅）
7 借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	
8 その他 []	

問6 あなたと一緒に暮らしている方を教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

1 祖父	2 祖母	3 父	4 母	5 配偶者
6 兄弟姉妹	7 子	8 孫	9 いない（一人暮らし）	
10 その他 []				

問7 あなたや同居のご家族の状況で次の項目に該当するものはありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1 介護認定を受けている
2 障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）
3 65歳以上の方がいる
4 就学前の子どもがいる
5 上記いずれにも該当しない

問8 あなたのお仕事の状況は次のどれに該当しますか。
(お仕事は、主としてつかれているもの) (○は1つ)

- | |
|------------------------|
| 1 仕事についている (常勤・フルタイム) |
| 2 仕事についている (パート・アルバイト) |
| 3 仕事についていない |
| 4 学生 |
| 5 専業主婦・主夫 |
| 6 その他 [] |

◆ 地域でのつながり(地域とのかかわり)について、お尋ねします。

問9 あなたは近隣の人にあいさつや声かけをしていますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------|
| 1 こちらから積極的にしている |
| 2 時々している |
| 3 向こうから声をかけられたらしている |
| 4 まったくしない |

問10 あなたはご自身がお住まいの地域の自治会に加入していますか。(○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 加入している | 2 加入していない |
|----------|-----------|

問11 あなたは今までに、地域のイベントや活動の手伝いなど地域での助け合いに参加したことがありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|------|
| 1 ある →付問11-1へ | 2 ない |
|---------------|------|

付問11-1 「1ある」と答えた方は、どのような助け合いですか。
具体的にご記入ください。

{ }

問12 あなたは今後、地域のイベントや活動の手伝いなどにかかわりたいですか。
(○は1つ)

- | | | |
|----------|------------|-------------|
| 1 かかわりたい | 2 かかわりたくない | 3 どちらともいえない |
|----------|------------|-------------|

◆ 地域でのボランティア活動への参加について、お尋ねします。

ボランティア活動とは・・・「何か地域のために役立ちたい」という自発的な意思と責任のもとで社会貢献を行うことで、個人やグループでの活動など、幅広い範囲の活動をさします。

問 1 3 隣近所で困っている方の手助けや見守りを、あなたは現在やっていますか。また、将来できそうですか。現在やっていること（やったことがあるもの）、将来できそうなことに○をつけてください。

手助け できること	現在やっている	将来（頼まれたら） できそう
(1) 安否確認の声かけ		
(2) 話し相手・相談相手		
(3) 買い物		
(4) 家事（料理・洗濯・掃除・ゴミ出し など）		
(5) 短時間の子どもの預かり		
(6) 登下校時の見守り		
(7) 保育園・幼稚園などへの送迎		
(8) 通院の付き添い		
(9) パトロール（防犯など）		
(10) その他 他にやっていることやできそうなこと があれば、具体的なアイデアを教えてください。	[]	[]

問 1 4 あなたが地域のボランティア活動に参加するとしたら、特に重要だと思う条件はどれですか。（○は2つまで）

1 気軽に参加できる	2 自分の趣味や特技にあっている
3 自分のやりがいや生きがいになる	4 交通費などの実費が支払われる
5 多少の金銭的な報酬（交通費以外）	6 活動時の保険などの補償の整備
7 講習会・研修会などボランティア内容 に関する技術を学べる機会がある	8 その他 []

◆ 地域活動のための機会・場について、お尋ねします。

問 15 あなたはボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会がありますか。次のうち、最もあてはまると思うものに○をつけてください。(○は1つ)

- | |
|------------------------------|
| 1 機会があり、参加している(または参加したことがある) |
| 2 機会はあるが、参加したことはない |
| 3 機会はないが、いずれ参加したいと思っている |
| 4 機会はなく、今のところ参加したいと思っていない |
| 5 その他 [] |

問 16 地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件はどれですか。(○は2つまで)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 気軽に集まれるスペースがあること | 2 誰でも利用対象者となれること |
| 3 利用時間が柔軟であること | 4 利用の予約方法が簡単なこと |
| 5 施設の空き情報が入手しやすいこと | 6 会場使用料が無料 |
| 7 その他 [] | |

◆ 福祉保健に関する情報について、お尋ねします。

問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員としてあなたが知っているものは次の中でどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1 区社会福祉協議会 | 2 地域ケアプラザ(地域包括支援センター) |
| 3 地区社会福祉協議会 | 4 自治会役員 |
| 5 民生委員・児童委員 | 6 保健活動推進員 |
| 7 友愛活動員・老人クラブ役員 | 8 食生活等改善推進員(ヘルスメイト) |
| 9 地域子育て支援拠点いっぽ | 10 みどり地域活動ホームあおぞら |
| 11 緑区生活支援センター | 12 福祉保健活動拠点 |
| 13 その他 [] | |

問 18 あなたが、知りたいと思う地域の福祉保健に関する情報は次のうちどれですか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 健康づくりや検診(健診)の情報 | 2 高齢者のための情報 |
| 3 ボランティア活動の情報 | 4 子育ての情報 |
| 5 講座や教室等の情報 | 6 保健・福祉イベントの情報 |
| 7 障がい者のための情報 | 8 各種相談窓口についての情報 |
| 9 その他 [] | |

問19 あなたが地域の福祉保健に関する情報を知りたいと思ったとき、入手しやすい方法はどれですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------|------------------|
| 1 市の広報 | 2 地域ケアプラザの広報 |
| 3 社会福祉協議会の広報 | 4 自治会の回覧板・掲示板 |
| 5 インターネット | 6 公共施設の窓口 |
| 7 口コミ | 8 新聞・雑誌 |
| 9 テレビ・ラジオ | 10 地域のミニコミ紙・タウン誌 |
| 11 その他 [] | |

問20 あなたの身近な相談相手は誰ですか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|--------------|--------------------------|
| 1 家族・親戚 | 2 友人・知人 |
| 3 近所の親しい人 | 4 民生委員・児童委員 |
| 5 保健活動推進員 | 6 身近な施設の相談員 |
| 7 病院や薬局の人 | 8 区役所職員 |
| 9 区社会福祉協議会職員 | 10 地域ケアプラザ職員（地域包括支援センター） |
| 11 その他 [] | 12 特にいない |

◆ 安全・安心について、お尋ねします。

問21 あなたが日頃、防災・減災に関して取り組んでいることは何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 避難袋の準備点検 | 2 水・食糧の備蓄（3～7日間程度） |
| 3 家具の転倒防止対策 | 4 地域の防災訓練への積極的参加 |
| 5 家族で災害時連絡方法等を決めている | 6 広域避難場所について確認している |
| 7 地域防災拠点について確認している | 8 いっつき避難場所について確認している |
| 9 その他 [] | 10 特に何もしていない |

問22 あなたは「災害時に住民がささえあう地域づくり」には日頃から地域でどのような取組が必要だと思われますか。その中でも特に重要だと思うものに○をつけてください。（○は2つまで）

- | |
|-----------------------------------|
| 1 自主防災組織づくり（地域が主体となった防災の組織） |
| 2 災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるか等の把握 |
| 3 地域での定期的な防災訓練 |
| 4 地域やグループなどでの勉強会 |
| 5 福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携 |
| 6 その他 [] |

問23 あなたは「地域における防犯活動」として、日頃からどのような取組が必要だと思いますか。その中でも特に重要だと思うものに○をつけてください。(○は2つまで)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動 |
| 2 交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動 |
| 3 防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信 |
| 4 防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動 |
| 5 CAP(こどもへの暴力防止)研修実施など、こどもの安全支援活動 |
| 6 権利擁護や消費者被害の予防に関する取組 |
| 7 その他 [] |

◆ 健康について、お尋ねします。

問24 あなたの現在の健康状態は、ご自分で次のどれにあてはまると思われますか。

(○は1つ)

- | | | | | |
|------|--------|-------|-----------|--------|
| 1 よい | 2 まあよい | 3 ふつう | 4 あまりよくない | 5 よくない |
|------|--------|-------|-----------|--------|

問25 あなたが日頃から健康のために心がけていることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| 1 お酒を飲み過ぎない
(または 飲まない) | 2 タバコを吸わない
(または 受動喫煙を避ける) |
| 3 適度な運動をする | 4 定期的に検診や健康診断を受ける |
| 5 バランスを考えた食事をする | 6 規則正しい生活をする |
| 7 適正体重を維持する | 8 適度な休養・睡眠をとる |
| 9 食後の歯磨きをする | 10 ストレスをためない |
| 11 その他 [] | |

問26 あなたがご自身の健康のために、身近にどのような活動があれば参加したいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 体力測定・健康チェック | 2 健康づくり体操 |
| 3 ウォーキング | 4 健康レシピによる調理実習 |
| 5 禁煙教室(禁煙相談) | 6 健康づくりに関する講演会 |
| 7 運動や交流などのイベント | 8 その他 [] |
| 9 参加したい活動はない | |

◆ 身近な地域での福祉保健の取組について、お尋ねします。

問27 あなたは地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』を知っていましたか。
次のうちあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

- | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている</p> <p>2 計画や取組などの一部なら知っている</p> <p>3 名前を聞いたことはある</p> <p>4 知らなかった</p> |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

問28 あなたが自分の住む地域で、今、特に重要な福祉保健の取組はどのようなことだと思いますか。次のうち、あてはまると思うものを2つ選び、回答欄にその番号を記入してください。

(回答欄)

[福祉保健の取組]

- | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 地域での「つながり」のあるまちづくり
【取組の例】誰もが参加できる地域のお祭りや季節行事・イベントの開催
自治会や老人クラブ・子ども会などの活動
地域行事などでの学校との連携と、子ども・若者の人材育成
あいさつや地域での声かけ活動</p> |
| <p>2 「一人ひとりの力」が発揮できるまちづくり
【取組の例】各種団体の活動に関する情報提供や活動への支援
ボランティアの登録や派遣などを行う拠点の運営・活動
ボランティア研修や団体交流会の実施</p> |
| <p>3 みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり
【取組の例】参加の機会となるイベントや人材募集などの機会
グループのミーティングなどで利用できる場の空き情報
団体の活動内容や利用方法を知らせる情報提供
「子育て支援」「ふれあい型交流」など目的を明らかにした場</p> |
| <p>4 必要な「情報」が入手しやすいまちづくり
【取組の例】チラシ、広報、ホームページなどの見やすさの工夫
自治会での回覧、全戸配布、掲示板など周知方法の工夫
情報を入手しにくい人へ情報を届ける工夫</p> |
| <p>5 「安全・安心・健康」のまちづくり
【取組の例】自治会や地域でのパトロールや安全の見守り活動
「防災ささえあいカード」や支援が必要な人の事前把握
災害時などの安否確認のためのバンダナやリボンなどを活用した取組
地域での健康づくり教室や体操・ウォーキングなどの活動</p> |

→次ページ（最終ページ）もご記入ください。

◆ 緑区の福祉保健全般について、お尋ねします。

問29 緑区の福祉保健のために、あなたが10年後も大切だと思ふことがあれば、ご記入ください。

問30 その他、地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対して、日頃、感じていることやご意見があればお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

第2章 単純集計結果

(1) 回答者属性

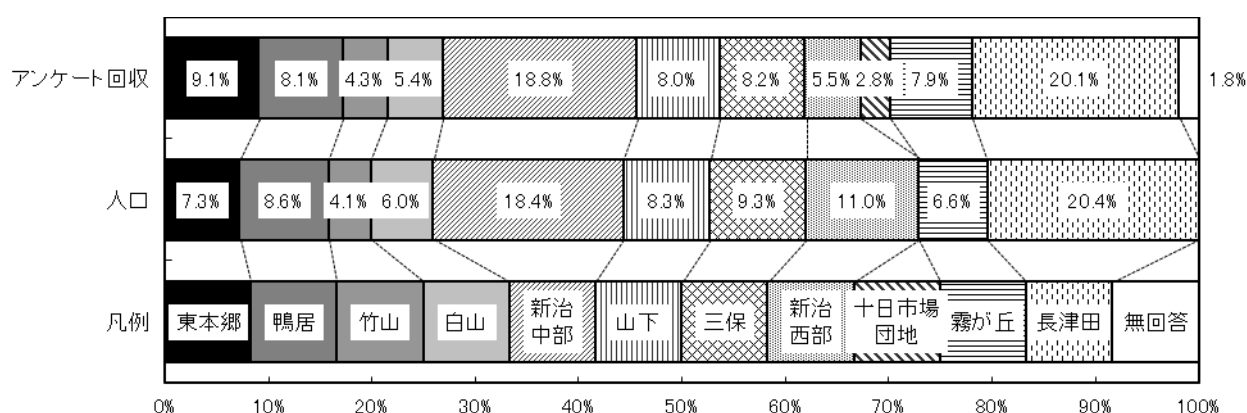
問1 居住地区

平成21年度調査までは10地区での集計を行っていたが、本調査では、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の地区と同じく11地区（新治西部地区と十日市場団地地区を分割）で集計した。

地区別の回収数は人口比率とほぼ似た傾向にあり、緑区全域からまんべんなく回収されたと考えられる。

なお、人口は平成26年3月31日現在の住民基本台帳の値を用いた。

図表 問1 あなたのお住まいの町はどちらですか



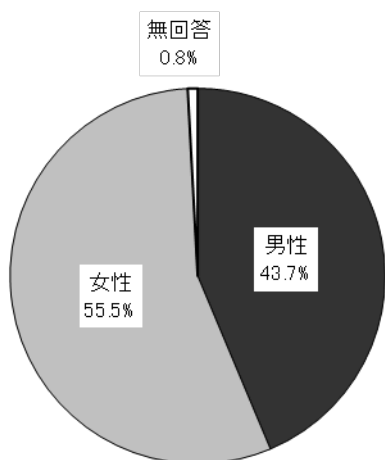
※人口のグラフでは、十日市場団地地区の人口が新治西部地区に含まれています。

回答	人口	回答数	回答者割合(%)
東本郷地区 (東本郷1～6丁目、東本郷町)	12,946	118	9.1%
鴨居地区 (鴨居1～7丁目、鴨居町)	15,323	106	8.1%
竹山地区(竹山1～4丁目)	7,327	56	4.3%
白山地区(白山1～4丁目)	10,721	70	5.4%
新治中部地区 (台村町、森の台、寺山町、中山町、上山1～3丁目、)	32,918	244	18.8%
三保地区(三保町)	14,854	104	8.0%
山下地区(西八朔町、北八朔町、小山町、青砥町)	16,584	107	8.2%
新治西部地区 (新治町、十日市場町(十日市場団地は除く)、長津田みなみ台7丁目の一部)	19,558	72	5.5%
十日市場団地地区(十日市場町の一部)		36	2.8%
霧が丘地区(霧が丘1～6丁目)	11,760	103	7.9%
長津田地区 (長津田1～7丁目、長津田町、いぶき野、長津田みなみ台1～6丁目、7丁目の一部)	36,441	261	20.1%
無回答(不明含む)	—	24	1.8%
(n)	178,432	1301	100.0%

問2 性別

回答者の性別は、女性 55.5%、男性 43.7%で、女性がやや多い。

図表 問2 あなたの性別はどちらですか



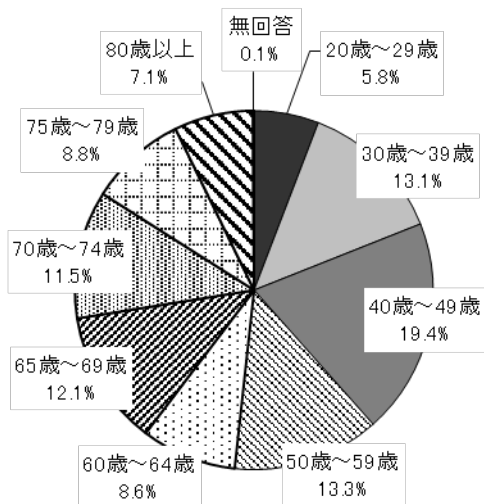
回答	回答数	%
男性	568	43.7%
女性	722	55.5%
無回答	11	0.8%
(n)	1301	100.0%

問3 年齢構成

60歳代（60歳～64歳，65歳～69歳）が20.7%で最も多く、70歳代（70歳～74歳，75歳～79歳）が20.3%、40歳代（40歳～49歳）が19.4%でこれに次いでいる。

65歳以上の高齢者の比率は39.5%であった。

図表 問3 あなたの年齢は次のうちのどの区分に属しますか（平成26年9月1日現在）

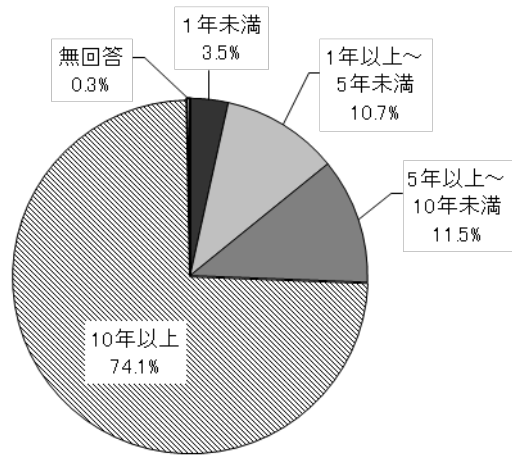


回答	回答数	%
20歳～29歳	76	5.8%
30歳～39歳	171	13.1%
40歳～49歳	253	19.4%
50歳～59歳	173	13.3%
60歳～64歳	112	8.6%
65歳～69歳	158	12.1%
70歳～74歳	150	11.5%
75歳～79歳	114	8.8%
80歳以上	93	7.1%
無回答	1	0.1%
(n)	1301	100.0%

問4 居住年数

回答者の緑区での居住年数は、「10年以上」が74.1%を占めている。次いで「5年以上～10年未満」が11.5%となっている。

図表 問4 あなたは緑区に何年間住んでいますか (平成26年9月1日現在)

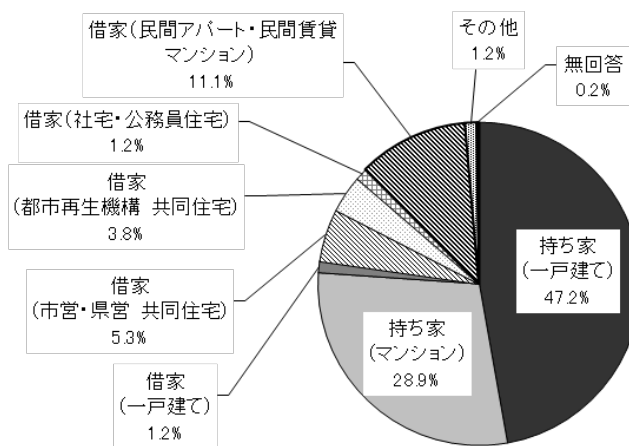


回答	回答数	%
1年未満	45	3.5%
1年以上～5年未満	139	10.7%
5年以上～10年未満	149	11.5%
10年以上	964	74.1%
無回答	4	0.3%
(n)	1301	100.0%

問5 住まいの種別

「持ち家（一戸建て）」が5割近く（47.2%）で最も多く、「持ち家（マンション・共同住宅）」（28.9%）がそれに次いでいる。これらを合わせると76.1%が持ち家に居住している。借家の中では、「借家（民間アパート・民間賃貸マンション）」が約1割（11.1%）で最も多い。

図表 問5 あなたの現在暮らしているお住まいはどれにあたりますか

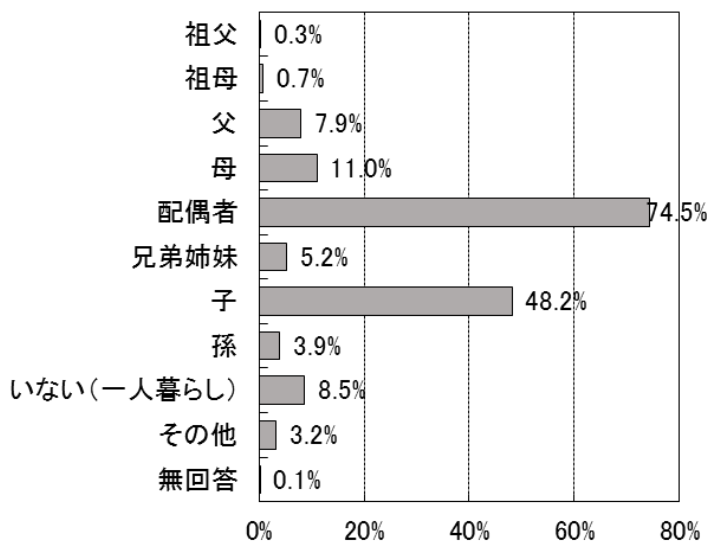


回答	回答数	%
持ち家（一戸建て）	614	47.2%
持ち家（マンション・共同住宅）	376	28.9%
借家（一戸建て）	15	1.2%
借家（県営・市営の共同住宅）	69	5.3%
借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	49	3.8%
借家（社宅・公務員住宅）	16	1.2%
借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	144	11.1%
その他	15	1.2%
無回答	3	0.2%
(n)	1301	100.0%

問6 同居者の関係(複数回答)

一緒に暮らしている家族は、「配偶者」が74.5%で最も多く、「子」(48.2%)がそれに次いでいる。「いない(一人暮らし)」は8.5%であった。

図表 問6 あなたと一緒に暮らしている方を教えてください (複数回答: あてはまるものすべて)



回答	回答数	%
祖父	4	0.3%
祖母	9	0.7%
父	103	7.9%
母	143	11.0%
配偶者	969	74.5%
兄弟姉妹	68	5.2%
子	627	48.2%
孫	51	3.9%
いない(一人暮らし)	111	8.5%
その他	42	3.2%
無回答	1	0.1%
(n)	1301	100.0%

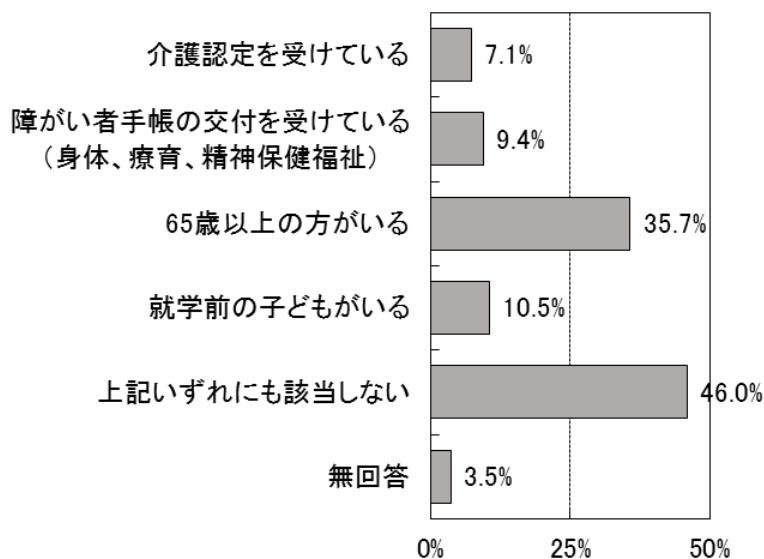
問7 回答者及び同居者の状況(複数回答)

回答者及び同居の家族の状況は、「65歳以上の方がいる」が35.7%であった。一方、「就学前の子どもがいる」は、10.5%であった。

高齢者や障がい者、就学前の子どもなど「上記いずれにも該当しない」が46.0%であった。

図表 問7 あなたや同居のご家族の状況で次の項目に該当するものはありますか

(複数回答: あてはまるものすべて)

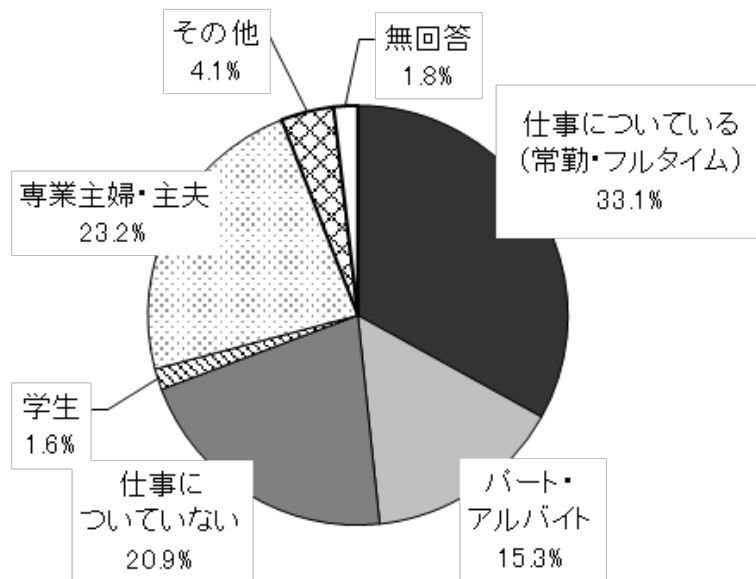


回答	回答数	%
介護認定を受けている	93	7.1%
障がい者手帳の交付を受けている(身体、療育、精神保健福祉)	122	9.4%
65歳以上の方がいる	465	35.7%
就学前の子どもがいる	137	10.5%
上記いずれにも該当しない	599	46.0%
無回答	46	3.5%
(n)	1301	100.0%

問8 仕事の状況

回答者の仕事の状況は、「仕事についている（常勤・フルタイム）」が33.1%で、パート・アルバイト（15.3%）と合わせると、約半数（48.4%）が「仕事についている」と回答している。一方、「専業主婦・主夫」が23.2%、「仕事についていない」が20.9%であった。

図表 問8 あなたのお仕事の状況は次のどれに該当しますか（主としてつかれているもの）



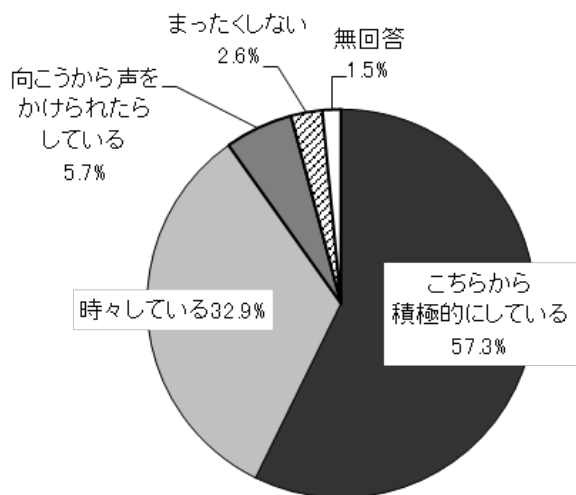
回答	回答数	%
仕事についている (常勤・フルタイム)	430	33.1%
仕事についている (パート・アルバイト)	199	15.3%
仕事についていない	272	20.9%
学生	21	1.6%
専業主婦・主夫	302	23.2%
その他	53	4.1%
無回答	24	1.8%
(n)	1301	100.0%

(2) 地域との関わり

問9 近隣の人へのあいさつ・声かけ

近隣の人へのあいさつや声かけは、「こちらから積極的にしている」が6割近く(57.3%)で最も多い。次いで、「時々している」が32.9%であった。

図表 問9 あなたは近隣の人にあいさつや声かけをしていますか

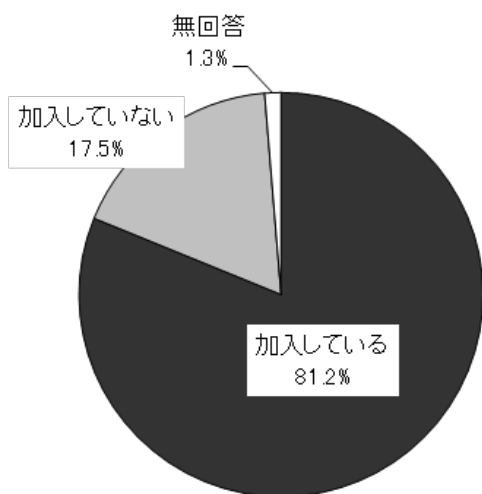


回答	回答数	%
こちらから積極的にしている	745	57.3%
時々している	428	32.9%
向こうから声をかけられたらしている	74	5.7%
まったくしない	34	2.6%
無回答	20	1.5%
(n)	1301	100.0%

問10 自治会加入状況

自治会への加入状況は、81.2%が「加入している」と回答している。

図表 問10 あなたはご自身がお住まいの地域の自治会に加入していますか



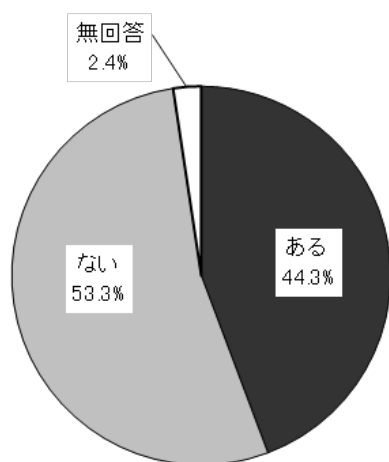
回答	回答数	%
加入している	1056	81.2%
加入していない	228	17.5%
無回答	17	1.3%
(n)	1301	100.0%

問 11 地域での助け合いの参加経験

地域のイベントや活動の手伝いなど、地域での助け合いへの参加経験は、「ない」が53.3%で、「ある」(44.3%)を上回っている。

具体的な内容については557票の記入があり、自治会活動に関連するもの(役員・当番、運動会や祭りの手伝い、防災訓練、地域の清掃、老人会・子供会、防犯パトロール等)が大多数であった。その他の回答としては、マンション管理組合の活動、家庭防災員、消費生活推進員、地区社会福祉協議会の活動、ボランティア活動などが挙げられている。

図表 問11 あなたは今までに、地域のイベントや活動の手伝いなど地域での助け合いに参加したことがありますか

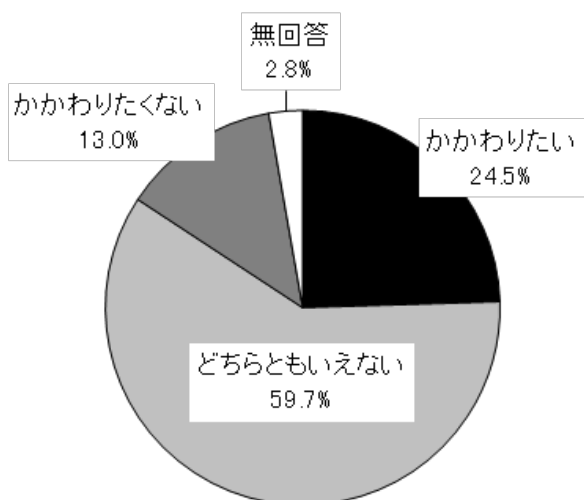


回答	回答数	%
ある	576	44.3%
ない	694	53.3%
無回答	31	2.4%
(n)	1301	100.0%

問 12 地域の活動への参加意向

今後地域の活動などに関わることへの意向は、「どちらともいえない」が6割(59.7%)で最も多く、「かかわりたい」は24.5%であった。

図表 問12 あなたは今後、地域のイベントや活動の手伝いなどにかかわりたいですか



回答	回答数	%
かかわりたい	319	24.5%
どちらともいえない	777	59.7%
かかわりたくない	169	13.0%
無回答	36	2.8%
(n)	1301	100.0%

(3) 地域でのボランティア活動について

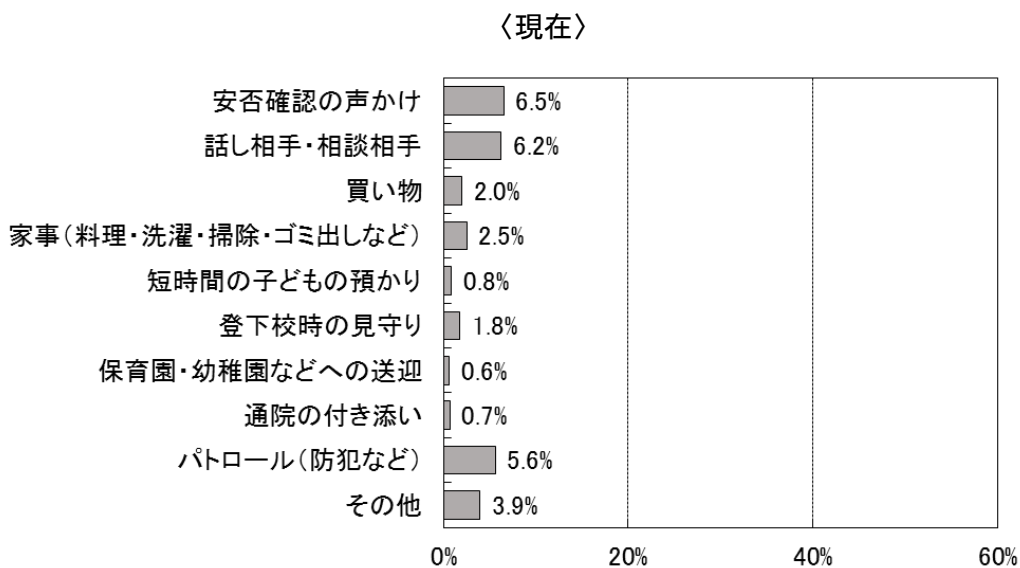
問 13 隣近所の困っている方の手助けでできること

隣近所で困っている方への手助けや見守りについて、(1) 現在やっていることと、(2) 将来(頼まれたら)できそうなことについてたずねた。

現在やっているものは全般的に少なく、最も多い「安否確認の声かけ」も 6.5%にとどまっている。

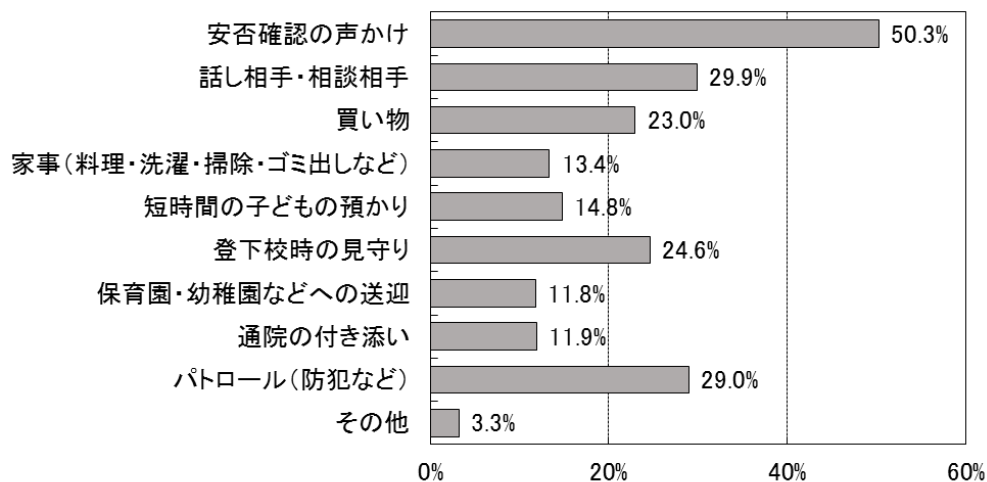
一方、将来できそうなこととしては、「安否確認の声かけ」を半数(50.3%)が回答したほか、「話し相手・相談相手」(29.9%)や「パトロール(防犯など)」(29.0%)などができそうなこととして挙がっている。

図表 問 13 隣近所で困っている方の手助けや見守りを、あなたは現在やっていますか。また、将来できそうですか。(複数回答：あてはまるものすべて)



回答	回答数	%
安否確認の声かけ	85	6.5%
話し相手・相談相手	81	6.2%
買い物	26	2.0%
家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	33	2.5%
短時間の子どもの預かり	11	0.8%
登下校時の見守り	23	1.8%
保育園・幼稚園などへの送迎	8	0.6%
通院の付き添い	9	0.7%
パトロール(防犯など)	73	5.6%
その他	51	3.9%
(n)	1301	100.0%

〈将来〉

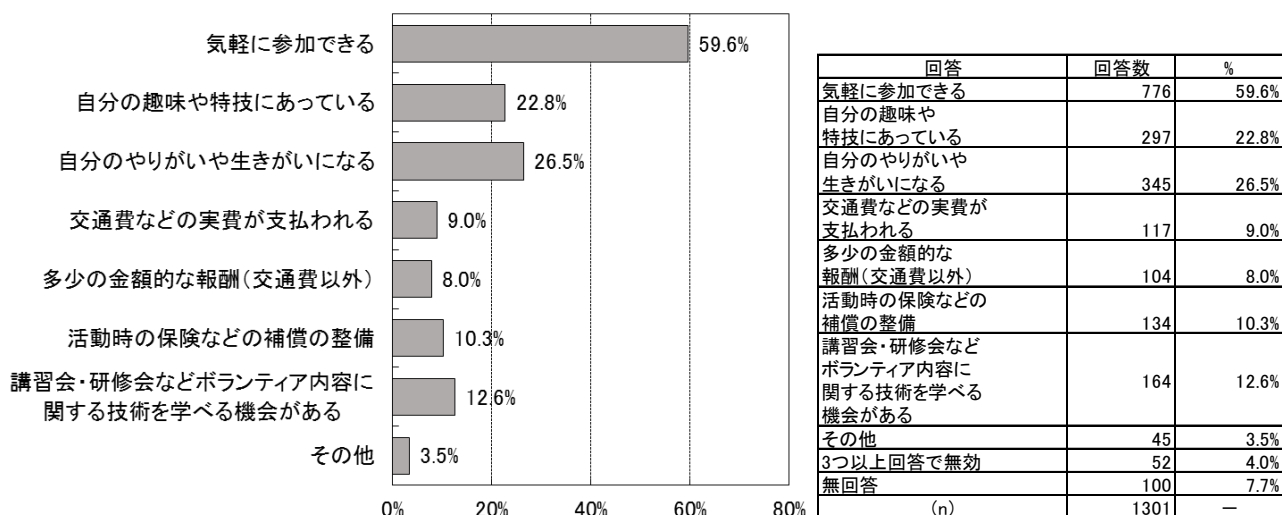


回答	回答数	%
安否確認の声かけ	654	50.3%
話し相手・相談相手	389	29.9%
買い物	299	23.0%
家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	174	13.4%
短時間の子どもの預かり	193	14.8%
登下校時の見守り	320	24.6%
保育園・幼稚園などへの送迎	154	11.8%
通院の付き添い	155	11.9%
パトロール(防犯など)	377	29.0%
その他	43	3.3%
(n)	1301	100.0%

問 14 ボランティア活動に参加するための必要条件

「気軽に参加できる」が 59.6%で最も多く、これに次いで、「自分のやりがいや生きがいになる」(26.5%) や「自分の趣味や特技に合っている」(22.8%) など自分自身の楽しみにつながる回答の割合が高くなっている。

図表 問 14 あなたが地域のボランティア活動に参加するとしたら、特に重要だと思う条件はどれですか (複数回答：2つまで)



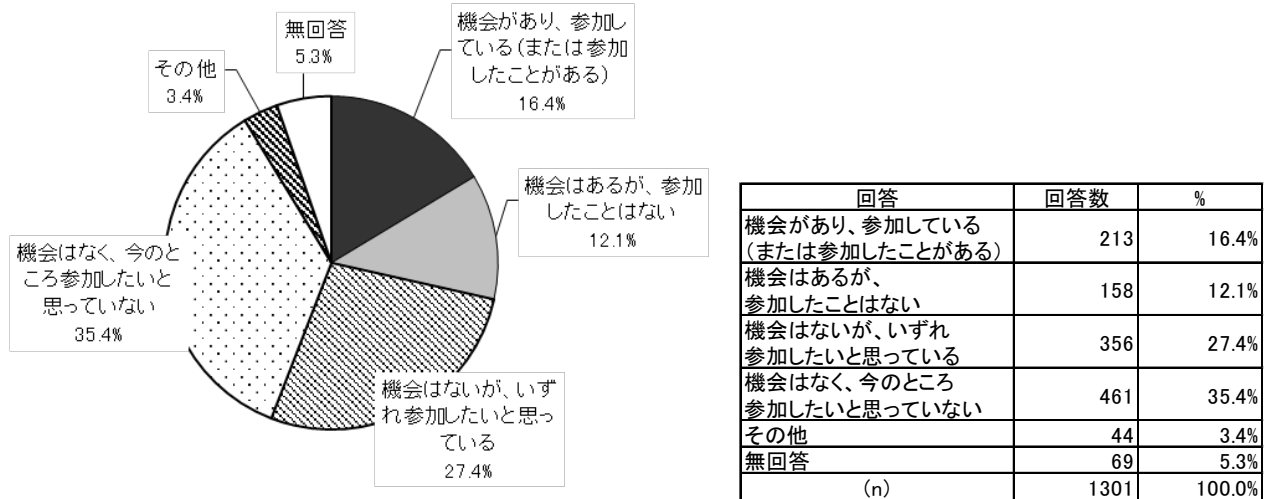
(4) 地域活動のための機会・場について

問 15 ボランティア活動の参加機会

ボランティア活動などに参加する機会があるかをたずねた。「機会はなく、今のところ参加したいと思っていない」が35.4%で最も多い。次いで「機会はないが、いずれ参加したいと思っている」(27.4%)が多くなっており、全体の6割以上が、ボランティア活動などの機会がないと回答している。

「機会があり参加している(参加したことがある)」は16.4%にとどまっている。

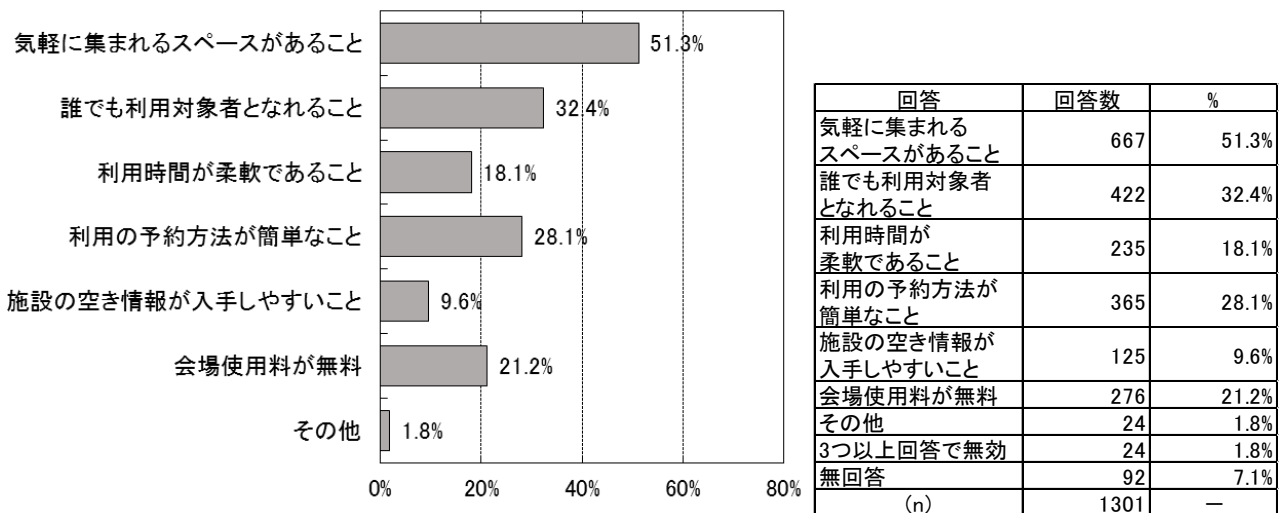
図表 問 15 あなたはボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会がありますか。



問 16 地域の活動の施設・スペースとして重要な条件

地域の活動の場として重要だと思う条件をたずねた。「気軽に集まれるスペースであること」(51.3%)や「誰でも利用対象者となれること」(32.4%)などの回答の割合が高く、区民に開かれた施設がのぞまれている。

図表 問 16 地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件はどれですか
(複数回答：2つまで)



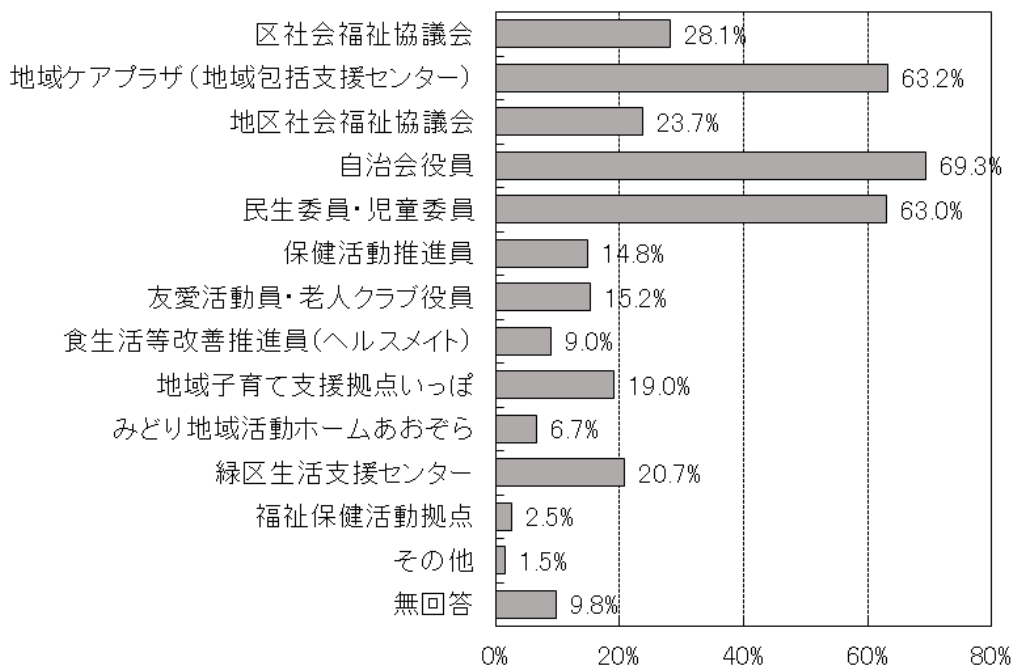
(5) 福祉保健に関する情報

問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員として知っているもの

地域の福祉保健に関する施設・団体・委員で知っているものとして、「自治会役員」(69.3%)、「地域ケアプラザ(地域包括支援センター)」(63.2%)、「民生委員・児童委員」(63.0%)の回答がいずれも6割を超え、とくに認知度が高い。

「地区社会福祉協議会」「保健活動推進員」「友愛活動員・老人クラブ役員」「食生活等改善推進員」などは、「自治会役員」等と同様に身近な地域の活動であるが、「自治会役員」等と比べると、認知度が低くなっている。

図表 問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員としてあなたが知っているものは次の中でどれですか (複数回答:あてはまるものすべて)



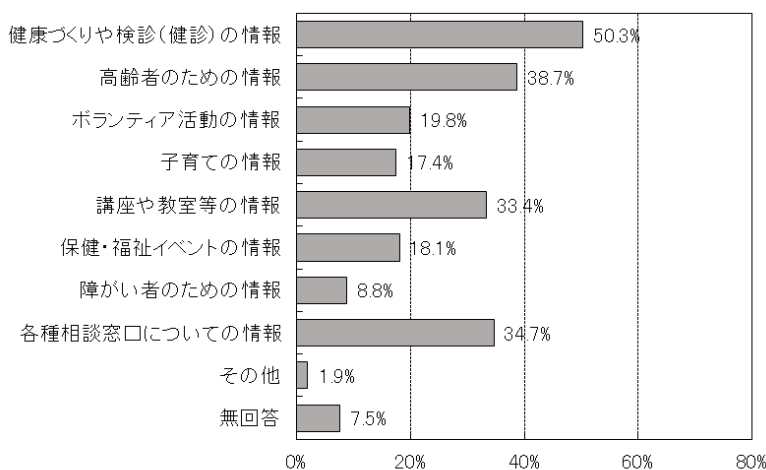
回答	回答数	%
区社会福祉協議会	366	28.1%
地域ケアプラザ (地域包括支援センター)	822	63.2%
地区社会福祉協議会	308	23.7%
自治会役員	902	69.3%
民生委員・児童委員	819	63.0%
保健活動推進員	192	14.8%
友愛活動員・ 老人クラブ役員	198	15.2%
食生活等改善推進員 (ヘルスマイト)	117	9.0%
地域子育て 支援拠点いっぽ	247	19.0%
みどり地域活動 ホームあおぞら	87	6.7%
緑区生活支援センター	269	20.7%
福祉保健活動拠点	33	2.5%
その他	19	1.5%
無回答	127	9.8%
(n)	1301	100.0%

問 18 知りたいと思う地域の福祉保健情報

知りたいと思う地域の福祉保健情報をたずねた。「健康づくりや検診（健診）の情報」（50.3%）が 5 割を超えて最も多く、次いで「高齢者のための情報」（38.7%）、「各種相談窓口についての情報」（34.7%）、「講座や教室等の情報」（33.4%）が多くなっている。

図表 問 18 あなたが、知りたいと思う地域の福祉保健に関する情報は次のうちどれですか。

（複数回答：あてはまるものすべて）



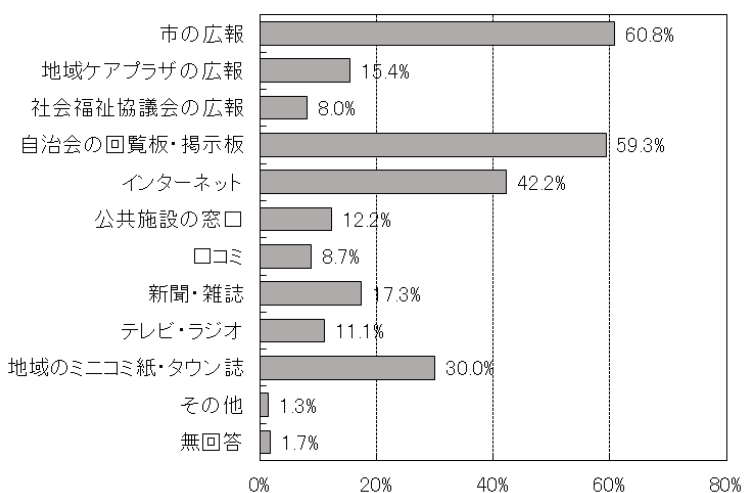
回答	回答数	%
健康づくりや検診(健診)の情報	654	50.3%
高齢者のための情報	503	38.7%
ボランティア活動の情報	258	19.8%
子育ての情報	227	17.4%
講座や教室等の情報	434	33.4%
保健・福祉イベントの情報	235	18.1%
障がい者のための情報	114	8.8%
各種相談窓口についての情報	451	34.7%
その他	25	1.9%
無回答	98	7.5%
(n)	1301	100.0%

問 19 地域の福祉保健に関する情報の取得手段

福祉保健に関する情報の取得手段は、従来からある「市の広報」（60.8%）や「自治会の回覧板・掲示板」（59.3%）が多くなっているが、これらに次いで「インターネット」も情報を入手しやすい方法として 4 割以上（42.2%）が回答している。また、「地域のミニコミ紙・タウン誌」（30.0%）も利用されている。

図表 問 19 あなたが地域の福祉保健に関する情報を知りたいと思ったとき、

入手しやすい方法はどれですか （複数回答：あてはまるものすべて）

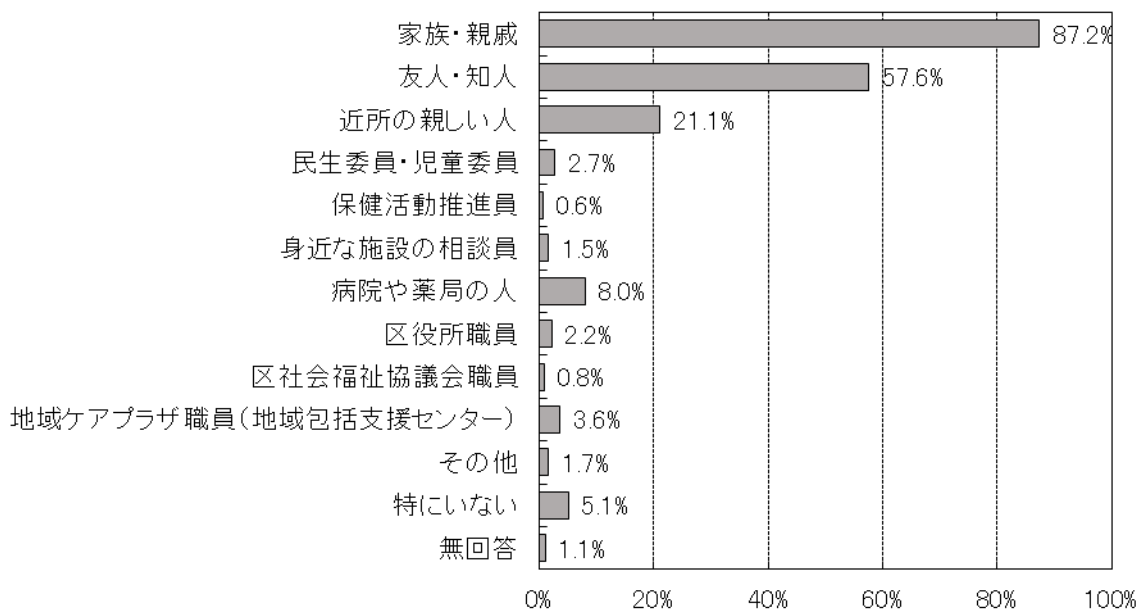


回答	回答数	%
市の広報	791	60.8%
地域ケアプラザの広報	201	15.4%
社会福祉協議会の広報	104	8.0%
自治会の回覧板・掲示板	772	59.3%
インターネット	549	42.2%
公共施設の窓口	159	12.2%
口コミ	113	8.7%
新聞・雑誌	225	17.3%
テレビ・ラジオ	144	11.1%
地域のミニコミ紙・タウン誌	390	30.0%
その他	17	1.3%
無回答	22	1.7%
(n)	1301	100.0%

問 20 身近な相談相手

身近な相談相手は、「家族・親族」を 9 割近く（87.2%）の人が回答し、次いで「友人・知人」（57.6%）が多くなっている。また、2 割の人が「近所の親しい人」（21.1%）を挙げている。

図表 問 20 あなたの身近な相談相手は誰ですか（複数回答：あてはまるものすべて）



回答	回答数	%
家族・親戚	1135	87.2%
友人・知人	750	57.6%
近所の親しい人	274	21.1%
民生委員・児童委員	35	2.7%
保健活動推進員	8	0.6%
身近な施設の相談員	20	1.5%
病院や薬局の人	104	8.0%
区役所職員	28	2.2%
区社会福祉協議会職員	11	0.8%
地域ケアプラザ職員 (地域包括支援センター)	47	3.6%
その他	22	1.7%
特にない	66	5.1%
無回答	14	1.1%
(n)	1301	100.0%

(6) 安全・安心

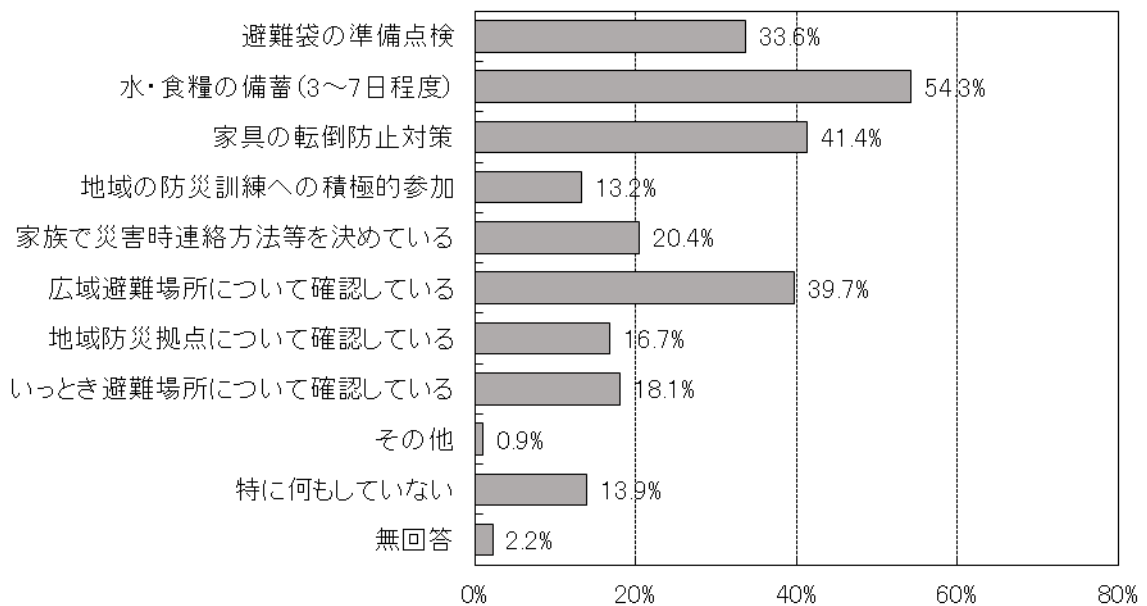
問 21 日頃、防災・減災に関して取り組んでいること

防災・減災に関して取り組んでいることは、「水・食糧の備蓄」が最も多く 54.3%が回答している。次いで、「家具の転倒防止」(41.4%)、「広域避難場所について確認している」(39.7%) となっている。

避難場所については、4割近くが回答している「広域避難場所」に対し、「地域防災拠点」(16.7%) や「いっとき避難場所」(18.1%) など身近な避難場所の認知度が低くなっている。

図表 問 21 あなたが日頃、防災・減災に関して取り組んでいることは何ですか

(複数回答：あてはまるものすべて)

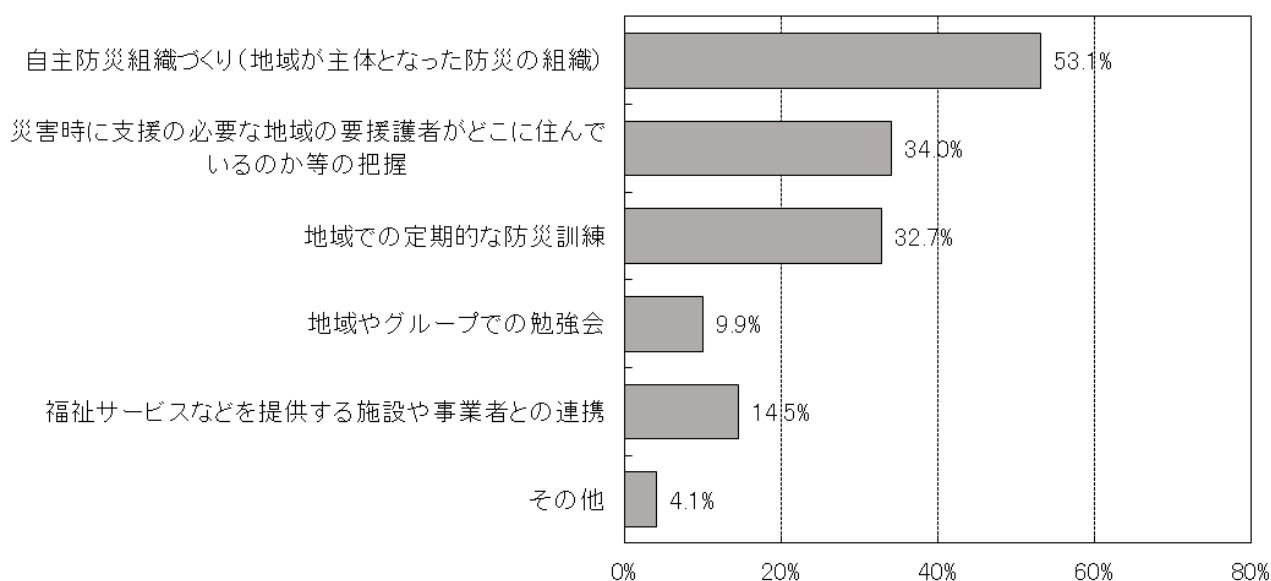


回答	回答数	%
避難袋の準備点検	437	33.6%
水・食糧の備蓄(3~7日程度)	706	54.3%
家具の転倒防止対策	538	41.4%
地域の防災訓練への積極的参加	172	13.2%
家族で災害時連絡方法等を決めている	266	20.4%
広域避難場所について確認している	516	39.7%
地域防災拠点について確認している	217	16.7%
いっとき避難場所について確認している	235	18.1%
その他	12	0.9%
特に何もしていない	181	13.9%
無回答	28	2.2%
(n)	1301	100.0%

問 22 「災害時に住民が支えあう地域づくり」に必要な取組

防災に関して、地域で必要な取組については、「自主防災組織づくり」が 53.1%で最も多く、「災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握」(34.0%)と「地域での定期的な防災訓練」(32.7%)がそれに次いでいる。

図表 問 2 2 あなたは「災害時に住民が支えあう地域づくり」には日頃から地域でどのような取組が必要だと思われますか。その中でも特に重要だと思うものに○をつけてください
(複数回答：2つまで)

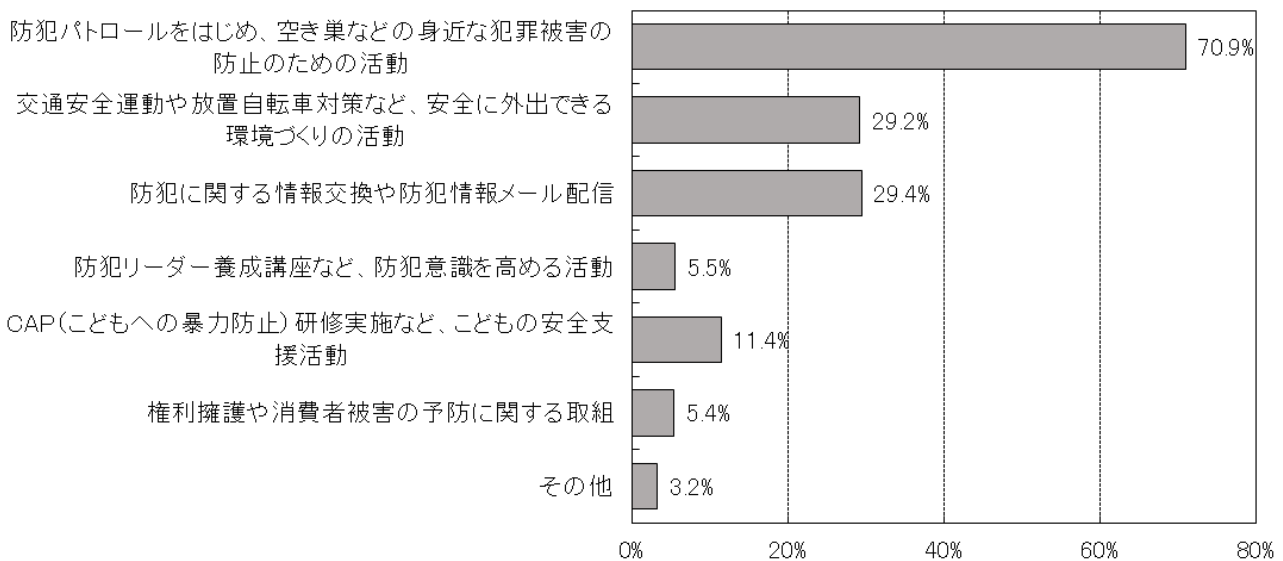


回答	回答数	%
自主防災組織づくり (地域が主体となった防災の組織)	691	53.1%
災害時に支援の必要な地域の要援護者が どこに住んでいるのか等の把握	442	34.0%
地域での定期的な防災訓練	426	32.7%
地域やグループでの勉強会	129	9.9%
福祉サービスなどを提供する施設や 事業者との連携	188	14.5%
その他	53	4.1%
3つ以上回答で無効	30	2.3%
無回答	71	5.5%
(n)	1301	100.0%

問 23 「地域における防犯活動」に必要な取組

防犯に関して必要な取組としては、防犯パトロールなど「犯罪被害の防止のための活動」(70.9%)が最も多くなっている。次いで、「防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信」(29.4%)と「交通安全運動や放置自転車対策など安全に外出できる環境づくりの活動」(29.2%)が多くなっている。

図表 問 23 あなたは「地域における防犯活動」として、日頃からどのような取組が必要だと思いますか。その中でも特に重要だと思うものに○をつけてください（複数回答：2つまで）



回答	回答数	%
防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	922	70.9%
交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	380	29.2%
防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	383	29.4%
防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	71	5.5%
CAP(子どもへの暴力防止)研修実施など、子どもの安全支援活動	148	11.4%
権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	70	5.4%
その他	42	3.2%
3つ以上回答で無効	27	2.1%
無回答	82	6.3%
(n)	1301	100.0%

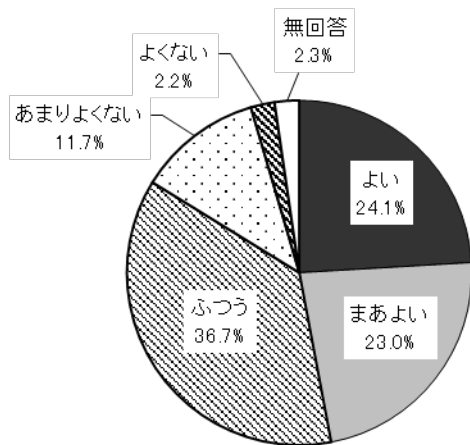
(7) 健康

問 24 自身の健康状態

回答者自身の健康状態について、「ふつう」が 36.7%で最も多い。

また、「よい」(24.1%)と「まあよい」(23.0%)を合わせると半数近くになり、健康であるという回答が多くなっている。

図表 問 24 あなたの現在の健康状態は、ご自分で次のどれにあてはまるとお考えですか



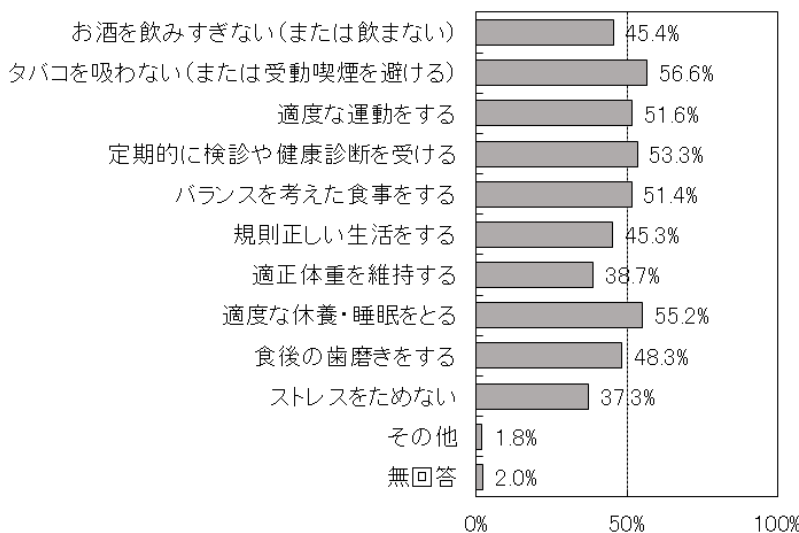
回答	回答数	%
よい	313	24.1%
まあよい	299	23.0%
ふつう	478	36.7%
あまりよくない	152	11.7%
よくない	29	2.2%
無回答	30	2.3%
(n)	1301	100.0%

問 25 日頃から健康のために心がけていること

回答者が日頃から健康のために心がけていることは、「タバコを吸わない(受動喫煙を避ける)」(56.6%)をはじめ、「適度な休養・睡眠をとる」「定期的に検診や健康診断を受ける」「適度な運動をする」「バランスを考えた食事をする」などの項目で5割以上の回答があり、健康のため多くのことを心がけていることが分かる。

図表 問 25 あなたが日頃から健康のために心がけていることはありますか。

(複数回答：あてはまるものすべて)

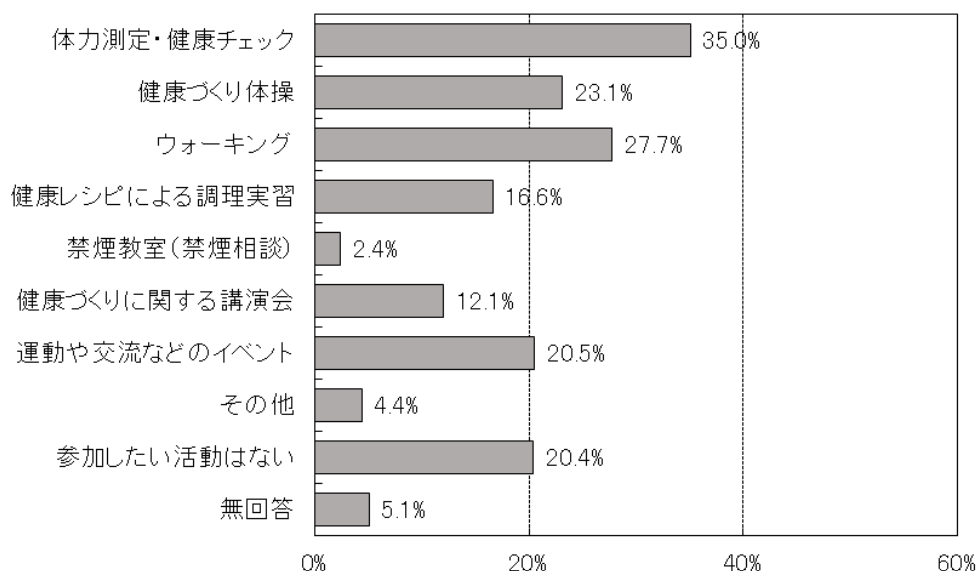


回答	回答数	%
お酒を飲みすぎない(または飲まない)	591	45.4%
タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	736	56.6%
適度な運動をする	671	51.6%
定期的に検診や健康診断を受ける	694	53.3%
バランスを考えた食事をする	669	51.4%
規則正しい生活をする	589	45.3%
適正体重を維持する	504	38.7%
適度な休養・睡眠をとる	718	55.2%
食後の歯磨きをする	629	48.3%
ストレスをためない	485	37.3%
その他	24	1.8%
無回答	26	2.0%
(n)	1301	100.0%

問 26 自身の健康のために参加したいと思う活動

回答者が自身の健康のために参加したいと思う活動は、「体力測定・健康チェック」(35.0%)が最も多く、それに続いて「ウォーキング」(27.7%)や「健康づくり体操」(23.1%)など体を動かす活動についての回答が多くなっている。

図表 問26 あなたがご自身の健康のために、身近にどのような活動があれば参加したいと思いますか（複数回答）



回答	回答数	%
体力測定・健康チェック	456	35.0%
健康づくり体操	301	23.1%
ウォーキング	361	27.7%
健康レシピによる調理実習	216	16.6%
禁煙教室(禁煙相談)	31	2.4%
健康づくりに関する講演会	157	12.1%
運動や交流などのイベント	267	20.5%
その他	57	4.4%
参加したい活動はない	265	20.4%
無回答	66	5.1%
(n)	1301	100.0%

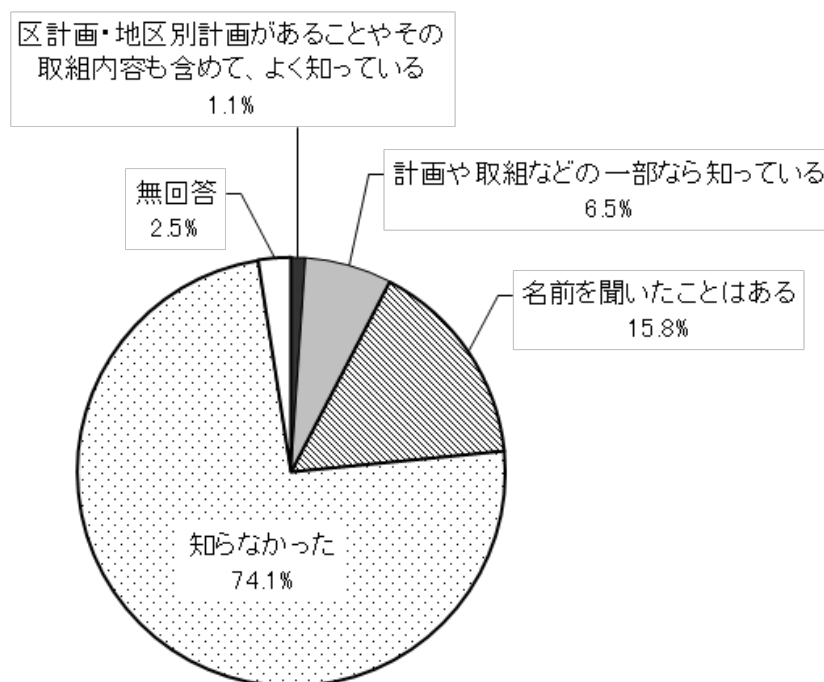
(8) 身近な地域での福祉保健の取組について

問 27 『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度

地域福祉保健計画の認知度をたずねた。『みどりのわ・ささえ愛プラン』を「知らなかった」が7割以上(74.1%)を占め、認知度は高いとはいえない。「名前を聞いたことはある」も15.8%にとどまっている。

問 2 7 あなたは地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』を知っていましたか。

次のうちあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

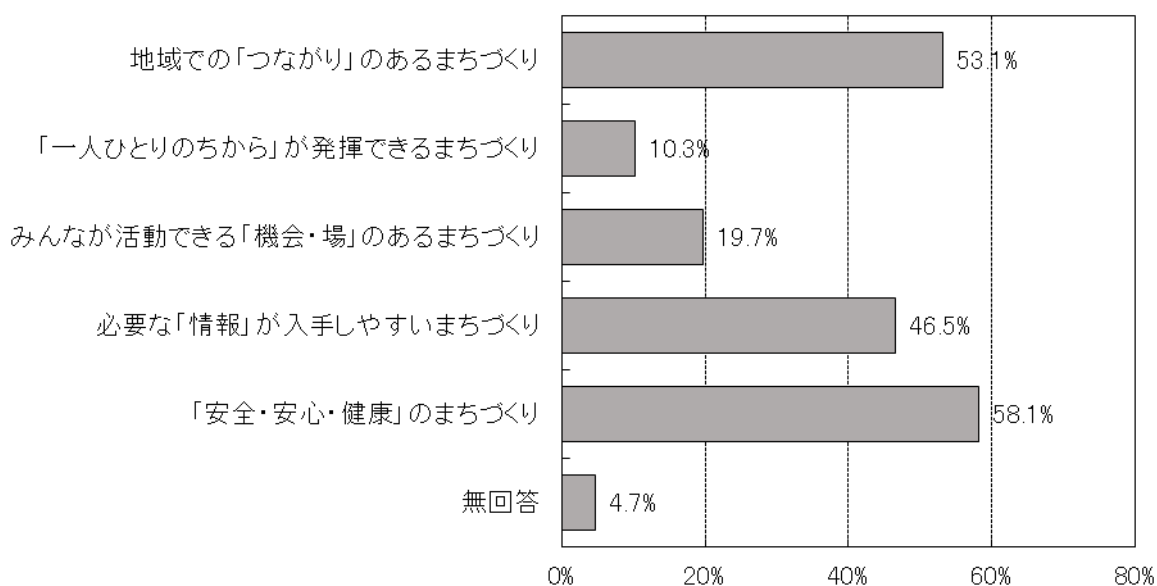


回答	回答数	%
区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	14	1.1%
計画や取組などの一部なら知っている	85	6.5%
名前を聞いたことはある	206	15.8%
知らなかった	964	74.1%
無回答	32	2.5%
(n)	1301	100.0%

問 28 地域で、特に重要な福祉保健の取組

特に重要な福祉保健の取組は、「『安全・安心・健康』のまちづくり」(58.1%)が最も多く、「地域での『つながり』のあるまちづくり」(53.1%)、「必要な『情報』が入手しやすいまちづくり」(46.5%)がそれに続いている。一方、「『一人ひとりのちから』が発揮できるまちづくり」(10.3%)や「みんなが活動できる『機会・場』のあるまちづくり」(19.7%)など、区民自身の活動に関する取組の回答は少なかった。

図表 問28 あなたが自分の住む地域で、今、特に重要な福祉保健の取組はどのようなことだと思いますか。次のうち、あてはまると思うものを2つ選び、回答欄にその番号を記入してください。(複数回答：2つまで)



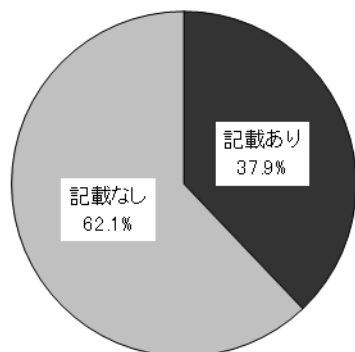
回答	回答数	%
地域での「つながり」のあるまちづくり	691	53.1%
「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	134	10.3%
みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	256	19.7%
必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	605	46.5%
「安全・安心・健康」のまちづくり	756	58.1%
無回答	61	4.7%
(n)	1301	100.0%

(9) 緑区の福祉保健全般について

問 29 緑区の福祉保健のために、10年後も大切だと思うこと

自由記入では、全体の37.9%から記載があった。(内容は第6章参照)

図表 問 29 緑区の福祉保健のために、10年後も大切だと思うこと
(自由記入の記載)

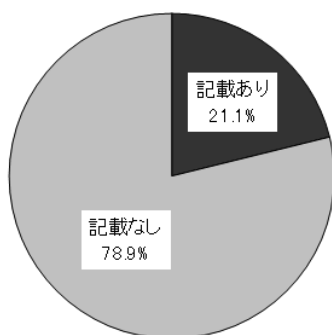


回答	回答数	%
記載あり	493	37.9%
記載なし	808	62.1%
(n)	1301	100.0%

問 30 『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対する意見

自由記入では、全体の21.1%から記載があった。(内容は第6章参照)

図表 問 30 緑区の福祉保健に対する意見
(自由記入の記載)



回答	回答数	%
記載あり	275	21.1%
記載なし	1026	78.9%
(n)	1301	100.0%

第3章 地区別集計

地域福祉計画の地区別計画の区域による集計を行った。

(1) 各地区の概況

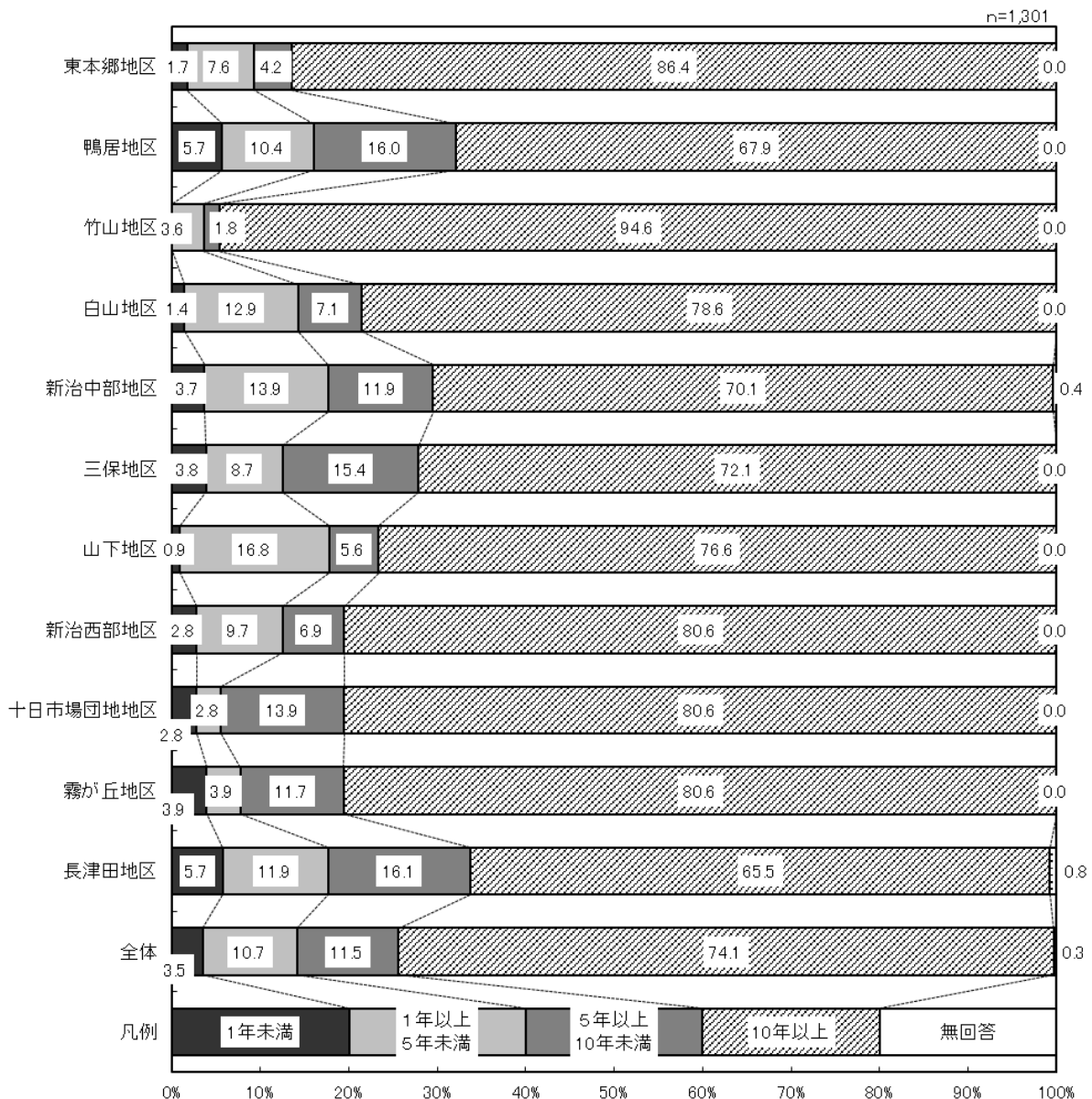
アンケート結果からみる各地区の概況は、次の通りである。

問4 居住年数

全地区とも、緑区の居住年数は「10年以上」が最も多くなっているが、中でも竹山地区は、「10年以上」が94.6%で、居住年数の長い住民が多い。

鴨居地区と長津田地区は「1年未満」がともに5.7%で、「10年以上」が6割台であるなど、他地区に比べ、居住年数の浅い住民の割合が高い。

図表 問4 あなたは緑区に何年間住んでいますか (平成26年9月1日現在)

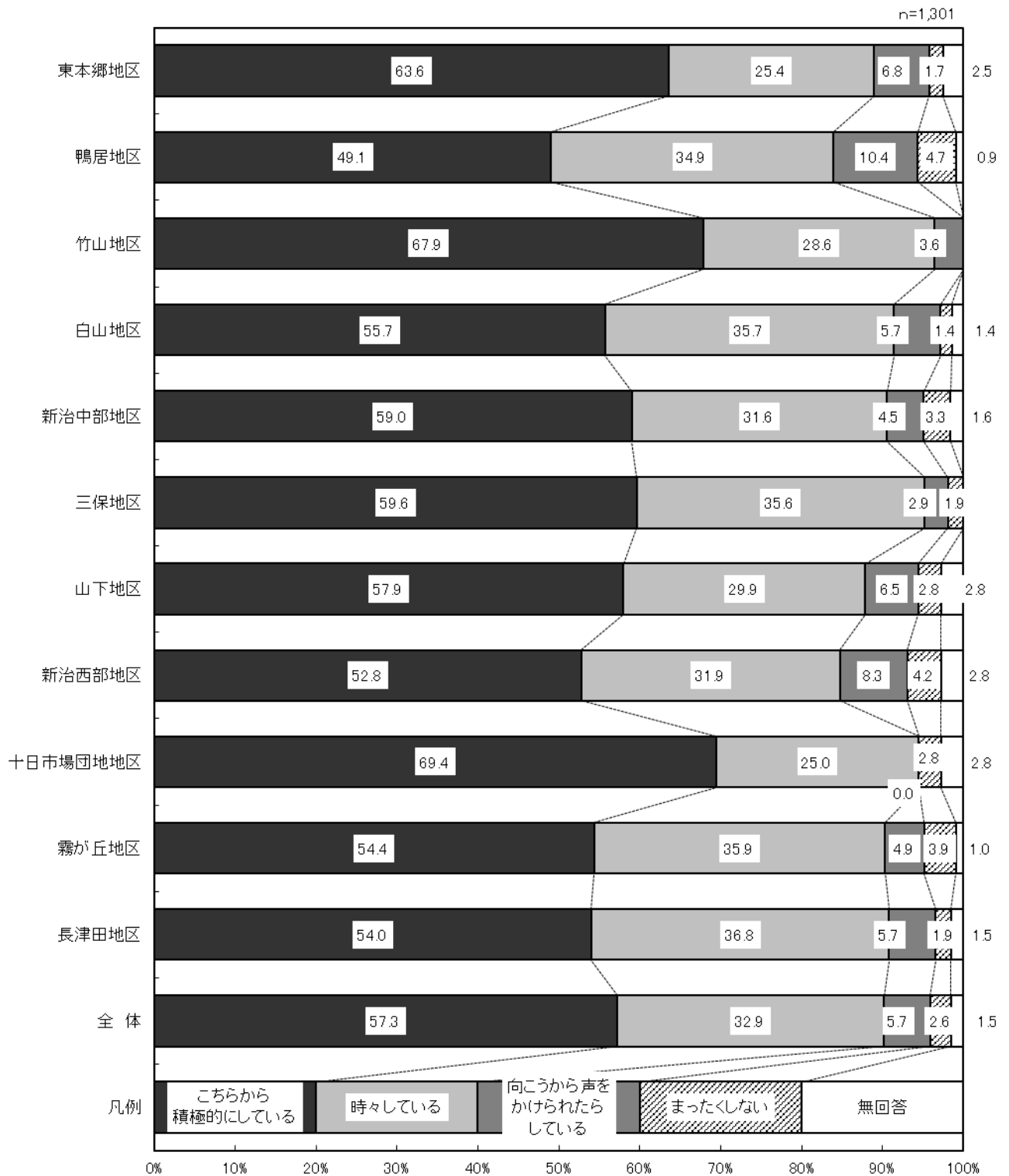


		問4【居住年数】					(n)
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答	
東本郷地区	回答数	2	9	5	102	0	118
	%	1.7	7.6	4.2	86.4	0.0	100.0
鴨居地区	回答数	6	11	17	72	0	106
	%	5.7	10.4	16.0	67.9	0.0	100.0
竹山地区	回答数	0	2	1	53	0	56
	%	0.0	3.6	1.8	94.6	0.0	100.0
白山地区	回答数	1	9	5	55	0	70
	%	1.4	12.9	7.1	78.6	0.0	100.0
新治中部地区	回答数	9	34	29	171	1	244
	%	3.7	13.9	11.9	70.1	0.4	100.0
三保地区	回答数	4	9	16	75	0	104
	%	3.8	8.7	15.4	72.1	0.0	100.0
山下地区	回答数	1	18	6	82	0	107
	%	0.9	16.8	5.6	76.6	0.0	100.0
新治西部地区	回答数	2	7	5	58	0	72
	%	2.8	9.7	6.9	80.6	0.0	100.0
十日市場団地地区	回答数	1	1	5	29	0	36
	%	2.8	2.8	13.9	80.6	0.0	100.0
霧が丘地区	回答数	4	4	12	83	0	103
	%	3.9	3.9	11.7	80.6	0.0	100.0
長津田地区	回答数	15	31	42	171	2	261
	%	5.7	11.9	16.1	65.5	0.8	100.0
全体	回答数	45	139	149	964	4	1301
	%	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3	100.0

問9 近隣の人へのあいさつ・声かけ

あいさつ・声かけに積極的なのは、十日市場団地地区（「こちらから積極的にしている」69.4%）、竹山地区（同67.9%）である。

図表 問9 あなたは近隣の人にあいさつや声かけをしていますか

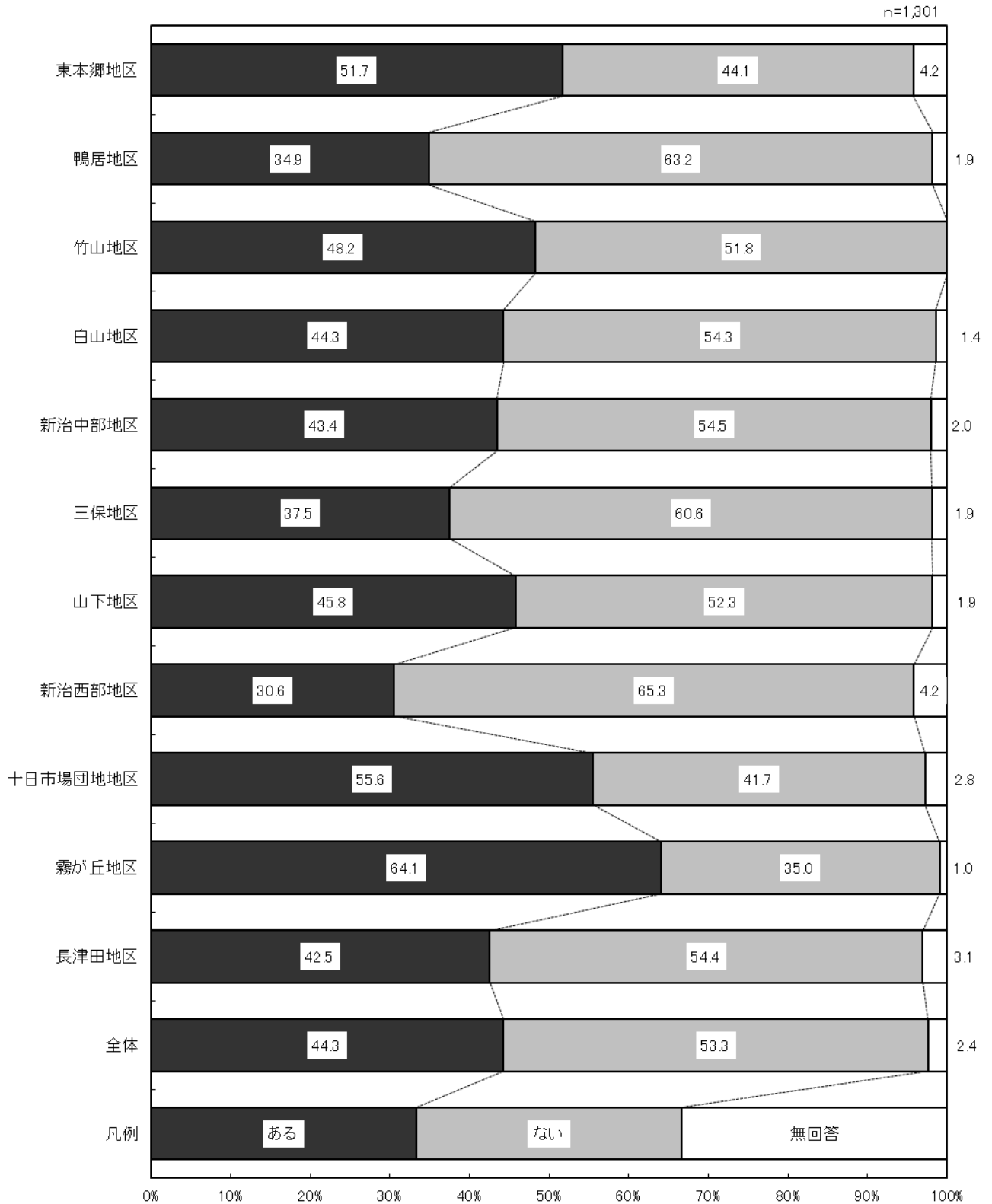


		問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】					(n)
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答	
東本郷地区	回答数	75	30	8	2	3	118
	%	63.6	25.4	6.8	1.7	2.5	100.0
鴨居地区	回答数	52	37	11	5	1	106
	%	49.1	34.9	10.4	4.7	0.9	100.0
竹山地区	回答数	38	16	2	0	0	56
	%	67.9	28.6	3.6	0.0	0.0	100.0
白山地区	回答数	39	25	4	1	1	70
	%	55.7	35.7	5.7	1.4	1.4	100.0
新治中部地区	回答数	144	77	11	8	4	244
	%	59.0	31.6	4.5	3.3	1.6	100.0
三保地区	回答数	62	37	3	2	0	104
	%	59.6	35.6	2.9	1.9	0.0	100.0
山下地区	回答数	62	32	7	3	3	107
	%	57.9	29.9	6.5	2.8	2.8	100.0
新治西部地区	回答数	38	23	6	3	2	72
	%	52.8	31.9	8.3	4.2	2.8	100.0
十日市場団地地区	回答数	25	9	0	1	1	36
	%	69.4	25.0	0.0	2.8	2.8	100.0
霧が丘地区	回答数	56	37	5	4	1	103
	%	54.4	35.9	4.9	3.9	1.0	100.0
長津田地区	回答数	141	96	15	5	4	261
	%	54.0	36.8	5.7	1.9	1.5	100.0
全体	回答数	745	428	74	34	20	1301
	%	57.3	32.9	5.7	2.6	1.5	100.0

問 11 地域での助け合いの参加経験

参加した経験が「ある」が最も高いのは、霧が丘地区（64.1%）、次いで十日市場団地地区（55.6%）であった。

図表 問 11 あなたは今までに、地域のイベントや活動の手伝いなど地域の助け合いに参加したことがありますか

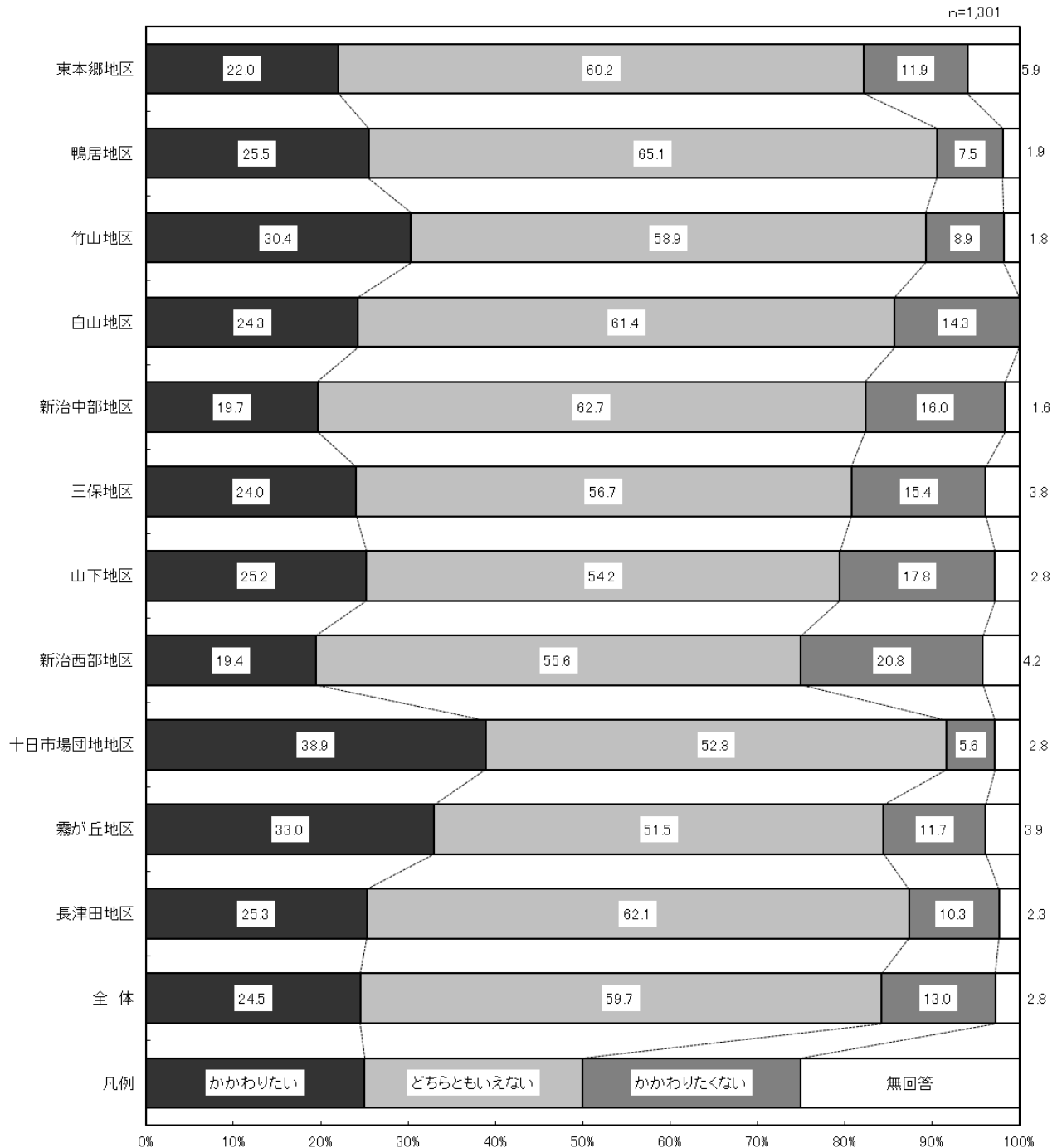


		問11【地域での助け合いに参加した経験】			(n)
		ある	ない	無回答	
東本郷地区	回答数	61	52	5	118
	%	51.7	44.1	4.2	100.0
鴨居地区	回答数	37	67	2	106
	%	34.9	63.2	1.9	100.0
竹山地区	回答数	27	29	0	56
	%	48.2	51.8	0.0	100.0
白山地区	回答数	31	38	1	70
	%	44.3	54.3	1.4	100.0
新治中部地区	回答数	106	133	5	244
	%	43.4	54.5	2.0	100.0
三保地区	回答数	39	63	2	104
	%	37.5	60.6	1.9	100.0
山下地区	回答数	49	56	2	107
	%	45.8	52.3	1.9	100.0
新治西部地区	回答数	22	47	3	72
	%	30.6	65.3	4.2	100.0
十日市場団地地区	回答数	20	15	1	36
	%	55.6	41.7	2.8	100.0
霧が丘地区	回答数	66	36	1	103
	%	64.1	35.0	1.0	100.0
長津田地区	回答数	111	142	8	261
	%	42.5	54.4	3.1	100.0
全 体	回答数	576	694	31	1301
	%	44.3	53.3	2.4	100.0

問 12 地域の活動への参加意向

今後の参加意向については、「どちらともいえない」が各地区とも5～6割が多いが、「かかわりたい」が最も高かったのは、十日市場団地地区（38.9%）、次いで、霧が丘地区（33.0%）、竹山地区（30.4%）となっている。

図表 問 12 あなたは今後、地域のイベントや活動の手伝いなどにかかわりたいですか

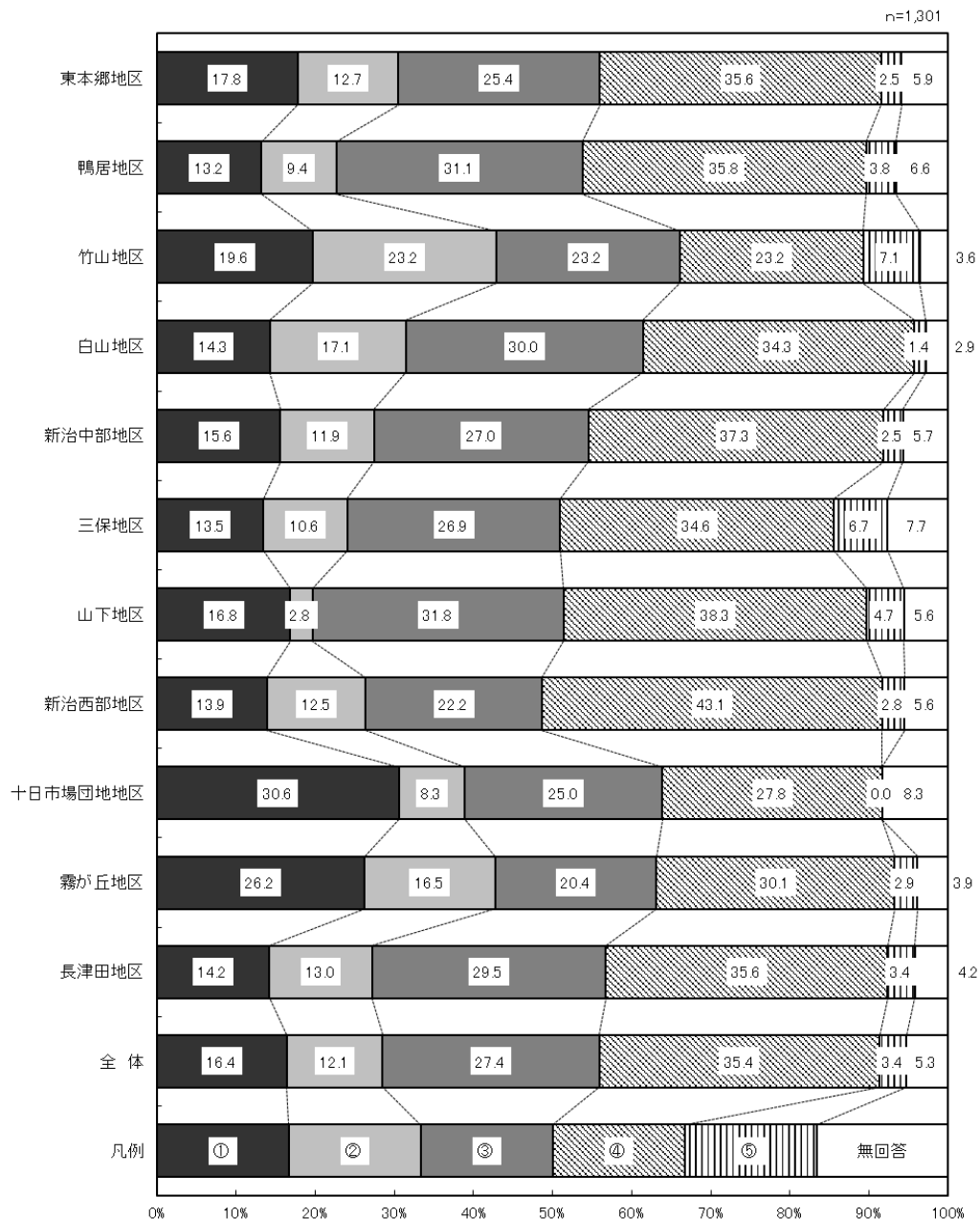


		問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへの かかわりについての意向】				(n)
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答	
東本郷地区	回答数	26	14	71	7	118
	%	22.0	11.9	60.2	5.9	100.0
鴨居地区	回答数	27	8	69	2	106
	%	25.5	7.5	65.1	1.9	100.0
竹山地区	回答数	17	5	33	1	56
	%	30.4	8.9	58.9	1.8	100.0
白山地区	回答数	17	10	43	0	70
	%	24.3	14.3	61.4	0.0	100.0
新治中部地区	回答数	48	39	153	4	244
	%	19.7	16.0	62.7	1.6	100.0
三保地区	回答数	25	16	59	4	104
	%	24.0	15.4	56.7	3.8	100.0
山下地区	回答数	27	19	58	3	107
	%	25.2	17.8	54.2	2.8	100.0
新治西部地区	回答数	14	15	40	3	72
	%	19.4	20.8	55.6	4.2	100.0
十日市場団地地区	回答数	14	2	19	1	36
	%	38.9	5.6	52.8	2.8	100.0
霧が丘地区	回答数	34	12	53	4	103
	%	33.0	11.7	51.5	3.9	100.0
長津田地区	回答数	66	27	162	6	261
	%	25.3	10.3	62.1	2.3	100.0
全 体	回答数	319	169	777	36	1301
	%	24.5	13.0	59.7	2.8	100.0

問 15 ボランティア活動への参加機会

「機会があり参加している」は十日市場団地地区では3割を超えている。(30.8%)
 ついで、霧が丘地区が26.2%となっている。一方、「機会がない」という回答が最も高
 かったのは山下地区であった。(機会がないがいずれ参加したい31.8%、機会がなく今
 のところ参加したいと思っていない38.3%の合算)

図表 問 15 あなたはボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会はある
 ですか



- ① ■機会があり、参加している (または参加したことがある) ② □機会はあるが、参加したことはない ③ ■機会はないが、いずれ参加したいと思っている
- ④ ■機会はなく、今のところ参加したいと思っていない ⑤ □その他 □無回答

		問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】						(n)
		機会があり、 参加している (または参加し たことがある)	機会はある が、参加したこ とはない	機会はない が、いずれ参 加したいと思っ ている	機会はなく、 今のところ参 加したいと思っ ていない	その他	無回答	
東本郷地区	回答数	21	15	30	42	3	7	118
	%	17.8	12.7	25.4	35.6	2.5	5.9	100.0
鴨居地区	回答数	14	10	33	38	4	7	106
	%	13.2	9.4	31.1	35.8	3.8	6.6	100.0
竹山地区	回答数	11	13	13	13	4	2	56
	%	19.6	23.2	23.2	23.2	7.1	3.6	100.0
白山地区	回答数	10	12	21	24	1	2	70
	%	14.3	17.1	30.0	34.3	1.4	2.9	100.0
新治中部地区	回答数	38	29	66	91	6	14	244
	%	15.6	11.9	27.0	37.3	2.5	5.7	100.0
三保地区	回答数	14	11	28	36	7	8	104
	%	13.5	10.6	26.9	34.6	6.7	7.7	100.0
山下地区	回答数	18	3	34	41	5	6	107
	%	16.8	2.8	31.8	38.3	4.7	5.6	100.0
新治西部地区	回答数	10	9	16	31	2	4	72
	%	13.9	12.5	22.2	43.1	2.8	5.6	100.0
十日市場団地地区	回答数	11	3	9	10	0	3	36
	%	30.6	8.3	25.0	27.8	0.0	8.3	100.0
霧が丘地区	回答数	27	17	21	31	3	4	103
	%	26.2	16.5	20.4	30.1	2.9	3.9	100.0
長津田地区	回答数	37	34	77	93	9	11	261
	%	14.2	13.0	29.5	35.6	3.4	4.2	100.0
全 体	回答数	213	158	356	461	44	69	1301
	%	16.4	12.1	27.4	35.4	3.4	5.3	100.0

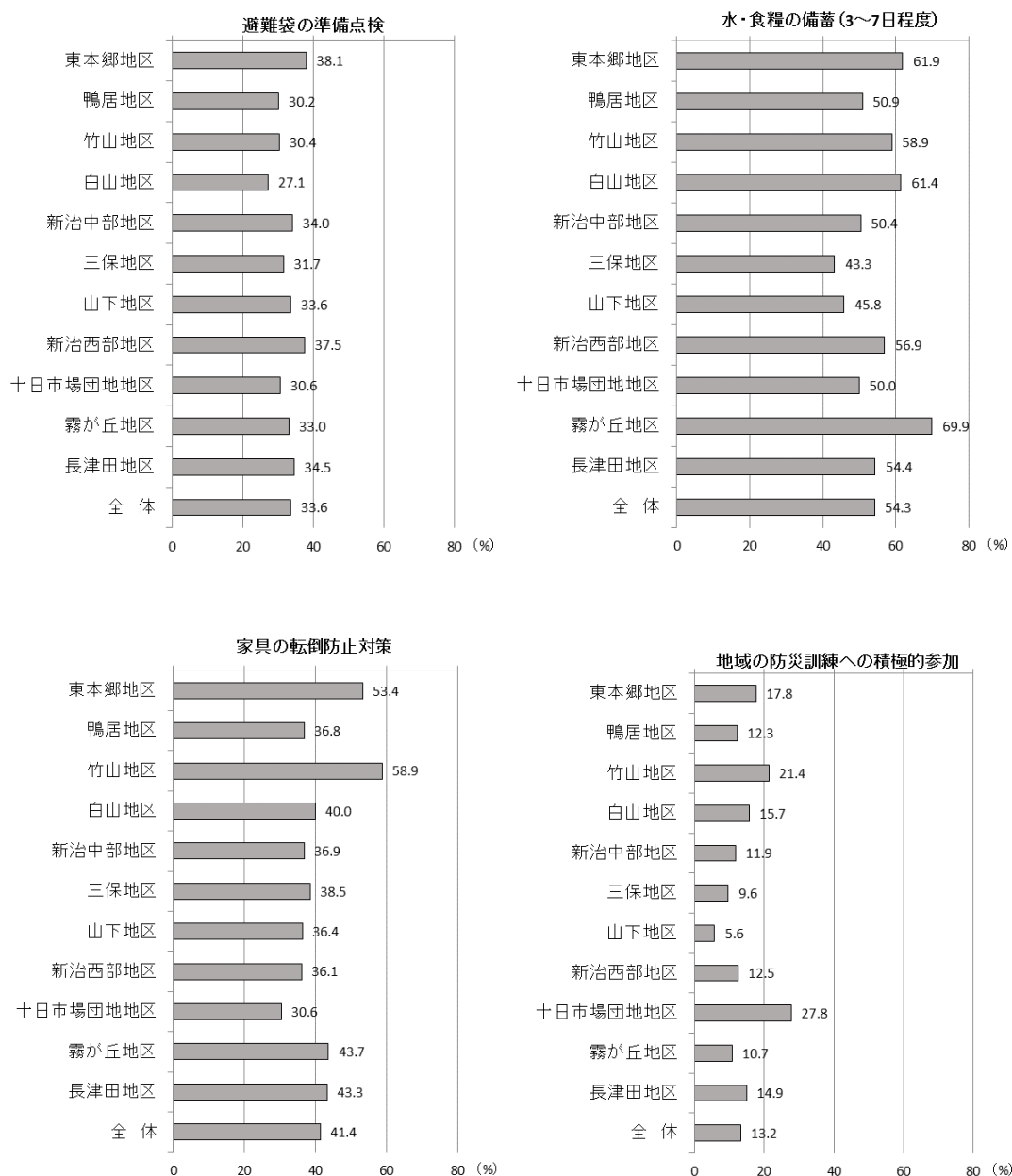
問 21 日頃、防災・減災に関して取り組んでいること

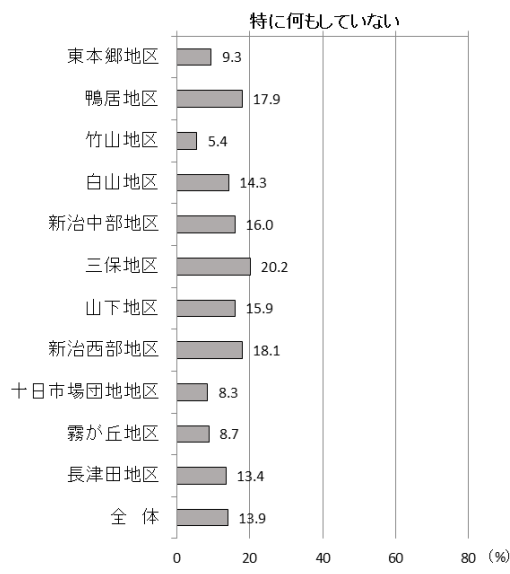
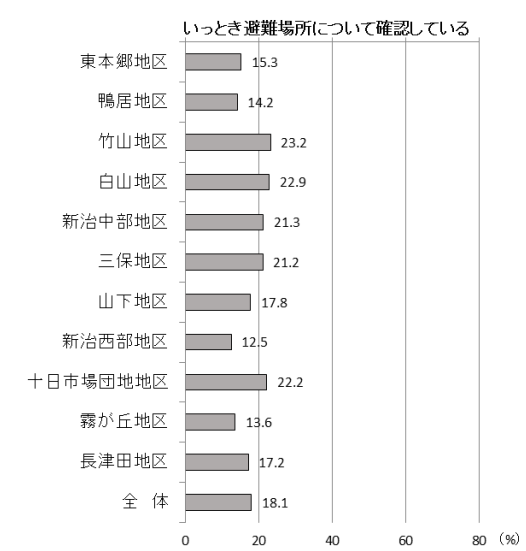
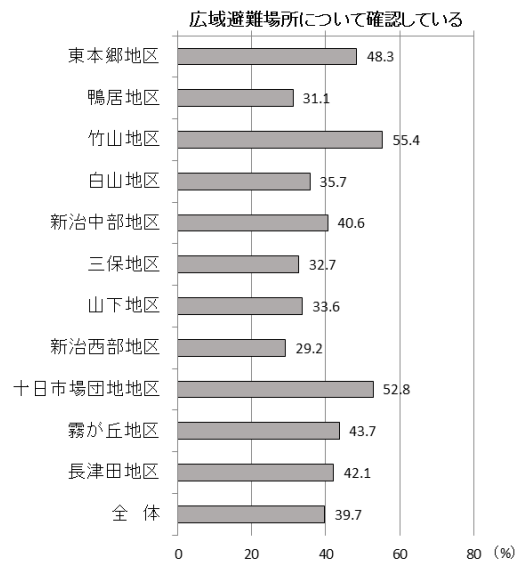
「水・食料の備蓄」、「家具の転倒防止対策」、「地域の防災訓練への積極的参加」、「広域避難場所について確認している」などの項目で、地域による差が比較的大きかった。

「水・食料の備蓄」は、最も高い霧が丘地区で約7割（69.9%）であるのに対し、三保地区・山下地区では5割を下回っている（三保地区 43.3%、山下地区 45.8%）。「家具の転倒防止対策」は、竹山地区ではほぼ6割（58.9%）が回答しているのに対し、十日市場団地地区では3割程度（30.6%）にとどまっている。しかし、十日市場団地地区は、「地域の防災訓練への積極的参加」の回答が約3割（27.8%）と区内最多であった。

本調査からは確認できないが、地域での防災活動の状況や、居住環境の違いにより、地区の違いが出ていると考えられる。

図表 問 21 あなたが日頃、防災・減災に関して取り組んでいることは何ですか
(複数回答：あてはまるものすべて)





		問21【日頃防災・減災に関して取り組んでいること】				
		避難袋の準備 点検	水・食糧の備 蓄(3～7日程 度)	家具の転倒防 止対策	地域の防災訓 練への積極的 参加	家族で災害時 連絡方法等を 決めている
東本郷地区	回答数	45	73	63	21	26
	%	38.1	61.9	53.4	17.8	22.0
鴨居地区	回答数	32	54	39	13	18
	%	30.2	50.9	36.8	12.3	17.0
竹山地区	回答数	17	33	33	12	15
	%	30.4	58.9	58.9	21.4	26.8
白山地区	回答数	19	43	28	11	17
	%	27.1	61.4	40.0	15.7	24.3
新治中部地区	回答数	83	123	90	29	44
	%	34.0	50.4	36.9	11.9	18.0
三保地区	回答数	33	45	40	10	22
	%	31.7	43.3	38.5	9.6	21.2
山下地区	回答数	36	49	39	6	23
	%	33.6	45.8	36.4	5.6	21.5
新治西部地区	回答数	27	41	26	9	11
	%	37.5	56.9	36.1	12.5	15.3
十日市場団地地区	回答数	11	18	11	10	5
	%	30.6	50.0	30.6	27.8	13.9
霧が丘地区	回答数	34	72	45	11	19
	%	33.0	69.9	43.7	10.7	18.4
長津田地区	回答数	90	142	113	39	60
	%	34.5	54.4	43.3	14.9	23.0
全 体	回答数	437	706	538	172	266
	%	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4

広域避難場所 について確認 している	地域防災拠点 について確認 している	いっとき避難 場所について 確認している	その他	特に何もして いない	無回答	(n)
57	20	18	1	11	2	118
48.3	16.9	15.3	0.8	9.3	1.7	100.0
33	17	15	0	19	2	106
31.1	16.0	14.2	0.0	17.9	1.9	100.0
31	12	13	1	3	2	56
55.4	21.4	23.2	1.8	5.4	3.6	100.0
25	13	16	1	10	0	70
35.7	18.6	22.9	1.4	14.3	0.0	100.0
99	38	52	2	39	5	244
40.6	15.6	21.3	0.8	16.0	2.0	100.0
34	15	22	0	21	5	104
32.7	14.4	21.2	0.0	20.2	4.8	100.0
36	16	19	2	17	3	107
33.6	15.0	17.8	1.9	15.9	2.8	100.0
21	8	9	1	13	2	72
29.2	11.1	12.5	1.4	18.1	2.8	100.0
19	9	8	0	3	1	36
52.8	25.0	22.2	0.0	8.3	2.8	100.0
45	17	14	1	9	2	103
43.7	16.5	13.6	1.0	8.7	1.9	100.0
110	50	45	3	35	3	261
42.1	19.2	17.2	1.1	13.4	1.1	100.0
516	217	235	12	181	28	1301
39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2	100.0

(2) 地区別集計結果

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～東本郷地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数
1 有効票	1301
2 無効票	0
計	1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全 体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	東本郷地区	118	43	73	2
		100.0	36.4	61.9	1.7

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全 体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
東本郷地区	118	2	11	22	22	7	15	13	18	8	0
	100.0	1.7	9.3	18.6	18.6	5.9	12.7	11.0	15.3	6.8	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全 体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
東本郷地区	118	2	9	5	102	0
	100.0	1.7	7.6	4.2	86.4	0.0

	合計	問5【住宅の種類】								
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全 体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
東本郷地区	118	74	26	0	3	8	0	7	0	0
	100.0	62.7	22.0	0.0	2.5	6.8	0.0	5.9	0.0	0.0

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全 体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
東本郷地区	118	0	1	4	7	102	4	64	5	7	2	0
	100.0	0.0	0.8	3.4	5.9	86.4	3.4	54.2	4.2	5.9	1.7	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全 体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
東本郷地区	118	11	8	48	7	53	4
	100.0	9.3	6.8	40.7	5.9	44.9	3.4

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全 体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
東本郷地区	118	35	18	30	0	29	3	3
	100.0	29.7	15.3	25.4	0.0	24.6	2.5	2.5

- （問2）回答者性別の男女比はおよそ4対6だが、全体よりも若干女性が多かった。
- （問4・問5）回答者の居住年数は「10年以上」が9割近くで、持家（一戸建て）が6割を超えていることから、長期定住型住民が多いことがわかる。
- （問3・問6）回答者の年齢層ピークが40代・50代であることから、家族構成として「配偶者」「子」の割合が全体より多いものの、地区の回答者の半数近くが65歳以上の高齢者層であった。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301	745	428	74	34	20
	100.0	57.3	32.9	5.7	2.6	1.5
東本郷地区	118	75	30	8	2	3
	100.0	63.6	25.4	6.8	1.7	2.5

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301	1056	228	17
	100.0	81.2	17.5	1.3
東本郷地区	118	105	11	2
	100.0	89.0	9.3	1.7

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301	576	694	31
	100.0	44.3	53.3	2.4
東本郷地区	118	61	52	5
	100.0	51.7	44.1	4.2

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301	319	169	777	36
	100.0	24.5	13.0	59.7	2.8
東本郷地区	118	26	14	71	7
	100.0	22.0	11.9	60.2	5.9

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1) 現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	85	81	26	33	11	23	8	9	73	51
	100.0	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9
東本郷地区	118	9	9	3	3	1	5	1	0	7	4
	100.0	7.6	7.6	2.5	2.5	0.8	4.2	0.8	0.0	5.9	3.4

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2) 将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	654	389	299	174	193	320	154	155	377	43
	100.0	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.8	11.9	29.0	3.3
東本郷地区	118	59	39	24	12	14	26	13	11	34	1
	100.0	50.0	33.1	20.3	10.2	11.9	22.0	11.0	9.3	28.8	0.8

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(○は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	776	297	345	117	104	134	164	45	52	100
	100.0	59.6	22.8	26.5	9.0	8.0	10.3	12.6	3.5	4.0	7.7
東本郷地区	118	75	22	26	11	6	14	14	4	6	13
	100.0	63.6	18.6	22.0	9.3	5.1	11.9	11.9	3.4	5.1	11.0

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	その他	無回答
全体	1301	213	158	356	461	44	69
	100.0	16.4	12.1	27.4	35.4	3.4	5.3
東本郷地区	118	21	15	30	42	3	7
	100.0	17.8	12.7	25.4	35.6	2.5	5.9

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】(○は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	667	422	235	365	125	276	24	24	92
	100.0	51.3	32.4	18.1	28.1	9.6	21.2	1.8	1.8	7.1
東本郷地区	118	64	46	18	31	10	26	3	0	10
	100.0	54.2	39.0	15.3	26.3	8.5	22.0	2.5	0.0	8.5

- (問9) 近隣の人への挨拶について、回答者の6割以上が「積極的にしている」と回答しており、「時々」を合わせると9割であった。
- (問10) 回答者の自治会加入率は9割近くあり、長期定住型の住民層が多いことも関連していると考えられる。
- (問11) 回答者の地域での助け合いに参加した経験は5割を超えた。
- (問13) 回答者は、地域のボランティア活動として「将来できそう」なもので、「安否確認」「話し相手・相談相手」を合わせると8割を超える。挨拶にも積極的であることと関連がある可能性がある。
- (問16) 回答者は地域の活動の施設・スペースに対し、「気軽に集まれる」「誰でも利用対象者となれる」などの自由度を求める割合が全体より高かった。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスマイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
東本郷地区	118	40	93	41	86	85	26	36	17	17	7	28	4	0	8
	100.0	33.9	78.8	34.7	72.9	72.0	22.0	30.5	14.4	14.4	5.9	23.7	3.4	0.0	6.8

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									その他	無回答
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報			
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98	
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5	
東本郷地区	118	60	44	25	17	44	26	9	36	5	12	
	100.0	50.8	37.3	21.2	14.4	37.3	22.0	7.6	30.5	4.2	10.2	

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	口コミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
東本郷地区	118	70	20	13	80	44	13	18	30	11	35	1	0
	100.0	59.3	16.9	11.0	67.8	37.3	11.0	15.3	25.4	9.3	29.7	0.8	0.0

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
東本郷地区	118	105	69	31	6	1	2	12	2	1	5	1	6	1
	100.0	89.0	58.5	26.3	5.1	0.8	1.7	10.2	1.7	0.8	4.2	0.8	5.1	0.8

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
東本郷地区	118	45	73	63	21	26	57	20	18	1	11	2
	100.0	38.1	61.9	53.4	17.8	22.0	48.3	16.9	15.3	0.8	9.3	1.7

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5
東本郷地区	118	64	33	45	8	18	8	1	6
	100.0	54.2	28.0	38.1	6.8	15.3	6.8	0.8	5.1

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(子どもへの暴力防止)研修実施など、子どもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
東本郷地区	118	93	20	44	4	16	9	2	3	5
	100.0	78.8	16.9	37.3	3.4	13.6	7.6	1.7	2.5	4.2

●(問17) 回答者は、地元の組織や役員等についての認知度が全体より多い。特に「地域ケアプラザ」については約8割と、非常に認知度が高かった。

●(問19) 回答者は、情報を入手しやすい方法として、多くが「市の広報」「自治会の回覧板・掲示板」をあげているものの、全体と比較すると「自治会の回覧板・掲示板」の方が多い結果となった。また、「口コミ」「新聞・雑誌」については、全体の割合に比べて多かった。

●(問21) 回答者は「日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること」として、ほとんどの項目で全体より多くの割合の人が取り組んでいる。

●(問23) 「地域における防犯活動」として、回答者は「身近な犯罪被害の防止活動」「防犯の情報交換や防犯情報メール配信」を必要取組としてあげる人が多かった。

	合計	問24【現在の健康状態】					
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
東本郷地区	118	33	28	40	12	3	2
	100.0	28.0	23.7	33.9	10.2	2.5	1.7

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
東本郷地区	118	55	68	71	65	77	64	48	70	60	51	3	1
	100.0	46.6	57.6	60.2	55.1	65.3	54.2	40.7	59.3	50.8	43.2	2.5	0.8

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)									
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1
東本郷地区	118	39	33	44	15	3	14	21	4	17	6
	100.0	33.1	28.0	37.3	12.7	2.5	11.9	17.8	3.4	14.4	5.1

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
東本郷地区	118	1	11	30	73	3
	100.0	0.8	9.3	25.4	61.9	2.5

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	無回答
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
東本郷地区	118	67	15	16	52	70	5
	100.0	56.8	12.7	13.6	44.1	59.3	4.2

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
東本郷地区	118	50	68
	100.0	42.4	57.6

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
東本郷地区	118	24	94
	100.0	20.3	79.7

●(問24・問25) 回答者の現在の健康状態について、「よい」と回答した人の割合は全体より多く、日頃から健康のために心がけていることについては多くの回答があり、保健行動をとっている様子がうかがえる。

●(問26) 回答者が参加したいと回答した保健活動として、「ウォーキング」が最も多く、特徴的な結果であった。

●(問27) 回答者のみどりのわ・ささえ愛プランの認知度は全体より高く、「一部なら知っている」「名前を聞いたことはある」とした人が3割を超えた。

「みどりのわ・ささえ愛プラン」区民アンケート地区別集計結果 ～鴨居地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数
1 有効票	1301
2 無効票	0
計	1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	鴨居地区	106	50	54	2
		100.0	47.2	50.9	1.9

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
鴨居地区	106	9	14	25	14	13	11	8	6	6	0
	100.0	8.5	13.2	23.6	13.2	12.3	10.4	7.5	5.7	5.7	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
鴨居地区	106	6	11	17	72	0
	100.0	5.7	10.4	16.0	67.9	0.0

	合計	問5【住宅の種類】								
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
鴨居地区	106	53	25	2	1	0	1	21	3	0
	100.0	50.0	23.6	1.9	0.9	0.0	0.9	19.8	2.8	0.0

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
鴨居地区	106	0	0	13	18	76	8	55	8	10	1	0
	100.0	0.0	0.0	12.3	17.0	71.7	7.5	51.9	7.5	9.4	0.9	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
鴨居地区	106	4	10	28	13	56	4
	100.0	3.8	9.4	26.4	12.3	52.8	3.8

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
鴨居地区	106	45	17	20	1	17	5	1
	100.0	42.5	16.0	18.9	0.9	16.0	4.7	0.9

- （問2・問3）回答者性別の男女比はおよそ5対5で、全体が4対6なのにに対し、均衡が取れた回答状況であった。回答者年齢層は40代をピークにその前後の年齢層が続く構成となっている。
- （問4・問5）回答者の居住年数・住居種類から、持家（一戸建て）居住者は全体より若干多い。しかし、借家（民間アパート・民間賃貸マンション）居住者も全体より多いことから、居住年数「10年以上」が7割弱となり、10年未満の居住歴と回答したものと考えられる。
- （問3・問6）回答者の年齢層ピークが40代であることから、家族構成として「配偶者」「子」が多い。全体の結果と比較すると、「父」「母」「孫」などの割合が上回っている。
- （問8）回答者年齢層のピークと関連してか、回答者の6割が常勤・パートなどの就労をしており、全体を上回った。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全 体	1301	745	428	74	34	20
	100.0	57.3	32.9	5.7	2.6	1.5
鴨居地区	106	52	37	11	5	1
	100.0	49.1	34.9	10.4	4.7	0.9

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全 体	1301	1056	228	17
	100.0	81.2	17.5	1.3
鴨居地区	106	77	28	1
	100.0	72.6	26.4	0.9

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全 体	1301	576	694	31
	100.0	44.3	53.3	2.4
鴨居地区	106	37	67	2
	100.0	34.9	63.2	1.9

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全 体	1301	319	169	777	36
	100.0	24.5	13.0	59.7	2.8
鴨居地区	106	27	8	69	2
	100.0	25.5	7.5	65.1	1.9

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全 体	1301	85	81	26	33	11	23	8	9	73	51
	100.0	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9
鴨居地区	106	5	5	3	2	1	2	0	0	4	2
	100.0	4.7	4.7	2.8	1.9	0.9	1.9	0.0	0.0	3.8	1.9

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全 体	1301	654	389	299	174	193	320	154	155	377	43
	100.0	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.8	11.9	29.0	3.3
鴨居地区	106	52	23	26	12	19	19	13	17	29	2
	100.0	49.1	21.7	24.5	11.3	17.9	17.9	12.3	16.0	27.4	1.9

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(〇は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全 体	1301	776	297	345	117	104	134	164	45	52	100
	100.0	59.6	22.8	26.5	9.0	8.0	10.3	12.6	3.5	4.0	7.7
鴨居地区	106	62	25	18	9	14	14	12	7	4	8
	100.0	58.5	23.6	17.0	8.5	13.2	13.2	11.3	6.6	3.8	7.5

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	その他	無回答
全 体	1301	213	158	356	461	44	69
	100.0	16.4	12.1	27.4	35.4	3.4	5.3
鴨居地区	106	14	10	33	38	4	7
	100.0	13.2	9.4	31.1	35.8	3.8	6.6

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】(〇は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全 体	1301	667	422	235	365	125	276	24	24	92
	100.0	51.3	32.4	18.1	28.1	9.6	21.2	1.8	1.8	7.1
鴨居地区	106	47	29	22	26	13	35	1	1	7
	100.0	44.3	27.4	20.8	24.5	12.3	33.0	0.9	0.9	6.6

●(問9) 近隣の人への挨拶について、「積極的にしている」と回答したものは半数にとどまり、「時々」「向こうから」とした回答に分散した。

●(問11・問12) 回答者の地域での助け合いに参加した経験のない人は6割を超え、かかわりについての意向としては「どちらともいえない」としている人もほぼ同じ割合であった。

●(問14) 回答者は、地域のボランティア活動への参加条件として、「気軽に参加できる」「趣味や特技にあっている」などをあげている。また「金銭的な報酬」「補償の整備」の割合が全体を上回り、「やりがいや生きがい」は全体を下回った。

●(問15) 活動に参加する機会として、「機会はないが、いずれ参加したいと思っている」とした回答者が全体より多かった。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスメイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
鴨居地区	106	24	72	16	62	55	7	6	4	17	4	12	2	2	11
	100.0	22.6	67.9	15.1	58.5	51.9	6.6	5.7	3.8	16.0	3.8	11.3	1.9	1.9	10.4

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
鴨居地区	106	51	33	22	23	35	20	11	40	1	8
	100.0	48.1	31.1	20.8	21.7	33.0	18.9	10.4	37.7	0.9	7.5

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	ロコミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
鴨居地区	106	58	13	5	48	53	9	11	24	17	25	1	2
	100.0	54.7	12.3	4.7	45.3	50.0	8.5	10.4	22.6	16.0	23.6	0.9	1.9

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
鴨居地区	106	93	61	21	0	0	0	7	2	0	1	1	7	0
	100.0	87.7	57.5	19.8	0.0	0.0	0.0	6.6	1.9	0.0	0.9	0.9	6.6	0.0

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
鴨居地区	106	32	54	39	13	18	33	17	15	0	19	2
	100.0	30.2	50.9	36.8	12.3	17.0	31.1	16.0	14.2	0.0	17.9	1.9

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5
鴨居地区	106	45	32	33	11	21	5	2	4
	100.0	42.5	30.2	31.1	10.4	19.8	4.7	1.9	3.8

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(こどもへの暴力防止)研修実施など、こどもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
鴨居地区	106	68	43	27	7	11	4	4	2	7
	100.0	64.2	40.6	25.5	6.6	10.4	3.8	3.8	1.9	6.6

●(問17)回答者は、「地域ケアプラザ」の認知度が高かった。
●(問18・問19)回答者が知りたいと思う情報は、全体とほぼ同じ傾向を示したものの、「高齢者のための情報」は少なく「子育ての情報」は多かった。情報を入手しやすい方法では、紙媒体のほか「インターネット」「新聞」「テレビ・ラジオ」で全体を上回る結果となった。
●(問22)回答者は「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組として、「自主防災組織」あげた人は多かったが、全体よりも少ない割合にとどまった。「施設や事業者との連携」は2割であったが、全体よりも多い割合となった。
●(問23)「地域における防犯活動」として、多くの回答者が「身近な犯罪被害の防止活動」をあげ、「安全に外出できる環境づくりの活動」をあげた人も全体を大きく上回る割合であった。

	合計	問24【現在の健康状態】					
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
鴨居地区	106	28	23	41	7	3	4
	100.0	26.4	21.7	38.7	6.6	2.8	3.8

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考え、た食事を考える	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
鴨居地区	106	43	58	43	56	50	50	37	56	54	31	0	1
	100.0	40.6	54.7	40.6	52.8	47.2	47.2	34.9	52.8	50.9	29.2	0.0	0.9

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)									
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1
鴨居地区	106	32	20	30	14	3	9	22	5	25	7
	100.0	30.2	18.9	28.3	13.2	2.8	8.5	20.8	4.7	23.6	6.6

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
鴨居地区	106	1	6	21	77	1
	100.0	0.9	5.7	19.8	72.6	0.9

●(問27) 回答者のみどりのわ・ささえ愛プランの認知度は全体より若干高く、「名前を聞いたことはある」とした人が約2割であった。

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	無回答
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
鴨居地区	106	59	12	20	46	63	4
	100.0	55.7	11.3	18.9	43.4	59.4	3.8

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
鴨居地区	106	33	73
	100.0	31.1	68.9

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
鴨居地区	106	16	90
	100.0	15.1	84.9

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～竹山地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数
1 有効票	1301
2 無効票	0
計	1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全 体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	竹山地区	56	19	37	0
		100.0	33.9	66.1	0.0

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全 体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
竹山地区	56	3	5	2	3	7	14	12	6	4	0
	100.0	5.4	8.9	3.6	5.4	12.5	25.0	21.4	10.7	7.1	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全 体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
竹山地区	56	0	2	1	53	0
	100.0	0.0	3.6	1.8	94.6	0.0

	合計	問5【住宅の種類】								
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全 体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
竹山地区	56	6	44	0	2	4	0	0	0	0
	100.0	10.7	78.6	0.0	3.6	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全 体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
竹山地区	56	0	0	6	7	37	6	21	4	8	1	0
	100.0	0.0	0.0	10.7	12.5	66.1	10.7	37.5	7.1	14.3	1.8	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全 体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
竹山地区	56	3	8	32	2	13	4
	100.0	5.4	14.3	57.1	3.6	23.2	7.1

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全 体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
竹山地区	56	11	3	16	1	21	1	3
	100.0	19.6	5.4	28.6	1.8	37.5	1.8	5.4

●（問2）回答者性別の男女比は全体ではおよそ4対6なのに対し、およそ3対7と全体に比べて女性がより多く回答している。（問3）回答者の年齢層は、地区の高齢化率の高さもあり、65歳以上の高齢者層が過半数を占めた。

●（問4・問5）回答者の居住年数は10年以上、住宅の種類は持家（マンション）の割合が圧倒的に高く、地域の大きな特徴となっている。

●（問6）回答者の家族構成は、配偶者と同居している人が6割を超えたが、全体よりも少ない割合であった。一方、一人暮らしと回答した人のほか、兄弟姉妹・親との同居している人の割合が全体よりやや高い。

●（問7）本人・家族の状況では、65歳以上の高齢者が最も多く、障害者手帳の交付を受けている者も多かったものの、介護認定を受けている者は全体より少ない割合であった。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301 100.0	745 57.3	428 32.9	74 5.7	34 2.6	20 1.5
竹山地区	56 100.0	38 67.9	16 28.6	2 3.6	0 0.0	0 0.0

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301 100.0	1056 81.2	228 17.5	17 1.3
竹山地区	56 100.0	53 94.6	3 5.4	0 0.0

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301 100.0	576 44.3	694 53.3	31 2.4
竹山地区	56 100.0	27 48.2	29 51.8	0 0.0

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301 100.0	319 24.5	169 13.0	777 59.7	36 2.8
竹山地区	56 100.0	17 30.4	5 8.9	33 58.9	1 1.8

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1) 現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301 100.0	85 6.5	81 6.2	26 2.0	33 2.5	11 0.8	23 1.8	8 0.6	9 0.7	73 5.6	51 3.9
竹山地区	56 100.0	0 0.0	2 3.6	0 0.0	2 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.8	2 3.6

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2) 将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301 100.0	654 50.3	389 29.9	299 23.0	174 13.4	193 14.8	320 24.6	154 11.8	155 11.9	377 29.0	43 3.3
竹山地区	56 100.0	30 53.6	18 32.1	13 23.2	9 16.1	5 8.9	16 28.6	6 10.7	6 10.7	17 30.4	4 7.1

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(○は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301 100.0	776 59.6	297 22.8	345 26.5	117 9.0	104 8.0	134 10.3	164 12.6	45 3.5	52 4.0	100 7.7
竹山地区	56 100.0	31 55.4	8 14.3	15 26.8	2 3.6	3 5.4	5 8.9	8 14.3	0 0.0	3 5.4	8 14.3

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	その他	無回答
全体	1301 100.0	213 16.4	158 12.1	356 27.4	461 35.4	44 3.4	69 5.3
竹山地区	56 100.0	11 19.6	13 23.2	13 23.2	13 23.2	4 7.1	2 3.6

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思ふ条件】(○は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301 100.0	667 51.3	422 32.4	235 18.1	365 28.1	125 9.6	276 21.2	24 1.8	24 1.8	92 7.1
竹山地区	56 100.0	29 51.8	24 42.9	11 19.6	12 21.4	3 5.4	7 12.5	1 1.8	2 3.6	7 12.5

●(問9・問10) 回答者は近隣の人へのあいさつや声かけをしている人が7割に近く、自治会加入率も大変高かった。

●(問12) 回答者は、地域のイベントや活動の手伝いに「かかわりたい」と回答した人が3割に達し、地域活動に前向きな様子が見えかけた。

●(問13) 回答者は、地域のボランティア活動として「将来できそう」なもので、「安否確認」「話し相手」「家事」「登下校時の見守り」をあげた人の割合が、全体より多かった。

●(問15) 回答者は、活動に参加する機会として、「機会はあるが、参加したことはない」とした人が、全体より多かった。また、「今のところ参加したいと思っていない」と回答した人は、全体を大きく下回った。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスメイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
竹山地区	56	17	36	21	46	38	10	12	4	1	2	4	0	0	5
	100.0	30.4	64.3	37.5	82.1	67.9	17.9	21.4	7.1	1.8	3.6	7.1	0.0	0.0	8.9

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
竹山地区	56	26	25	12	6	11	10	7	23	1	4
	100.0	46.4	44.6	21.4	10.7	19.6	17.9	12.5	41.1	1.8	7.1

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	ロコミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
竹山地区	56	40	12	13	40	16	6	2	8	5	13	1	0
	100.0	71.4	21.4	23.2	71.4	28.6	10.7	3.6	14.3	8.9	23.2	1.8	0.0

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
竹山地区	56	48	30	19	2	0	1	6	2	1	4	1	0	2
	100.0	85.7	53.6	33.9	3.6	0.0	1.8	10.7	3.6	1.8	7.1	1.8	0.0	3.6

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
竹山地区	56	17	33	33	12	15	31	12	13	1	3	2
	100.0	30.4	58.9	58.9	21.4	26.8	55.4	21.4	23.2	1.8	5.4	3.6

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5
竹山地区	56	37	23	19	6	2	1	0	4
	100.0	66.1	41.1	33.9	10.7	3.6	1.8	0.0	7.1

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(子どもへの暴力防止)研修実施など、子どもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
竹山地区	56	41	17	9	3	11	3	2	0	5
	100.0	73.2	30.4	16.1	5.4	19.6	5.4	3.6	0.0	8.9

- (問17)回答者は、地域の組織や役員等についての認知度が全体より多い。特に「自治会役員」の認知については8割を超えた。
- (問18)回答者の知りたい情報として、4割以上が「健康づくりや検診の情報」「高齢者のための情報」「各種相談窓口についての情報」をあげた。
- (問19)回答者は、情報を入手しやすい方法として、7割以上が「市の広報」「自治会の回覧板・掲示板」をあげており、「地域ケアプラザの広報」「社会福祉協議会の広報」については、全体の割合に比べて多かった。
- (問21・問22)回答者は「日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること」として、ほとんどの項目で全体より多くの割合の人が取り組んでいる。また、「自主防災組織づくり」が日頃から必要な取組とした人が7割に近く、意識の高さがかがえる。

	合計	問24【現在の健康状態】					
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
竹山地区	56	6	14	23	9	3	1
	100.0	10.7	25.0	41.1	16.1	5.4	1.8

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
竹山地区	56	27	35	32	31	35	23	22	29	30	22	2	1
	100.0	48.2	62.5	57.1	55.4	62.5	41.1	39.3	51.8	53.6	39.3	3.6	1.8

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)									
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1
竹山地区	56	18	15	14	14	0	7	11	1	9	4
	100.0	32.1	26.8	25.0	25.0	0.0	12.5	19.6	1.8	16.1	7.1

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
竹山地区	56	0	14	16	24	2
	100.0	0.0	25.0	28.6	42.9	3.6

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					無回答
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
竹山地区	56	30	5	11	28	34	1
	100.0	53.6	8.9	19.6	50.0	60.7	1.8

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
竹山地区	56	24	32
	100.0	42.9	57.1

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
竹山地区	56	11	45
	100.0	19.6	80.4

- (問24・問25) 回答者の現在の健康状態について、「まあよい」「ふつう」と回答したひとの割合は全体より多かったものの、「よい」と回答した人の割合が全体を下回っている。日頃から健康のために心がけていることについては、多くの回答があり、保健行動をとっている様子がうかがえる。
- (問27) 回答者のみどりのわ・ささえ愛プランの認知度は非常に高く、「一部なら知っている」「名前を聞いたことはある」とした人が過半数を超えた。
- (問28) 回答者は特に重要な福祉保健の取組として、「安全・安心・健康のまちづくり」「つながりのあるまちづくり」が多く、全体の傾向と一致した。「情報が入手しやすい」は全体より割合が若干多かった。

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～白山地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数	回収率
1 有効票	1301	
2 無効票	0	
計	1301	

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全 体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	白山地区	70	38	32	0
		100.0	54.3	45.7	0.0

		合計	問3【年齢】									
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全 体		1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
		100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
白山地区		70	6	10	16	13	3	10	8	1	3	0
		100.0	8.6	14.3	22.9	18.6	4.3	14.3	11.4	1.4	4.3	0.0

		合計	問4【居住年数】				
			1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全 体		1301	45	139	149	964	4
		100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
白山地区		70	1	9	5	55	0
		100.0	1.4	12.9	7.1	78.6	0.0

		合計	問5【住宅の種類】								
			持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全 体		1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
		100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
白山地区		70	28	30	0	1	1	3	7	0	0
		100.0	40.0	42.9	0.0	1.4	1.4	4.3	10.0	0.0	0.0

		合計	問6【家族構成】（あてはまるものすべて）										
			祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全 体		1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
		100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
白山地区		70	0	0	7	9	54	4	32	2	6	2	0
		100.0	0.0	0.0	10.0	12.9	77.1	5.7	45.7	2.9	8.6	2.9	0.0

		合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
			介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全 体		1301	93	122	465	137	599	46
		100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
白山地区		70	4	6	21	8	37	2
		100.0	5.7	8.6	30.0	11.4	52.9	2.9

		合計	問8【就労状況】						
			仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全 体		1301	430	199	272	21	302	53	24
		100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
白山地区		70	31	14	10	1	13	1	0
		100.0	44.3	20.0	14.3	1.4	18.6	1.4	0.0

●回答者の男女比は全体では女性が多かったのに対し、白山地区は男性が多かった。
 ●白山地区の回答者年齢は、全体に比べ20～59歳の年代が多く、75歳以上の年代が少なかった。
 ●白山地区の回答者は緑区内に10年以上居住している人の割合が多い。
 ●白山地区の回答者は、持家のマンションに居住する人の割合が多く、全体に比べると約1.5倍近くの割合となっている。
 ●白山地区の回答者は、親や配偶者と同居している人が多い。
 ●65歳以上の高齢者がいる回答者が3割いるが、全体と比べると低い。
 ●白山地区の回答者の就労率は高く、常勤・フルタイムとパート・アルバイトをあわせると、64.3%と過半数を超えた。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301	745	428	74	34	20
	100.0	57.3	32.9	5.7	2.6	1.5
白山地区	70	39	25	4	1	1
	100.0	55.7	35.7	5.7	1.4	1.4

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301	1056	228	17
	100.0	81.2	17.5	1.3
白山地区	70	57	13	0
	100.0	81.4	18.6	0.0

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301	576	694	31
	100.0	44.3	53.3	2.4
白山地区	70	31	38	1
	100.0	44.3	54.3	1.4

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301	319	169	777	36
	100.0	24.5	13.0	59.7	2.8
白山地区	70	17	10	43	0
	100.0	24.3	14.3	61.4	0.0

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	85	81	26	33	11	23	8	9	73	51
	100.0	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9
白山地区	70	9	4	5	4	0	2	0	0	4	0
	100.0	12.9	5.7	7.1	5.7	0.0	2.9	0.0	0.0	5.7	0.0

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	654	389	299	174	193	320	154	155	377	43
	100.0	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.8	11.9	29.0	3.3
白山地区	70	40	25	14	10	15	18	9	13	28	1
	100.0	57.1	35.7	20.0	14.3	21.4	25.7	12.9	18.6	40.0	1.4

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(○は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	776	297	345	117	104	134	164	45	52	100
	100.0	59.6	22.8	26.5	9.0	8.0	10.3	12.6	3.5	4.0	7.7
白山地区	70	45	17	17	4	8	5	10	5	3	2
	100.0	64.3	24.3	24.3	5.7	11.4	7.1	14.3	7.1	4.3	2.9

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	その他	無回答
全体	1301	213	158	356	461	44	69
	100.0	16.4	12.1	27.4	35.4	3.4	5.3
白山地区	70	10	12	21	24	1	2
	100.0	14.3	17.1	30.0	34.3	1.4	2.9

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】(○は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	667	422	235	365	125	276	24	24	92
	100.0	51.3	32.4	18.1	28.1	9.6	21.2	1.8	1.8	7.1
白山地区	70	39	21	15	21	7	14	0	4	2
	100.0	55.7	30.0	21.4	30.0	10.0	20.0	0.0	5.7	2.9

●白山地区の回答者は、隣近所で困っている人の手助けや見守りとして現在行っているもののうち、安否確認の声掛けや買い物をあげた人の割合が多い。

●白山地区の回答者は、隣近所で困っている人の手助けや見守りのために将来できそうなこととして、他地区より多くの項目に回答した。中でも、日頃から取組みをしている防犯パトロールは、4割の回答者が「できそう」とした。

●白山地区の回答者は、ボランティア活動に参加するための条件として、気軽に参加できることをあげた人が多かった。

●白山地区の回答者はボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会として、「機会はあるが、参加したことはない」「機会はないが、いずれ参加したいと思っている」としている人の占める割合が全体より多かった。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスマイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
白山地区	70	26	50	18	56	49	13	8	7	9	3	17	3	2	3
	100.0	37.1	71.4	25.7	80.0	70.0	18.6	11.4	10.0	12.9	4.3	24.3	4.3	2.9	4.3

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
白山地区	70	38	23	15	11	27	14	4	24	2	3
	100.0	54.3	32.9	21.4	15.7	38.6	20.0	5.7	34.3	2.9	4.3

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	口コミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
白山地区	70	41	10	2	42	32	7	5	18	6	23	3	5
	100.0	58.6	14.3	2.9	60.0	45.7	10.0	7.1	25.7	8.6	32.9	4.3	7.1

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)													
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答	
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14	
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1	
白山地区	70	67	44	13	2	0	0	2	0	0	4	2	2	0	
	100.0	95.7	62.9	18.6	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	5.7	2.9	2.9	0.0	

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
白山地区	70	19	43	28	11	17	25	13	16	1	10	0
	100.0	27.1	61.4	40.0	15.7	24.3	35.7	18.6	22.9	1.4	14.3	0.0

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5
白山地区	70	41	27	31	8	9	2	1	1
	100.0	58.6	38.6	44.3	11.4	12.9	2.9	1.4	1.4

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(こどもへの暴力防止)研修実施など、こどもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
白山地区	70	53	25	23	3	9	0	3	2	3
	100.0	75.7	35.7	32.9	4.3	12.9	0.0	4.3	2.9	4.3

●白山地区の回答者が認知している地域の福祉保健に関する施設・団体・委員は、地元の施設や地区内の役員の認知が高い。その反面、地区外に設置されている区施設で認知度の低い施設もあった。

●白山地区では、知りたいと思う情報が「健康づくりや検診(健診)の情報」に次いで「講座や教室等の情報」が2位となった。

●白山地区の回答者が地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法として、広報や回覧板を選んでいる。新聞・雑誌を選んだ人の割合が全体より多かった。

●白山地区の回答者は「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組として、地域での定期的な防災訓練をあげる人の割合が全体より大きく上回った。

	合計	問24【現在の健康状態】					
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
白山地区	70	14	19	34	2	1	0
	100.0	20.0	27.1	48.6	2.9	1.4	0.0

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
白山地区	70	30	45	38	45	33	36	26	35	29	23	1	0
	100.0	42.9	64.3	54.3	64.3	47.1	51.4	37.1	50.0	41.4	32.9	1.4	0.0

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)									
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1
白山地区	70	26	13	16	12	4	9	17	1	18	1
	100.0	37.1	18.6	22.9	17.1	5.7	12.9	24.3	1.4	25.7	1.4

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
白山地区	70	1	9	11	49	0
	100.0	1.4	12.9	15.7	70.0	0.0

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	無回答
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
白山地区	70	41	2	13	38	43	1
	100.0	58.6	2.9	18.6	54.3	61.4	1.4

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
白山地区	70	33	37
	100.0	47.1	52.9

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
白山地区	70	12	58
	100.0	17.1	82.9

●白山地区の回答者は、現在の健康状態について「ふつう」と回答した人の割合が多い一方、「あまりよくない」と答えた人の割合が低かった。

●白山地区の回答者は、日ごろから健康のために心がけていることとして、「タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)」「定期的に検診や健康診断を受ける」が多かった。

●白山地区の回答者は、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知について、「計画や取組などの一部なら知っている」とした人の割合が全体より多かった。

●白山地区の回答者は、特に重要な福祉保健の取組として、「安全・安心・健康」のまちづくりと、地域での「つながり」のあるまちづくりをあげている。「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくりまちづくりを選んだ人は少なかった。

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～新治中部地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数
1 有効票	1301
2 無効票	0
計	1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	新治中部地区	244	95	147	2
		100.0	38.9	60.2	0.8

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
新治中部地区	244	12	34	46	36	25	29	29	16	17	0
	100.0	4.9	13.9	18.9	14.8	10.2	11.9	11.9	6.6	7.0	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
新治中部地区	244	9	34	29	171	1
	100.0	3.7	13.9	11.9	70.1	0.4

	合計	問5【住宅の種類】								
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
新治中部地区	244	110	79	2	1	12	2	35	3	0
	100.0	45.1	32.4	0.8	0.4	4.9	0.8	14.3	1.2	0.0

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
新治中部地区	244	1	1	18	25	180	14	118	9	20	8	0
	100.0	0.4	0.4	7.4	10.2	73.8	5.7	48.4	3.7	8.2	3.3	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
新治中部地区	244	12	22	79	23	119	12
	100.0	4.9	9.0	32.4	9.4	48.8	4.9

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
新治中部地区	244	74	39	42	4	66	15	4
	100.0	30.3	16.0	17.2	1.6	27.0	6.1	1.6

●（問2）回答者性別の男女比はおよそ4対6で、全体よりも若干女性の割合が多かった。年齢層は全体とほとんど差がなかった。
 ●（問5）回答者の住宅種類は「持ち家（マンション・共同住宅）」が全体より多い割合となっているが、「持ち家（一戸建て）」を合わせた持家の割合では、全体とほぼ同じ持ち家率であった。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301	745	428	74	34	20
	100.0	57.3	32.9	5.7	2.6	1.5
新治中部地区	244	144	77	11	8	4
	100.0	59.0	31.6	4.5	3.3	1.6

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301	1056	228	17
	100.0	81.2	17.5	1.3
新治中部地区	244	189	53	2
	100.0	77.5	21.7	0.8

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301	576	694	31
	100.0	44.3	53.3	2.4
新治中部地区	244	106	133	5
	100.0	43.4	54.5	2.0

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301	319	169	777	36
	100.0	24.5	13.0	59.7	2.8
新治中部地区	244	48	39	153	4
	100.0	19.7	16.0	62.7	1.6

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1) 現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	85	81	26	33	11	23	8	9	73	51
	100.0	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9
新治中部地区	244	15	16	4	2	1	1	1	2	9	8
	100.0	6.1	6.6	1.6	0.8	0.4	0.4	0.4	0.8	3.7	3.3

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2) 将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	654	389	299	174	193	320	154	155	377	43
	100.0	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.8	11.9	29.0	3.3
新治中部地区	244	114	74	53	35	41	63	29	25	65	9
	100.0	46.7	30.3	21.7	14.3	16.8	25.8	11.9	10.2	26.6	3.7

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(〇は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっていて	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	776	297	345	117	104	134	164	45	52	100
	100.0	59.6	22.8	26.5	9.0	8.0	10.3	12.6	3.5	4.0	7.7
新治中部地区	244	144	59	72	27	21	23	34	6	6	17
	100.0	59.0	24.2	29.5	11.1	8.6	9.4	13.9	2.5	2.5	7.0

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					その他	無回答
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない			
全体	1301	213	158	356	461	44	69	
	100.0	16.4	12.1	27.4	35.4	3.4	5.3	
新治中部地区	244	38	29	66	91	6	14	
	100.0	15.6	11.9	27.0	37.3	2.5	5.7	

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】(〇は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	667	422	235	365	125	276	24	24	92
	100.0	51.3	32.4	18.1	28.1	9.6	21.2	1.8	1.8	7.1
新治中部地区	244	113	79	43	69	24	51	2	6	22
	100.0	46.3	32.4	17.6	28.3	9.8	20.9	0.8	2.5	9.0

●(問9~16) 回答者の傾向は全体とほぼ同じ傾向を示した。
●(問14) 回答者は、地域のボランティア活動に参加するための条件として「気軽に参加できる」に次いで、「自分の趣味や特技にあっていて」「自分のやりがいや生きがいになる」といった自分自身の楽しみなどをあげている割合が全体より若干高い。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスメイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
新治中部地区	244	58	134	39	153	148	24	25	29	45	32	71	4	4	26
	100.0	23.8	54.9	16.0	62.7	60.7	9.8	10.2	11.9	18.4	13.1	29.1	1.6	1.6	10.7

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
新治中部地区	244	126	92	47	43	85	41	19	86	2	18
	100.0	51.6	37.7	19.3	17.6	34.8	16.8	7.8	35.2	0.8	7.4

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	口コミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
新治中部地区	244	153	33	13	139	95	35	21	35	35	78	6	4
	100.0	62.7	13.5	5.3	57.0	38.9	14.3	8.6	14.3	14.3	32.0	2.5	1.6

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
新治中部地区	244	206	138	46	7	2	7	20	11	4	5	1	13	3
	100.0	84.4	56.6	18.9	2.9	0.8	2.9	8.2	4.5	1.6	2.0	0.4	5.3	1.2

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
新治中部地区	244	83	123	90	29	44	99	38	52	2	39	5
	100.0	34.0	50.4	36.9	11.9	18.0	40.6	15.6	21.3	0.8	16.0	2.0

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							3つ以上回答で無効	無回答
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効		
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71	
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5	
新治中部地区	244	127	79	79	27	37	6	6	18	
	100.0	52.0	32.4	32.4	11.1	15.2	2.5	2.5	7.4	

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								3つ以上回答で無効	無回答
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(子どもへの暴力防止)研修実施など、子どもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効		
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82	
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3	
新治中部地区	244	156	78	73	18	23	19	8	5	17	
	100.0	63.9	32.0	29.9	7.4	9.4	7.8	3.3	2.0	7.0	

●(問17) 回答者は、地元に立地している区域施設「みどり地域活動ホームあおぞら」「緑区生活支援センター」の認知度が全体より多い。

●(問18) 回答者は、知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報として、「健康づくりや検診」「高齢者のための情報」などをあげており、全体のデータと一致する傾向を示した。

●(問23) 回答者は、地域における防犯活動で日頃から必要だと思う取組として、「身近な犯罪被害の防止」をあげているが、「安全に外出できる環境づくり」もおおく、その割合は全体を上回る割合である。

	合計	問24【現在の健康状態】					無回答
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
新治中部地区	244	47	58	95	37	0	7
	100.0	19.3	23.8	38.9	15.2	0.0	2.9

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											無回答
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考え、た食事を考える	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
新治中部地区	244	114	143	122	139	138	123	103	131	127	91	4	6
	100.0	46.7	58.6	50.0	57.0	56.6	50.4	42.2	53.7	52.0	37.3	1.6	2.5

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)										無回答
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない		
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66	
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1	
新治中部地区	244	97	56	66	49	9	35	46	10	42	12	
	100.0	39.8	23.0	27.0	20.1	3.7	14.3	18.9	4.1	17.2	4.9	

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				無回答
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
新治中部地区	244	1	11	29	194	9
	100.0	0.4	4.5	11.9	79.5	3.7

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					無回答
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
新治中部地区	244	128	30	43	102	144	15
	100.0	52.5	12.3	17.6	41.8	59.0	6.1

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
新治中部地区	244	96	148
	100.0	39.3	60.7

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
新治中部地区	244	54	190
	100.0	22.1	77.9

- (問25) 回答者は、日ごろから健康のために心がけていることに、全体より複数の項目で選択した人の割合が多く、健康意識が高い傾向にある。
- (問26) 回答者が身近にあれば参加したい活動として、「体力測定・健康チェック」「健康レシピによる調理実習」の項目で全体の割合を上回った。

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～三保地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

		回答数
1	有効票	1301
2	無効票	0
計		1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全 体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	三保地区	104	47	55	2
		100.0	45.2	52.9	1.9

		合計	問3【年齢】									
			20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全 体		1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
		100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
三保地区		104	10	17	22	12	7	14	9	8	5	0
		100.0	9.6	16.3	21.2	11.5	6.7	13.5	8.7	7.7	4.8	0.0

		合計	問4【居住年数】				
			1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全 体		1301	45	139	149	964	4
		100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
三保地区		104	4	9	16	75	0
		100.0	3.8	8.7	15.4	72.1	0.0

		合計	問5【住宅の種類】								
			持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全 体		1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
		100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
三保地区		104	60	18	0	10	2	3	9	2	0
		100.0	57.7	17.3	0.0	9.6	1.9	2.9	8.7	1.9	0.0

		合計	問6【家族構成】(あてはまる番号すべてに○)										
			祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全 体		1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
		100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
三保地区		104	2	1	8	12	78	4	55	2	7	5	0
		100.0	1.9	1.0	7.7	11.5	75.0	3.8	52.9	1.9	6.7	4.8	0.0

		合計	問7【本人・家族の状況】(あてはまる番号すべてに○)					
			介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全 体		1301	93	122	465	137	599	46
		100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
三保地区		104	4	7	30	16	54	3
		100.0	3.8	6.7	28.8	15.4	51.9	2.9

		合計	問8【就労状況】						
			仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全 体		1301	430	199	272	21	302	53	24
		100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
三保地区		104	36	18	21	1	24	4	0
		100.0	34.6	17.3	20.2	1.0	23.1	3.8	0.0

●（問2・問3）回答者性別の男女比は全体と大きな差がなく、およそ4対6であった。年齢層では20～49歳が47.1%と全体より若い世代が多かった。

●（問4・問5）回答者の居住年数は「10年以上」が7割と全体と差がないが、「5年以上10年未満」では全体を上回る割合であり、近年の地域開発を反映した。住宅の種類でも、持家（一戸建て）の割合が全体より多い。

●（問6・問7）回答者の年齢層ピークが40代以下であり、家族構成として「配偶者」「子」の割合が全体より若干多い。また、家族の状況では「就学前の子どもがいる」人が15.4%と全体より多かった。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301	745	428	74	34	20
	100.0	57.3	32.9	5.7	2.6	1.5
三保地区	104	62	37	3	2	0
	100.0	59.6	35.6	2.9	1.9	0.0

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301	1056	228	17
	100.0	81.2	17.5	1.3
三保地区	104	87	15	2
	100.0	83.7	14.4	1.9

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301	576	694	31
	100.0	44.3	53.3	2.4
三保地区	104	39	63	2
	100.0	37.5	60.6	1.9

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301	319	169	777	36
	100.0	24.5	13.0	59.7	2.8
三保地区	104	25	16	59	4
	100.0	24.0	15.4	56.7	3.8

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	85	81	26	33	11	23	8	9	73	51
	100.0	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9
三保地区	104	3	4	0	2	0	1	1	0	4	3
	100.0	2.9	3.8	0.0	1.9	0.0	1.0	1.0	0.0	3.8	2.9

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	654	389	299	174	193	320	154	155	377	43
	100.0	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.8	11.9	29.0	3.3
三保地区	104	57	37	30	15	21	29	16	16	37	0
	100.0	54.8	35.6	28.8	14.4	20.2	27.9	15.4	15.4	35.6	0.0

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(○は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	776	297	345	117	104	134	164	45	52	100
	100.0	59.6	22.8	26.5	9.0	8.0	10.3	12.6	3.5	4.0	7.7
三保地区	104	60	26	30	11	8	12	8	3	3	10
	100.0	57.7	25.0	28.8	10.6	7.7	11.5	7.7	2.9	2.9	9.6

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	その他	無回答
全体	1301	213	158	356	461	44	69
	100.0	16.4	12.1	27.4	35.4	3.4	5.3
三保地区	104	14	11	28	36	7	8
	100.0	13.5	10.6	26.9	34.6	6.7	7.7

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】(○は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入りやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	667	422	235	365	125	276	24	24	92
	100.0	51.3	32.4	18.1	28.1	9.6	21.2	1.8	1.8	7.1
三保地区	104	57	29	21	33	9	18	4	1	7
	100.0	54.8	27.9	20.2	31.7	8.7	17.3	3.8	1.0	6.7

●(問9・問10) 回答者年齢層は若いものの、近隣の人への挨拶では、回答者の6割近くが「積極的にしている」と回答しており、自治会も83.7%の加入率で全体を上回った。

●(問11) 回答者の地域での助け合いに参加した経験が「ない」人が6割であった。

●(問13) 回答者は、地域のボランティア活動として「将来できそう」なものでは、全ての項目で全体の割合を上回っている。

●(問16) 回答者は地域の活動の施設・スペースに対し、「気軽に集まれる」「予約方法が簡単」など、利用者側の利便性を求める割合が全体より高かった。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスマイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
三保地区	104	21	49	14	70	55	6	15	9	25	6	24	1	3	14
	100.0	20.2	47.1	13.5	67.3	52.9	5.8	14.4	8.7	24.0	5.8	23.1	1.0	2.9	13.5

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
三保地区	104	53	34	22	25	41	17	6	32	1	8
	100.0	51.0	32.7	21.2	24.0	39.4	16.3	5.8	30.8	1.0	7.7

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	口コミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
三保地区	104	57	9	4	65	47	13	8	16	9	28	2	1
	100.0	54.8	8.7	3.8	62.5	45.2	12.5	7.7	15.4	8.7	26.9	1.9	1.0

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
三保地区	104	86	54	24	0	0	1	7	0	0	2	1	8	4
	100.0	82.7	51.9	23.1	0.0	0.0	1.0	6.7	0.0	0.0	1.9	1.0	7.7	3.8

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
三保地区	104	33	45	40	10	22	34	15	22	0	21	5
	100.0	31.7	43.3	38.5	9.6	21.2	32.7	14.4	21.2	0.0	20.2	4.8

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5
三保地区	104	54	30	36	15	15	2	2	7
	100.0	51.9	28.8	34.6	14.4	14.4	1.9	1.9	6.7

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(子どもへの暴力防止)研修実施など、子どもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
三保地区	104	73	29	29	4	11	4	3	1	10
	100.0	70.2	27.9	27.9	3.8	10.6	3.8	2.9	1.0	9.6

●(問18) 回答者年齢層が若いことから、「子育ての情報」は全体より高い割合であった。

●(問19) 回答者は、情報を入手しやすい方法として、多くが「市の広報」「自治会の回覧板・掲示板」をあげているものの、全体と比較すると「自治会の回覧板・掲示板」の方が多い結果となった。また、回答者年齢層が若いにもかかわらず、「インターネット」と回答した割合は全体とほとんど差がみられない。

●(問21・問22) 回答者は「日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること」として、「家族で災害時連絡方法等を決めている」「いっとき避難場所について確認している」の2項目で全体を上回る結果となった。日頃から必要な取組では、「地域やグループでの勉強会」の項目で全体よりも多かった。

	合計	問24【現在の健康状態】					無回答
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
三保地区	104	24	23	41	9	4	3
	100.0	23.1	22.1	39.4	8.7	3.8	2.9

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											無回答
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
三保地区	104	48	57	54	47	44	47	34	61	48	41	1	2
	100.0	46.2	54.8	51.9	45.2	42.3	45.2	32.7	58.7	46.2	39.4	1.0	1.9

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)										無回答
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない		
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66	
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1	
三保地区	104	33	17	29	22	1	13	24	6	24	4	
	100.0	31.7	16.3	27.9	21.2	1.0	12.5	23.1	5.8	23.1	3.8	

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				無回答
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
三保地区	104	1	2	16	82	3
	100.0	1.0	1.9	15.4	78.8	2.9

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					無回答
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
三保地区	104	60	7	27	42	58	6
	100.0	57.7	6.7	26.0	40.4	55.8	5.8

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
三保地区	104	41	63
	100.0	39.4	60.6

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
三保地区	104	27	77
	100.0	26.0	74.0

●(問24) 回答者の現在の健康状態について、「ふつう」と回答した人の割合が全体より多かった。

●(問26) 回答者が参加したいと回答した保健活動として、「体力測定・健康チェック」「ウォーキング」が多く、全体と同じ傾向を示したが、「運動や交流などのイベント」「健康レシピによる調理実習」などをあげた人の割合は全体より多かった。

●(問28) 特に重要な福祉保健の取組では、『地域での「つながり」のあるまちづくり』が最も多く、『「安全・安心・健康」のまちづくり』を超え、全体と異なる傾向を示した。

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～山下地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数
1 有効票	1301
2 無効票	0
計	1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全 体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	山下地区	107	54	53	0
		100.0	50.5	49.5	0.0

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全 体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
山下地区	107	9	12	17	9	7	13	14	11	15	0
	100.0	8.4	11.2	15.9	8.4	6.5	12.1	13.1	10.3	14.0	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全 体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
山下地区	107	1	18	6	82	0
	100.0	0.9	16.8	5.6	76.6	0.0

	合計	問5【住宅の種類】								
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全 体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
山下地区	107	77	8	2	8	0	2	7	3	0
	100.0	72.0	7.5	1.9	7.5	0.0	1.9	6.5	2.8	0.0

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全 体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
山下地区	107	1	1	13	15	72	7	49	5	10	7	0
	100.0	0.9	0.9	12.1	14.0	67.3	6.5	45.8	4.7	9.3	6.5	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全 体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
山下地区	107	10	11	44	12	40	5
	100.0	9.3	10.3	41.1	11.2	37.4	4.7

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全 体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
山下地区	107	32	12	30	5	22	4	2
	100.0	29.9	11.2	28.0	4.7	20.6	3.7	1.9

●（問2・問3）回答者性別の男女比はおおよそ半々で、回答者年齢層では、約半分が65歳以上の高齢者であった。
 ●（問4・問5）回答者の居住年数は「10年以上」が8割近くである一方、「1年以上5年未満」でも全体を上回る割合を示した。持家（一戸建て）が7割を超えていることから、長期定住型住民が多いことがわかる。
 ●（問7）回答者本人・家族の状況として、「介護認定を受けている」「障害者手帳の交付を受けている」「65歳以上の方がいる」「就学前の子どもがいる」の項目で、全体を上回る割合を示した。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301	745	428	74	34	20
	100.0	57.3	32.9	5.7	2.6	1.5
山下地区	107	62	32	7	3	3
	100.0	57.9	29.9	6.5	2.8	2.8

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301	1056	228	17
	100.0	81.2	17.5	1.3
山下地区	107	88	17	2
	100.0	82.2	15.9	1.9

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301	576	694	31
	100.0	44.3	53.3	2.4
山下地区	107	49	56	2
	100.0	45.8	52.3	1.9

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301	319	169	777	36
	100.0	24.5	13.0	59.7	2.8
山下地区	107	27	19	58	3
	100.0	25.2	17.8	54.2	2.8

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	85	81	26	33	11	23	8	9	73	51
	100.0	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9
山下地区	107	8	8	0	2	1	2	0	1	11	6
	100.0	7.5	7.5	0.0	1.9	0.9	1.9	0.0	0.9	10.3	5.6

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	654	389	299	174	193	320	154	155	377	43
	100.0	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.8	11.9	29.0	3.3
山下地区	107	50	32	20	11	10	27	6	9	31	6
	100.0	46.7	29.9	18.7	10.3	9.3	25.2	5.6	8.4	29.0	5.6

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(○は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	776	297	345	117	104	134	164	45	52	100
	100.0	59.6	22.8	26.5	9.0	8.0	10.3	12.6	3.5	4.0	7.7
山下地区	107	67	26	22	7	7	12	12	5	5	10
	100.0	62.6	24.3	20.6	6.5	6.5	11.2	11.2	4.7	4.7	9.3

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	その他	無回答
全体	1301	213	158	356	461	44	69
	100.0	16.4	12.1	27.4	35.4	3.4	5.3
山下地区	107	18	3	34	41	5	6
	100.0	16.8	2.8	31.8	38.3	4.7	5.6

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】(○は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	667	422	235	365	125	276	24	24	92
	100.0	51.3	32.4	18.1	28.1	9.6	21.2	1.8	1.8	7.1
山下地区	107	59	34	14	24	14	24	1	2	10
	100.0	55.1	31.8	13.1	22.4	13.1	22.4	0.9	1.9	9.3

●(問15) ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会として、「機会はあるが、参加したことはない」と回答した人の割合は全体を大きく下回った。逆説的に言えば、機会の提供があれば高い確率で参加する可能性があるかもしれない。

●(問16) 回答者は地域の活動の施設・スペースに対し、「気軽に集まれる」「誰でも利用対象者となれる」などの自由度を求める割合が高かった。「施設の空き情報が入手しやすいこと」については、全体の割合を上回った。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスマイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
山下地区	107	26	60	17	80	72	19	19	7	17	4	19	2	0	10
	100.0	24.3	56.1	15.9	74.8	67.3	17.8	17.8	6.5	15.9	3.7	17.8	1.9	0.0	9.3

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
山下地区	107	54	59	20	14	26	17	6	31	2	8
	100.0	50.5	55.1	18.7	13.1	24.3	15.9	5.6	29.0	1.9	7.5

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	口コミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
山下地区	107	68	11	6	71	43	20	6	15	11	32	0	2
	100.0	63.6	10.3	5.6	66.4	40.2	18.7	5.6	14.0	10.3	29.9	0.0	1.9

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特になし	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
山下地区	107	97	57	18	2	1	2	10	2	2	1	2	7	0
	100.0	90.7	53.3	16.8	1.9	0.9	1.9	9.3	1.9	1.9	0.9	1.9	6.5	0.0

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっつき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
山下地区	107	36	49	39	6	23	36	16	19	2	17	3
	100.0	33.6	45.8	36.4	5.6	21.5	33.6	15.0	17.8	1.9	15.9	2.8

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							3つ以上回答で無効	無回答
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効		
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71	
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5	
山下地区	107	58	44	30	8	22	3	2	7	
	100.0	54.2	41.1	28.0	7.5	20.6	2.8	1.9	6.5	

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								3つ以上回答で無効	無回答
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(こどもへの暴力防止)研修実施など、こどもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効		
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82	
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3	
山下地区	107	83	28	29	7	9	3	0	5	10	
	100.0	77.6	26.2	27.1	6.5	8.4	2.8	0.0	4.7	9.3	

●(問17)回答者は、地元の組織や役員等についての認知度が全体より多い。
●(問18)回答者が知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報として、「高齢者のための情報」が最も多く、全体とは異なる特徴的な結果となった。
●(問19)回答者は、情報を入手しやすい方法として、「自治会の回覧板・掲示板」をあげており、全体とは異なる特徴的な結果となった。連合だよりなどの地区の取組についても、今後検証必要。
●(問22)回答者は「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組として、「自主防災組織づくり」が最も多かった。「災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握」「福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携」の項目は全体を上回り、これまでの地域での取組や福祉施設が多い地区特性を反映した結果となった。

	合計	問24【現在の健康状態】					無回答
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
山下地区	107	27	23	39	13	2	3
	100.0	25.2	21.5	36.4	12.1	1.9	2.8

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											無回答
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
山下地区	107	55	62	58	56	51	40	34	57	48	38	2	1
	100.0	51.4	57.9	54.2	52.3	47.7	37.4	31.8	53.3	44.9	35.5	1.9	0.9

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)										無回答
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない		
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66	
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1	
山下地区	107	37	26	26	13	0	11	29	3	21	6	
	100.0	34.6	24.3	24.3	12.1	0.0	10.3	27.1	2.8	19.6	5.6	

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				無回答
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
山下地区	107	1	8	11	85	2
	100.0	0.9	7.5	10.3	79.4	1.9

●(問26) 回答者が参加したいと回答した保健活動として、「体力測定・健康チェック」が最も多かった。次いで、「運動や交流などのイベント」が3割近くと、特徴的な結果であった。

●(問28) 回答者はのみどりのわ・ささえ愛プランの認知度は特に重要な福祉保健の取組として、『「安全・安心・健康」のまちづくり』が7割近くと、全体より集中する傾向がみられた。

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					無回答
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
山下地区	107	57	10	12	53	72	4
	100.0	53.3	9.3	11.2	49.5	67.3	3.7

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
山下地区	107	36	71
	100.0	33.6	66.4

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
山下地区	107	23	84
	100.0	21.5	78.5

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～新治西部地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数
1 有効票	1301
2 無効票	0
計	1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	新治西部地区	72	32	40	0
		100.0	44.4	55.6	0.0

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
新治西部地区	72	3	11	15	7	10	6	7	7	6	0
	100.0	4.2	15.3	20.8	9.7	13.9	8.3	9.7	9.7	8.3	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
新治西部地区	72	2	7	5	58	0
	100.0	2.8	9.7	6.9	80.6	0.0

	合計	問5【住宅の種類】								
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
新治西部地区	72	37	16	0	2	2	1	13	1	0
	100.0	51.4	22.2	0.0	2.8	2.8	1.4	18.1	1.4	0.0

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
新治西部地区	72	0	0	7	10	45	4	25	4	7	5	0
	100.0	0.0	0.0	9.7	13.9	62.5	5.6	34.7	5.6	9.7	6.9	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
新治西部地区	72	7	8	31	4	33	1
	100.0	9.7	11.1	43.1	5.6	45.8	1.4

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
新治西部地区	72	26	12	15	1	12	4	2
	100.0	36.1	16.7	20.8	1.4	16.7	5.6	2.8

●（問3）回答者性年齢層では40歳代と60歳代・70歳代を2つの山として構成されている。65歳以上の高齢者層は36%と、約4割を占めた。

●（問4・問5）回答者の居住年数は「10年以上」が8割であった。持家（一戸建て）が5割を超えている一方、「借家（民間アパート・民間賃貸マンション）」と回答した割合は全体より多かった。

●（問7）回答者の本人・家族の状況としては、「介護認定を受けている」「障害者手帳の交付を受けている」「65歳以上の方がいる」の項目で全て全体を上回り、高齢者・障害者福祉や介護予防・健康づくりに関する潜在ニーズについて、検証する必要性を示している。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301 100.0	745 57.3	428 32.9	74 5.7	34 2.6	20 1.5
新治西部地区	72 100.0	38 52.8	23 31.9	6 8.3	3 4.2	2 2.8

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301 100.0	1056 81.2	228 17.5	17 1.3
新治西部地区	72 100.0	50 69.4	20 27.8	2 2.8

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301 100.0	576 44.3	694 53.3	31 2.4
新治西部地区	72 100.0	22 30.6	47 65.3	3 4.2

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301 100.0	319 24.5	169 13.0	777 59.7	36 2.8
新治西部地区	72 100.0	14 19.4	15 20.8	40 55.6	3 4.2

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1) 現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301 100.0	85 6.5	81 6.2	26 2.0	33 2.5	11 0.8	23 1.8	8 0.6	9 0.7	73 5.6	51 3.9
新治西部地区	72 100.0	4 5.6	3 4.2	1 1.4	1 1.4	0 0.0	1 1.4	0 0.0	0 0.0	3 4.2	1 1.4

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2) 将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301 100.0	654 50.3	389 29.9	299 23.0	174 13.4	193 14.8	320 24.6	154 11.8	155 11.9	377 29.0	43 3.3
新治西部地区	72 100.0	35 48.6	19 26.4	16 22.2	9 12.5	8 11.1	18 25.0	8 11.1	9 12.5	17 23.6	2 2.8

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(〇は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301 100.0	776 59.6	297 22.8	345 26.5	117 9.0	104 8.0	134 10.3	164 12.6	45 3.5	52 4.0	100 7.7
新治西部地区	72 100.0	39 54.2	14 19.4	21 29.2	7 9.7	7 9.7	6 8.3	12 16.7	2 2.8	2 2.8	7 9.7

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					その他	無回答
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない			
全体	1301 100.0	213 16.4	158 12.1	356 27.4	461 35.4	44 3.4	69 5.3	
新治西部地区	72 100.0	10 13.9	9 12.5	16 22.2	31 43.1	2 2.8	4 5.6	

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】(〇は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301 100.0	667 51.3	422 32.4	235 18.1	365 28.1	125 9.6	276 21.2	24 1.8	24 1.8	92 7.1
新治西部地区	72 100.0	44 61.1	21 29.2	13 18.1	18 25.0	9 12.5	10 13.9	2 2.8	1 1.4	3 4.2

●(問14) 回答者は、地域のボランティア活動に参加するための条件として「気軽に参加できる」に次いで、「自分のやりがいや生きがいになる」「自分の趣味や特技にあっている」といった、自分自身の楽しみなどをあげている一方、「講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある」とした人が全体よりやや多かった。

●(問16) 回答者は地域の活動の施設・スペースに対し、「気軽に集まれる」「誰でも利用対象者となれる」などの自由度を求める割合が全体より高かった。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスメイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
新治西部地区	72	19	43	12	38	38	9	7	5	19	2	13	1	1	12
	100.0	26.4	59.7	16.7	52.8	52.8	12.5	9.7	6.9	26.4	2.8	18.1	1.4	1.4	16.7

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
新治西部地区	72	36	21	11	9	26	8	7	19	1	8
	100.0	50.0	29.2	15.3	12.5	36.1	11.1	9.7	26.4	1.4	11.1

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	口コミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
新治西部地区	72	44	13	2	39	31	8	2	12	8	19	0	0
	100.0	61.1	18.1	2.8	54.2	43.1	11.1	2.8	16.7	11.1	26.4	0.0	0.0

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
新治西部地区	72	64	41	16	2	0	0	2	4	0	2	3	3	1
	100.0	88.9	56.9	22.2	2.8	0.0	0.0	2.8	5.6	0.0	2.8	4.2	4.2	1.4

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっつき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
新治西部地区	72	27	41	26	9	11	21	8	9	1	13	2
	100.0	37.5	56.9	36.1	12.5	15.3	29.2	11.1	12.5	1.4	18.1	2.8

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							3つ以上回答で無効	無回答
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効		
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71	
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5	
新治西部地区	72	41	22	19	6	8	4	3	5	
	100.0	56.9	30.6	26.4	8.3	11.1	5.6	4.2	6.9	

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)							3つ以上回答で無効	無回答
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(子どもへの暴力防止)研修実施など、子どもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他		
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
新治西部地区	72	53	19	15	3	3	4	4	2	7
	100.0	73.6	26.4	20.8	4.2	4.2	5.6	5.6	2.8	9.7

●(問17)回答者は、地元の施設である「いっぽ」の認知度が全体代を大きく上回った。
●(問21)回答者は「日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること」として、「避難袋の準備点検」「水・食糧の備蓄」は全体よりやや多かった。一方、各種避難場所の確認や「家族で災害時連絡方法等を決めている」の項目では全体より少ない傾向がみられた。また、「特に何もしていない」と回答した人の割合は全体より多かった。

	合計	問24【現在の健康状態】					
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
新治西部地区	72	15	15	31	7	1	3
	100.0	20.8	20.8	43.1	9.7	1.4	4.2

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
新治西部地区	72	31	30	36	34	33	25	31	39	37	23	1	4
	100.0	43.1	41.7	50.0	47.2	45.8	34.7	43.1	54.2	51.4	31.9	1.4	5.6

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)									
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1
新治西部地区	72	28	26	20	13	1	11	13	0	15	5
	100.0	38.9	36.1	27.8	18.1	1.4	15.3	18.1	0.0	20.8	6.9

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
新治西部地区	72	0	3	10	56	3
	100.0	0.0	4.2	13.9	77.8	4.2

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	無回答
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
新治西部地区	72	40	6	15	35	34	6
	100.0	55.6	8.3	20.8	48.6	47.2	8.3

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
新治西部地区	72	23	49
	100.0	31.9	68.1

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
新治西部地区	72	14	58
	100.0	19.4	80.6

●(問24) 回答者の現在の健康状態について、「ふつう」と回答した人の割合は全体より多かった。

●(問26) 回答者が身近にあれば参加したい活動では、多くの項目で全体を上回る割合を示した。介護予防・健康づくりに関する潜在ニーズについて、検証する必要性を示している。

●(問28) 特に重要な福祉保健の取組では、『地域での「つながり」のあるまちづくり』が最も多く、次いで『必要な「情報」が入手しやすいまちづくり』となり、全体と大きく異なる傾向を示した。

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～十日市場団地地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

		回答数
1	有効票	1301
2	無効票	0
計		1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全 体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1	十日市場団地地区	36	12	24	0
町名【地区】		100.0	33.3	66.7	0.0

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全 体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
十日市場団地地区	36	0	2	6	5	3	4	5	8	3	0
	100.0	0.0	5.6	16.7	13.9	8.3	11.1	13.9	22.2	8.3	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全 体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
十日市場団地地区	36	1	1	5	29	0
	100.0	2.8	2.8	13.9	80.6	0.0

	合計	問5【住宅の種類】								無回答
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	
全 体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
十日市場団地地区	36	0	0	0	32	4	0	0	0	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全 体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
十日市場団地地区	36	0	0	2	3	23	1	16	3	7	0	0
	100.0	0.0	0.0	5.6	8.3	63.9	2.8	44.4	8.3	19.4	0.0	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					無回答
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	
全 体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
十日市場団地地区	36	2	6	15	2	16	2
	100.0	5.6	16.7	41.7	5.6	44.4	5.6

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全 体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
十日市場団地地区	36	6	5	9	0	12	3	1
	100.0	16.7	13.9	25.0	0.0	33.3	8.3	2.8

●（問3）回答者年齢層では70歳代が多かった。
 ●（問4・問5）回答者の居住年数は「10年以上」が8割で、「借家（県営・市営の共同住宅）」の居住が9割近くと多い。長期定住型の住民層が多いことがうかがえる。
 ●（問6）家族構成として「配偶者」「子」の割合が全体より少なく、「いない（一人暮らし）」の人の割合が全体より多い。
 ●（問7）回答者本人・家族の状況では、「65歳以上の方がいる」「障害者手帳の交付を受けている」とした人が全体より多かったが、「介護認定を受けている」人の割合は全体を下回った。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301 100.0	745 57.3	428 32.9	74 5.7	34 2.6	20 1.5
十日市場団地地区	36 100.0	25 69.4	9 25.0	0 0.0	1 2.8	1 2.8

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301 100.0	1056 81.2	228 17.5	17 1.3
十日市場団地地区	36 100.0	31 86.1	4 11.1	1 2.8

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301 100.0	576 44.3	694 53.3	31 2.4
十日市場団地地区	36 100.0	20 55.6	15 41.7	1 2.8

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301 100.0	319 24.5	169 13.0	777 59.7	36 2.8
十日市場団地地区	36 100.0	14 38.9	2 5.6	19 52.8	1 2.8

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301 100.0	85 6.5	81 6.2	26 2.0	33 2.5	11 0.8	23 1.8	8 0.6	9 0.7	73 5.6	51 3.9
十日市場団地地区	36 100.0	5 13.9	6 16.7	3 8.3	3 8.3	2 5.6	1 2.8	2 5.6	2 5.6	4 11.1	5 13.9

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301 100.0	654 50.3	389 29.9	299 23.0	174 13.4	193 14.8	320 24.6	154 11.8	155 11.9	377 29.0	43 3.3
十日市場団地地区	36 100.0	11 30.6	8 22.2	6 16.7	1 2.8	3 8.3	2 5.6	2 5.6	0 0.0	2 5.6	2 5.6

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(○は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301 100.0	776 59.6	297 22.8	345 26.5	117 9.0	104 8.0	134 10.3	164 12.6	45 3.5	52 4.0	100 7.7
十日市場団地地区	36 100.0	19 52.8	7 19.4	16 44.4	3 8.3	4 11.1	1 2.8	4 11.1	1 2.8	2 5.6	4 11.1

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	その他	無回答
全体	1301 100.0	213 16.4	158 12.1	356 27.4	461 35.4	44 3.4	69 5.3
十日市場団地地区	36 100.0	11 30.6	3 8.3	9 25.0	10 27.8	0 0.0	3 8.3

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思う条件】(○は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入りやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301 100.0	667 51.3	422 32.4	235 18.1	365 28.1	125 9.6	276 21.2	24 1.8	24 1.8	92 7.1
十日市場団地地区	36 100.0	21 58.3	14 38.9	7 19.4	6 16.7	0 0.0	11 30.6	0 0.0	1 2.8	3 8.3

●(問9) 近隣の人への挨拶について、回答者の7割以上が「積極的にしている」と回答しており、全体を大きく上回り特徴的である。

●(問10) 回答者の自治会加入率は9割近くあり、長期定住型の住民層が多いことも関連していると考えられる。

●(問11・問12) 回答者の地域での助け合いに参加した経験は5割を超え、地区特性を示している。地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向でも、「かかわりたい」とした人が4割近くであった。

●(問14) 回答者は地域のボランティア活動に参加するための条件として「気軽に参加できる」「自分のやりがいや生きがいになる」など、参加する楽しさや価値をあげている。

●(問15) 回答者がボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会について、「機会があり、参加している」と回答した人の割合が最も多く、地区の特徴を示している。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスマイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
十日市場団地地区	36	15	22	11	25	27	11	10	6	15	4	12	5	0	2
	100.0	41.7	61.1	30.6	69.4	75.0	30.6	27.8	16.7	41.7	11.1	33.3	13.9	0.0	5.6

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
十日市場団地地区	36	16	20	6	5	10	9	6	15	0	4
	100.0	44.4	55.6	16.7	13.9	27.8	25.0	16.7	41.7	0.0	11.1

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	ロコミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
十日市場団地地区	36	26	12	5	23	9	8	5	7	6	11	0	1
	100.0	72.2	33.3	13.9	63.9	25.0	22.2	13.9	19.4	16.7	30.6	0.0	2.8

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいらない	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
十日市場団地地区	36	26	19	13	3	2	1	6	0	1	3	3	2	1
	100.0	72.2	52.8	36.1	8.3	5.6	2.8	16.7	0.0	2.8	8.3	8.3	5.6	2.8

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
十日市場団地地区	36	11	18	11	10	5	19	9	8	0	3	1
	100.0	30.6	50.0	30.6	27.8	13.9	52.8	25.0	22.2	0.0	8.3	2.8

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5
十日市場団地地区	36	14	19	6	4	4	2	2	2
	100.0	38.9	52.8	16.7	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(こどもへの暴力防止)研修実施など、こどもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
十日市場団地地区	36	24	10	9	2	6	3	0	0	5
	100.0	66.7	27.8	25.0	5.6	16.7	8.3	0.0	0.0	13.9

●(問17)回答者は、地域の役員等についての認知度が全体より多い。また、地元の区域福祉施設・拠点なども認知度が高い。

●(問19)回答者は、情報を入手しやすい方法として、多くが「市の広報」「自治会の回覧板・掲示板」をあげており、特に「自治会の回覧板・掲示板」は全体より多い割合となった。また、「ロコミ」「新聞・雑誌」も全体の割合に比べて多かった。

●(問20)回答者は相談相手として、「近所の親しい人」「病院や薬局の人」「民生委員・児童委員」をあげる人も多く、身近な地域でのささえあいがあることがうかがえる。

●(問22)回答者は「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組として、「災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握」が最も多く、高齢化の一面を反映した結果となった。

	合計	問24【現在の健康状態】					
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
十日市場団地地区	36	6	5	14	4	4	3
	100.0	16.7	13.9	38.9	11.1	11.1	8.3

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えたい食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
十日市場団地地区	36	18	20	12	20	12	15	12	19	16	14	1	5
	100.0	50.0	55.6	33.3	55.6	33.3	41.7	33.3	52.8	44.4	38.9	2.8	13.9

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)									
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1
十日市場団地地区	36	11	9	3	4	2	2	7	3	8	5
	100.0	30.6	25.0	8.3	11.1	5.6	5.6	19.4	8.3	22.2	13.9

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
十日市場団地地区	36	3	4	8	18	3
	100.0	8.3	11.1	22.2	50.0	8.3

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	無回答
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
十日市場団地地区	36	21	2	7	20	14	4
	100.0	58.3	5.6	19.4	55.6	38.9	11.1

●(問24) 回答者の現在の健康状態について、「ふつう」と回答したひとの割合は全体より多かったものの、「よい」「まあよい」と回答した人の割合が全体を下回っている。

●(問27) 回答者のみどりのわ・ささえ愛プランの認知度は非常に高く、「よく知っている」「一部なら知っている」「名前を聞いたことはある」とした人が4割であった。

●(問28) 回答者は特に重要な福祉保健の取組として、「つながりのあるまちづくり」が多く、次いで「情報が入手しやすいまちづくり」とした人が多く、全体と異なり地区の特徴を示した結果となった。

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
十日市場団地地区	36	16	20
	100.0	44.4	55.6

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
十日市場団地地区	36	11	25
	100.0	30.6	69.4

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～霧が丘地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数
1 有効票	1301
2 無効票	0
計	1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	霧が丘地区	103	52	49	2
		100.0	50.5	47.6	1.9

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
霧が丘地区	103	2	10	14	13	6	20	20	12	6	0
	100.0	1.9	9.7	13.6	12.6	5.8	19.4	19.4	11.7	5.8	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
霧が丘地区	103	4	4	12	83	0
	100.0	3.9	3.9	11.7	80.6	0.0

	合計	問5【住宅の種類】								
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
霧が丘地区	103	40	43	1	0	13	0	4	1	1
	100.0	38.8	41.7	1.0	0.0	12.6	0.0	3.9	1.0	1.0

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
霧が丘地区	103	0	0	2	3	85	1	46	2	7	3	0
	100.0	0.0	0.0	1.9	2.9	82.5	1.0	44.7	1.9	6.8	2.9	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
霧が丘地区	103	8	15	46	10	39	2
	100.0	7.8	14.6	44.7	9.7	37.9	1.9

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
霧が丘地区	103	26	19	29	1	22	4	2
	100.0	25.2	18.4	28.2	1.0	21.4	3.9	1.9

●（問2）回答者性別の男女比はおおよそ半々で、全体と比較すると逆転している。
 ●（問3）回答者の年齢層は65歳以上の高齢者が6割近くで、65歳～74歳の前期高齢者で約4割を占めている。
 ●（問4・問5）回答者の居住年数は「10年以上」が8割で、持ち家（マンション・共同住宅）の割合が全体より多い。
 ●（問3・問6）回答者の年齢層ピークが前期高齢者であることから、家族構成として「配偶者」の割合が全体より多い。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301 100.0	745 57.3	428 32.9	74 5.7	34 2.6	20 1.5
霧が丘地区	103 100.0	56 54.4	37 35.9	5 4.9	4 3.9	1 1.0

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301 100.0	1056 81.2	228 17.5	17 1.3
霧が丘地区	103 100.0	90 87.4	11 10.7	2 1.9

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301 100.0	576 44.3	694 53.3	31 2.4
霧が丘地区	103 100.0	66 64.1	36 35.0	1 1.0

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301 100.0	319 24.5	169 13.0	777 59.7	36 2.8
霧が丘地区	103 100.0	34 33.0	12 11.7	53 51.5	4 3.9

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301 100.0	85 6.5	81 6.2	26 2.0	33 2.5	11 0.8	23 1.8	8 0.6	9 0.7	73 5.6	51 3.9
霧が丘地区	103 100.0	10 9.7	6 5.8	1 1.0	1 1.0	1 1.0	1 1.0	0 0.0	0 0.0	14 13.6	6 5.8

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301 100.0	654 50.3	389 29.9	299 23.0	174 13.4	193 14.8	320 24.6	154 11.8	155 11.9	377 29.0	43 3.3
霧が丘地区	103 100.0	54 52.4	25 24.3	23 22.3	17 16.5	18 17.5	27 26.2	13 12.6	13 12.6	36 35.0	5 4.9

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(○は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金額的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301 100.0	776 59.6	297 22.8	345 26.5	117 9.0	104 8.0	134 10.3	164 12.6	45 3.5	52 4.0	100 7.7
霧が丘地区	103 100.0	70 68.0	22 21.4	28 27.2	8 7.8	5 4.9	12 11.7	13 12.6	4 3.9	1 1.0	8 7.8

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今どこも参加したいと思っていない	その他	無回答
全体	1301 100.0	213 16.4	158 12.1	356 27.4	461 35.4	44 3.4	69 5.3
霧が丘地区	103 100.0	27 26.2	17 16.5	21 20.4	31 30.1	3 2.9	4 3.9

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思ふ条件】(○は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301 100.0	667 51.3	422 32.4	235 18.1	365 28.1	125 9.6	276 21.2	24 1.8	24 1.8	92 7.1
霧が丘地区	103 100.0	50 48.5	38 36.9	20 19.4	31 30.1	9 8.7	18 17.5	4 3.9	0 0.0	7 6.8

●(問10) 回答者の自治会加入率は9割近くあり、居住年数の長い長期定住の住民層が多いことも関与していると考えられる。

●(問11・問12) 回答者の地域での助け合いに参加した経験は6割を超え、地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向でも「かかわりたい」人が3割以上と、地区の特徴となっている。

●(問14) 回答者は、地域のボランティア活動に参加するための条件として「気軽に参加できる」をあげた人が7割近くあり、活動に際しての自由度を求めている。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスメイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームおおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
霧が丘地区	103	39	72	43	84	76	22	19	9	25	8	20	4	3	5
	100.0	37.9	69.9	41.7	81.6	73.8	21.4	18.4	8.7	24.3	7.8	19.4	3.9	2.9	4.9

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
霧が丘地区	103	49	43	24	13	28	23	11	36	4	11
	100.0	47.6	41.7	23.3	12.6	27.2	22.3	10.7	35.0	3.9	10.7

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	口コミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
霧が丘地区	103	62	28	15	64	34	12	14	18	11	39	2	5
	100.0	60.2	27.2	14.6	62.1	33.0	11.7	13.6	17.5	10.7	37.9	1.9	4.9

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答
全体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
霧が丘地区	103	92	57	21	5	2	1	11	2	0	4	2	7	2
	100.0	89.3	55.3	20.4	4.9	1.9	1.0	10.7	1.9	0.0	3.9	1.9	6.8	1.9

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
霧が丘地区	103	34	72	45	11	19	45	17	14	1	9	2
	100.0	33.0	69.9	43.7	10.7	18.4	43.7	16.5	13.6	1.0	8.7	1.9

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5
霧が丘地区	103	53	40	37	5	7	7	1	7
	100.0	51.5	38.8	35.9	4.9	6.8	6.8	1.0	6.8

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(こどもへの暴力防止)研修実施など、こどもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
霧が丘地区	103	79	29	31	6	11	3	6	2	2
	100.0	76.7	28.2	30.1	5.8	10.7	2.9	5.8	1.9	1.9

●(問17) 回答者は、地元の組織や役員等についての認知度が全体より多い。特に「地域ケアプラザ」については約7割と、非常に認知度が高かった。

●(問19) 回答者は、情報を入手しやすい方法として、多くが「自治会の回覧板・掲示板」「市の広報」をあげており、全体と比較すると「自治会の回覧板・掲示板」の方が多い結果となった。また、「口コミ」「地域のミニコミ紙・タウン誌」については、全体の割合に比べて多かった。

●(問21) 回答者は「日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること」として、「水・食糧の備蓄」をあげる人の割合が全体より多かった。

	合計	問24【現在の健康状態】					
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
霧が丘地区	103	24	21	38	15	4	1
	100.0	23.3	20.4	36.9	14.6	3.9	1.0

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
霧が丘地区	103	45	56	65	56	54	48	44	59	53	40	5	2
	100.0	43.7	54.4	63.1	54.4	52.4	46.6	42.7	57.3	51.5	38.8	4.9	1.9

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)									
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レクレーションによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1
霧が丘地区	103	34	22	33	9	2	12	24	5	23	5
	100.0	33.0	21.4	32.0	8.7	1.9	11.7	23.3	4.9	22.3	4.9

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
霧が丘地区	103	1	3	14	84	1
	100.0	1.0	2.9	13.6	81.6	1.0

●(問25・問26) 回答者が健康のために心がけていることについては、「適度な運動をする」と回答した人の割合が全体より多く、参加したい保健活動としては「ウォーキング」が全体より高い割合であった。回答者年齢層が前期高齢者が多かったため、健康チェックや体操も含めた健康づくり・介護予防の潜在ニーズは高いと推測される。

●(問28) 回答者は特に重要な福祉保健の取組として、「安全・安心・健康のまちづくり」が多く、次いで「情報が入手しやすいまちづくり」で、全体と異なる地区の特徴を示した結果となった。

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	無回答
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
霧が丘地区	103	41	13	21	54	63	4
	100.0	39.8	12.6	20.4	52.4	61.2	3.9

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
霧が丘地区	103	39	64
	100.0	37.9	62.1

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
霧が丘地区	103	17	86
	100.0	16.5	83.5

「みどりのわ・ささえ愛フラン」区民アンケート地区別集計結果 ～長津田地区～

※上段:実数、下段:百分率の数値を掲載しています。

【有効回収】

	回答数
1 有効票	1301
2 無効票	0
計	1301

		合計	問2【性別】		
			男性	女性	無回答
全体		1301	568	722	11
		100.0	43.7	55.5	0.8
問1 町名【地区】	長津田地区	261	119	142	0
		100.0	45.6	54.4	0.0

	合計	問3【年齢】									
		20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	無回答
全体	1301	76	171	253	173	112	158	150	114	93	1
	100.0	5.8	13.1	19.4	13.3	8.6	12.1	11.5	8.8	7.1	0.1
長津田地区	261	19	40	64	39	22	18	23	18	18	0
	100.0	7.3	15.3	24.5	14.9	8.4	6.9	8.8	6.9	6.9	0.0

	合計	問4【居住年数】				
		1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上	無回答
全体	1301	45	139	149	964	4
	100.0	3.5	10.7	11.5	74.1	0.3
長津田地区	261	15	31	42	171	2
	100.0	5.7	11.9	16.1	65.5	0.8

	合計	問5【住宅の種類】								
		持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション・共同住宅）	借家（一戸建て）	借家（県営・市営の共同住宅）	借家（都市再生機構（旧公団）・公社の共同住宅）	借家（社宅・公務員住宅）	借家（民間アパート・民間賃貸マンション）	その他	無回答
全体	1301	614	376	15	69	49	16	144	15	3
	100.0	47.2	28.9	1.2	5.3	3.8	1.2	11.1	1.2	0.2
長津田地区	261	119	79	8	7	3	4	38	2	1
	100.0	45.6	30.3	3.1	2.7	1.1	1.5	14.6	0.8	0.4

	合計	問6【家族構成】（あてはまる番号すべてに○）										
		祖父	祖母	父	母	配偶者	兄弟姉妹	子	孫	いない（一人暮らし）	その他	無回答
全体	1301	4	9	103	143	969	68	627	51	111	42	1
	100.0	0.3	0.7	7.9	11.0	74.5	5.2	48.2	3.9	8.5	3.2	0.1
長津田地区	261	0	4	22	33	201	12	135	6	18	8	0
	100.0	0.0	1.5	8.4	12.6	77.0	4.6	51.7	2.3	6.9	3.1	0.0

	合計	問7【本人・家族の状況】（あてはまる番号すべてに○）					
		介護認定を受けている	障害者手帳の交付を受けている（身体、療育、精神保健福祉）	65歳以上の方がいる	就学前の子どもがいる	いずれにも該当しない	無回答
全体	1301	93	122	465	137	599	46
	100.0	7.1	9.4	35.7	10.5	46.0	3.5
長津田地区	261	26	21	85	37	127	5
	100.0	10.0	8.0	32.6	14.2	48.7	1.9

	合計	問8【就労状況】						
		仕事についている（常勤・フルタイム）	仕事についている（パート・アルバイト）	仕事についていない	学生	専業主婦・主夫	その他	無回答
全体	1301	430	199	272	21	302	53	24
	100.0	33.1	15.3	20.9	1.6	23.2	4.1	1.8
長津田地区	261	99	39	45	6	59	7	6
	100.0	37.9	14.9	17.2	2.3	22.6	2.7	2.3

●（問2・問3）回答者性別の男女比は全体と大きな差がなく、およそ4対6であった。年齢層では40歳代が24.5%、64歳以下（生産年齢層割合）では70.5%と全体より若い世代が大変多かった。
●（問4・問5）回答者の居住年数は「10年以上」が65.5%で、全体に比べて分散した傾向がみられたが、住宅の種類では、全体とほぼ同じ傾向を示しており、長期定住型住民層の流入がうかがえる。

	合計	問9【近隣の人へのあいさつや声かけ】				
		こちらから積極的にしている	時々している	向こうから声をかけられたらしている	まったくしない	無回答
全体	1301	745	428	74	34	20
	100.0	57.3	32.9	5.7	2.6	1.5
長津田地区	261	141	96	15	5	4
	100.0	54.0	36.8	5.7	1.9	1.5

	合計	問10【自治会への加入】		
		加入している	加入していない	無回答
全体	1301	1056	228	17
	100.0	81.2	17.5	1.3
長津田地区	261	210	49	2
	100.0	80.5	18.8	0.8

	合計	問11【地域での助け合いに参加した経験】		
		ある	ない	無回答
全体	1301	576	694	31
	100.0	44.3	53.3	2.4
長津田地区	261	111	142	8
	100.0	42.5	54.4	3.1

	合計	問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかわりについての意向】			
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答
全体	1301	319	169	777	36
	100.0	24.5	13.0	59.7	2.8
長津田地区	261	66	27	162	6
	100.0	25.3	10.3	62.1	2.3

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	85	81	26	33	11	23	8	9	73	51
	100.0	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9
長津田地区	261	16	16	4	10	3	6	2	3	11	13
	100.0	6.1	6.1	1.5	3.8	1.1	2.3	0.8	1.1	4.2	5.0

	合計	問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう									
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他
全体	1301	654	389	299	174	193	320	154	155	377	43
	100.0	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.8	11.9	29.0	3.3
長津田地区	261	141	84	69	40	37	71	36	32	78	11
	100.0	54.0	32.2	26.4	15.3	14.2	27.2	13.8	12.3	29.9	4.2

	合計	問14【地域のボランティア活動に参加するための条件】(○は2つまで)									
		気軽に参加できる	自分の趣味や特技にあっている	自分のやりがいや生きがいになる	交通費などの実費が支払われる	多少の金銭的な報酬(交通費以外)	活動時の保険などの補償の整備	講習会・研修会などボランティア内容に関する技術を学べる機会がある	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	776	297	345	117	104	134	164	45	52	100
	100.0	59.6	22.8	26.5	9.0	8.0	10.3	12.6	3.5	4.0	7.7
長津田地区	261	152	65	76	27	20	28	34	7	15	8
	100.0	58.2	24.9	29.1	10.3	7.7	10.7	13.0	2.7	5.7	3.1

	合計	問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】					
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	その他	無回答
全体	1301	213	158	356	461	44	69
	100.0	16.4	12.1	27.4	35.4	3.4	5.3
長津田地区	261	37	34	77	93	9	11
	100.0	14.2	13.0	29.5	35.6	3.4	4.2

	合計	問16【地域の活動の施設・スペースとして、特に重要だと思ふ条件】(○は2つまで)								
		気軽に集まれるスペースがあること	誰でも利用対象者となれること	利用時間が柔軟であること	利用の予約方法が簡単なこと	施設の空き情報が入手しやすいこと	会場使用料が無料	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全体	1301	667	422	235	365	125	276	24	24	92
	100.0	51.3	32.4	18.1	28.1	9.6	21.2	1.8	1.8	7.1
長津田地区	261	135	83	49	86	23	54	6	6	10
	100.0	51.7	31.8	18.8	33.0	8.8	20.7	2.3	2.3	3.8

●(問13) 回答者は、地域のボランティア活動として「将来できそう」なものでは、ほぼ全ての項目で全体の割合を上回っている。

●(問16) 回答者は地域の活動の施設・スペースに対し、「気軽に集まれる」に次いで、「利用の予約方法が簡単なこと」として、開かれた施設を求める割合が全体より高い。

	合計	問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】(あてはまる番号すべてに○)													
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスマイト)	地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答
全 体	1301	366	822	308	902	819	192	198	117	247	87	269	33	19	127
	100.0	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8
長津田地区	261	78	180	74	184	163	42	38	20	54	15	48	7	4	27
	100.0	29.9	69.0	28.4	70.5	62.5	16.1	14.6	7.7	20.7	5.7	18.4	2.7	1.5	10.3

	合計	問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】(あてはまる番号すべてに○)									
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答
全 体	1301	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98
	100.0	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5
長津田地区	261	132	99	50	55	94	46	27	102	5	12
	100.0	50.6	37.9	19.2	21.1	36.0	17.6	10.3	39.1	1.9	4.6

	合計	問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】(あてはまる番号すべてに○)											
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	口コミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答
全 体	1301	791	201	104	772	549	159	113	225	144	390	17	1
	100.0	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	0.1
長津田地区	261	158	38	26	148	134	26	20	37	21	78	1	1
	100.0	60.5	14.6	10.0	56.7	51.3	10.0	7.7	14.2	8.0	29.9	0.4	0.4

	合計	問20【身近な相談相手】(あてはまる番号すべてに○)												
		家族・親戚	友人・知人	近所の親しい人	民生委員・児童委員	保健活動推進員	身近な施設の相談員	病院や薬局の人	区役所職員	区社会福祉協議会職員	地域ケアプラザ職員(地域包括支援センター)	その他	特にいない	無回答
全 体	1301	1135	750	274	35	8	20	104	28	11	47	22	66	14
	100.0	87.2	57.6	21.1	2.7	0.6	1.5	8.0	2.2	0.8	3.6	1.7	5.1	1.1
長津田地区	261	231	164	48	5	0	5	20	3	2	14	5	10	0
	100.0	88.5	62.8	18.4	1.9	0.0	1.9	7.7	1.1	0.8	5.4	1.9	3.8	0.0

	合計	問21【日ごろ防災・減災に関して取り組んでいること】(あてはまる番号すべてに○)										
		避難袋の準備点検	水・食糧の備蓄(3~7日程度)	家具の転倒防止対策	地域の防災訓練への積極的参加	家族で災害時連絡方法等を決めている	広域避難場所について確認している	地域防災拠点について確認している	いっとき避難場所について確認している	その他	特に何もしていない	無回答
全 体	1301	437	706	538	172	266	516	217	235	12	181	28
	100.0	33.6	54.3	41.4	13.2	20.4	39.7	16.7	18.1	0.9	13.9	2.2
長津田地区	261	90	142	113	39	60	110	50	45	3	35	3
	100.0	34.5	54.4	43.3	14.9	23.0	42.1	19.2	17.2	1.1	13.4	1.1

	合計	問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(○は2つまで)							
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全 体	1301	691	442	426	129	188	53	30	71
	100.0	53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	2.3	5.5
長津田地区	261	144	86	83	28	43	12	10	7
	100.0	55.2	33.0	31.8	10.7	16.5	4.6	3.8	2.7

	合計	問23【「地域における防犯活動」として日頃から必要だと思う取組】(○は2つまで)								
		防犯パトロールをはじめ、空き巣などの身近な犯罪被害の防止のための活動	交通安全運動や放置自転車対策など、安全に外出できる環境づくりの活動	防犯に関する情報交換や防犯情報メール配信	防犯リーダー養成講座など、防犯意識を高める活動	CAP(こどもへの暴力防止)研修実施など、こどもの安全支援活動	権利擁護や消費者被害の予防に関する取組	その他	3つ以上回答で無効	無回答
全 体	1301	922	380	383	71	148	70	42	27	82
	100.0	70.9	29.2	29.4	5.5	11.4	5.4	3.2	2.1	6.3
長津田地区	261	183	79	86	12	34	16	10	5	10
	100.0	70.1	30.3	33.0	4.6	13.0	6.1	3.8	1.9	3.8

●(問17) 回答者の「地域ケアプラザ」に関する認知度は約7割と、全体より高かった。
●(問18) 回答者年齢層が若いことから、知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報としては「子育ての情報」「講座や教室等の情報」では全体より高い割合であった。
●(問19) 回答者は、情報入手しやすい方法として、多くが「市の広報」「自治会の回覧板・掲示板」をあげているものの、全体と比較すると「インターネット」と回答した割合も全体より多い。

	合計	問24【現在の健康状態】					
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答
全 体	1301	313	299	478	152	29	30
	100.0	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3
長津田地区	261	81	62	77	35	4	2
	100.0	31.0	23.8	29.5	13.4	1.5	0.8

	合計	問25【日ごろから健康のために心がけていること】(あてはまる番号すべてに○)											
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする	適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答
全 体	1301	591	736	671	694	669	589	504	718	629	485	24	26
	100.0	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0
長津田地区	261	114	146	128	131	132	111	100	147	114	100	4	3
	100.0	43.7	55.9	49.0	50.2	50.6	42.5	38.3	56.3	43.7	38.3	1.5	1.1

	合計	問26【身近にあれば参加したい活動】(あてはまる番号すべてに○)									
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室(禁煙相談)	健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答
全 体	1301	456	301	361	216	31	157	267	57	265	66
	100.0	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1
長津田地区	261	96	60	77	45	6	32	48	18	55	9
	100.0	36.8	23.0	29.5	17.2	2.3	12.3	18.4	6.9	21.1	3.4

	合計	問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】				
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答
全 体	1301	14	85	206	964	32
	100.0	1.1	6.5	15.8	74.1	2.5
長津田地区	261	4	14	33	206	4
	100.0	1.5	5.4	12.6	78.9	1.5

	合計	問28【特に重要な福祉保健の取組】(2つ選ぶ)					
		地域での「つながり」のあるまちづくり	「一人ひとりのちから」が発揮できるまちづくり	みんなが活動できる「機会・場」のあるまちづくり	必要な「情報」が入手しやすいまちづくり	「安全・安心・健康」のまちづくり	無回答
全 体	1301	691	134	256	605	756	61
	100.0	53.1	10.3	19.7	46.5	58.1	4.7
長津田地区	261	138	30	66	120	146	10
	100.0	52.9	11.5	25.3	46.0	55.9	3.8

●(問24) 回答者の現在の健康状態について、「よい」と回答した人の割合が全体より多かった。
●(問25~28) 回答者の傾向は全体とほぼ同じ傾向を示した。

	合計	問29【10年後も大切だと思うこと】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	493	808
	100.0	37.9	62.1
長津田地区	261	96	165
	100.0	36.8	63.2

	合計	問30【日頃、感じていることやご意見】	
		記載あり	記載なし
全 体	1301	275	1026
	100.0	21.1	78.9
長津田地区	261	61	200
	100.0	23.4	76.6

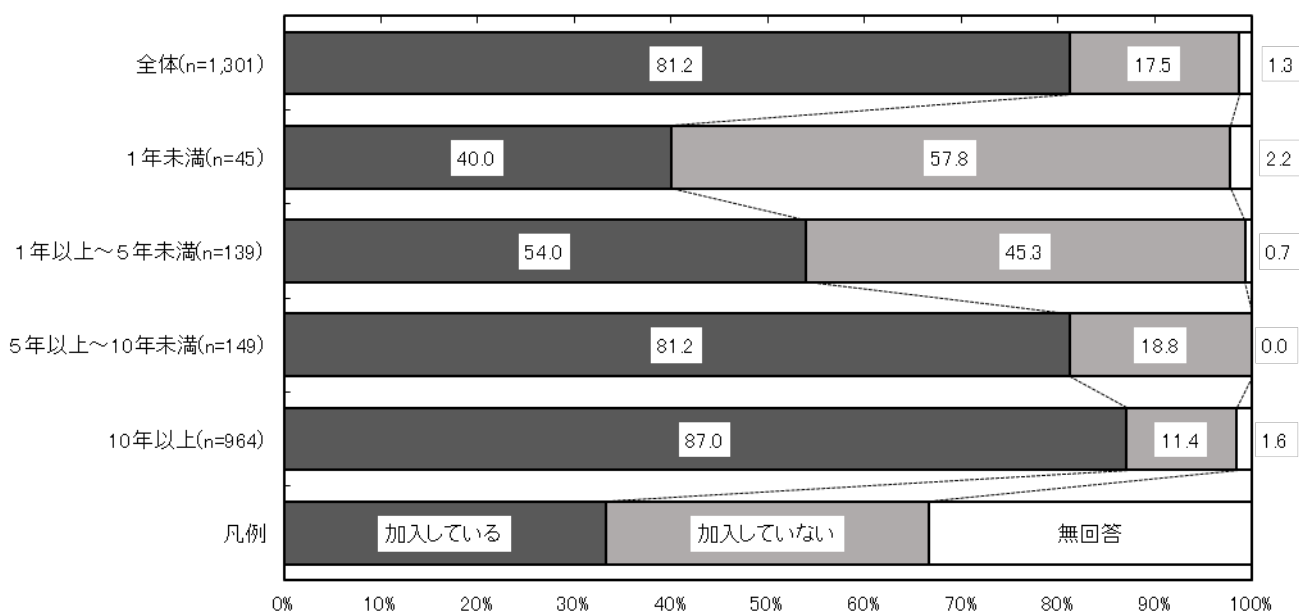
第4章 クロス集計結果

(1) 地域とのかかわりや地域活動について

問10 自治会加入状況

自治会加入状況について、居住年数別にみると、居住年数が長いほど、自治会に加入している率が高い。10年以上で87.0%、5年以上10年未満で81.2%に対し、1年以上～5年未満では54.0%となっており、5年未満と5年以上で加入状況が大きく違っている。

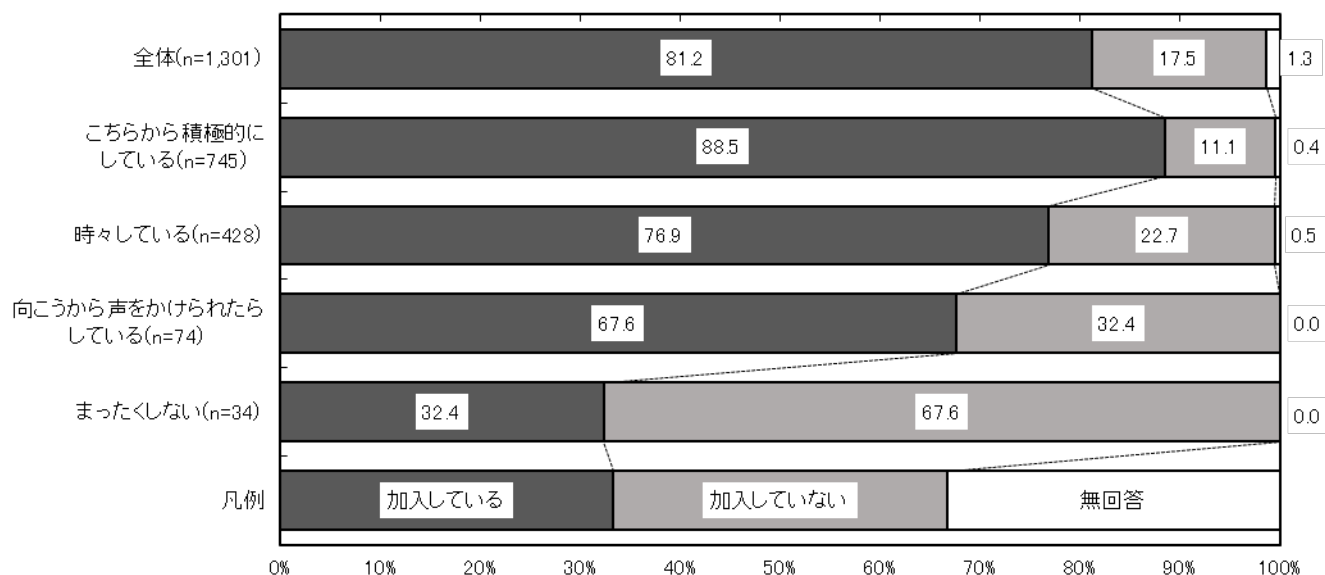
図表 居住年数別 自治会加入状況（問4×問10）



		問10【自治会への加入】			(n)
		加入している	加入していない	無回答	
問4 居住年数	1年未満	18	26	1	45
	(%)	40.0	57.8	2.2	100.0
	1年以上～5年未満	75	63	1	139
	(%)	54.0	45.3	0.7	100.0
	5年以上～10年未満	121	28	0	149
	(%)	81.2	18.8	0.0	100.0
	10年以上	839	110	15	964
	(%)	87.0	11.4	1.6	100.0
	無回答	3	1	0	4
	(%)	75.0	25.0	0.0	100.0
	全体	1,056	228	17	1,301
	(%)	81.2	17.5	1.3	100.0

あいさつ・声かけの状況別に、自治会加入率をみると、あいさつ・声かけに積極的な人ほど自治会加入率が高く、「こちらから積極的にしている」人では、約9割（88.5%）が自治会に加入している。あいさつ・声かけを「まったくしない」人は、加入率が低い（32.4%）。

図表 あいさつ・声かけ別 自治会加入状況（問9×問10）

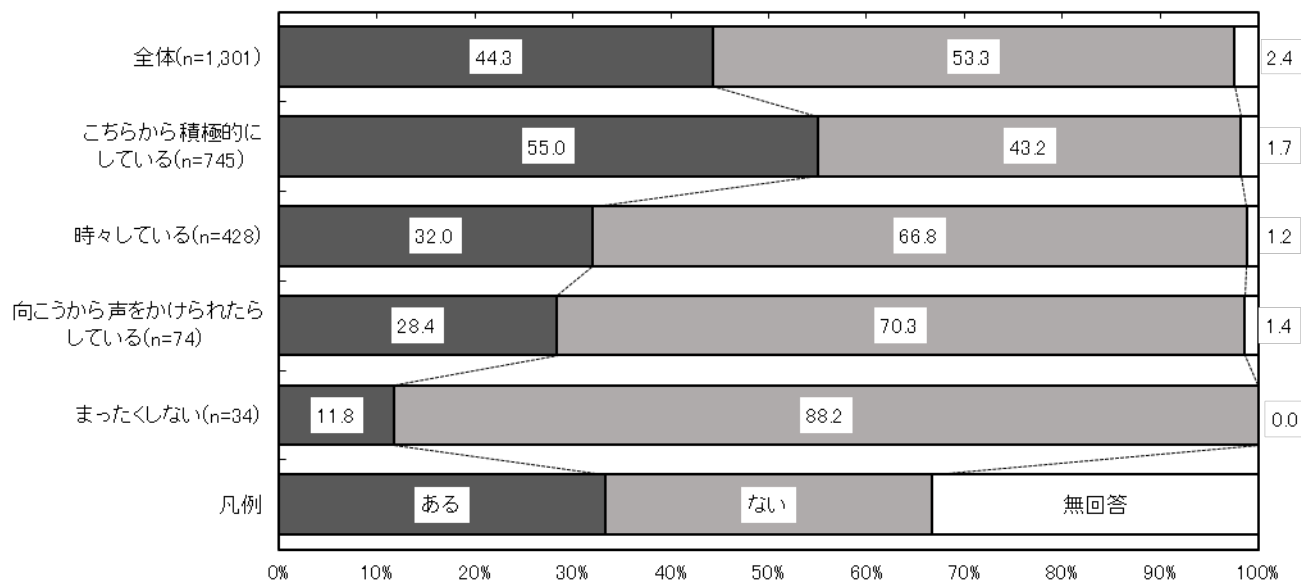


		問10【自治会への加入】			(n)
		加入している	加入していない	無回答	
問9 あいさつ・ 声かけ	こちらから積極的にしている	659	83	3	745
	(%)	88.5	11.1	0.4	100.0
	時々している	329	97	2	428
	(%)	76.9	22.7	0.5	100.0
	向こうから声をかけられたらしている	50	24	0	74
	(%)	67.6	32.4	0.0	100.0
	まったくしない	11	23	0	34
	(%)	32.4	67.6	0.0	100.0
	無回答	7	1	12	20
	(%)	35.0	5.0	60.0	100.0
	全体	1,056	228	17	1,301
	(%)	81.2	17.5	1.3	100.0

問11 地域での助け合いの参加経験

地域での助け合いの参加経験を、あいさつ・声かけの状況別にみると、あいさつ・声かけに積極的な人は、地域での助け合いの参加経験がある人が多いことが分かる。「こちらから積極的にしている」人では、半数以上（55.0%）が、地域での助け合いに参加した経験があると回答している。

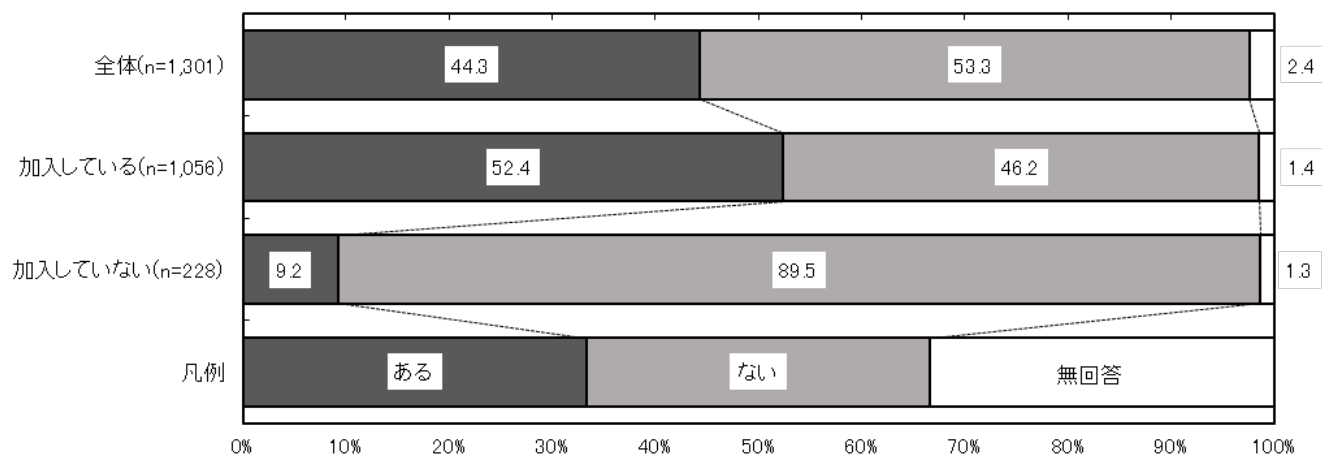
図表 あいさつ・声かけ別 地域での助け合いの参加経験（問9×問11）



		問11【地域での助け合いに参加した経験】			(n)
		ある	ない	無回答	
問9 あいさつ・ 声かけ	こちらから積極的にしている	410	322	13	745
	(%)	55.0	43.2	1.7	100.0
	時々している	137	286	5	428
	(%)	32.0	66.8	1.2	100.0
	向こうから声をかけられたらしている	21	52	1	74
	(%)	28.4	70.3	1.4	100.0
	まったくしない	4	30	0	34
	(%)	11.8	88.2	0.0	100.0
無回答	4	4	12	20	
(%)	20.0	20.0	60.0	100.0	
全体	576	694	31	1,301	
(%)	44.3	53.3	2.4	100.0	

また、自治会加入状況別にみると、自治会に「加入している」人は、5割以上（52.4%）が地域での助け合いに参加しているのに対し、「加入していない」人の参加経験の割合は1割に満たない（9.2%）。

図表 自治会加入状況別 地域での助け合いの参加経験（問10×問11）



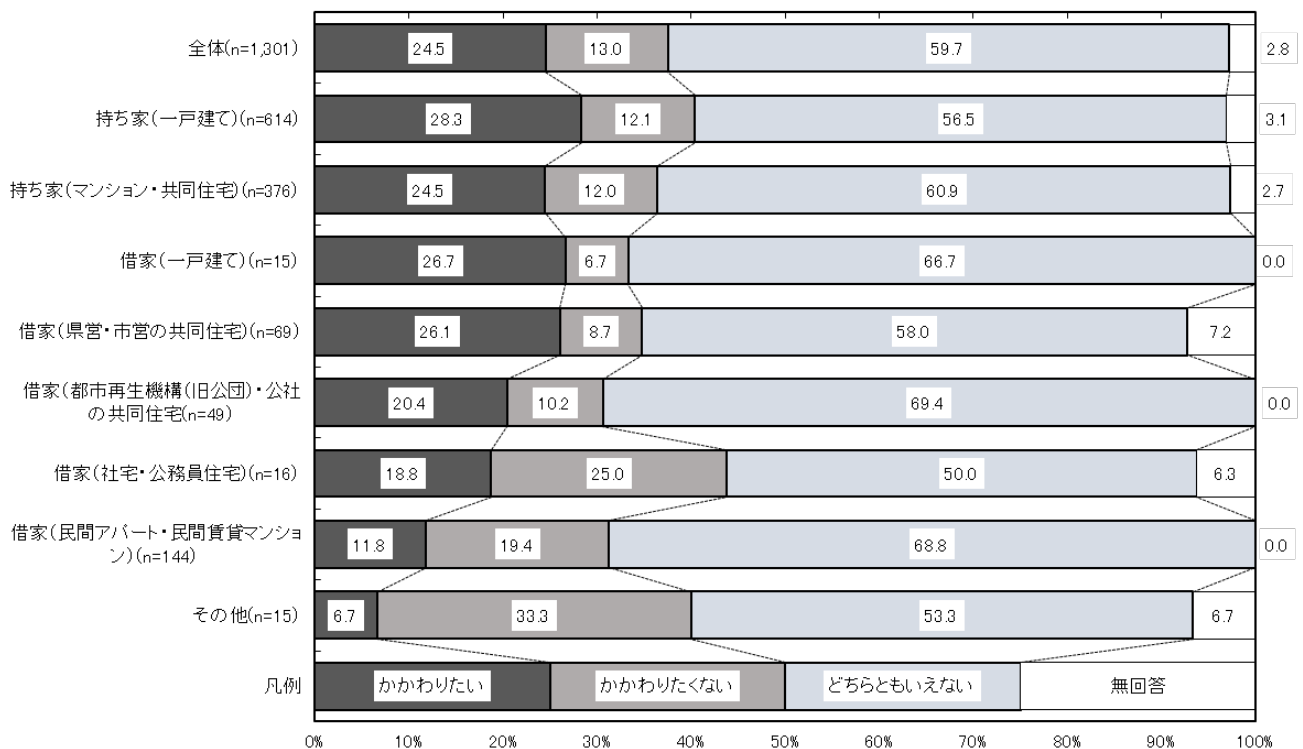
		問11【地域での助け合いに参加した経験】			(n)
		ある	ない	無回答	
問10 自治会加入状況	加入している	553	488	15	1056
	(%)	52.4	46.2	1.4	100.0
	加入していない	21	204	3	228
	(%)	9.2	89.5	1.3	100.0
	無回答	2	2	13	17
	(%)	11.8	11.8	76.5	100.0
全体		576	694	31	1,301
(%)		44.3	53.3	2.4	100.0

問12 地域の活動への参加意向

地域の活動への参加意向を、回答者の居住形態別にみると、「持家（一戸建て）」で「かかわりたい」が28.3%で最も多いものの、「借家（一戸建て）＊」、「借家（県営・市営の共同住宅）」、「持家（マンション・共同住宅）」も回答の割合にあまり差はなく、特定の居住形態と参加意向との関連は見られない。「借家（社宅・公務員住宅）＊」や「借家（民間アパート・民間賃貸マンション）」では、かかわりたいという意識が低くなっている。

＊「借家（一戸建て）」及び「借家（社宅・公務員住宅）」は、回答者の実数が少ないので注意。

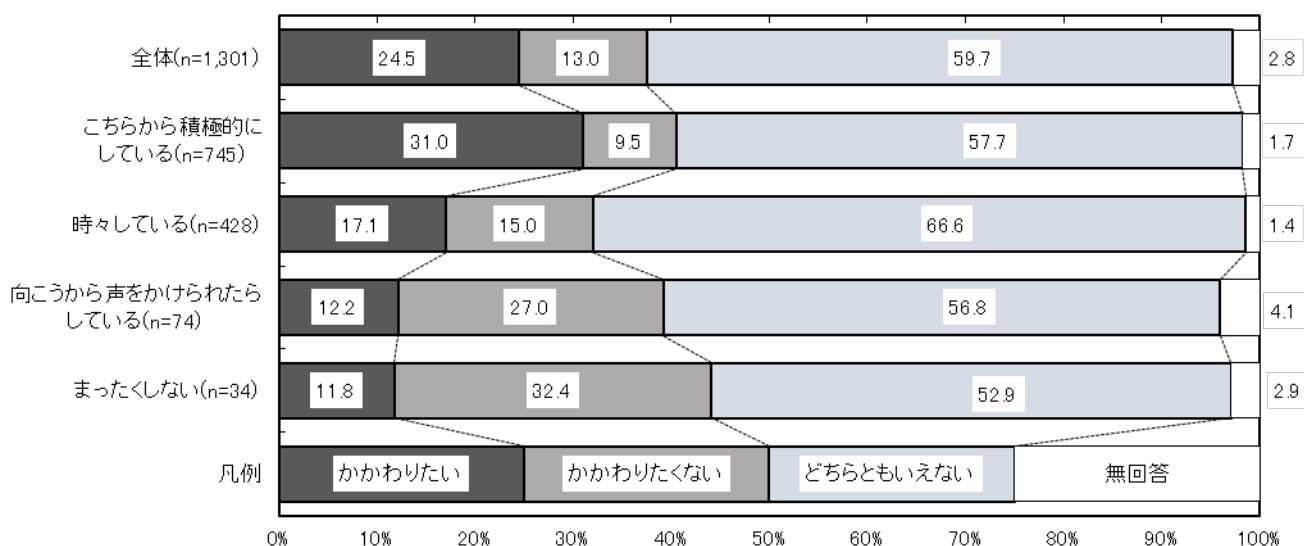
図表 居住形態別 地域活動への参加意向（問5×問12）



		問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】				(n)
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答	
問5 居住形態	持ち家(一戸建て)	174	74	347	19	614
	(%)	28.3	12.1	56.5	3.1	100.0
	持ち家(マンション・共同住宅)	92	45	229	10	376
	(%)	24.5	12.0	60.9	2.7	100.0
	借家(一戸建て)	4	1	10	0	15
	(%)	26.7	6.7	66.7	0.0	100.0
	借家(県営・市営の共同住宅)	18	6	40	5	69
	(%)	26.1	8.7	58.0	7.2	100.0
	借家(都市再生機構(旧公団)・公社の共同住宅)	10	5	34	0	49
	(%)	20.4	10.2	69.4	0.0	100.0
	借家(社宅・公務員住宅)	3	4	8	1	16
	(%)	18.8	25.0	50.0	6.3	100.0
	借家(民間アパート・民間賃貸マンション)	17	28	99	0	144
	(%)	11.8	19.4	68.8	0.0	100.0
	その他	1	5	8	1	15
(%)	6.7	33.3	53.3	6.7	100.0	
無回答	0	1	2	0	3	
(%)	0.0	33.3	66.7	0.0	100.0	
全体	319	169	777	36	1,301	
(%)	24.5	13.0	59.7	2.8	100.0	

あいさつ・声かけとの関係でみると、「こちらから積極的にしている」人では3割以上(31.0%)が、地域の活動に「かかわりたい」と回答し、「かかわりたくない」は1割に満たない(9.5%)。しかし、あいさつ・声かけの実態にかかわりなく、「どちらともいえない」人が一定量いることもわかった。

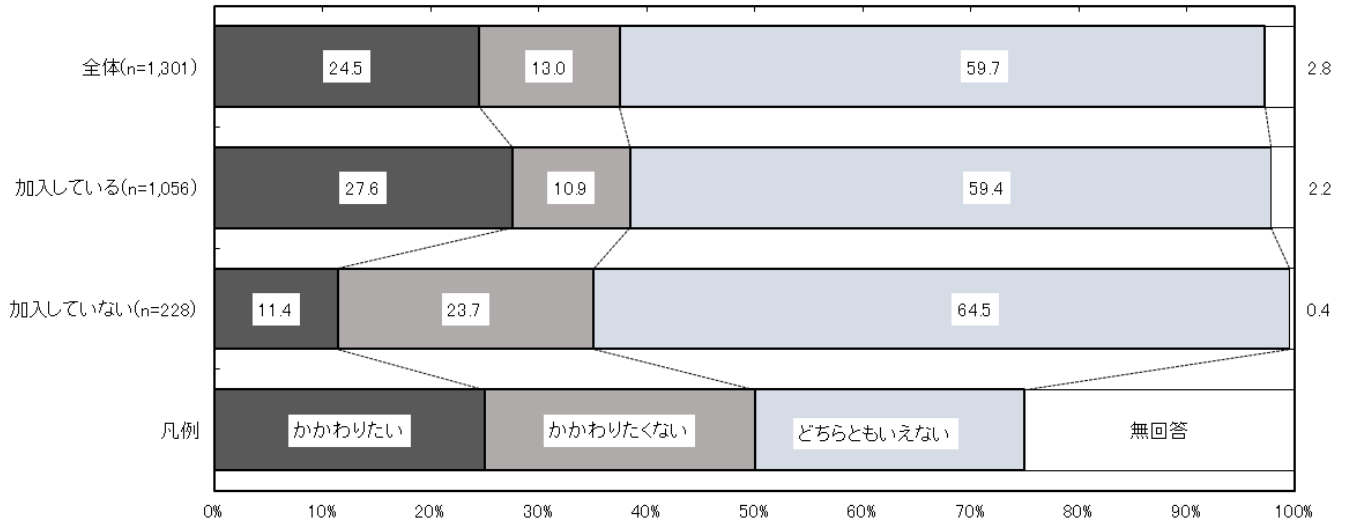
図表 あいさつ・声かけ別 地域活動への参加意向(問9×問12)



		問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】				(n)
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答	
問9 あいさつ・ 声かけ	こちらから積極的にしている	231	71	430	13	745
	(%)	31.0	9.5	57.7	1.7	100.0
	時々している	73	64	285	6	428
	(%)	17.1	15.0	66.6	1.4	100.0
	向こうから声をかけられたらしている	9	20	42	3	74
	(%)	12.2	27.0	56.8	4.1	100.0
	まったくしない	4	11	18	1	34
	(%)	11.8	32.4	52.9	2.9	100.0
無回答	2	3	2	13	20	
(%)	10.0	15.0	10.0	65.0	100.0	
全体	319	169	777	36	1,301	
(%)	24.5	13.0	59.7	2.8	100.0	

自治会に「加入している」人の方が、地域の活動に「かかわりたい」と考えている人が、「加入していない」人よりも多い（加入している 27.6%、加入していない 11.4%）。

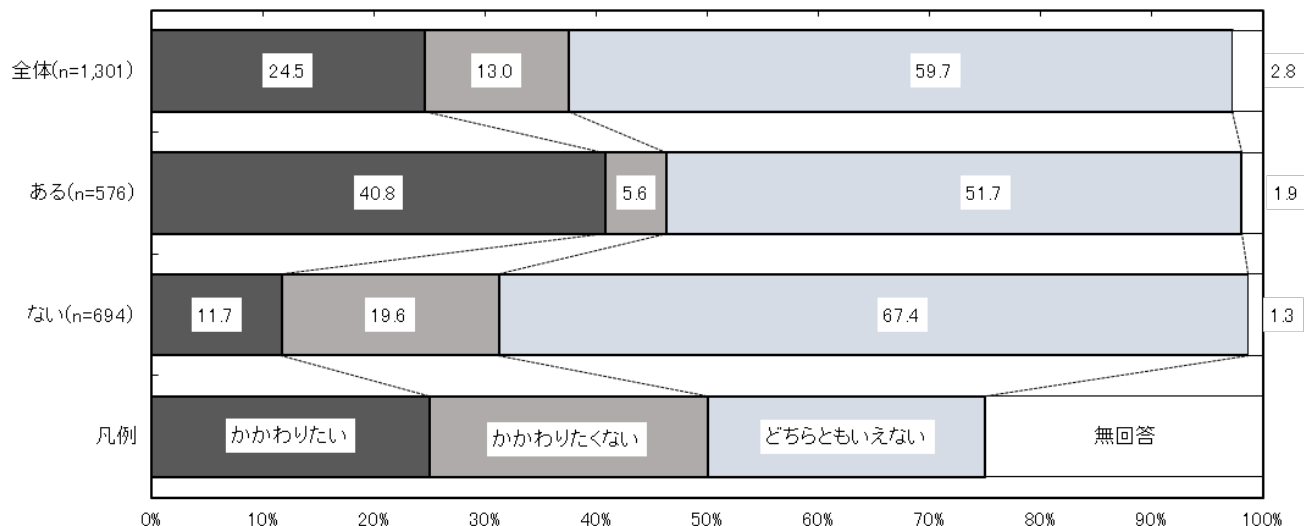
図表 自治会加入状況別 地域活動への参加意向（問10×問12）



		問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】				(n)
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答	
問10 自治会 加入状況	加入している	291	115	627	23	1,056
	(%)	27.6	10.9	59.4	2.2	100.0
	加入していない	26	54	147	1	228
	(%)	11.4	23.7	64.5	0.4	100.0
	無回答	2	0	3	12	17
	(%)	11.8	0.0	17.6	70.6	100.0
全体		319	169	777	36	1,301
(%)		24.5	13.0	59.7	2.8	100.0

助け合いの経験でみると、経験の「ある」人は4割以上（40.8%）が地域活動に「かかわりたい」と回答しており、経験の「ない」人（11.7%）に比べ、地域の活動へのかかわり意向が高い。

図表 地域での助け合いの参加経験別 地域活動への参加意向（問11×問12）



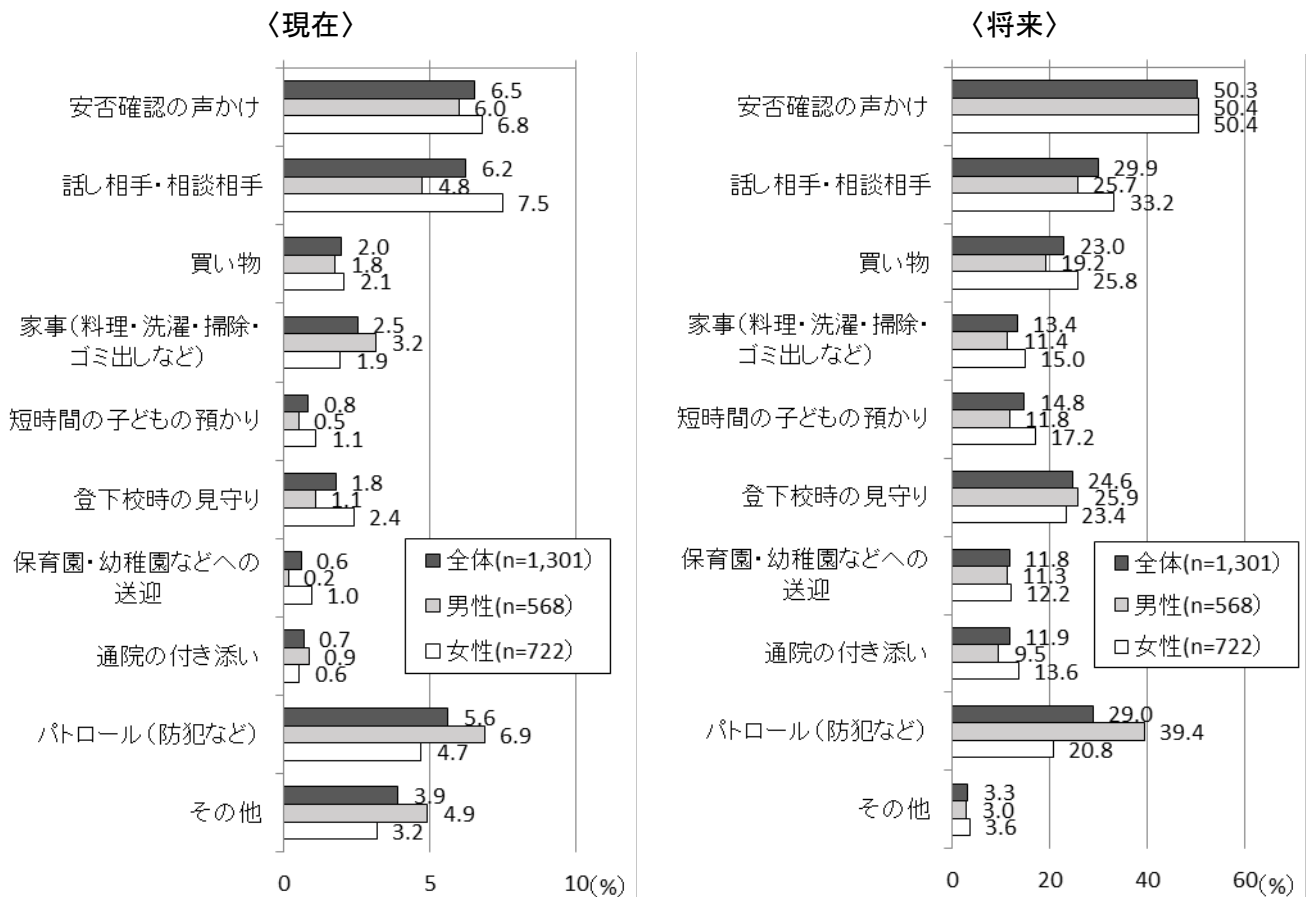
		問12【地域のイベントや活動の手伝いなどへのかかわりについての意向】				(n)
		かかわりたい	かかわりたくない	どちらともいえない	無回答	
問11 地域での助け合いの 参加経験	ある	235	32	298	11	576
	(%)	40.8	5.6	51.7	1.9	100.0
	ない	81	136	468	9	694
	(%)	11.7	19.6	67.4	1.3	100.0
	無回答	3	1	11	16	31
	(%)	9.7	3.2	35.5	51.6	100.0
全体		319	169	777	36	1,301
(%)		24.5	13.0	59.7	2.8	100.0

問13 隣近所の困っている方の手助けでできること

隣近所の困っている方の手助けや見守りについて、「(1) 現在やっている」ことを男女別にみると、回答の割合では女性の方が男性より高い項目が多い。女性の方が回答の割合が高いものは「話し相手・相談相手」(男性4.8%、女性7.5%)、男性の方が高いものは「パトロール(防犯など)」(男性6.9%、女性4.7%)などである。

同じく「(2) 将来できそう」なことは、安否確認は男女同じであった。多くの項目で女性の方が割合が高いが、登下校見守りや防犯パトロールなどは男性の回答の割合が高くなっている。

図表 男女男女別 手助けできること(問2×問13)



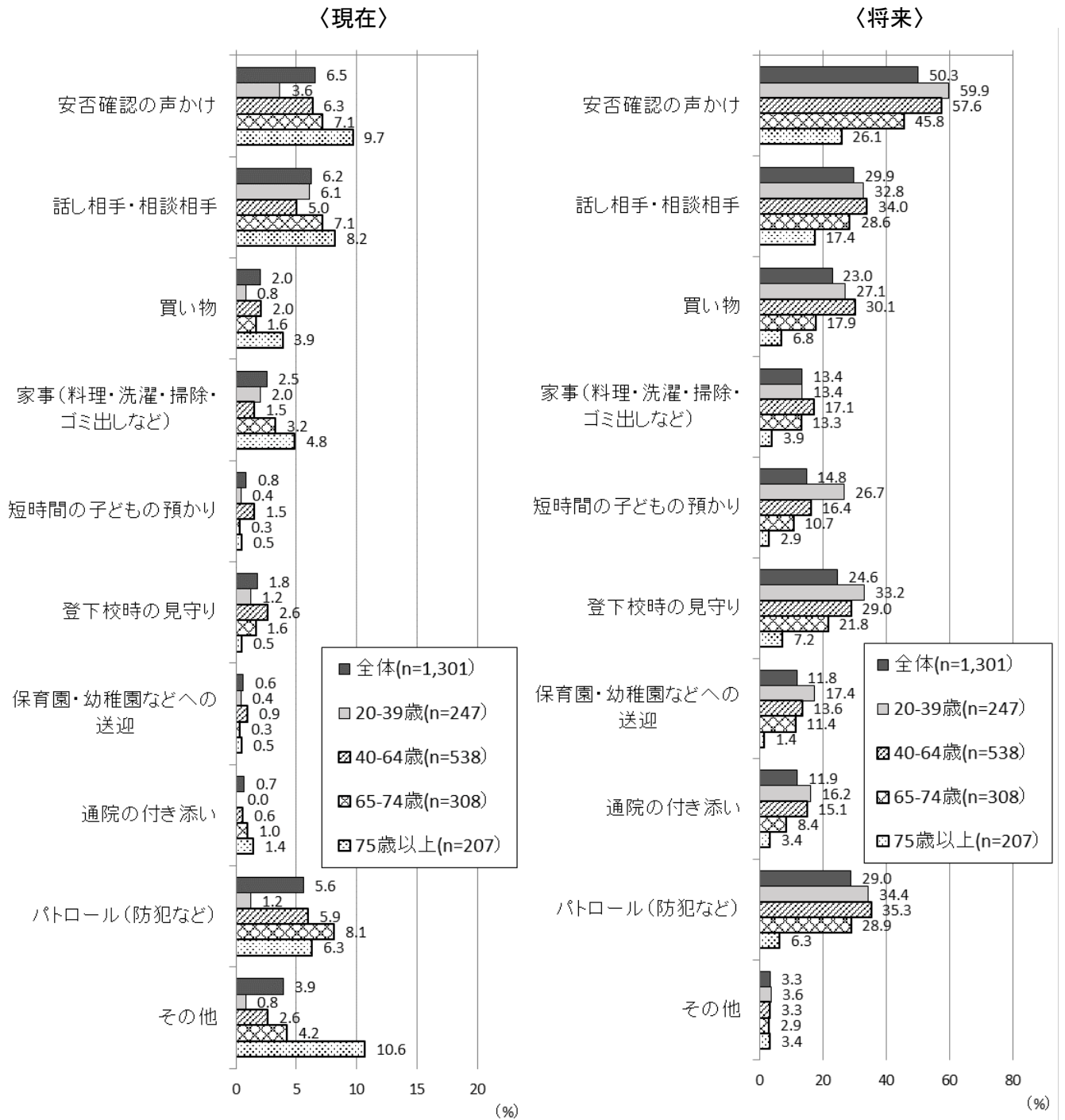
		問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている										(n)	
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他		
問2 男女別	男性	34	27	10	18	3	6	1	5	39	28	568	
	(%)	6.0	4.8	1.8	3.2	0.5	1.1	0.2	0.9	6.9	4.9	100.0	
	女性	49	54	15	14	8	17	7	4	34	23	722	
	(%)	6.8	7.5	2.1	1.9	1.1	2.4	1.0	0.6	4.7	3.2	100.0	
	無回答	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	11	
	(%)	18.2	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
全体		85	81	26	33	11	23	8	9	73	51	1,301	
		(%)	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9	100.0

		問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう										(n)
		安否確認の声かけ	話し相手・相談相手	買い物	家事(料理・洗濯・掃除・ゴミ出しなど)	短時間の子どもの預かり	登下校時の見守り	保育園・幼稚園などへの送迎	通院の付き添い	パトロール(防犯など)	その他	
問2 男女別	男性	286	146	109	65	67	147	64	54	224	17	568
	(%)	50.4	25.7	19.2	11.4	11.8	25.9	11.3	9.5	39.4	3.0	100.0
	女性	364	240	186	108	124	169	88	98	150	26	722
	(%)	50.4	33.2	25.8	15.0	17.2	23.4	12.2	13.6	20.8	3.6	100.0
	無回答	4	3	4	1	2	4	2	3	3	0	11
	(%)	36.4	27.3	36.4	9.1	18.2	36.4	18.2	27.3	27.3	0.0	100.0
全体		654	389	299	174	193	320	154	155	377	43	1,301
		(%)	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.9	29.0	3.3	100.0

年齢区分で「(1) 現在やっている」ことをみると、「安否確認の声かけ」では年齢が上がるにつれ、回答の割合が高くなっている。

一方、「(2) 将来できそう」なことでは、「安否確認の声かけ」、「短時間の子どもの預かり」、「登下校の見守り」など多くの項目で、20歳から39歳の若い世代で「できそう」という回答の割合が高くなっているのが注目される。

図表 年齢区分別 手助けできること (問3×問13)



		問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている					
		安否確認の 声かけ	話し相手・相 談相手	買い物	家事(料理・ 洗濯・掃除・ ゴミ出しなど)	短時間の子 どもの預かり	登下校時の 見守り
問3 年齢区分	20-39歳	9	15	2	5	1	3
	(%)	3.6	6.1	0.8	2.0	0.4	1.2
	40-64歳	34	27	11	8	8	14
	(%)	6.3	5.0	2.0	1.5	1.5	2.6
	65-74歳	22	22	5	10	1	5
	(%)	7.1	7.1	1.6	3.2	0.3	1.6
	75歳以上	20	17	8	10	1	1
	(%)	9.7	8.2	3.9	4.8	0.5	0.5
無回答	0	0	0	0	0	0	
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
全体	85	81	26	33	11	23	
(%)	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	

保育園・幼稚園 などへの 送迎	通院の付き 添い	パトロール (防犯など)	その他	(n)
1	0	3	2	247
0.4	0.0	1.2	0.8	100.0
5	3	32	14	538
0.9	0.6	5.9	2.6	100.0
1	3	25	13	308
0.3	1.0	8.1	4.2	100.0
1	3	13	22	207
0.5	1.4	6.3	10.6	100.0
0	0	0	0	1
0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
8	9	73	51	1,301
0.6	0.7	5.6	3.9	100.0

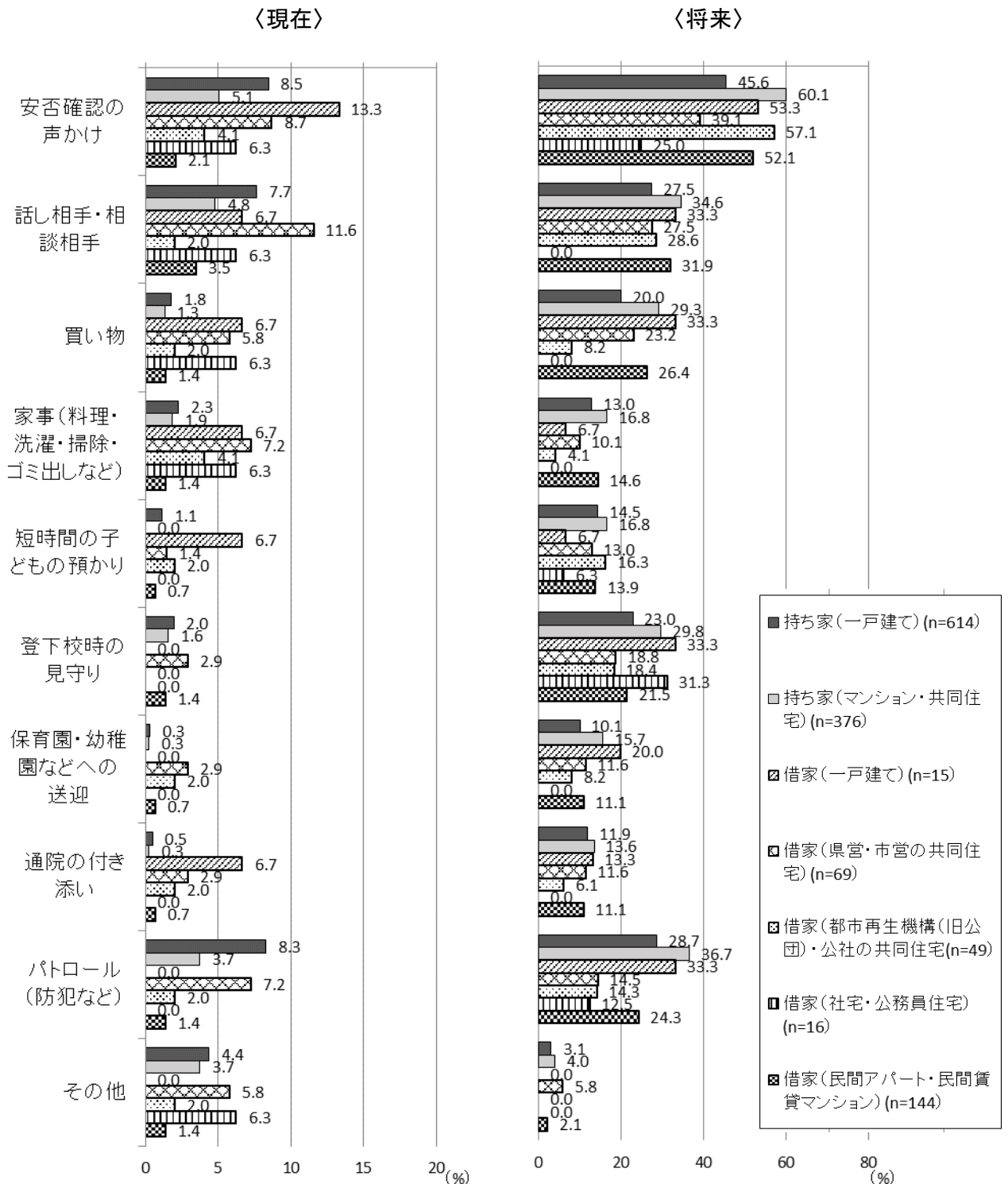
		問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう					
		安否確認の 声かけ	話し相手・相 談相手	買い物	家事(料理・ 洗濯・掃除・ ゴミ出しなど)	短時間の子 どもの預かり	登下校時の 見守り
問3 年齢区分	20-39歳	148	81	67	33	66	82
	(%)	59.9	32.8	27.1	13.4	26.7	33.2
	40-64歳	310	183	162	92	88	156
	(%)	57.6	34.0	30.1	17.1	16.4	29.0
	65-74歳	141	88	55	41	33	67
	(%)	45.8	28.6	17.9	13.3	10.7	21.8
	75歳以上	54	36	14	8	6	15
	(%)	26.1	17.4	6.8	3.9	2.9	7.2
無回答	1	1	1	0	0	0	
(%)	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
全体	654	389	299	174	193	320	
(%)	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	

保育園・幼稚園 などへの 送迎	通院の付き 添い	パトロール (防犯など)	その他	(n)
43	40	85	9	247
17.4	16.2	34.4	3.6	100.0
73	81	190	18	538
13.6	15.1	35.3	3.3	100.0
35	26	89	9	308
11.4	8.4	28.9	2.9	100.0
3	7	13	7	207
1.4	3.4	6.3	3.4	100.0
0	1	0	0	1
0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
154	155	377	43	1,301
11.8	11.9	29.0	3.3	100.0

居住形態別に見ると、持家以外では回答数が少なく、一概には比較できないが、「(1) 現在やっている」ことでは、「安否確認の声かけ」で最も高いのは「借家(一戸建て)」の13.3%、「話し相手・相談相手」は「借家(県営・市営の共同住宅)」11.6%など、戸建て借家や公営住宅で回答の割合が高いものが多い。

一方、「(2) 将来できそう」なことに関しては、民間賃貸アパート・マンションを含め、居住形態に寄る差はあまり出ていない。

図表 居住形態別 手助けできること (問5×問13)



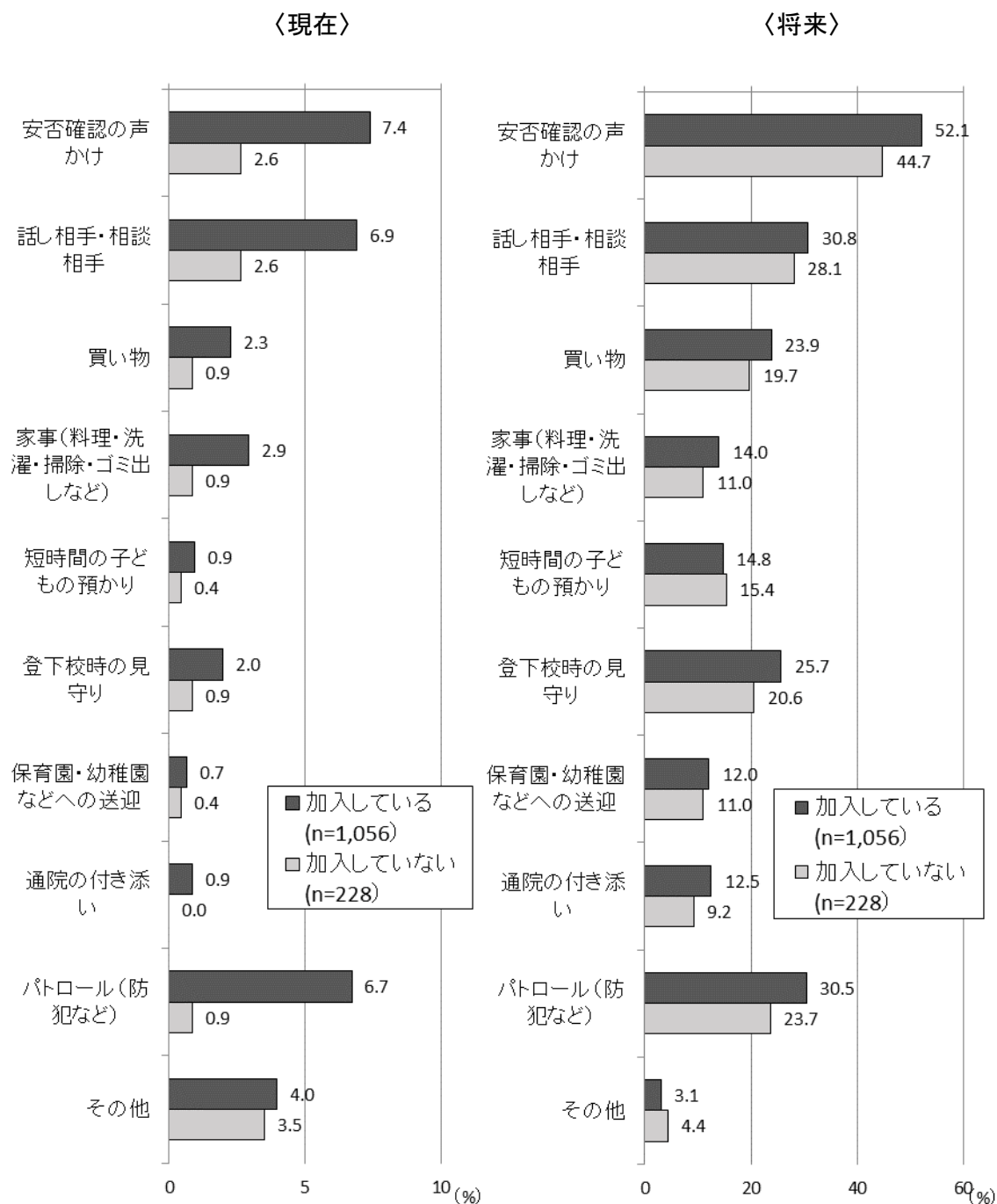
		問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1)現在やっている										(n)
		安否確認の 声かけ	話し相手・相 談相手	買い物	家事(料理・ 洗濯・掃除・ ゴミ出しなど)	短時間の子 どもの預かり	登下校時の 見守り	保育園・幼稚 園などへの 送迎	通院の付き 添い	パトロール (防犯など)	その他	
問5 居住形態	持ち家(一戸建て)	52	47	11	14	7	12	2	3	51	27	614
	(%)	8.5	7.7	1.8	2.3	1.1	2.0	0.3	0.5	8.3	4.4	100.0
	持ち家(マンション・共同住宅)	19	18	5	7	0	6	1	1	14	14	376
	(%)	5.1	4.8	1.3	1.9	0.0	1.6	0.3	0.3	3.7	3.7	100.0
	借家(一戸建て)	2	1	1	1	1	0	0	1	0	0	15
	(%)	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	100.0
	借家(県営・市営の共同住宅)	6	8	4	5	1	2	2	2	5	4	69
	(%)	8.7	11.6	5.8	7.2	1.4	2.9	2.9	2.9	7.2	5.8	100.0
	借家(都市再生機構(旧公団)・ 公社の共同住宅)	2	1	1	2	1	0	1	1	1	1	49
	(%)	4.1	2.0	2.0	4.1	2.0	0.0	2.0	2.0	2.0	2.0	100.0
	借家(社宅・公務員住宅)	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	16
	(%)	6.3	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	100.0
	借家(民間アパート・ 民間賃貸マンション)	3	5	2	2	1	2	1	1	2	2	144
	(%)	2.1	3.5	1.4	1.4	0.7	1.4	0.7	0.7	1.4	1.4	100.0
	その他	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	15
(%)	0.0	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7	0.0	0.0	13.3	100.0	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
全 体	85	81	26	33	11	23	8	9	73	51	1,301	
(%)	6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8	0.6	0.7	5.6	3.9	100.0	

		問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2)将来(頼まれたら)できそう										(n)
		安否確認の 声かけ	話し相手・相 談相手	買い物	家事(料理・ 洗濯・掃除・ ゴミ出しなど)	短時間の子 どもの預かり	登下校時の 見守り	保育園・幼稚 園などへの 送迎	通院の付き 添い	パトロール (防犯など)	その他	
問5 居住形態	持ち家(一戸建て)	280	169	123	80	89	141	62	73	176	19	614
	(%)	45.6	27.5	20.0	13.0	14.5	23.0	10.1	11.9	28.7	3.1	100.0
	持ち家(マンション・共同住宅)	226	130	110	63	63	112	59	51	138	15	376
	(%)	60.1	34.6	29.3	16.8	16.8	29.8	15.7	13.6	36.7	4.0	100.0
	借家(一戸建て)	8	5	5	1	1	5	3	2	5	0	15
	(%)	53.3	33.3	33.3	6.7	6.7	33.3	20.0	13.3	33.3	0.0	100.0
	借家(県営・市営の共同住宅)	27	19	16	7	9	13	8	8	10	4	69
	(%)	39.1	27.5	23.2	10.1	13.0	18.8	11.6	11.6	14.5	5.8	100.0
	借家(都市再生機構(旧公団)・ 公社の共同住宅)	28	14	4	2	8	9	4	3	7	0	49
	(%)	57.1	28.6	8.2	4.1	16.3	18.4	8.2	6.1	14.3	0.0	100.0
	借家(社宅・公務員住宅)	4	0	0	0	1	5	0	0	2	0	16
	(%)	25.0	0.0	0.0	0.0	6.3	31.3	0.0	0.0	12.5	0.0	100.0
	借家(民間アパート・ 民間賃貸マンション)	75	46	38	21	20	31	16	16	35	3	144
	(%)	52.1	31.9	26.4	14.6	13.9	21.5	11.1	11.1	24.3	2.1	100.0
	その他	3	3	1	0	1	2	1	1	3	2	15
(%)	20.0	20.0	6.7	0.0	6.7	13.3	6.7	6.7	20.0	13.3	100.0	
無回答	3	3	2	0	1	2	1	1	1	0	3	
(%)	100.0	100.0	66.7	0.0	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	100.0	
全 体	654	389	299	174	193	320	154	155	377	43	1,301	
(%)	50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6	11.8	11.9	29.0	3.3	100.0	

自治会加入状況別にみると、「(1) 現在やっている」ことは、各項目とも自治会に「加入している」人の方が、「加入していない」人よりも現在やっているという回答の割合が高い。

同じく「(2) 将来できそう」なことについても、同様の傾向であった。

図表 自治会加入状況別 手助けできること (問10×問13)



		問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(1) 現在やっている					
		安否確認の 声かけ	話し相手・相 談相手	買い物	家事(料理・ 洗濯・掃除・ ゴミ出しなど)	短時間の子 どもの預かり	登下校時の 見守り
問10 自治会加入状況	加入している	78	73	24	31	10	21
	(%)	7.4	6.9	2.3	2.9	0.9	2.0
	加入していない	6	6	2	2	1	2
	(%)	2.6	2.6	0.9	0.9	0.4	0.9
	無回答	1	2	0	0	0	0
	(%)	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0
全体		85	81	26	33	11	23
(%)		6.5	6.2	2.0	2.5	0.8	1.8

保育園・幼稚 園などへの 送迎	通院の付き 添い	パトロール (防犯など)	その他	(n)
				7
0.7	0.9	6.7	4.0	100.0
1	0	2	8	228
0.4	0.0	0.9	3.5	100.0
0	0	0	1	17
0.0	0.0	0.0	5.9	100.0
8	9	73	51	1,301
0.6	0.7	5.6	3.9	100.0

		問13【隣近所で困っている方の手助けや見守り】(2) 将来(頼まれたら)できそう					
		安否確認の 声かけ	話し相手・相 談相手	買い物	家事(料理・ 洗濯・掃除・ ゴミ出しなど)	短時間の子 どもの預かり	登下校時の 見守り
問10 自治会加入状況	加入している	550	325	252	148	156	271
	(%)	52.1	30.8	23.9	14.0	14.8	25.7
	加入していない	102	64	45	25	35	47
	(%)	44.7	28.1	19.7	11.0	15.4	20.6
	無回答	2	0	2	1	2	2
	(%)	11.8	0.0	11.8	5.9	11.8	11.8
全体		654	389	299	174	193	320
(%)		50.3	29.9	23.0	13.4	14.8	24.6

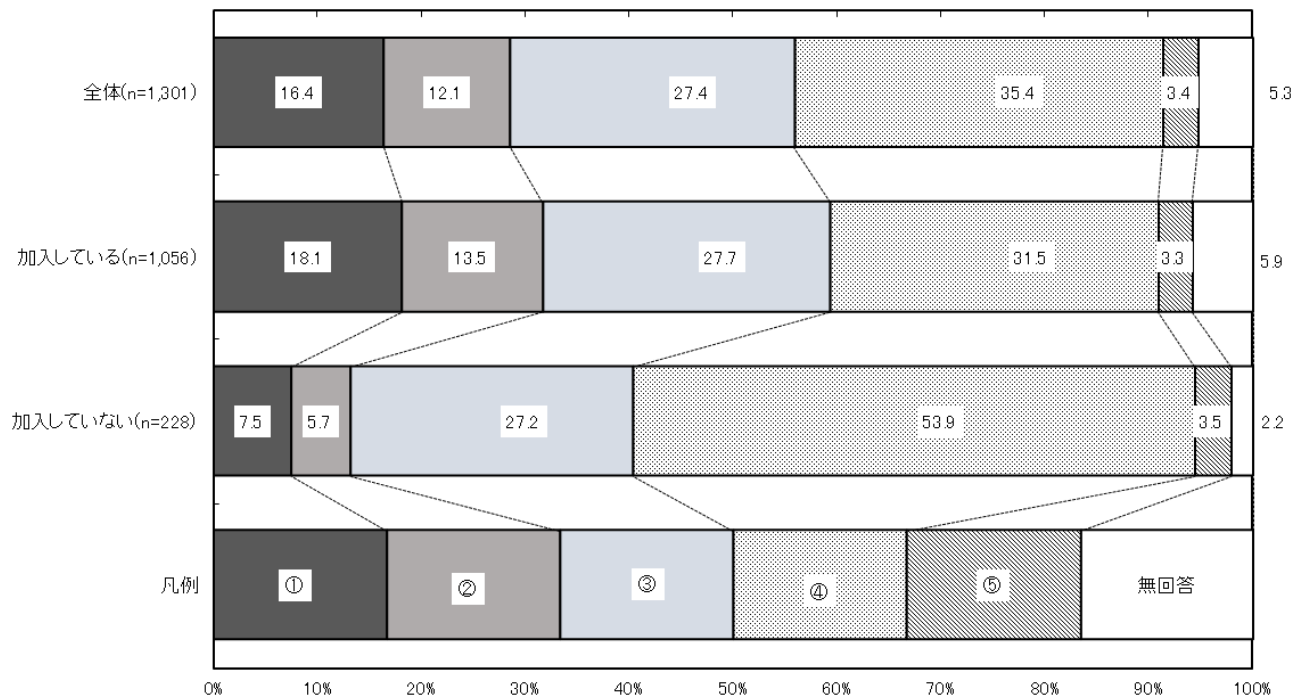
保育園・幼稚 園などへの 送迎	通院の付き 添い	パトロール (防犯など)	その他	(n)
				127
12.0	12.5	30.5	3.1	100.0
25	21	54	10	228
11.0	9.2	23.7	4.4	100.0
2	2	1	0	17
11.8	11.8	5.9	0.0	100.0
154	155	377	43	1,301
11.8	11.9	29.0	3.3	100.0

問15 ボランティア活動の参加機会

ボランティア活動の参加機会と参加の状況を、自治会加入状況別にみると、自治会に「加入している」人の方が、「機会があり、参加している」が、「加入していない」人より高くなっている（加入している18.1%、加入していない7.5%）

また、「加入している」人は、参加の状況に関わらず、参加の機会があるという回答の割合が高く、自治会に加入することによって参加の機会が得られることが分かる。

図表 自治会加入状況別 ボランティア活動の参加機会（問10×問15）



- ① ■機会があり、参加している
- ② □機会はあるが、参加したことはない
- ③ □機会はないが、いずれ参加したいと思っている
- ④ □機会はなく、今のところ参加したいと思っていない
- ⑤ ■その他
- 無回答

		問15【ボランティア活動や介護予防・健康づくり活動に参加する機会】				
		機会があり、参加している(または参加したことがある)	機会はあるが、参加したことはない	機会はないが、いずれ参加したいと思っている	機会はなく、今のところ参加したいと思っていない	
問10 自治会 加入状況	加入している	191	143	292	333	
	(%)	18.1	13.5	27.7	31.5	
	加入していない	17	13	62	123	
	(%)	7.5	5.7	27.2	53.9	
	無回答	5	2	2	5	
	(%)	29.4	11.8	11.8	29.4	
全体		213	158	356	461	
		(%)	16.4	12.1	27.4	35.4

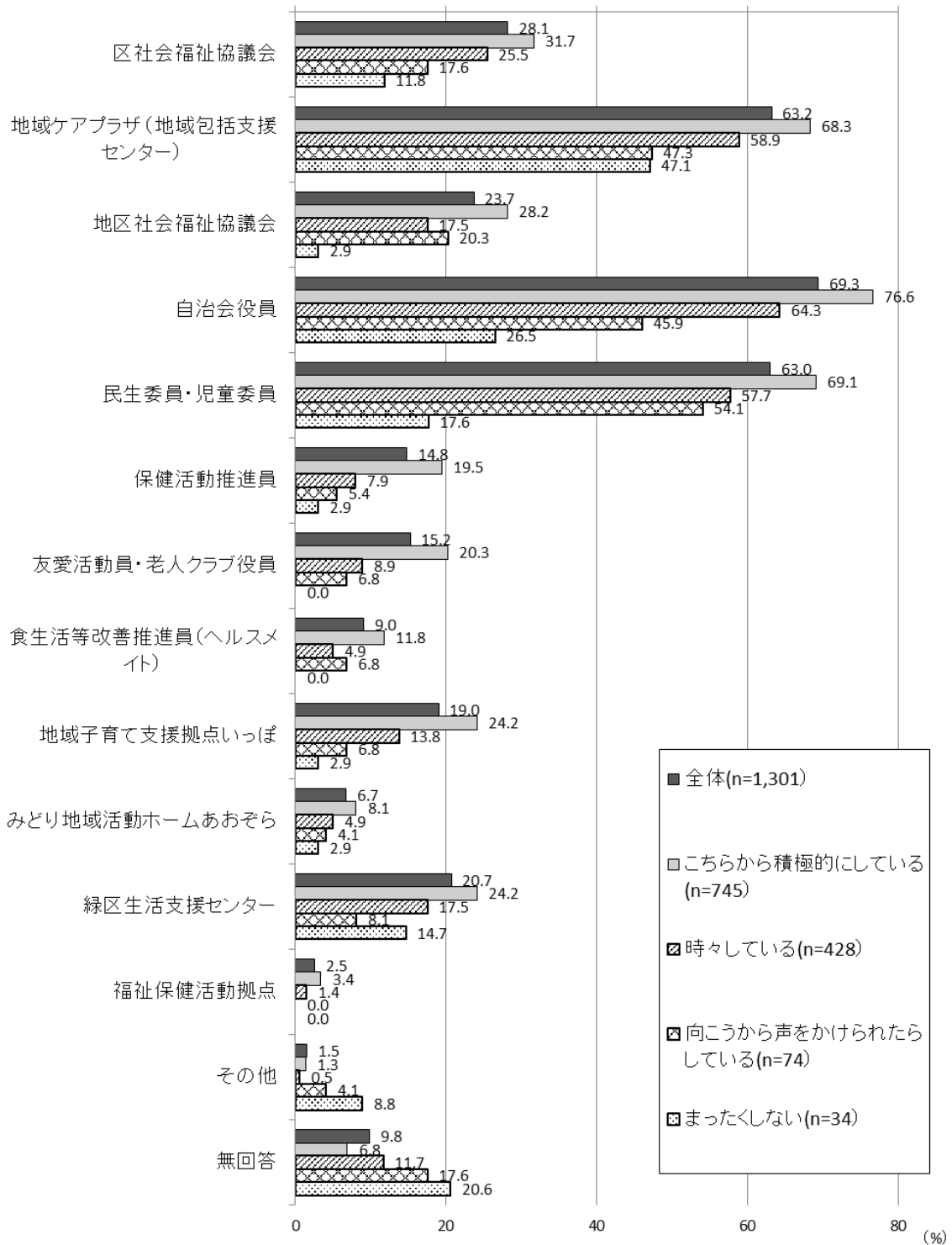
その他	無回答	(n)
3.3	5.9	100.0
8	5	228
3.5	2.2	100.0
1	2	17
5.9	11.8	100.0
44	69	1,301
3.4	5.3	100.0

(2) 福祉保健に関する情報について

問 17 地域の福祉保健に関する施設・団体・委員として知っているもの

地域の福祉保健に関する施設・団体・委員として知っているものを、あいさつ・声かけの状況でみると、あいさつ・声かけを「こちらから積極的にしている」人は、「その他」以外の各項目で、知っている割合が高くなっている。

図表 あいさつ・声かけ別 福祉保健に関して知っているもの（問9×問17）

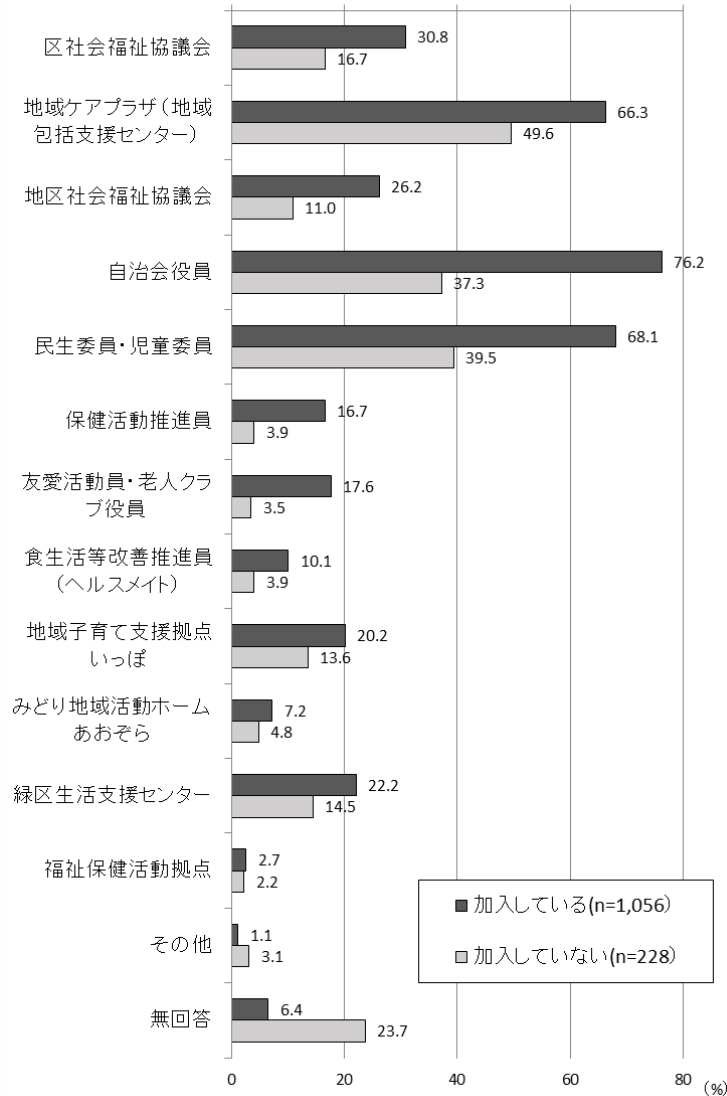


		問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】							
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ (地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員 (ヘルスマイト)
問9 あいさつ・声かけ	こちらから積極的にしている	236	509	210	571	515	145	151	88
	(%)	31.7	68.3	28.2	76.6	69.1	19.5	20.3	11.8
	時々している	109	252	75	275	247	34	38	21
	(%)	25.5	58.9	17.5	64.3	57.7	7.9	8.9	4.9
	向こうから声をかけられたらしている	13	35	15	34	40	4	5	5
	(%)	17.6	47.3	20.3	45.9	54.1	5.4	6.8	6.8
	まったくしない	4	16	1	9	6	1	0	0
	(%)	11.8	47.1	2.9	26.5	17.6	2.9	0.0	0.0
	無回答	4	10	7	13	11	8	4	3
(%)	20.0	50.0	35.0	65.0	55.0	40.0	20.0	15.0	
全体	366	822	308	902	819	192	198	117	
(%)	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0	

		地域子育て支援拠点 いっぽ	みどり地域活動 ホームあおぞら	緑区生活支援 センター	福祉保健活動 拠点	その他	無回答	(n)
		こちらから積極的にしている	180	60	180	25	10	51
(%)	24.2	8.1	24.2	3.4	1.3	6.8	100.0	
時々している	59	21	75	6	2	50	428	
(%)	13.8	4.9	17.5	1.4	0.5	11.7	100.0	
向こうから声をかけられたらしている	5	3	6	0	3	13	74	
(%)	6.8	4.1	8.1	0.0	4.1	17.6	100.0	
まったくしない	1	1	5	0	3	7	34	
(%)	2.9	2.9	14.7	0.0	8.8	20.6	100.0	
無回答	2	2	3	2	1	6	20	
(%)	10.0	10.0	15.0	10.0	5.0	30.0	100.0	
全体	247	87	269	33	19	127	1,301	
(%)	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8	100.0	

自治会加入状況でみると、自治会に「加入している」人の方が、「加入していない」人に比べ、各項目について知っている割合が高い。

図表 自治会加入状況別 福祉保健に関して知っているもの（問10×問17）

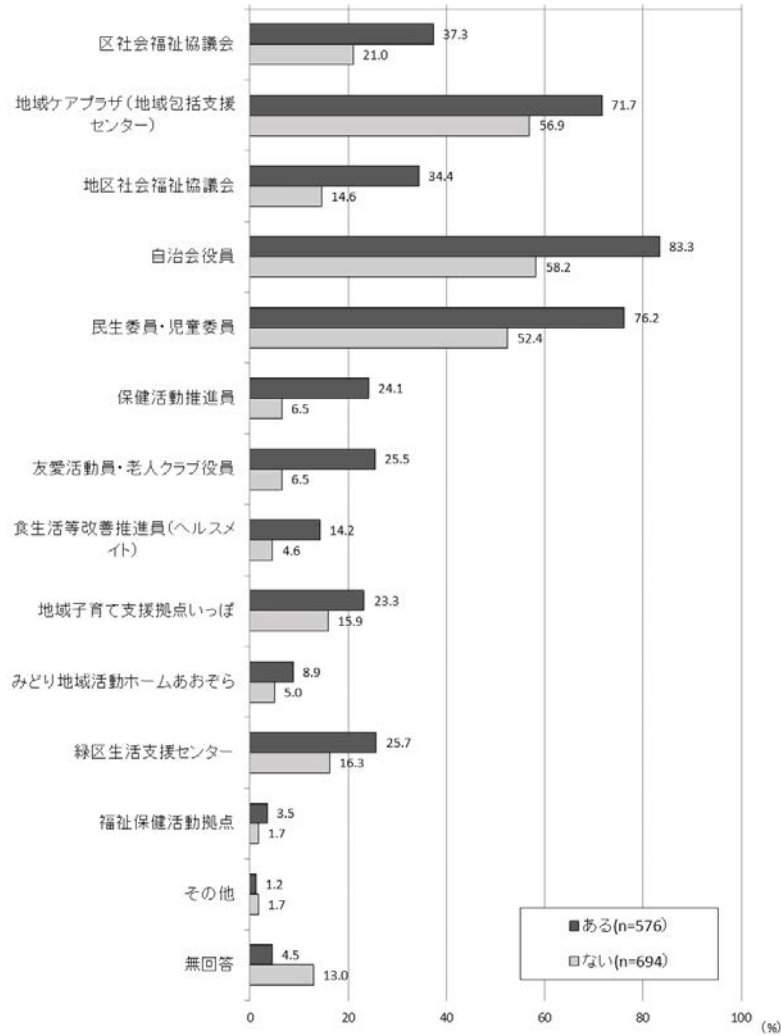


		問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】							
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスマイト)
問10 自治会加入状況	加入している	325	700	277	805	719	176	186	107
	(%)	30.8	66.3	26.2	76.2	68.1	16.7	17.6	10.1
	加入していない	38	113	25	85	90	9	8	9
	(%)	16.7	49.6	11.0	37.3	39.5	3.9	3.5	3.9
	無回答	3	9	6	12	10	7	4	1
(%)	17.6	52.9	35.3	70.6	58.8	41.2	23.5	5.9	
全体		366	822	308	902	819	192	198	117
(%)		28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0

		問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】						(n)
		地域子育て支援拠点いっぱい	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答	
問10 自治会加入状況	加入している	213	76	234	28	12	68	1056
	(%)	20.2	7.2	22.2	2.7	1.1	6.4	100.0
	加入していない	31	11	33	5	7	54	228
	(%)	13.6	4.8	14.5	2.2	3.1	23.7	100.0
	無回答	3	0	2	0	0	5	17
(%)	17.6	0.0	11.8	0.0	0.0	29.4	100.0	
全体		247	87	269	33	19	127	1,301
(%)		19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8	100.0

地域での助け合いの参加経験では、助け合いの経験の「ある」人の方が、「ない」人に比べ、各項目について知っている割合が高い。

図表 地域での助け合いの参加経験別 福祉保健に関して知っているもの（問11×問17）

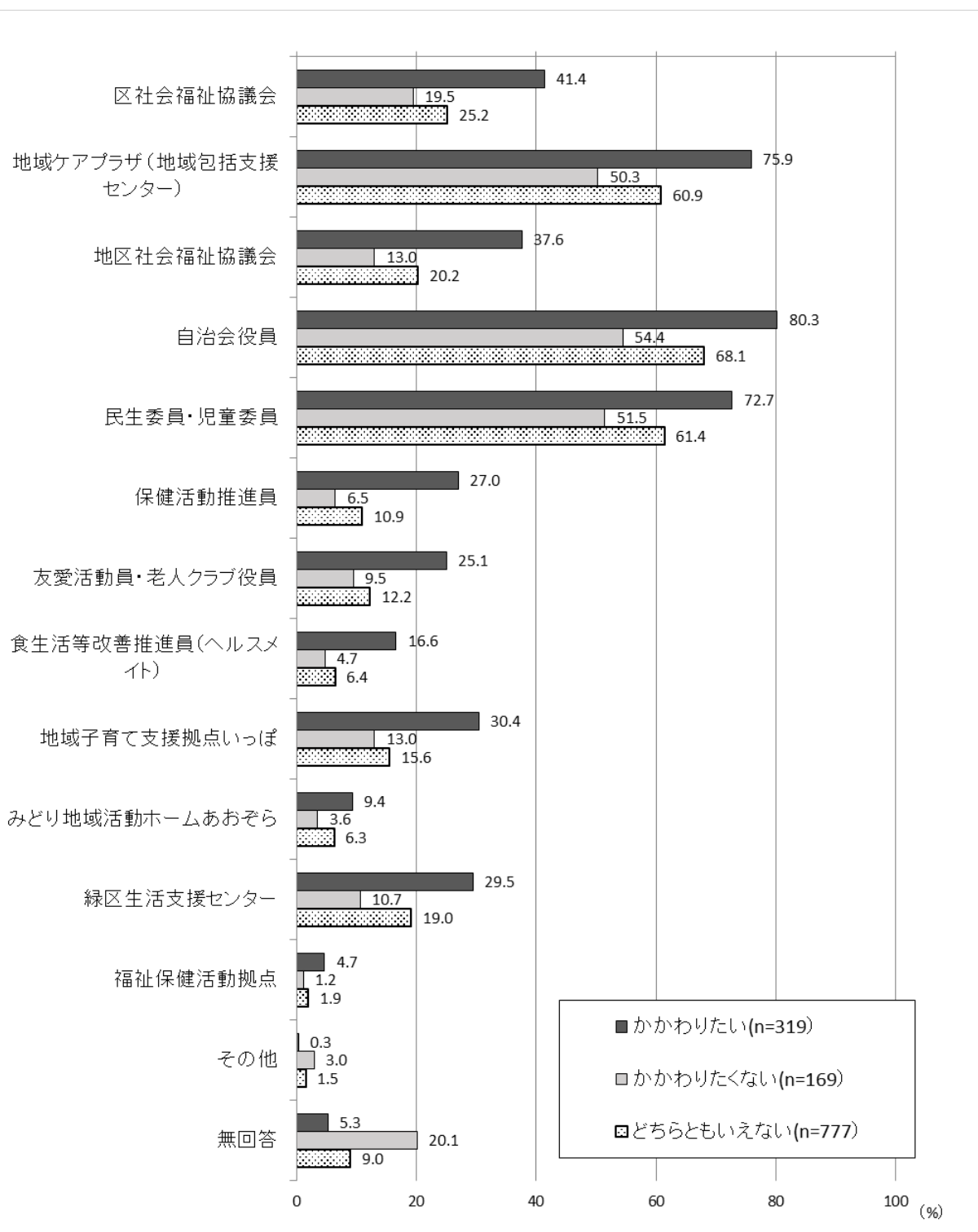


		問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】							
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ(地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスマイト)
問11 地域での助け合いの参加経験	ある	215	413	198	480	439	139	147	82
	(%)	37.3	71.7	34.4	83.3	76.2	24.1	25.5	14.2
	ない	146	395	101	404	364	45	45	32
	(%)	21.0	56.9	14.6	58.2	52.4	6.5	6.5	4.6
	無回答	5	14	9	18	16	8	6	3
	(%)	16.1	45.2	29.0	58.1	51.6	25.8	19.4	9.7
全体		366	822	308	902	819	192	198	117
	(%)	28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0

		問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】						(n)
		地域子育て支援拠点いっば	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答	
問11 地域での助け合いの参加経験	ある	134	51	148	20	7	26	576
	(%)	23.3	8.9	25.7	3.5	1.2	4.5	100.0
	ない	110	35	113	12	12	90	694
	(%)	15.9	5.0	16.3	1.7	1.7	13.0	100.0
	無回答	3	1	8	1	0	11	31
	(%)	9.7	3.2	25.8	3.2	0.0	35.5	100.0
全体		247	87	269	33	19	127	1,301
	(%)	19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8	100.0

地域活動への参加意向でみると、地域の活動に「かかわりたい」人の方が、「かかわりたくない」人に比べ、各項目について知っている割合が高い。

図表 地域活動への参加意向別 福祉保健に関して知っているもの（問12×問17）



		問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】							
		区社会福祉協議会	地域ケアプラザ (地域包括支援センター)	地区社会福祉協議会	自治会役員	民生委員・児童委員	保健活動推進員	友愛活動員・老人クラブ役員	食生活等改善推進員(ヘルスメイト)
問12 地域活動への参加意向	かかわりたい	132	242	120	256	232	86	80	53
	(%)	41.4	75.9	37.6	80.3	72.7	27.0	25.1	16.6
	かかわりたくない	33	85	22	92	87	11	16	8
	(%)	19.5	50.3	13.0	54.4	51.5	6.5	9.5	4.7
	どちらともいえない	196	473	157	529	477	85	95	50
	(%)	25.2	60.9	20.2	68.1	61.4	10.9	12.2	6.4
	無回答	5	22	9	25	23	10	7	6
(%)	13.9	61.1	25.0	69.4	63.9	27.8	19.4	16.7	
全体		366	822	308	902	819	192	198	117
(%)		28.1	63.2	23.7	69.3	63.0	14.8	15.2	9.0

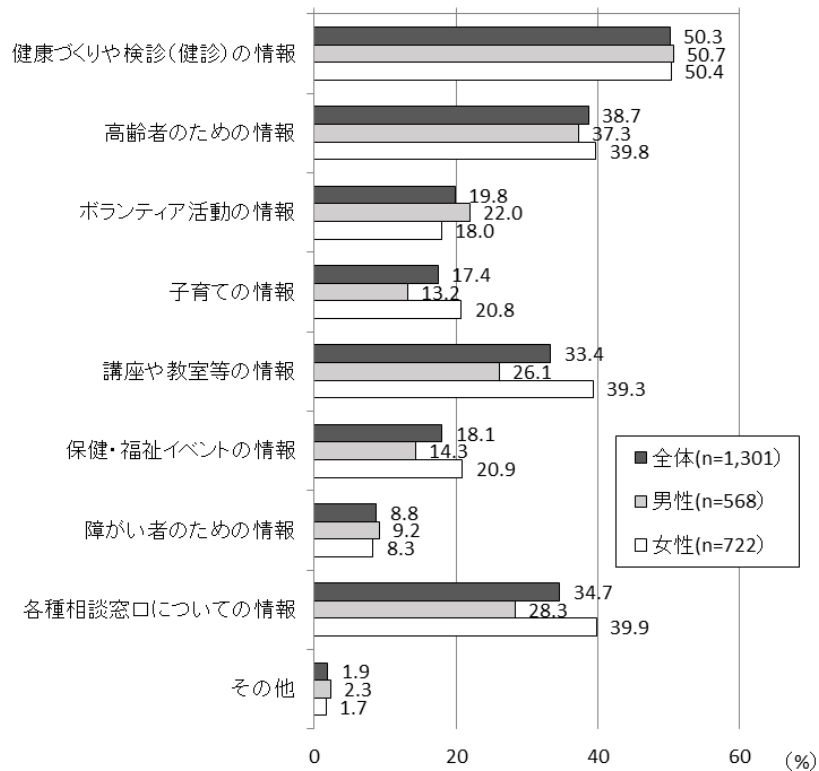
		問17【地域の福祉保健に関する施設・団体・委員の認知】							(n)
		地域子育て支援拠点いっぽ	みどり地域活動ホームあおぞら	緑区生活支援センター	福祉保健活動拠点	その他	無回答		
問12 地域活動への参加意向	かかわりたい	97	30	94	15	1	17	319	
	(%)	30.4	9.4	29.5	4.7	0.3	5.3	100.0	
	かかわりたくない	22	6	18	2	5	34	169	
	(%)	13.0	3.6	10.7	1.2	3.0	20.1	100.0	
	どちらともいえない	121	49	148	15	12	70	777	
	(%)	15.6	6.3	19.0	1.9	1.5	9.0	100.0	
	無回答	7	2	9	1	1	6	36	
(%)	19.4	5.6	25.0	2.8	2.8	16.7	100.0		
全体		247	87	269	33	19	127	1,301	
(%)		19.0	6.7	20.7	2.5	1.5	9.8	100.0	

問 18 知りたいと思う地域の福祉保健情報

知りたいと思う地域の福祉保健情報について、男女別にみると、男女ともに最も割合の高い「健康づくりや検診（健診）の情報」は男女差が小さい。（男性 50.7%、女性 50.4%）

女性の方が回答の割合が高い項目が多く、中でも、「講座や教室等の情報」、「各種相談窓口についての情報」、「子育ての情報」、「保健・福祉イベントの情報」などで差が大きかった。

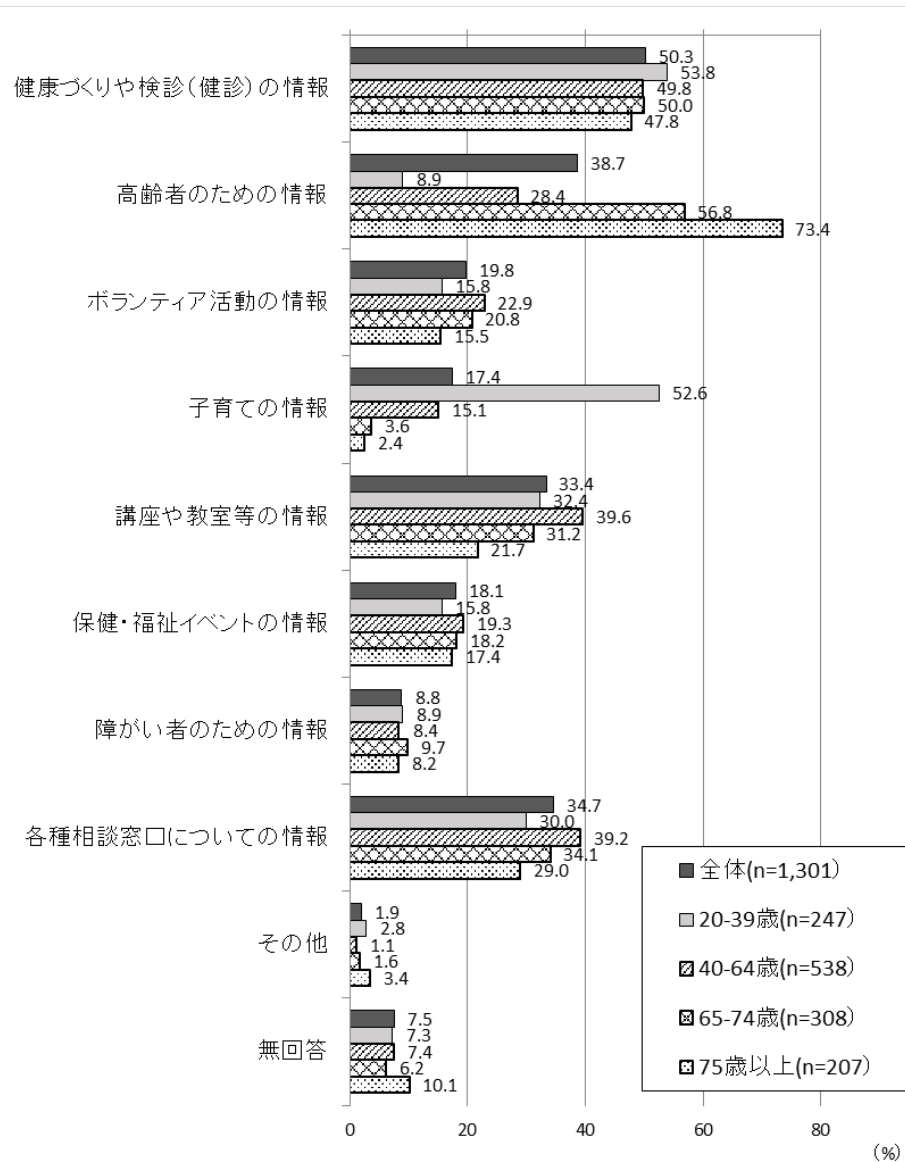
図表 男女別 知りたいと思う福祉保健情報（問2×問18）



		問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】										
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答	(n)
問2 男女別	男性	288	212	125	75	148	81	52	161	13	51	568
	(%)	50.7	37.3	22.0	13.2	26.1	14.3	9.2	28.3	2.3	9.0	100.0
	女性	364	287	130	150	284	151	60	288	12	45	722
	(%)	50.4	39.8	18.0	20.8	39.3	20.9	8.3	39.9	1.7	6.2	100.0
	無回答	2	4	3	2	2	2	3	2	2	0	2
	(%)	18.2	36.4	27.3	18.2	18.2	27.3	18.2	18.2	0.0	18.2	100.0
	全体	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98	1,301
	(%)	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5	100.0

年齢区分で見ると、「75歳以上」や「65～74歳」で「高齢者のための情報」が最も高くなっている。一方、「20～39歳」では、「子育ての情報」が高くなっている。「健康づくりや検診（健診）の情報」は、年齢による差があまりなく、いずれの年齢層でも回答の割合が高くなっている。

図表 年齢別 知りたいと思う福祉保健情報（問3×問18）

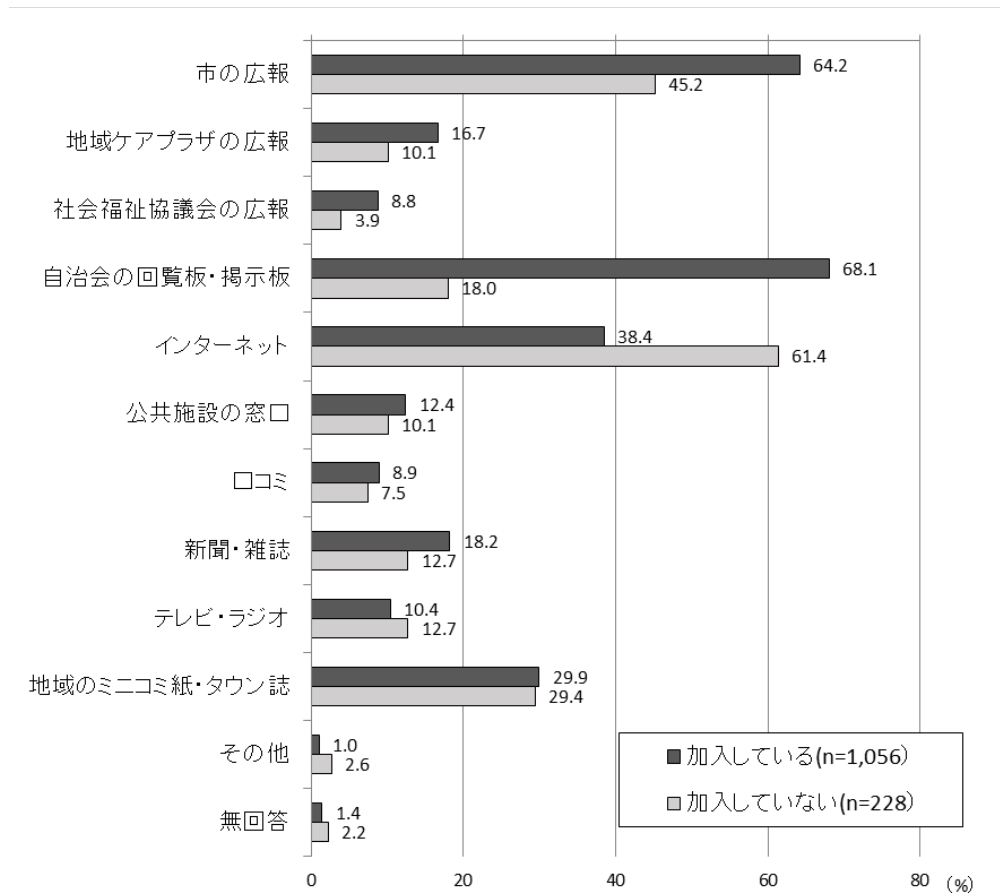


		問18【知りたいと思う地域の保健福祉に関する情報】										(n)
		健康づくりや検診(健診)の情報	高齢者のための情報	ボランティア活動の情報	子育ての情報	講座や教室等の情報	保健・福祉イベントの情報	障がい者のための情報	各種相談窓口についての情報	その他	無回答	
問3 年齢区分	20-39歳	133	22	39	130	80	39	22	74	7	18	247
	(%)	53.8	8.9	15.8	52.6	32.4	15.8	8.9	30.0	2.8	7.3	100.0
	40-64歳	268	153	123	81	213	104	45	211	6	40	538
	(%)	49.8	28.4	22.9	15.1	39.6	19.3	8.4	39.2	1.1	7.4	100.0
	65-74歳	154	175	64	11	96	56	30	105	5	19	308
	(%)	50.0	56.8	20.8	3.6	31.2	18.2	9.7	34.1	1.6	6.2	100.0
	75歳以上	99	152	32	5	45	36	17	60	7	21	207
(%)	47.8	73.4	15.5	2.4	21.7	17.4	8.2	29.0	3.4	10.1	100.0	
無回答	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	
全体	654	503	258	227	434	235	114	451	25	98	1,301	
(%)	50.3	38.7	19.8	17.4	33.4	18.1	8.8	34.7	1.9	7.5	100.0	

問19 地域の福祉保健に関する情報の取得手段

自治会加入状況で情報の取得手段をみると、自治会に「加入している」人では「自治会の回覧板・掲示板」(68.1%)や「市の広報」(64.2%)が多く、一方、自治会に「加入していない」人では、「インターネット」(61.4%)が最も高くなっている。「自治会の掲示板・回覧」で、加入者・非加入者の差が特に大きい。「ミニコミ紙・タウン誌」は同程度であった。

図表 自治会加入状況別 福祉保健情報の取得手段 (問10×問19)

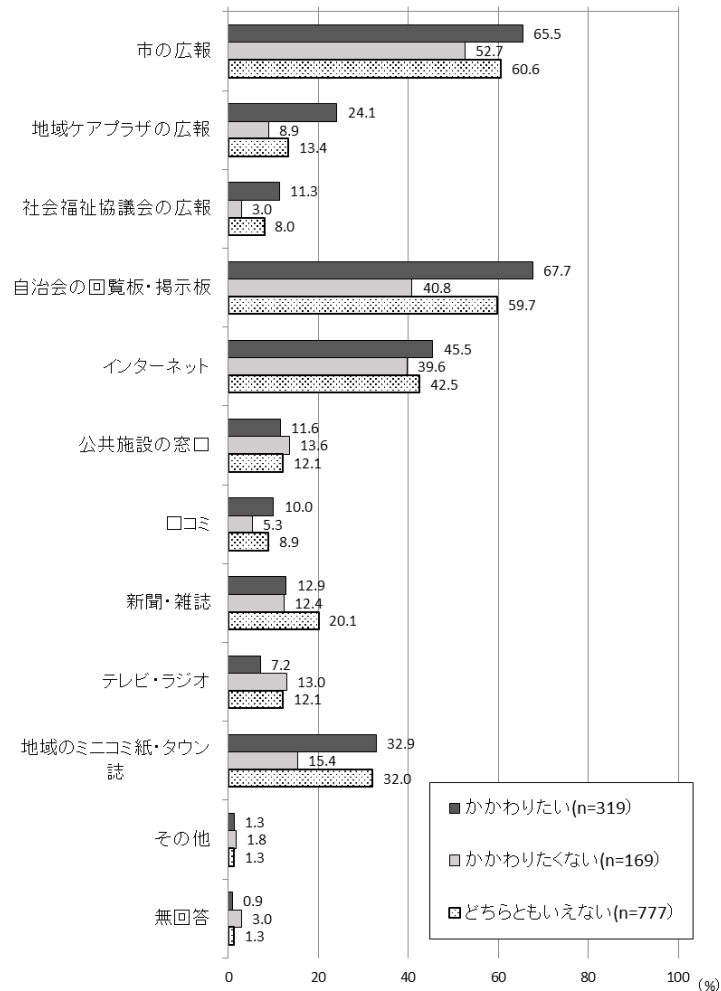


		問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】						
		市の広報	地域ケアプラザの広報	社会福祉協議会の広報	自治会の回覧板・掲示板	インターネット	公共施設の窓口	□コミ
問10 自治会加入状況	加入している	678	176	93	719	406	131	94
	(%)	64.2	16.7	8.8	68.1	38.4	12.4	8.9
	加入していない	103	23	9	41	140	23	17
	(%)	45.2	10.1	3.9	18.0	61.4	10.1	7.5
	無回答	10	2	2	12	3	5	2
(%)	58.8	11.8	11.8	70.6	17.6	29.4	11.8	
全体		791	201	104	772	549	159	113
(%)		60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	8.7

		問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】					(n)
		新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・タウン誌	その他	無回答	
問10 自治会加入状況	加入している	192	110	316	11	15	1,056
	(%)	18.2	10.4	29.9	1.0	1.4	100.0
	加入していない	29	29	67	6	5	228
	(%)	12.7	12.7	29.4	2.6	2.2	100.0
	無回答	4	5	7	0	2	17
(%)	23.5	29.4	41.2	0.0	11.8	100.0	
全体		225	144	390	17	22	1,301
(%)		17.3	11.1	30.0	1.3	1.7	100.0

地域活動の参加意向でみると、「かかわりたい」人では、「自治会の掲示板・回覧」(67.7%)が最も高く、「自治会の掲示板・回覧」では、「かかわりたくない」人との差が大きい

図表 地域活動への参加意向別 福祉保健情報の取得手段 (問12×問19)



		問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】					
		市の広報	地域ケアプラザの 広報	社会福祉 協議会の広報	自治会の回覧板・ 掲示板	インターネット	公共施設の窓口
問12 地域活動への 参加意向	かかわりたい	209	77	36	216	145	37
	(%)	65.5	24.1	11.3	67.7	45.5	11.6
	かかわりたくない	89	15	5	69	67	23
	(%)	52.7	8.9	3.0	40.8	39.6	13.6
	どちらともいえない	471	104	62	464	330	94
	(%)	60.6	13.4	8.0	59.7	42.5	12.1
無回答	22	5	1	23	7	5	
(%)	61.1	13.9	2.8	63.9	19.4	13.9	
全体	791	201	104	772	549	159	
(%)	60.8	15.4	8.0	59.3	42.2	12.2	

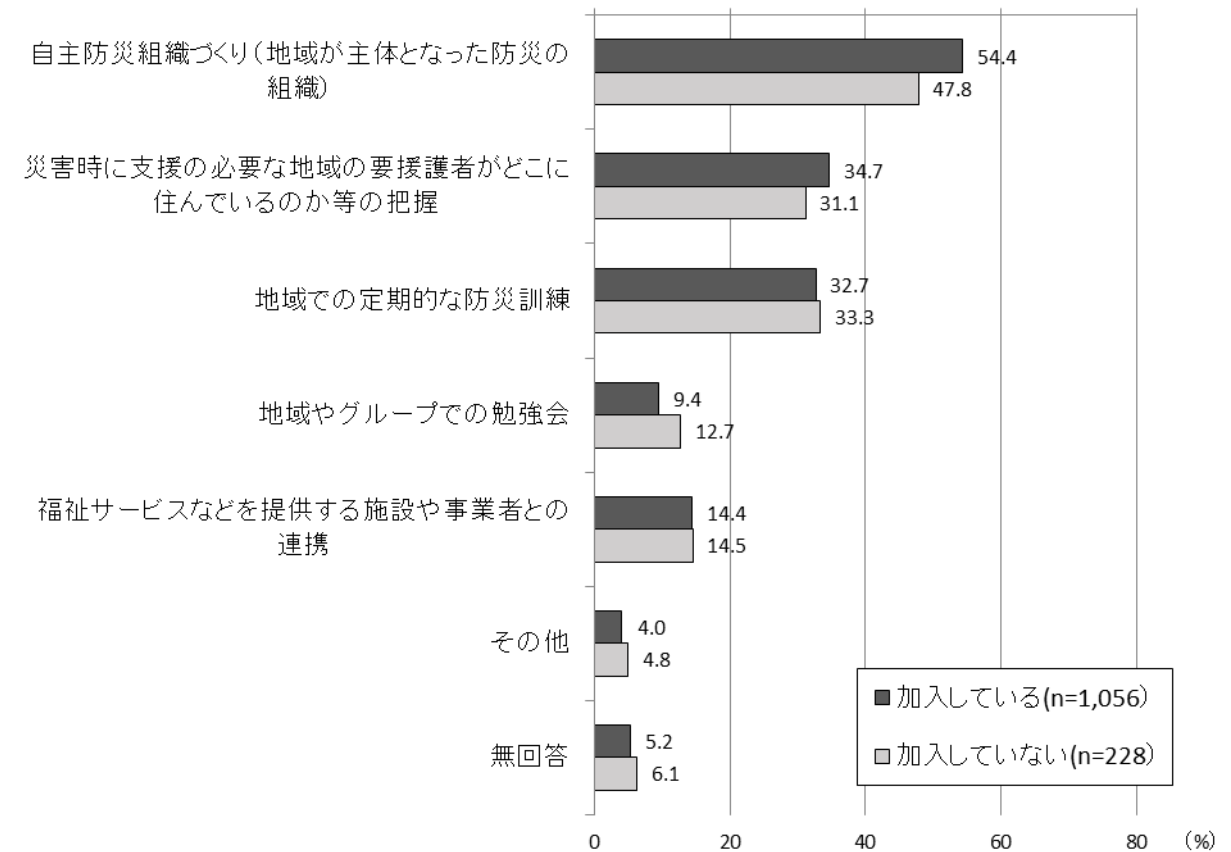
		問19【地域の福祉保健に関する情報を知りたいとき、入手しやすい方法】						(n)
		ロコミ	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	地域のミニコミ紙・ タウン誌	その他	無回答	
問12 地域活動への 参加意向	かかわりたい	32	41	23	105	4	3	319
	(%)	10.0	12.9	7.2	32.9	1.3	0.9	100.0
	かかわりたくない	9	21	22	26	3	5	169
	(%)	5.3	12.4	13.0	15.4	1.8	3.0	100.0
	どちらともいえない	69	156	94	249	10	10	777
	(%)	8.9	20.1	12.1	32.0	1.3	1.3	100.0
無回答	3	7	5	10	0	4	36	
(%)	8.3	19.4	13.9	27.8	0.0	11.1	100.0	
全体	113	225	144	390	17	22	1,301	
(%)	8.7	17.3	11.1	30.0	1.3	1.7	100.0	

(3) 安全・安心

問22 「災害時に住民が支えあう地域づくり」に必要な取組

自治会加入状況別で、防災に必要なと思う取組をみると、自治会に「加入している」人は、自主防災組織づくりや要援護者の把握について必要性が高いと回答した割合が、「加入していない」人より若干高い。差は小さく、自治会加入状況に関わらず、防災についての意識は持っていると思われる。

図表 自治会加入状況別 防災に必要な取組 (問10×問22)



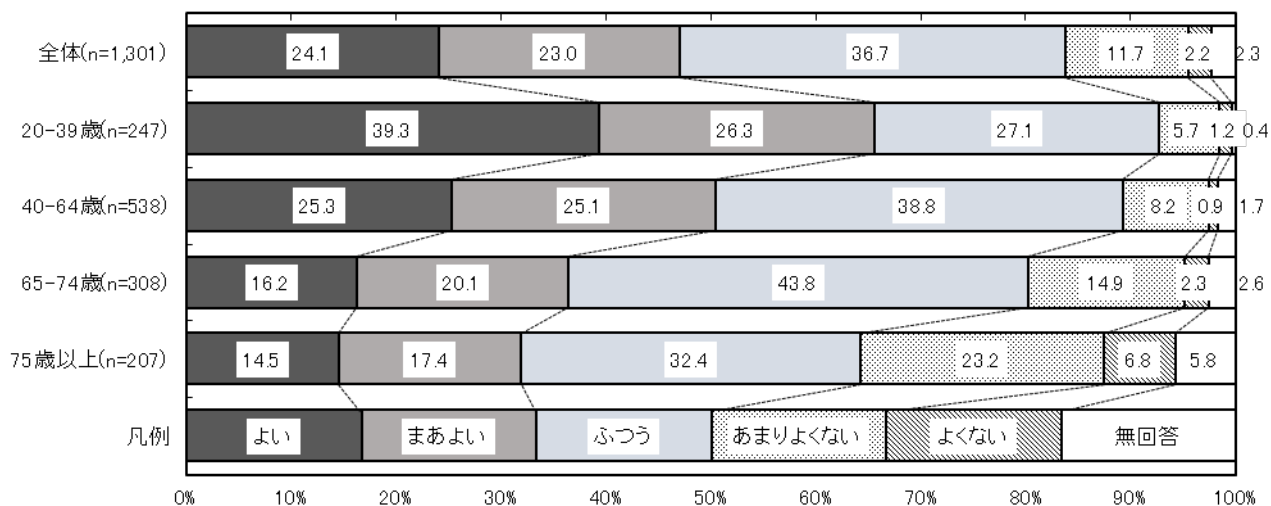
		問22【「災害時に住民がささえあう地域づくり」のために日頃から必要な取組】(2つまでの回答カウント)							(n)
		自主防災組織づくり(地域が主体となった防災の組織)	災害時に支援の必要な地域の要援護者がどこに住んでいるのか等の把握	地域での定期的な防災訓練	地域やグループでの勉強会	福祉サービスなどを提供する施設や事業者との連携	その他	無回答	
問10 自治会加入状況	加入している	574	366	345	99	152	42	55	1,056
	(%)	54.4	34.7	32.7	9.4	14.4	4.0	5.2	100.0
	加入していない	109	71	76	29	33	11	14	228
	(%)	47.8	31.1	33.3	12.7	14.5	4.8	6.1	100.0
	無回答	8	5	5	1	3	0	2	17
	(%)	47.1	29.4	29.4	5.9	17.6	0.0	11.8	100.0
全体		691	442	426	129	188	53	71	1,301
(%)		53.1	34.0	32.7	9.9	14.5	4.1	5.5	100.0

(4) 健康

問24 自身の健康状態

年齢区分で、健康状態をみると、年齢が若い方ほど、「よい」「まあよい」の回答の割合が高く、高齢の方が「あまりよくない」が高くなっている。

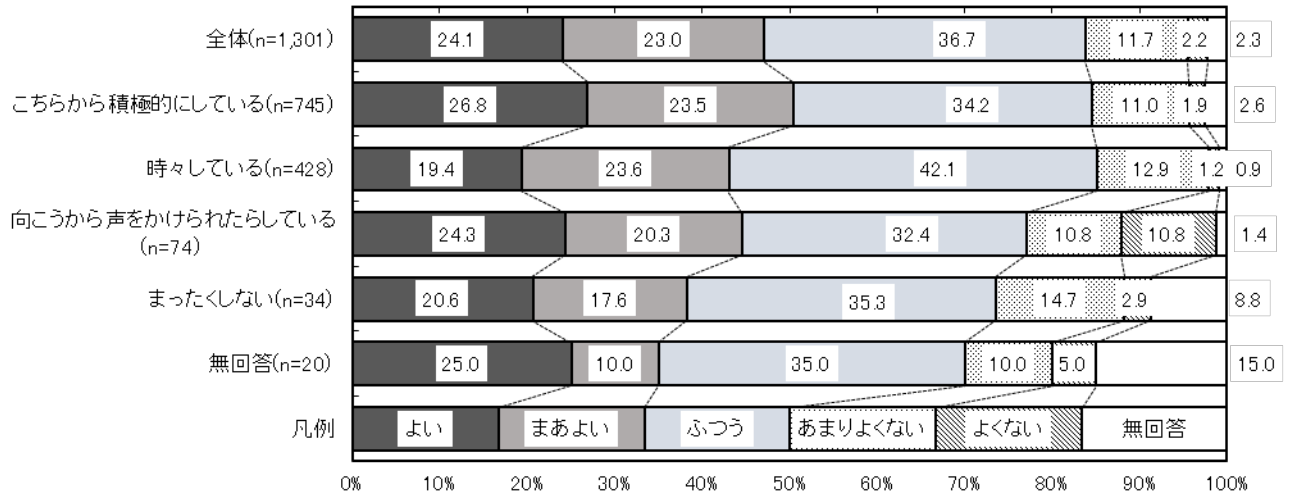
図表 年齢区分別 自身の健康状態 (問3×問24)



		問24【自身の健康状態】						(n)
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答	
問3 年齢区分	20-39歳	97	65	67	14	3	1	247
	(%)	39.3	26.3	27.1	5.7	1.2	0.4	100.0
	40-64歳	136	135	209	44	5	9	538
	(%)	25.3	25.1	38.8	8.2	0.9	1.7	100.0
	65-74歳	50	62	135	46	7	8	308
	(%)	16.2	20.1	43.8	14.9	2.3	2.6	100.0
	75歳以上	30	36	67	48	14	12	207
	(%)	14.5	17.4	32.4	23.2	6.8	5.8	100.0
	無回答	0	1	0	0	0	0	1
(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
全体	313	299	478	152	29	30	1,301	
(%)	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3	100.0	

あいさつ・声かけの状況でみると、「こちらから積極的にしている」人は、「よい」「まあよい」の回答の割合が5割を超え、ほかよりもやや高くなっている。

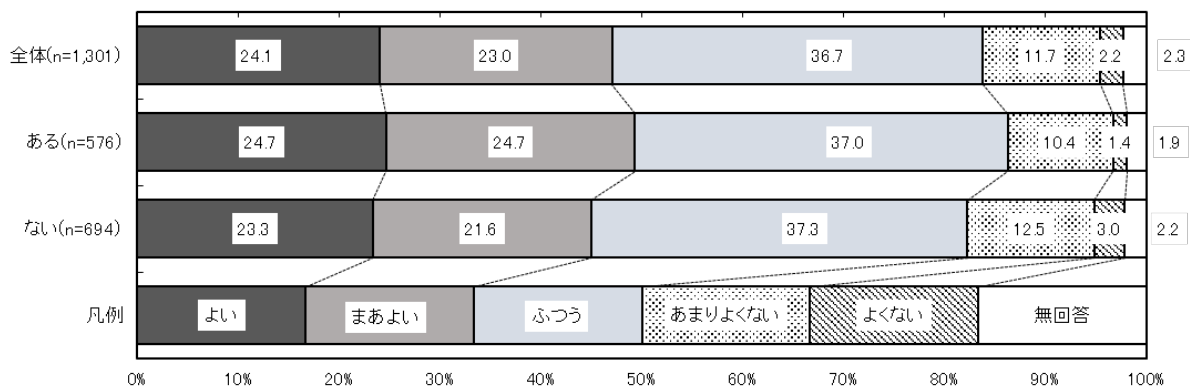
図表 あいさつ・声かけ別 自身の健康状態（問9×問24）



		問24【自身の健康状態】						(n)
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答	
問9 あいさつ・ 声かけ	こちらから積極的にしている	200	175	255	82	14	19	745
	(%)	26.8	23.5	34.2	11.0	1.9	2.6	100.0
	時々している	83	101	180	55	5	4	428
	(%)	19.4	23.6	42.1	12.9	1.2	0.9	100.0
	向こうから声をかけられたらしている	18	15	24	8	8	1	74
	(%)	24.3	20.3	32.4	10.8	10.8	1.4	100.0
	まったくしない	7	6	12	5	1	3	34
	(%)	20.6	17.6	35.3	14.7	2.9	8.8	100.0
	無回答	5	2	7	2	1	3	20
	(%)	25.0	10.0	35.0	10.0	5.0	15.0	100.0
全体		313	299	478	152	29	30	1,301
(%)		24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3	100.0

地域での助け合いの経験別では、参加経験のある人の方が、健康状態が「よい」と「まあよい」の合計が5割近くあり（49.4%）、経験のない人よりもやや高くなっている。

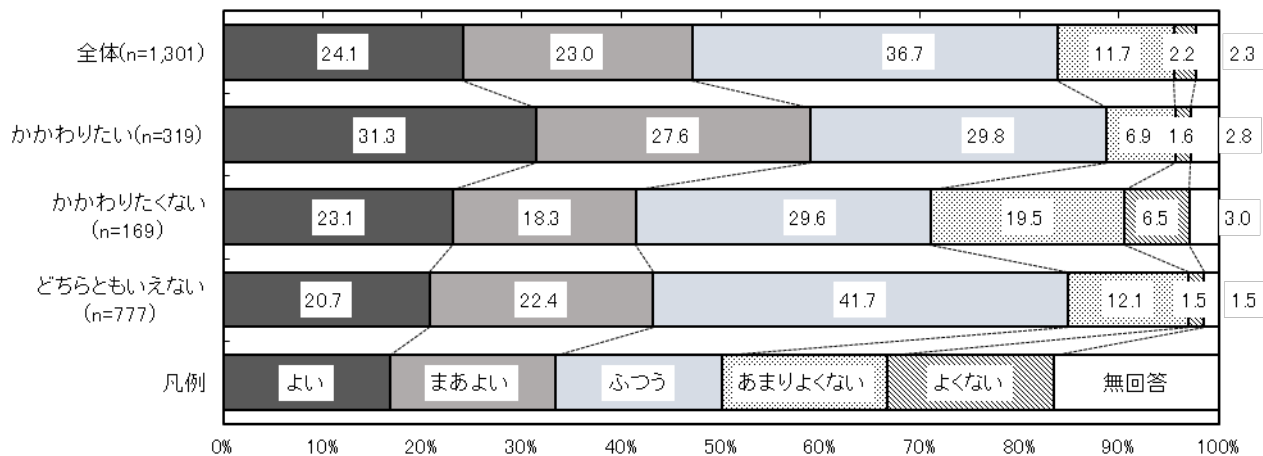
図表 地域での助け合いの参加経験別 自身の健康状態（問11×問24）



		問24【自身の健康状態】						(n)
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答	
問11 地域での助け合いの 参加経験	ある	142	142	213	60	8	11	576
	(%)	24.7	24.7	37.0	10.4	1.4	1.9	100.0
	ない	162	150	259	87	21	15	694
	(%)	23.3	21.6	37.3	12.5	3.0	2.2	100.0
	無回答	9	7	6	5	0	4	31
	(%)	29.0	22.6	19.4	16.1	0.0	12.9	100.0
全体		313	299	478	152	29	30	1,301
(%)		24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3	100.0

地域活動の参加意向でみると、「かかわりたい」人では、「よい」「まあよい」の回答の割合が高くなっており、自身の健康状態（主観的健康観）と地域活動への参加意向に関連があると考えられる。

地域活動への参加意向別 自身の健康状態（問12×問24）

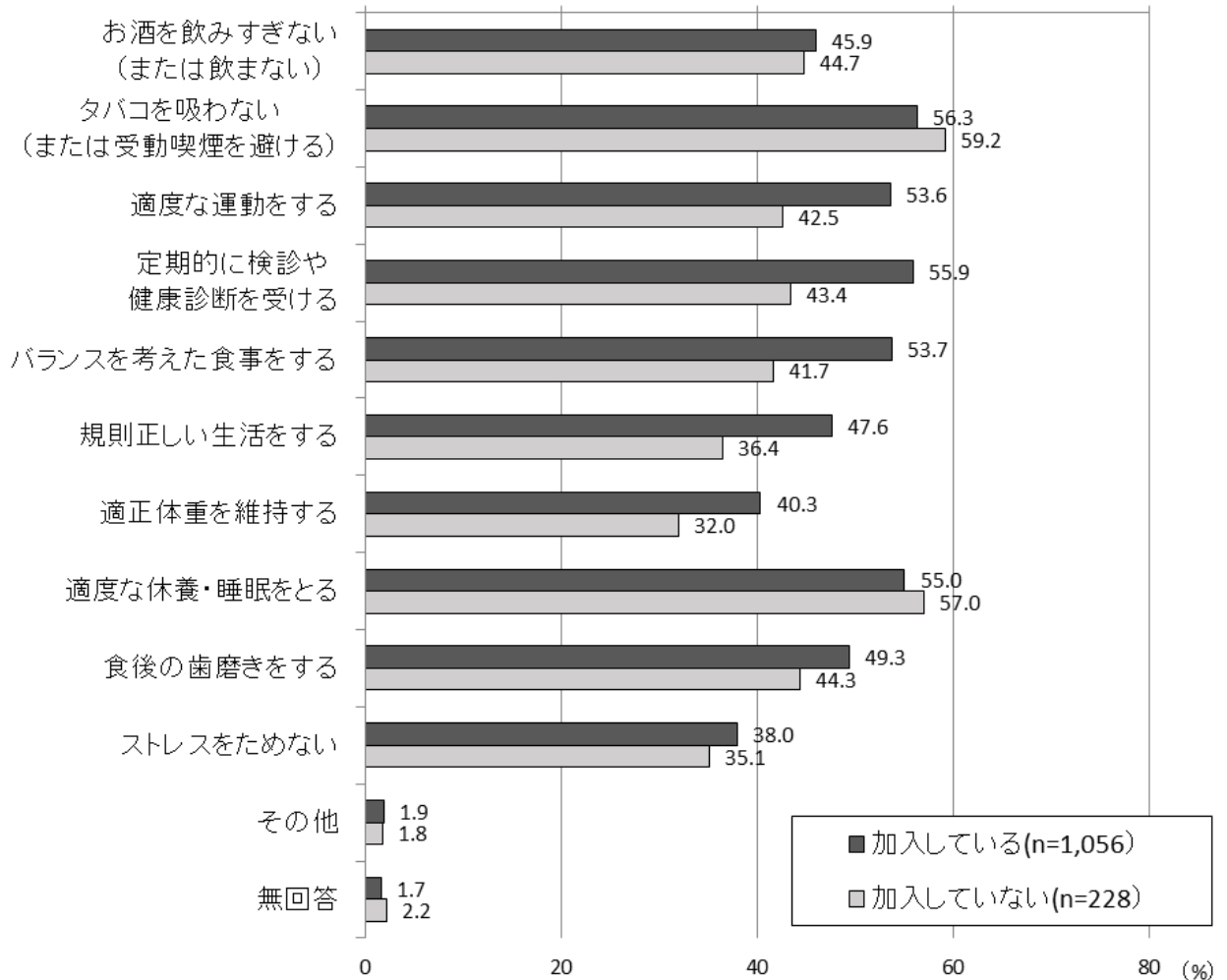


		問24【自身の健康状態】						(n)
		よい	まあよい	ふつう	あまりよくない	よくない	無回答	
問12 地域活動への 参加意向	かかわりたい	100	88	95	22	5	9	319
	(%)	31.3	27.6	29.8	6.9	1.6	2.8	100.0
	かかわりたくない	39	31	50	33	11	5	169
	(%)	23.1	18.3	29.6	19.5	6.5	3.0	100.0
	どちらともいえない	161	174	324	94	12	12	777
	(%)	20.7	22.4	41.7	12.1	1.5	1.5	100.0
無回答	13	6	9	3	1	4	36	
(%)	36.1	16.7	25.0	8.3	2.8	11.1	100.0	
全体	313	299	478	152	29	30	1,301	
(%)	24.1	23.0	36.7	11.7	2.2	2.3	100.0	

問 25 日頃から健康のために心がけていること

自治会加入状況別で、自治会に「加入している」人の方が、回答の割合の高い項目は多い。

図表 自治会加入状況別 日頃から健康のために心がけていること（問10×問25）

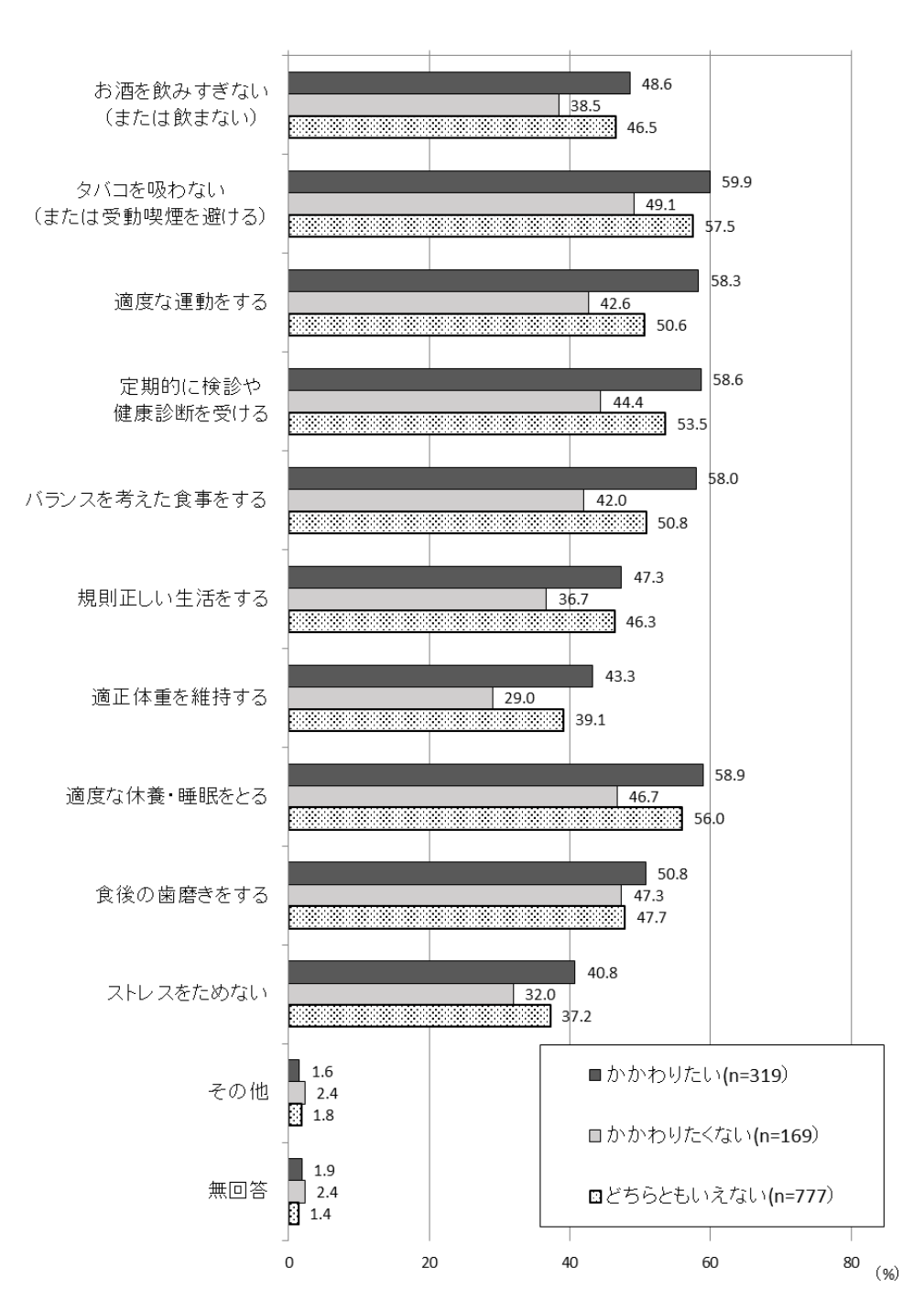


		問25【日頃から健康のために心がけていること】					
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする
問10 自治会加入状況	加入している	485	595	566	590	567	503
	(%)	45.9	56.3	53.6	55.9	53.7	47.6
	加入していない	102	135	97	99	95	83
	(%)	44.7	59.2	42.5	43.4	41.7	36.4
	無回答	4	6	8	5	7	3
(%)	23.5	35.3	47.1	29.4	41.2	17.6	
全体		591	736	671	694	669	589
(%)		45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3

		問25【日頃から健康のために心がけていること】						(n)
		適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答	
問10 自治会加入状況	加入している	426	581	521	401	20	18	1,056
	(%)	40.3	55.0	49.3	38.0	1.9	1.7	100.0
	加入していない	73	130	101	80	4	5	228
	(%)	32.0	57.0	44.3	35.1	1.8	2.2	100.0
	無回答	5	7	7	4	0	3	17
(%)	29.4	41.2	41.2	23.5	0.0	17.6	100.0	
全体		504	718	629	485	24	26	1,301
(%)		38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0	100.0

地域活動の参加意向でみると、「かかわりたい」人は、各項目とも回答の割合が高くなっている。

図表 地域活動への参加意向別 日頃から健康のために心がけていること（問12×問25）

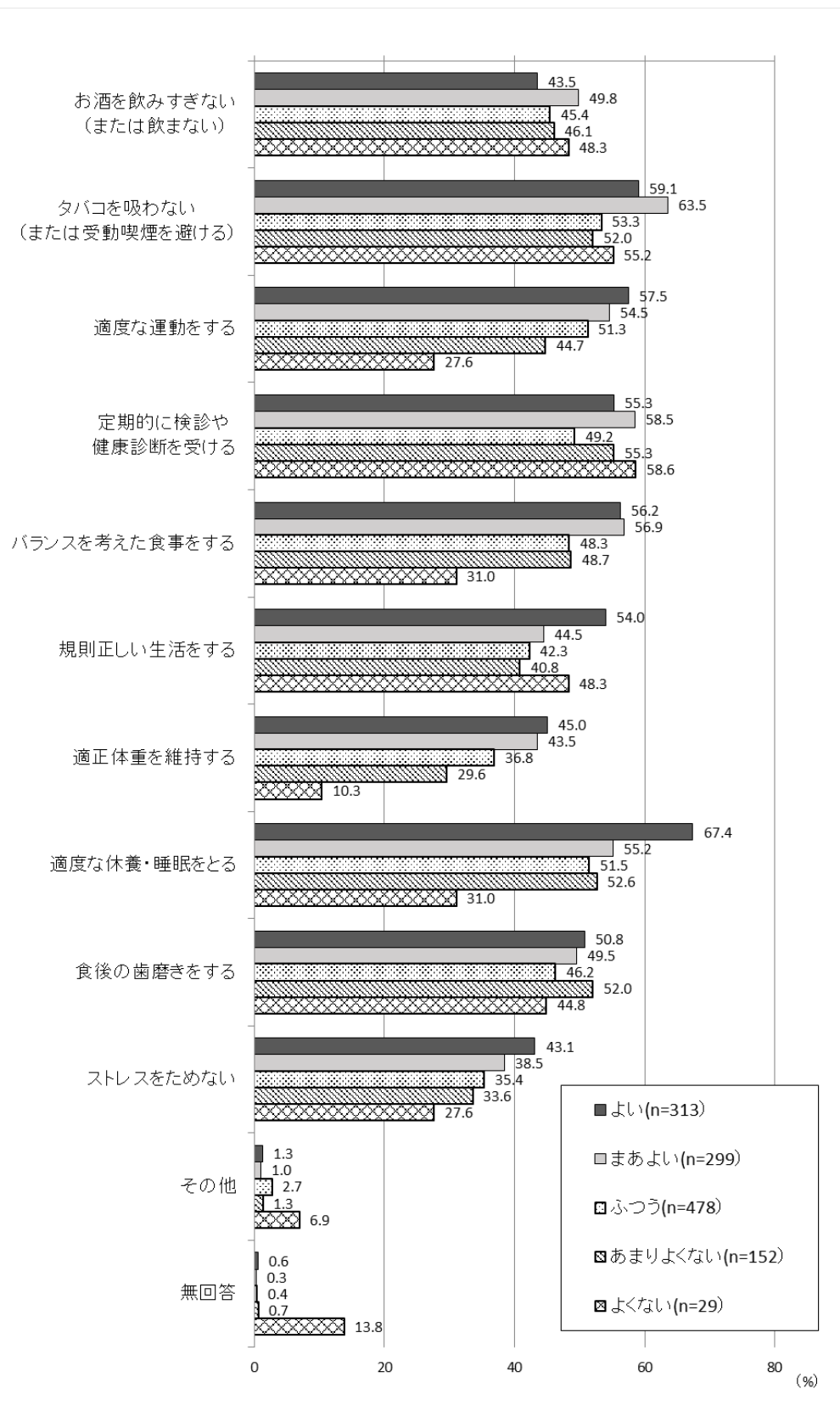


		問25【日頃から健康のために心がけていること】					
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする
問12 地域活動への 参加意向	かかわりたい	155	191	186	187	185	151
	(%)	48.6	59.9	58.3	58.6	58.0	47.3
	かかわりたくない	65	83	72	75	71	62
	(%)	38.5	49.1	42.6	44.4	42.0	36.7
	どちらともいえない	361	447	393	416	395	360
	(%)	46.5	57.5	50.6	53.5	50.8	46.3
	無回答	10	15	20	16	18	16
(%)	27.8	41.7	55.6	44.4	50.0	44.4	
全体		591	736	671	694	669	589
(%)		45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3

		問25【日頃から健康のために心がけていること】						(n)
		適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答	
問12 地域活動への 参加意向	かかわりたい	138	188	162	130	5	6	319
	(%)	43.3	58.9	50.8	40.8	1.6	1.9	100.0
	かかわりたくない	49	79	80	54	4	4	169
	(%)	29.0	46.7	47.3	32.0	2.4	2.4	100.0
	どちらともいえない	304	435	371	289	14	11	777
	(%)	39.1	56.0	47.7	37.2	1.8	1.4	100.0
	無回答	13	16	16	12	1	5	36
(%)	36.1	44.4	44.4	33.3	2.8	13.9	100.0	
全体		504	718	629	485	24	26	1,301
(%)		38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0	100.0

自身の健康状態（主観的健康観）でみると、自身の健康状態を「よい」「まあよい」という人は、多くの項目で回答の割合が高くなっている。「定期的に検診を受ける」は健康観の低い人に多いなどの傾向はあるが、回答が分散している。

図表 自身の健康状態別 日頃から健康のために心がけていること（問24×問25）



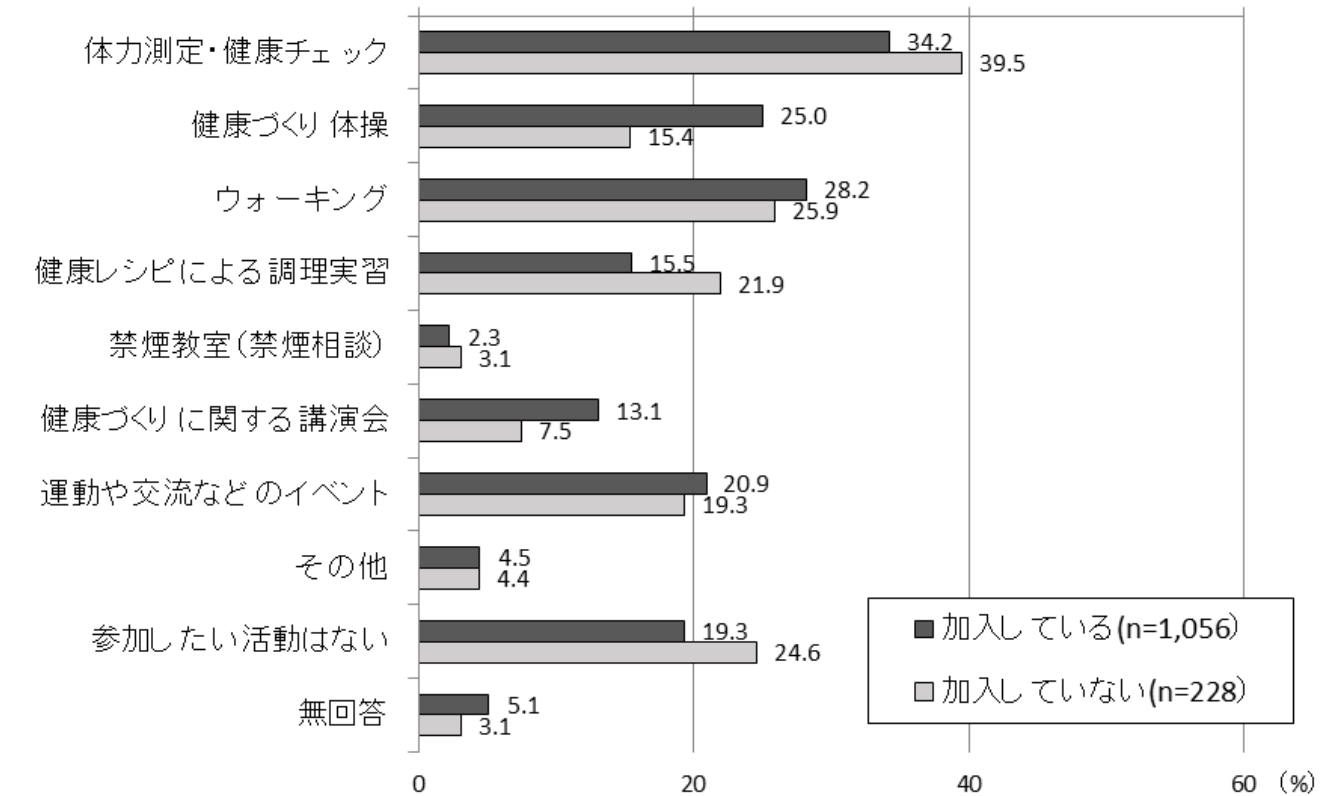
		問25【日頃から健康のために心がけていること】					
		お酒を飲みすぎない(または飲まない)	タバコを吸わない(または受動喫煙を避ける)	適度な運動をする	定期的に検診や健康診断を受ける	バランスを考えた食事をする	規則正しい生活をする
問24 自身の健康状態	よい	136	185	180	173	176	169
	(%)	43.5	59.1	57.5	55.3	56.2	54.0
	まあよい	149	190	163	175	170	133
	(%)	49.8	63.5	54.5	58.5	56.9	44.5
	ふつう	217	255	245	235	231	202
	(%)	45.4	53.3	51.3	49.2	48.3	42.3
	あまりよくない	70	79	68	84	74	62
	(%)	46.1	52.0	44.7	55.3	48.7	40.8
	よくない	14	16	8	17	9	14
	(%)	48.3	55.2	27.6	58.6	31.0	48.3
無回答	5	11	7	10	9	9	
(%)	16.7	36.7	23.3	33.3	30.0	30.0	
全体	591	736	671	694	669	589	
(%)	45.4	56.6	51.6	53.3	51.4	45.3	

		問25【日頃から健康のために心がけていること】						(n)
		適正体重を維持する	適度な休養・睡眠をとる	食後の歯磨きをする	ストレスをためない	その他	無回答	
問24 自身の健康状態	よい	141	211	159	135	4	2	313
	(%)	45.0	67.4	50.8	43.1	1.3	0.6	100.0
	まあよい	130	165	148	115	3	1	299
	(%)	43.5	55.2	49.5	38.5	1.0	0.3	100.0
	ふつう	176	246	221	169	13	2	478
	(%)	36.8	51.5	46.2	35.4	2.7	0.4	100.0
	あまりよくない	45	80	79	51	2	1	152
	(%)	29.6	52.6	52.0	33.6	1.3	0.7	100.0
	よくない	3	9	13	8	2	4	29
	(%)	10.3	31.0	44.8	27.6	6.9	13.8	100.0
無回答	9	7	9	7	0	16	30	
(%)	30.0	23.3	30.0	23.3	0.0	53.3	100.0	
全体	504	718	629	485	24	26	1,301	
(%)	38.7	55.2	48.3	37.3	1.8	2.0	100.0	

問 26 自身の健康のために参加したいと思う活動

自身の健康のために参加したい活動を自治会加入状況別にみると、自治会加入者では「健康づくり体操」や「健康づくりに関する講演会」が非加入者よりも高く、その差が大きい。「体力測定・健康チェック」「健康レシピによる調理実習」などは、非加入者の方が回答の割合が高くなっている。

図表 自治会加入状況別 自身の健康のために参加したい活動（問10×問26）

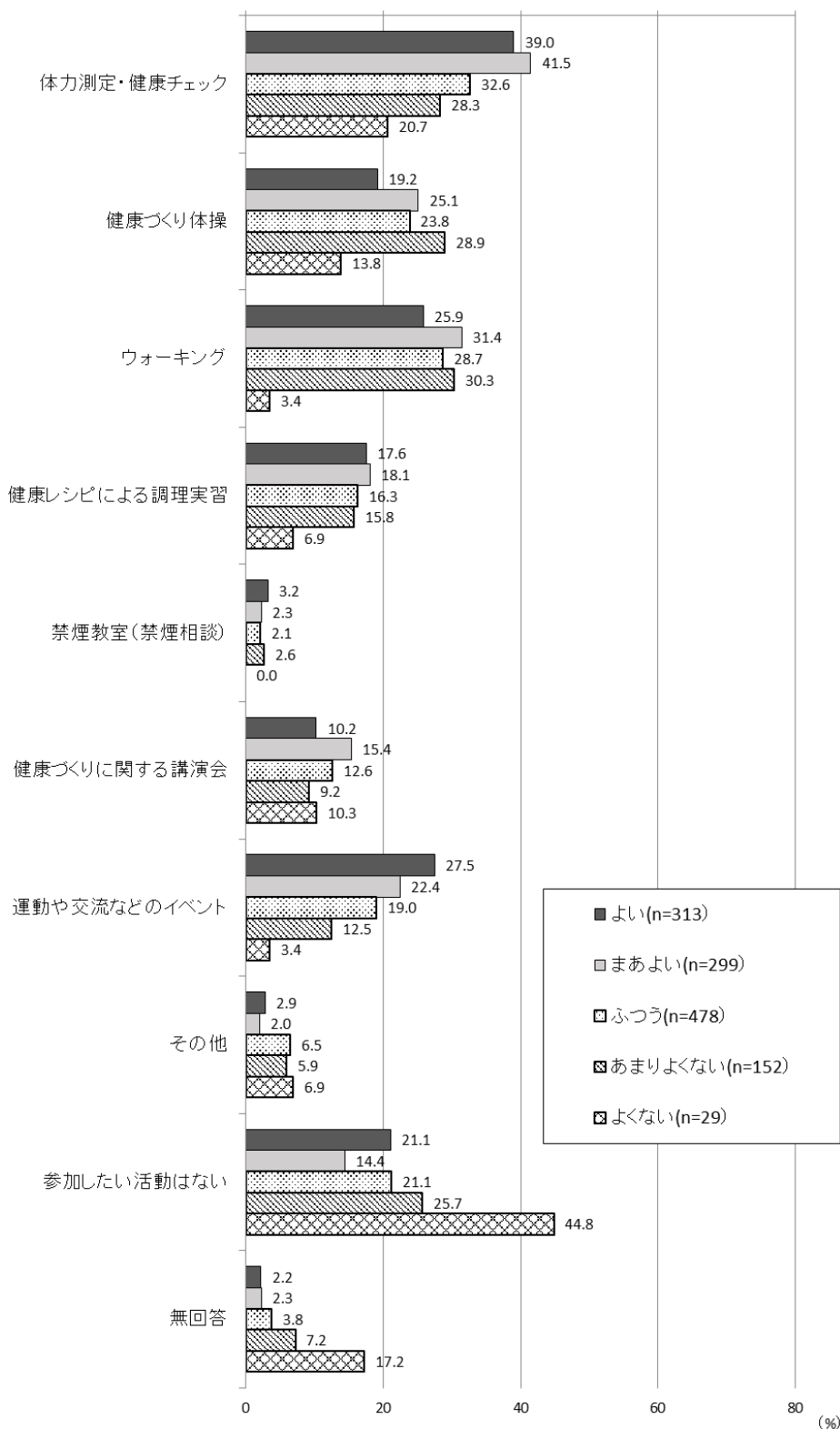


		問26【自身の健康のために参加したいと思う活動】				
		体力測定・健康チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる調理実習	禁煙教室（禁煙相談）
問10 自治会加入状況	加入している	361	264	298	164	24
	(%)	34.2	25.0	28.2	15.5	2.3
	加入していない	90	35	59	50	7
	(%)	39.5	15.4	25.9	21.9	3.1
	無回答	5	2	4	2	0
	(%)	29.4	11.8	23.5	11.8	0.0
全体		456	301	361	216	31
(%)		35.0	23.1	27.7	16.6	2.4

		問26【自身の健康のために参加したいと思う活動】					(n)
		健康づくりに関する講演会	運動や交流などのイベント	その他	参加したい活動はない	無回答	
問10 自治会加入状況	加入している	138	221	47	204	54	1,056
	(%)	13.1	20.9	4.5	19.3	5.1	100.0
	加入していない	17	44	10	56	7	228
	(%)	7.5	19.3	4.4	24.6	3.1	100.0
	無回答	2	2	0	5	5	17
	(%)	11.8	11.8	0.0	29.4	29.4	100.0
全体		157	267	57	265	66	1,301
(%)		12.1	20.5	4.4	20.4	5.1	100.0

自身の健康状態（主観的健康観）で健康のために参加したい活動をみると、健康状態が「よい」と回答した人は、「体力測定・健康チェック」「運動や交流などのイベント」の回答が高い。「まあよい」と回答した人では「体力測定・健康チェック」「ウォーキング」の回答が多く、「あまりよくない」と回答した人では「ウォーキング」や「健康づくり体操」の回答が多くなっている。「よくない」と回答した人では、「参加したい活動はない」が最も多かった。

図表 自身の健康状態別 健康のために参加したい活動（問24×問26）



		問26【自身の健康のために参加したいと思う活動】				
		体力測定・健康 チェック	健康づくり体操	ウォーキング	健康レシピによる 調理実習	禁煙教室 (禁煙相談)
問24 自身の健康状態	よい	122	60	81	55	10
	(%)	39.0	19.2	25.9	17.6	3.2
	まあよい	124	75	94	54	7
	(%)	41.5	25.1	31.4	18.1	2.3
	ふつう	156	114	137	78	10
	(%)	32.6	23.8	28.7	16.3	2.1
	あまりよくない	43	44	46	24	4
	(%)	28.3	28.9	30.3	15.8	2.6
	よくない	6	4	1	2	0
	(%)	20.7	13.8	3.4	6.9	0.0
無回答	5	4	2	3	0	
(%)	16.7	13.3	6.7	10.0	0.0	
全体	456	301	361	216	31	
(%)	35.0	23.1	27.7	16.6	2.4	

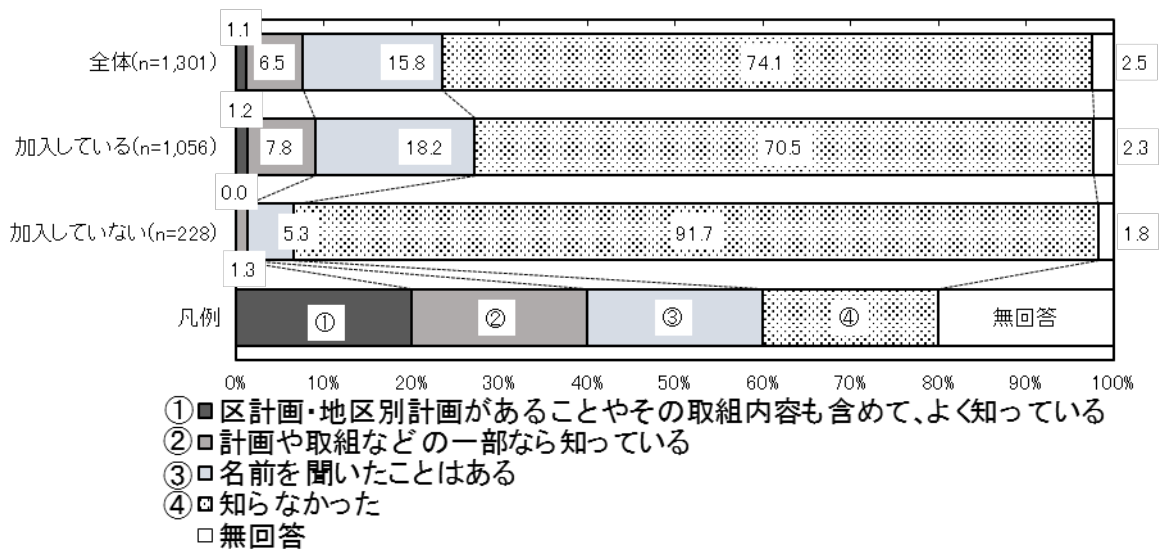
		問26【自身の健康のために参加したいと思う活動】					(n)
		健康づくりに 関する講演会	運動や交流など のイベント	その他	参加したい 活動はない	無回答	
問24 自身の健康状態	よい	32	86	9	66	7	313
	(%)	10.2	27.5	2.9	21.1	2.2	100.0
	まあよい	46	67	6	43	7	299
	(%)	15.4	22.4	2.0	14.4	2.3	100.0
	ふつう	60	91	31	101	18	478
	(%)	12.6	19.0	6.5	21.1	3.8	100.0
	あまりよくない	14	19	9	39	11	152
	(%)	9.2	12.5	5.9	25.7	7.2	100.0
	よくない	3	1	2	13	5	29
	(%)	10.3	3.4	6.9	44.8	17.2	100.0
無回答	2	3	0	3	18	30	
(%)	6.7	10.0	0.0	10.0	60.0	100.0	
全体	157	267	57	265	66	1,301	
(%)	12.1	20.5	4.4	20.4	5.1	100.0	

(5) 身近な地域での福祉保健の取組について

問27 『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度

地域福祉保健計画の認知度を、自治会加入状況でみると、自治会に「加入している」人の方が、「知っている」（よく知っている、一部なら知っている、名前をきいたことはある、の合算）の割合が、「加入していない」人よりも高くなっているが、「知らなかった」が加入者でも7割以上あった。自治会非加入者では9割以上が、「知らなかった」と回答している。

図表 自治会加入状況別 地域福祉保健計画の認知度（問10×問27）



		問27【「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知】					
		区計画・地区別計画があることやその取組内容も含めて、よく知っている	計画や取組などの一部なら知っている	名前を聞いたことはある	知らなかった	無回答	(n)
問10 自治会加入状況	加入している	13	82	192	745	24	1056
	(%)	1.2	7.8	18.2	70.5	2.3	100.0
	加入していない	0	3	12	209	4	228
	(%)	0.0	1.3	5.3	91.7	1.8	100.0
	無回答	1	0	2	10	4	17
(%)	5.9	0.0	11.8	58.8	23.5	100.0	
全体		14	85	206	964	32	1,301
(%)		1.1	6.5	15.8	74.1	2.5	100.0

第5章 過去の調査との比較

緑区では、平成17年度に第1期緑区地域福祉保健計画策定のための区民アンケートを、また平成21年度に第2期緑区地域福祉保健計画策定のための区民アンケートを実施している。

本調査と共通する設問について、本調査との比較を行った。

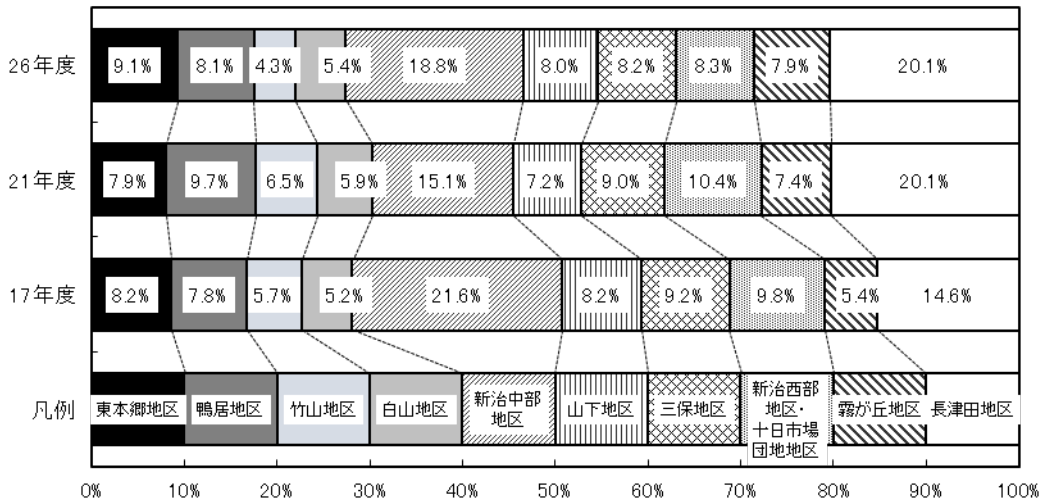
(1) 回答者属性

問1 居住地区

平成21年度調査と比較すると、新治中部の比率が高くなっている。

なお、今回調査は、十日市場団地地区と新治西部地区については、地区別計画の地区と一致するよう地区を分割したが、過去の調査との比較のためここでは合算してグラフを表示している。

図表



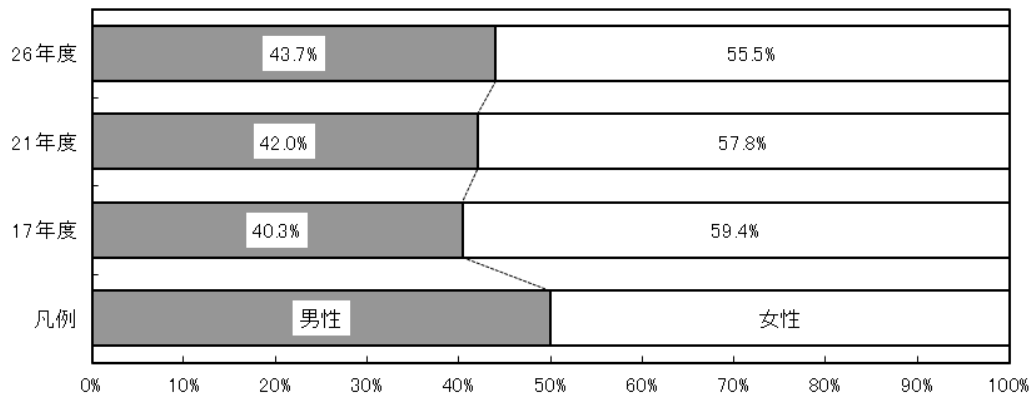
選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 東本郷地区	118	80	118	8.2%	7.9%	9.1%
2. 鴨居地区	113	98	106	7.8%	9.7%	8.1%
3. 竹山地区	82	66	56	5.7%	6.5%	4.3%
4. 白山地区	75	60	70	5.2%	5.9%	5.4%
5. 新治中部地区	312	153	244	21.6%	15.1%	18.8%
6. 山下地区	118	73	104	8.2%	7.2%	8.0%
7. 三保地区	132	91	107	9.2%	9.0%	8.2%
8. 新治西部地区・十日市場団地地区	142	105	108	9.8%	10.4%	8.3%
9. 霧が丘地区	78	75	103	5.4%	7.4%	7.9%
10. 長津田地区	210	204	261	14.6%	20.1%	20.1%
無回答	62	8	24	4.3%	0.8%	1.8%
計	1442	1013	1301	100.0%	100.0%	100.0%

※H26年度回答数、新治西部地区108のうち36が十日市場団地地区

問2 性別

過去の調査と同様、女性が若干多い。

図表

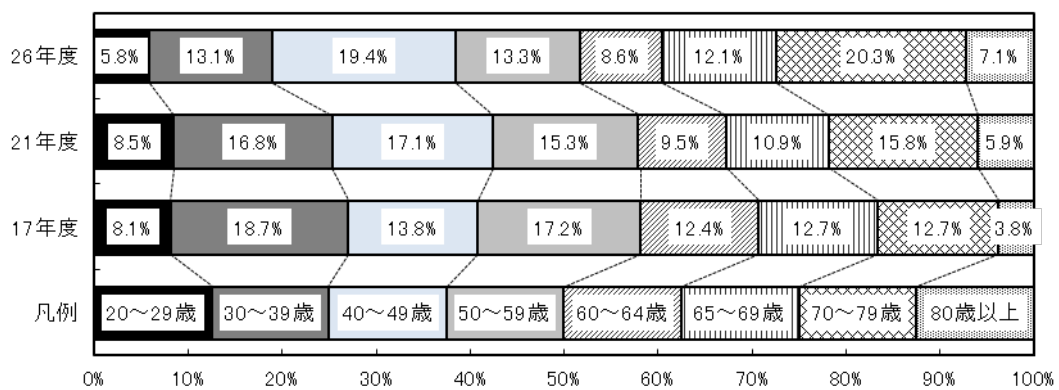


選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 男性	581	425	568	40.3%	42.0%	43.7%
2. 女性	856	586	722	59.4%	57.8%	55.5%
無回答	5	2	11	0.3%	0.2%	0.8%
計	1442	1013	1301	100.0%	100.0%	100.0%

問3 年齢構成

過去の調査に比べ、65歳以上の高齢者の比率が高くなり、20代、30代の若い世代の比率が下がっている。今回調査では、40代が過去最高に多かった。

図表

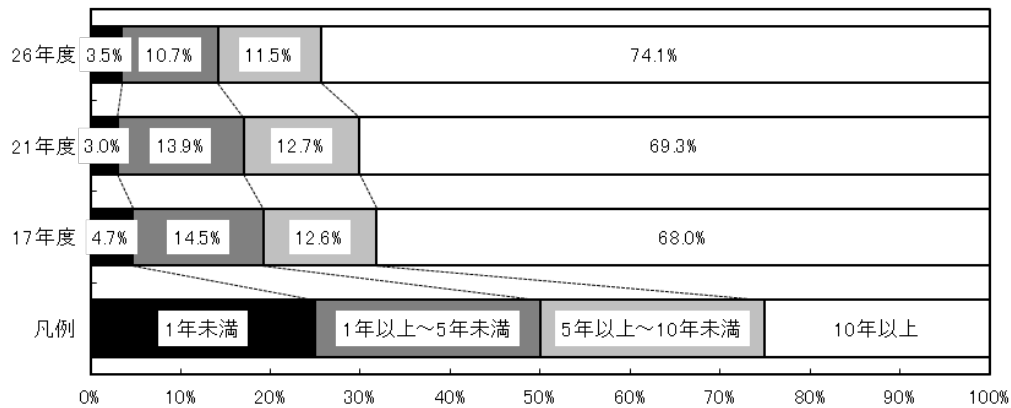


選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 20~29歳	117	86	76	8.1%	8.5%	5.8%
2. 30~39歳	270	170	171	18.7%	16.8%	13.1%
3. 40~49歳	199	173	253	13.8%	17.1%	19.4%
4. 50~59歳	248	155	173	17.2%	15.3%	13.3%
5. 60~64歳	179	96	112	12.4%	9.5%	8.6%
6. 65~69歳	183	110	158	12.7%	10.9%	12.1%
7. 70~79歳	183	160	264	12.7%	15.8%	20.3%
8. 80歳以上	55	60	93	3.8%	5.9%	7.1%
無回答	8	3	1	0.6%	0.3%	0.1%
計	1442	1013	1301	100.0%	100.0%	100.0%

問4 居住年数

10年以上の居住者の比率が年々高くなっている。

図表

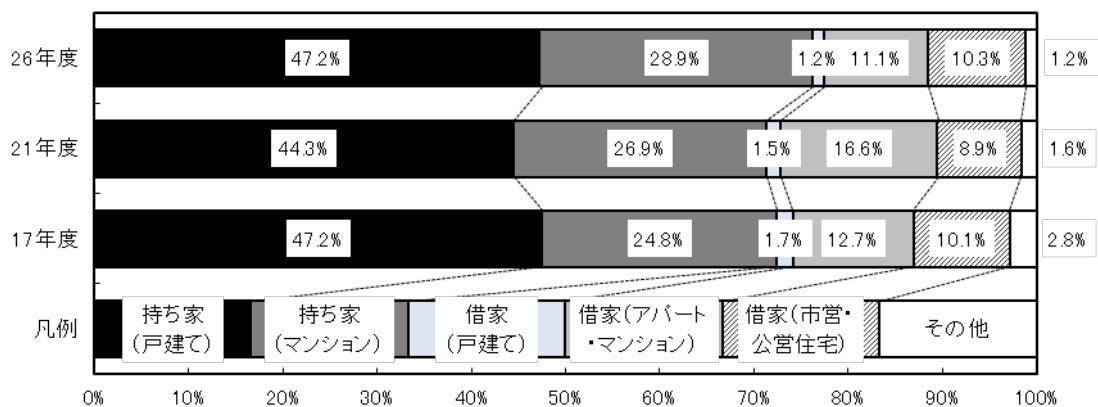


選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 1年未満	68	30	45	4.7%	3.0%	3.5%
2. 1年以上～5年未満	209	141	139	14.5%	13.9%	10.7%
3. 5年以上～10年未満	181	129	149	12.6%	12.7%	11.5%
4. 10年以上	981	702	964	68.0%	69.3%	74.1%
無回答	3	11	4	0.2%	1.1%	0.3%
計	1442	1013	1301	100.0%	100.0%	100.0%

問5 住まいの種別

持ち家（一戸建て、マンションとも）が若干増えているが、全体にあまり変化はない。

図表



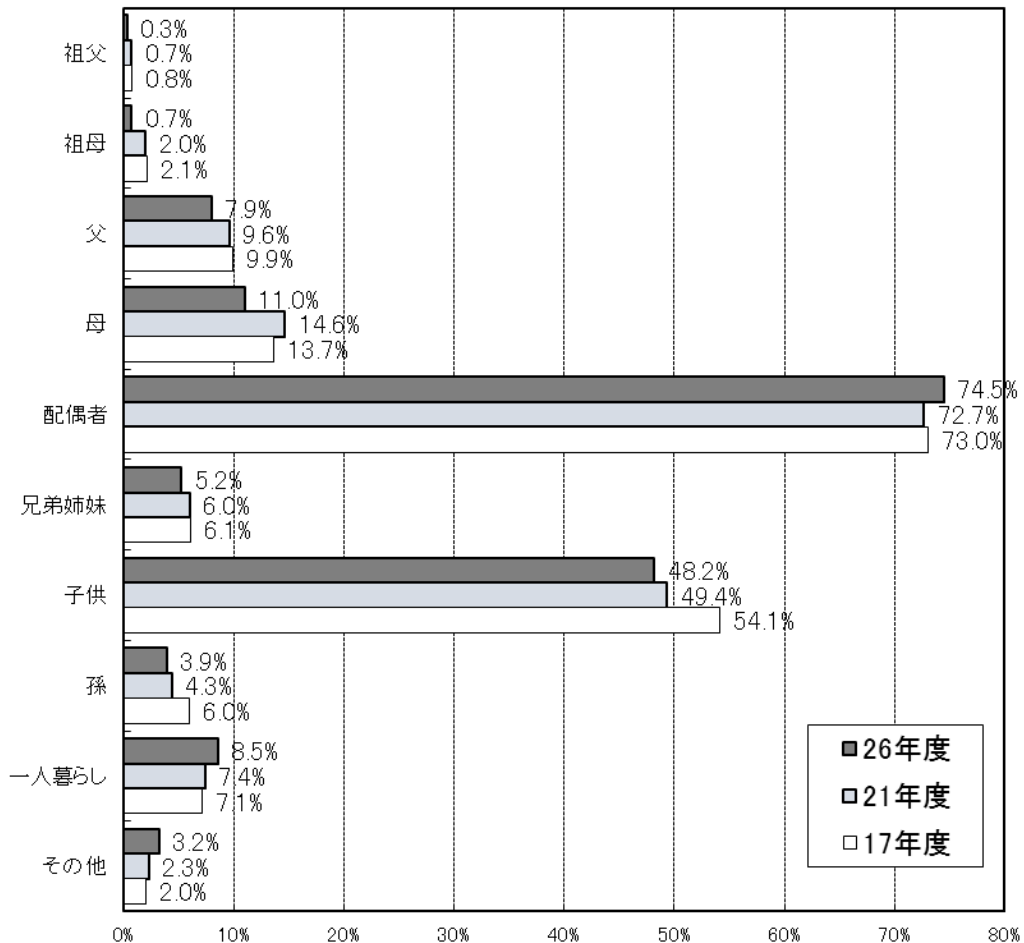
選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 持ち家(戸建て)	681	449	614	47.2%	44.3%	47.2%
2. 持ち家(マンション)	357	272	376	24.8%	26.9%	28.9%
3. 借家(戸建て)	25	15	15	1.7%	1.5%	1.2%
4. 借家(アパート・マンション)	183	168	144	12.7%	16.6%	11.1%
5. 借家(市営・公営住宅等)	146	90	134	10.1%	8.9%	10.3%
6. その他	41	16	15	2.8%	1.6%	1.2%
無回答	9	3	3	0.6%	0.3%	0.2%
計	1442	1013	1301	100.0%	100.0%	100.0%

※借家(市営・公営住宅等)には、都市再生機構(旧公団)・県営住宅含む

問6 同居者の関係

「一人暮らし」と「配偶者」が平成21年度調査よりも高くなる一方、それ以外の同居家族はいずれも減っている。

図表



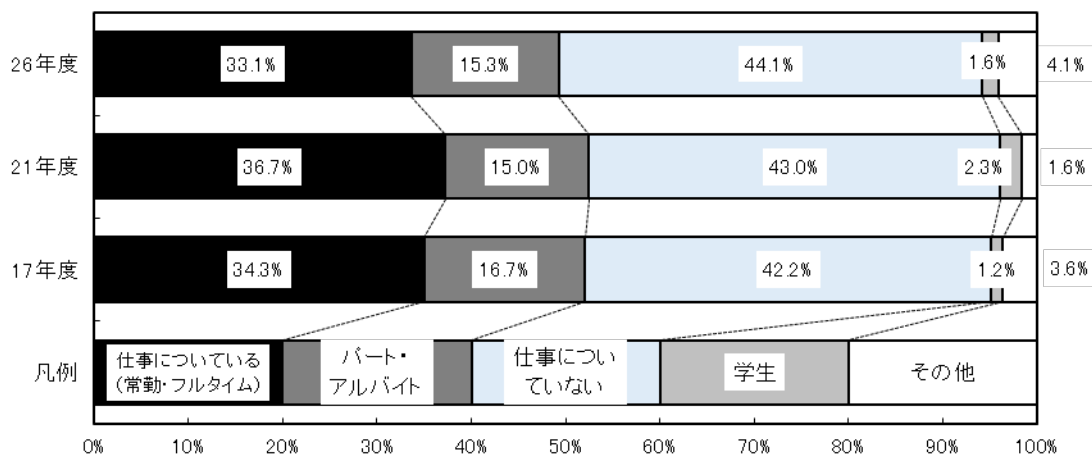
選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 祖父	11	7	4	0.8%	0.7%	0.3%
2. 祖母	30	20	9	2.1%	2.0%	0.7%
3. 父	143	97	103	9.9%	9.6%	7.9%
4. 母	197	148	143	13.7%	14.6%	11.0%
5. 配偶者	1053	736	969	73.0%	72.7%	74.5%
6. 兄弟姉妹	88	61	68	6.1%	6.0%	5.2%
7. 子供	780	500	627	54.1%	49.4%	48.2%
8. 孫	86	44	51	6.0%	4.3%	3.9%
9. 一人暮らし	102	75	111	7.1%	7.4%	8.5%
10. その他	29	23	42	2.0%	2.3%	3.2%
無回答	21	4	1	1.5%	0.4%	0.1%
計	2540	1715	1301	—	—	—

問8 仕事の状況

「フルタイム」が減り、「仕事についていない」が増えている。

なお、今回調査では「主婦・主夫」を設けたが、過去との比較のため、ここでは「主婦・主夫」は「仕事についていない」に合算している。

図表



選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 仕事についている(常勤・フルタイム)	495	372	430	34.3%	36.7%	33.1%
2. パート・アルバイト	241	152	199	16.7%	15.0%	15.3%
3. 仕事についていない	609	436	574	42.2%	43.0%	44.1%
4. 学生	17	23	21	1.2%	2.3%	1.6%
5. その他	52	16	53	3.6%	1.6%	4.1%
無回答	28	14	24	1.9%	1.4%	1.8%
計	1442	1013	1301	100.0%	100.0%	100.0%

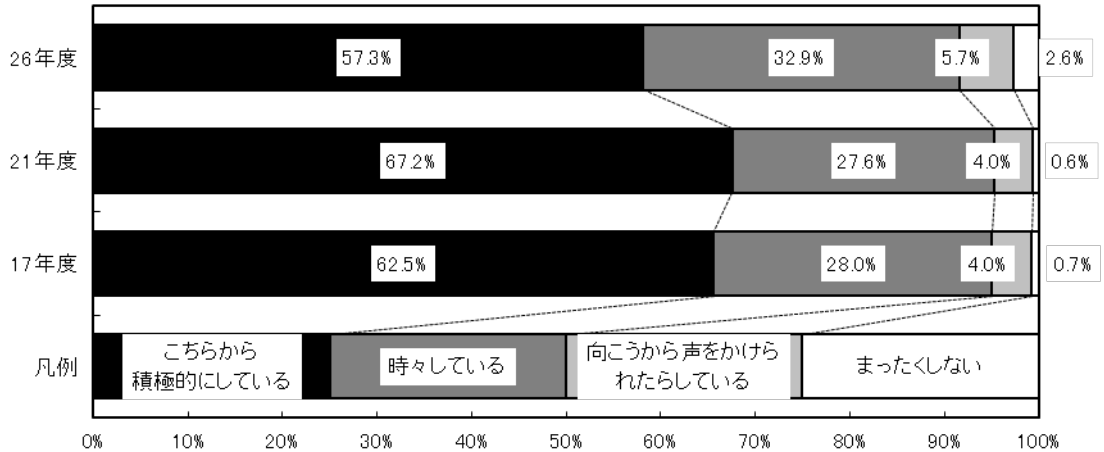
※H26 回答数、専業主婦・主夫は仕事についていないに含む

(2) 地域とのかかわり

問9 近隣の人へのあいさつ・声かけ

「こちらから積極的にしている」が減少し、「時々している」などほかの項目がいずれも増加している。

図表

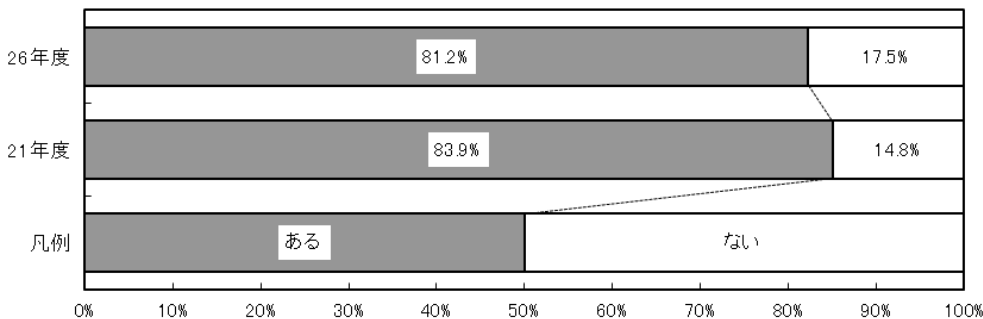


選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. こちらから積極的にしている	901	681	745	62.5%	67.2%	57.3%
2. 時々している	404	280	428	28.0%	27.6%	32.9%
3. 向こうから声を掛けられたらしている	58	41	74	4.0%	4.0%	5.7%
4. まったくしない	10	6	34	0.7%	0.6%	2.6%
無回答	69	5	20	4.8%	0.5%	1.5%
計	1442	1013	1301	100.0%	100.0%	100.0%

問10 自治会への加入

平成21年度調査に比べ、自治会に「加入している」割合は若干減っている。

図表



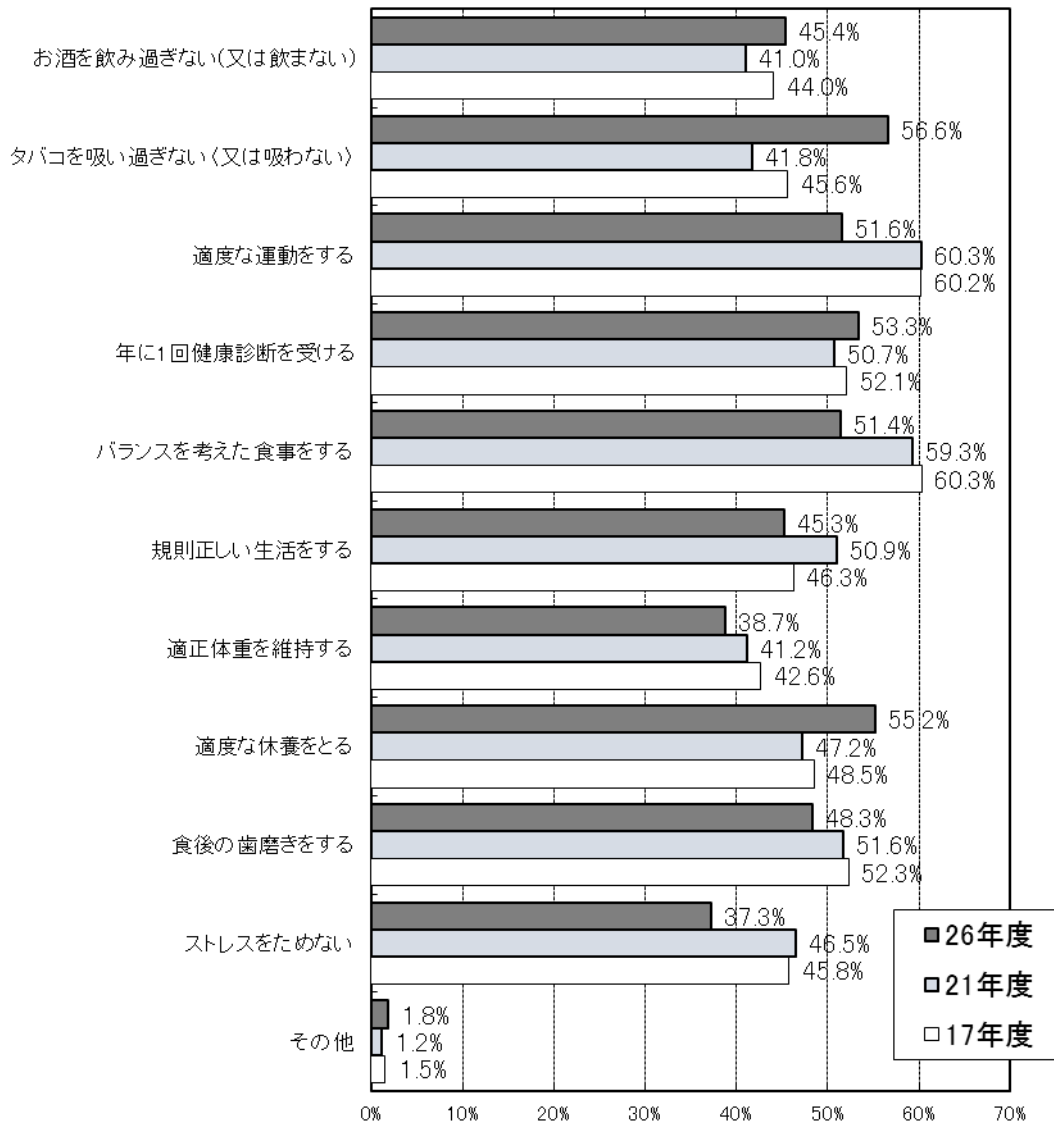
選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 加入している	-	850	1056	-	83.9%	81.2%
2. 加入していない	-	150	228	-	14.8%	17.5%
無回答	-	13	17	-	1.3%	1.3%
計	-	1013	1301	-	100.0%	100.0%

(3) 健康について

問 25 日頃から健康のために心がけていること

「タバコを吸いすぎない」は、平成 21 年度調査よりも大きく増えている。また「適度な休養をとる」も増加している。

図表

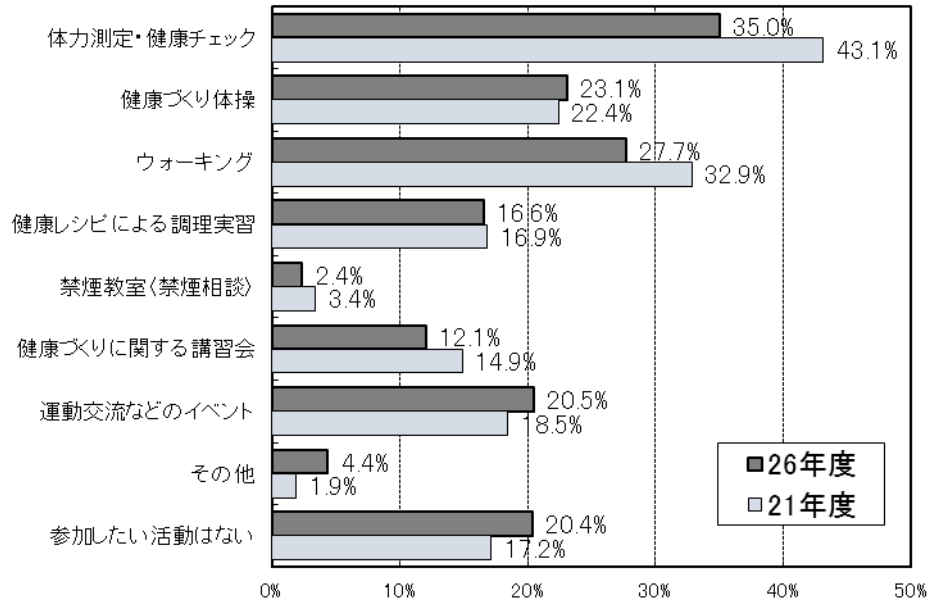


選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. お酒を飲み過ぎない(又は飲まない)	635	415	591	44.0%	41.0%	45.4%
2. タバコを吸い過ぎない(又は吸わない)	658	423	736	45.6%	41.8%	56.6%
3. 適度な運動をする	868	611	671	60.2%	60.3%	51.6%
4. 年に1回健康診断を受ける	751	514	694	52.1%	50.7%	53.3%
5. バランスを考えた食事をする	869	601	669	60.3%	59.3%	51.4%
6. 規則正しい生活をする	667	516	589	46.3%	50.9%	45.3%
7. 適正体重を維持する	615	417	504	42.6%	41.2%	38.7%
8. 適度な休養をとる	699	478	718	48.5%	47.2%	55.2%
9. 食後の歯磨きをする	754	523	629	52.3%	51.6%	48.3%
10. ストレスをためない	660	471	485	45.8%	46.5%	37.3%
11. その他	22	12	24	1.5%	1.2%	1.8%
無回答	71	30	26	4.9%	3.0%	2.0%
計	7269	5011	6336	—	—	—

問 26 健康のために参加したい活動

参加したい活動の順位などはあまり変化はないが、平成 21 年度調査よりも下がっている項目が多いが、健康づくり体操、運動交流などのイベント、その他の回答で若干の増加がみられた。

図表



選択肢	回答数			回答率		
	17年度	21年度	26年度	17年度	21年度	26年度
1. 体力測定・健康チェック	-	437	456	-	43.1%	35.0%
2. 健康づくり体操	-	227	301	-	22.4%	23.1%
3. ウォーキング	-	333	361	-	32.9%	27.7%
4. 健康レシピによる調理実習	-	171	216	-	16.9%	16.6%
5. 禁煙教室(禁煙相談)	-	34	31	-	3.4%	2.4%
6. 健康づくりに関する講習会	-	151	157	-	14.9%	12.1%
7. 運動交流などのイベント	-	187	267	-	18.5%	20.5%
8. その他	-	19	57	-	1.9%	4.4%
9. 参加したい活動はない	-	174	265	-	17.2%	20.4%
無回答	-	66	66	-	6.5%	5.1%
計	-	1799	2177	-	-	-

第6章 自由記入

(1) 問 29 緑区の福祉保健のために、10年後も大切だと思うこと

全回答者のうち、37.9%に記載があった。地域福祉保健計画の柱立てにそって、関連する意見をまとめる。(複数の内容にわたる記述があり、それぞれに分類しているので、以下の意見の総数は、回答の総数には一致しない)

なお、まちづくり整備に関することも、ここでは地域福祉保健計画の柱立てにそって分類した。

1 「つながりのあるまちづくり」に関連する意見

(つながり)

つながり	高齢化が進むので、今まで以上に「地域のつながりのあるまちづくり」が大切だと思います。
つながり	大人も子どもも会った時にあいさつする事！ 体調が悪そうな年配者を見たら、すぐどこでも声をかけてあげる事！
つながり	地域で孤立する人がなくなるような取り組み、年をとっても楽しいことに出会えるような場づくり（もちろん無料もしくは格安で）、住む人それぞれが役割を感じられること。
つながり	少子高齢化が進む中で、何かの災害や犯罪があった時に、自分の家族も含めて、地域の連携が取れることが大切。
つながり	活動は地元の方達が主で、他地域からの流入者との間にギャップがあると思います。ベッドタウン民族を地区に根づかせるために何をすべきかもっと考えた方がよいと思います。
つながり	緑区は農地も有るし、マンション群も有る。よくいえばバラエティに富んでいると言えるが、悪く言えば、全くまとまりがない気がする。流入して来たマンション族と3世代の住民とが交流できる機会を増やし、活気のある緑区、魅力の有る緑区でいけば、10年後も住み続け、栄えていけるのでは？
つながり	あいさつ
つながり	近隣との交際、交流
つながり	地域での人のつながり
つながり	地域や近所の方達との交流が必要と思う。
つながり 次世代	シニアの問題も大切ですが、これからの子どもたち（小中学生の給食費無料化とか） 出産したくても保育園等の事でやめている人達の事、そちらをもう少し考えるべきであると思う。
つながり	「個」から「絆」の街づくり（人と人とのつながりがある街）
つながり	大雪が降った時、近所の皆さんで助け合って雪かきできて楽しかったです。いざという時、動ける人が動けるだけできるといいと思いました。
つながり	自治会等を通して近隣住民とのコミュニケーションが取りやすい環境づくりのための支援活動。
つながり	四季の森での朝の挨拶が町内でも広がればよい。
つながり	近所の皆さんが集まって顔を知れるようなイベントを増やしたほうがいい。（餅つき、夏祭り等）
つながり	近所の助け合い精神
つながり	地域での連携。自分の役割。
つながり	地域でいざ助け合いが必要になった時、地域力が問われると思います。普段、声かけができるような関係ができていなければ、分からないですが、「さろん（サロン）」的なものが必要になってくると思います。緑区内にもいくつかあるようですが、周知も難しいようで、民間の団体だけでは限界があります。行政もここにもっとつぎ込んでほしいです。

つながり	地域のイベントなどを続けていくこと。イベントを通して、地域とのつながりを作り、地元へ愛着を持てるようになると思う。また、イベント等が無い地域は活気が感じられない。
つながり	地域とのつながりを持つことで安心して安全な街づくり。
つながり	個人情報大切に時代なので、ご近所の方に立ち入ったことを聞けないので、隣人の様子は全く分かりません。あいさつはしています。深いつながりは無理だと思います。でもきっと緊急時は助け合える関係性ではお互いありたいと思います。いい関係を築き続けていきたいです。いい方法が欲しいです。
つながり	住んでいる地域は地域密着性が強いと思います。衛生上、ごみも当番を決め管理しており、散らからないように心がけています。当番としてはいますが、気付いた人が片づけをし助け合う姿勢は気持ちが穏やかになり、自分もそうしようと思わされます。継続できたら素晴らしいと思います。また、治安も良好であってほしいので、学童など増やしたり、大人の目が届く場所に子どもを預け、安心した街づくりを期待しています。
つながり	学校と地域（自治会）との連携した催しを10年後も続けていてほしい。自治会、班単位でも活動を増やし、地域での人と人とのつながりを密にすることが大切だと思う。
つながり	隣近所でのつながり。安全、安心に住むことのできる緑区であること。
つながり	地方よりまだ低い高齢化率である横浜ですが、変貌の激しい街並みの中で、人の和が崩れている現状があると思う。身近な地域でのつながりの再生の為にも、子供からお年寄りまでの村的なコミュニケーションを作れば良いと思う。
つながり 健康	健康維持できる取組み。地域参加（交流の場、ボランティア活動など）
つながり	住民の連携
つながり	不快な思いをしない近所づきあい。
つながり	地域交流を深めるイベント
つながり	近所の人たちの声かけが大切だと思います。災害が多い時代なので、特に怪我という時に助け合える街づくりが必要だと思います。
つながり	地域での協力活動を進められるような取組みをすることが大切。
つながり	若年世代（夫婦、子供だけの世帯）と高齢者世帯（老人のみの世帯）とのつながり。お互いの世帯では（年齢的に）接点が無いため、お互いに協力し合える環境になると良いと思う。
つながり	地域とのつながりが大切だと思います。小さな子供さんから高齢者の方まで、「あいさつ」から「顔見知り」になっていくのではないのでしょうか？そういう小さなことが大切だと思います。
つながり	近所の方々とのあいさつ。
つながり	子どもが学校へ通っている間は何となくですが地域との関わりに携わっている気がしますが、10年後、夫婦だけになった時、地域の情報や繋がりがなくなってしまうように感じています。仕事を持って、仕事に出ていると、なかなか地域との関わりが無いので・・・。日ごろのお付き合いや助け合いが大切なのかも。
つながり	孤独死を防ぐこと。地域での人と人とのつながりが持てること。
つながり	高齢の方々や若い世代が触れ合う場をもっと作ると良いと思います。例えば、子供たちとは、昔ながらの遊び、高度成長に至るまでの日本の様子を語ってもらう場。成人とは、家族の在り方、子育て論、生活の知恵、（風習やならわし）、おふくろの味を教える場。
つながり	コミュニケーションが鍵になってくると思います。今の自分たちの世代は、コミュニケーション不足がやはり問題だと思います。理由は高齢者や障がい者と関わる機会があまりなく、ましてや電車のマナーや行動に対して不信感を与えているのが現状ですが、勇気を出してお互いを理解しあえることが大切だと思います。
つながり 高齢化 次世代	子どもがのびのび育ち、遊べる自然、場所があること。高齢者が安全に生活できる街づくり。交流の場（お祭り、登下校時見守りなど）
つながり	地域と人とのつながりが継続、維持できることが大切だと思います。

つながり	情報交換と近所との交流を密にすること。
つながり	住民ができるだけ小さい単位で連携、活動し、それらが場のつながりで区から市などに繋がるよう、区の行政が場の提供と自主運営のお手伝いをして頂く関係。
つながり	人と人とのつながり。
つながり	お互いご近所にはどんな方がおられるのか、普段からつながりのあるお付き合いができることが必要と思います。
つながり	地域の中でお互いが支え合い、助け合うためのネットワークづくりが必要であり、行政と地域住民との連携を密にしていくことだと思う。
つながり	ボケないために人とのつながりが大切とおもっています。
つながり	いい地区なので住みやすい。霧が丘は好きです。人がいい地域です。親しみやすい人が多い、優しさがある。
つながり	自治会の友人、知人、お隣さんとのあいさつ、ふれあい
つながり	隣近所の声かけや挨拶など
つながり	安全、安心。10年後も100年後も声を掛け合う。
つながり	地域で孤立しない、つながりのある街づくり。住みやすい街と言えるような安全な街である事。
つながり	隣近所のつながり。
つながり	助け合い、声を掛け合う。近所とのかかわり方。
つながり	地域住民の交流。
つながり	周りへの気配り（あいさつ、声かけ）
つながり	地域のコミュニケーションづくりが大切である。輪が大切です。
つながり	近隣の方々と知り合い、日ごろからコミュニケーションを取れる関係づくり。
つながり	繋がりを大切に、いざという時は皆で助け合い、支え合うことが自然とできている街、環境に暮らしていることを幸せに感じながら、安心して生活していきたい。
つながり	ご近所の方とのつながりや助け合い。周りにどんな方が住まれているか知っておくだけで安心ですし、防犯に繋がると思います。
つながり 次世代	住んでいる地域は、昔から住んでいるお年寄りの方と、新しい住宅がたくさんできて、若い世帯がいる街だと思う。それぞれが協力し、街を活性化できるような取り組みがあればよいと思う。例えば、定年された方などが登下校のパトロール、子供たちが近所のお年寄りと遊んで交流など、気にかけるようにするなど。
つながり	人と人とのつながり。
つながり	人と人とのつながりをより築いていくこと。
つながり	今、自治会組織が肥大化していくように感じています。組織としての形はしっかりと完成してきていますが、それに比例して、個々の世帯への皆での目配り、心配りが薄くなって行きはしないでしょうか。何年たっても原点は「近くの他人」への優しさであろうと強く思います。
つながり	つながり。
つながり	現在の60代の人口が10年後には70～80代。1番多くなる。社会の背景で大切なのは、近所、街の人と人とのつながりだと思われまます。何かあった時、助け合える街づくりと、警察、病院への連携プレー、密接な助け合い運動を行うように考えます。
つながり	地域の防犯活動。地域の自治会、子供会、小中学校が連携し、あいさつ、声かけなど、縦のつながり、横のつながりを大切にする。
つながり	交流の場をもっと増やしてほしい。
つながり	笑顔で挨拶ができて、言葉を交わせることが先々、何かあった時に助け合えることになると思います。
つながり	転入してまだ半年ですので、あまり地域のことに詳しくありませんが、うわさに聞く話ですと、古くから住んでいる方のコミュニティに新しく来た人々が入っていけない雰囲気があるようです。先日の広島の大災害のように、突然の大災害が今起こった時、果たして近くの人たちと助け合えるのか不安です。自治会にも加入していますが、回覧と会費の支払いがあるくらいで、あまり交流はありません。もっと地域で支え合えるような仕組みになっていけばいいなと思います。

つながり	近所の人たちの顔が分かること。
つながり	助け合いの心をいつも大切に。
つながり	近隣の人との声かけ、助け合い。
つながり	市営の高齢者住宅に住んで10年以上になりますが、自治会の当番が回ってきます。何とか現在は支え合ってきましたが、若い人たちとの考え方の違いなどで、個々にみんなが悩んでいます。
つながり 高齢化	地域とのつながり、また、高齢者の雇用の場の拡大。
つながり	10年後もいつでも大切なのは、人と人との思いやり。思いやりを常に持っていれば、それが行動に出るし、取り組める。
つながり	自治会や老人クラブ、子ども会等が主体となった活動は特に大切だと思います。
つながり	人と人との絆を大切にしたい暮らしやすい街、町
つながり	向こう三軒両隣の和。
つながり	人のつながり。若い世代と高齢者が交流しやすい地域。
つながり	隣近所と仲良くお付き合いができ、何かあった時にはお互い声を掛け合って助け合える街づくり。
つながり	子どもから大人まで気軽に集まれる場やイベントがあり、あいさつが飛び交う環境づくり。
つながり	地域交流
つながり	今の自治会活動では不透明で、特定の人だけで運営されているように感じる。人と人とのつながりはとても大切だと思うので、自治会活動の在り方の見直しが必要。
つながり	つながりのある街づくり。
つながり	隣近所でも1日顔を合わさないという時が多いと聞きます。少なくとも近隣の人とあいさつや声かけができてることが大切だと思います。若い人たちで自治会等積極的に参加してくれる方には減税するとか、何かの形で優遇すれば、もっと関心が向いてくれる一つの方法かなと考えます。
つながり	地域では、70歳前後の世代と40歳前後の世代が多いが、あまり交流が無いのが現状である。災害時の助け合いや、地域の防犯上の観点から、世代間交流が必要と感じる。
つながり	交流。
つながり	高齢化する自治会組織の在り方。自治会入会率の向上策。
つながり	現状の実態に合わせた地区分け。人口が増加している地域や学区の変更などで、各自治会とのつながりも変更になっている。常に実態に合わせた計画を立ててほしい。(今までにとらわれることなく!)住んでいる町はいくつもの町内会に分かれており、地区をまとめてほしい。
つながり	隣近所とのつながりが災害時の助け合いの基本となると思います。
つながり	近所の方と交流があることが大切だと思います。
つながり	安心安全に暮らせるように、お互いに助け合いの気持ちをもって、ご近所の方とのお付き合いを大事にしたいと思っています。
つながり	気軽におしゃべりができる場があると良い。
つながり	下水溝掃除、公園掃除に定期的に参加しているが、実際にまともに清掃作業を行っている人は少なく、ただ形式的に参加し、知り合いとおしゃべりしている方々が多い。参加しないと白眼視されるとの思い込みで形だけ参加する且つ、事情で参加できない方を白眼視する。地域住民の意識改革こそが大切であると思われる。
つながり	地域の人とのつながり。
つながり	地域の連携(分からない、活動が見えない)
つながり	ご近所(自治会等)とのつながり。イベントを通して交流の機会が増え、心強く思う。集会所があれば、もっとその機会を増やせるだろう。次に(世代に)つなげていくことが大切。
つながり	人と人とのつながり、会話。
つながり	住民の和が大切だと思います。まずは声かけ運動から。
つながり	「つながり」のある街づくり。「安全、安心、健康」の街づくり。この強化。

つながり	地域で協力できる体制が何より重要であり、気軽に参加できるイベントや交流の中で話し合いができる場を作ってほしい。認知症キャラバメント研修を終了し、緑区の一員として啓発していきたい。
つながり	近隣同士の付き合いを今までより深めること。
つながり	マンションが多く、自分から意欲的に外に出て参加していかなければ、外部とのコミュニケーションが取りにくい環境であると思います。老人だけではなく、孤独を感じながら育児をしている方も多いのでは…ある種のおせっかい活動がしやすい街づくり、人と人との垣根の低い交流の計れる街の雰囲気作りと住民、商店街、周辺施設がまとまって考えていく仕組みを作っていけたらと思います。
つながり	互いに思いやりの心を少しでも厚くする。気軽に語り合える場はもっとあって良いのではないのでしょうか。
つながり	声かけ、情報の共有、各個人の意識の向上。
つながり	もし、災害でも起きた時、地域の人たちが助け合っていかなければいけないと思っています。そのためにも、日ごろ、お隣さんとの交流を深めていこうと思います。福祉活動の方面でも地域行事のイベント等の開催を多く作ってほしいです。
つながり	地域の人が交流しやすい環境づくり。
つながり	地域とのつながり。
つながり	ご近所で、福祉とは違いますが、自治会に参加せず、近所とも全く話もせず、庭はゴミだらけ、草も生え放題、でも、注意することもできず、どうしたらいいか分かりません。区とかの方が入り、調べてもらえればと思います。このような家が緑区でも結構あるのではないのでしょうか。
つながり	私の居住している自治会は、一部と思いますが、隣近所の方との人間関係はあまりよくない。昔からの居住者と新参者とのお付き合いはあまりない。このような状況下では、いざという時には、助け合うということはないような気がします。まず、基本的なことから変えていく必要があります。
つながり	緑区に住んで良かったと思えるつながりのある街であってほしい。
つながり	人がつながるイベントや公共施設の設置。
つながり 高齢化	10年後は今よりお年寄りが増えていると思います。一人住まいのお年寄りもすごく増えていると思います。孤独死ということも増えるかもしれません。自治会でいろいろとイベントをしたり、声をかけ合って、交流があればいいかと思います。
つながり	私の住む公団住宅は自治会がありません。自治会づくりのため公団に働きかけても、どういうわけか実現しません。役所から公団に働きかけて下さい。皆さん困っています。永年コミュニティがないのです。
つながり 情報	各自の意識も高める。世代間の交流、情報の共有。
つながり	安否確認の声かけ。
つながり	人と人とのつながり。
つながり	高齢化がもっと進み、住民同士の繋がりが、取りにくくなるような気がします。安否確認のよい方法など、地域で考えたほうが良いと思う。日常的に顔を合わせる機会などを作れると良いが。
つながり	何よりも、地域の人とのコミュニケーションが大切。
(次世代)	
次世代	高齢者の方も増えてくると思うので、20～30代の方が福祉にもっと興味を持つのが大事だと思います。
次世代	子どもは宝です。もっと今の大人がしっかりとして、どの子ども、この子ども我が子のように声をかけ、決して子どもに優劣をつけずに温かい目で見守り、育てる。
次世代	私は今2人の子どもを育てています。いっぽうや地区センターが近くにあると助かっています。なので、10年後もそういう施設があるといいなあと思いました。
次世代	子育て支援

次世代	「10年後」を考えるのであれば、今の子どもたちに色々と教えるべき。皆で地域のゴミ拾いをする習慣とか、子どもとお年寄りを結ぶことで、コミュニケーション作りや優しさを覚えるなど。10年後の緑区に今の子どもたちは欠かせない。
次世代 つながり	地域や近所の方達との交流が必要と思う。 シニアの問題も大切ですが、これからの子どもたち（小中学生の給食費無料化とか）出産したくても保育園等の事でやめている人達の事、そちらをもう少し考えるべきであると思う。
次世代	小さな子供たちを持つ親として、ハーモニーみどりのプレイルームやはなまるを利用していますが、とても利用しやすいのでぜひ続けてほしい。
次世代	子どもが安全に暮らしていける。それをサポートするのは地域で行えたらいいと思う。
次世代	未来を担う子供たちが強く優しく育つような環境づくり。（あいさつ、礼儀・・・）
次世代 つながり 高齢化	子どもがのびのび育ち、遊べる自然、場所があること。高齢者が安全に生活できる街づくり。交流の場（お祭り、登下校時見守りなど）
次世代	地域で子供たちを守る。
次世代 高齢化	地域のつながりの維持。（高齢者が増えている）。若い方々に住んでもらえるような環境を増やして、高齢者と若い人とのバランスが適正になるようお願いしたい。
次世代	若年層の自治会加入。自治会の世代交代。
次世代	若い世代が希望を持ち、やりがいのある生活ができるような行政の支援。若い人の住みよい地域作り。
次世代 環境	子どもの教育と、環境の整備。
次世代 つながり	住んでいる地域は、昔から住んでいるお年寄りの方と、新しい住宅がたくさんできて、若い世帯がいる街だと思う。それぞれが協力し、街を活性化できるような取り組みがあればよいと思う。例えば、定年された方などが登下校のパトロール、子供たちが近所のお年寄りと遊んで交流など、気にかけるようにするなど。
次世代	子どもたちの安全な街になるようにしてほしい。歩道が狭く、ガードレールのない道もある。自転車とのすれ違いが危ない！高齢者が多く、近所に友達がいないので、若い人たちの住みやすい街になってほしい。
次世代	今現在、子供を産める場所が緑区内には無すぎます。緑区内で子供を安心して産んでもらえる環境が大切だと思います。産科、小児科が無いと、妊婦さん家庭は区内からいなくなります。というより、人口流出になるのでは？
次世代	少子高齢化の対策。
次世代	子どもが安心、安全に暮らせる街づくり。保育所の充実、通学路の安全確保。
次世代	子育て支援（一過性ではなく、子育て世帯が継続的に住める環境づくり）
次世代 高齢化	独居老人に対する取組み、支援。支援を必要とする、高齢者への働きかけ。保育面で安定した場があり、安心して産み育てられる環境。
次世代	地域の活性化が大切だと思う。そのためには若い年代を増やす必要があり、子育て支援の充実など、若者にとって住みやすい街づくり、取組みが必要だと思う。
次世代 高齢化	高齢者の一人暮らしが増えてくると思うので、近所の方たちで安否確認がすぐできるようにしていくこと。乳幼児を安心して育てていけること。若い人たちが楽しく参加できる行事。
次世代	小学生までの発達障害者へのケアは十分あるが、中学生になったらほとんどなくなるので、継続してケアができるように、親子ともに頼れる場所や人がいるようにしてほしい。
次世代	子どもたちが楽しく健やかに成長できるような見守り、支えが必要だと思います。
次世代	母親の孤立化を防いでほしい。ネットによる小さい子の親へのバッシングが現在ひどい。以前2歳の子がぐずっているお母さんの荷物を持ってあげたら、うるさくてすみませんと泣かれてしまい、そのつもりでなかったのが驚いた。
次世代	子育てを一人で抱え込んでしまう親が一人でも減るように、困った時にすぐに相談ができる場所や人がいるということをお知らせする、分かりやすい広報や看板があるといい。

次世代	少子化に伴い、それに見合った施設や制度の活用がしやすいことを求めます。
次世代	子育て支援。無料の定期健診。年配の方がもっと気軽にボランティア活動に参加できるようにすれば働く親の負担が減ると思う。
次世代	今子育て真っ最中で、地区センターなどのプレイルームが必要な場所になっていて、よく利用しています。子育て中に友達と情報交換できる場所は、すごく大事だと思うので、これからも充実させていって欲しい。子供たちが（小学生）集まる場所としても安心できるので。
次世代	高齢化がますます進む中で、若い世代の支えが不可欠の為、「住みたい」と思える魅力的な街づくりが必要と思う。（商業施設の誘致やインフラ整備等）
次世代	子どもへの福祉の充実。
次世代	子育てに関して支援。
次世代	子どもが安全に暮らせる街づくり。地域のネットワークを強化し、何かの時に支え合えるようにする。
次世代	高齢者の方が多くなっていくと思うので、その方たちを支える世代や、さらに次世代の子どもたちが過ごしやすい設備やイベントの実施。新しいマンションやグリーンタウン改築などの建設で、若い世代が住みやすい環境。
次世代	高齢化が進んで行く中で、若者に負担がかかります。個人としての生活力も大事になってくるのでしょうか。
次世代	高齢の方が増加していく中で、どれだけ若い世代家族の方たちと交流の場を広めて、意識して関わりを持つことができるか。例えば、幼稚園ママ世代にも働きかけをして助け合いの意識を早くから持ってもらおう。
次世代	10年後の社会を支えていく現在の児童、生徒たちに福祉保健の重要性をきちんと伝えるべきだと考えます。学校教育などでも、積極的に取り入れてほしい。彼らが社会の中心となって活動するときに、それらが生かされることを望みます。
次世代	教育、子育て支援。

2 「ひとりひとりの力が発揮できるまちづくり」に関連する意見

（ボランティア）

ボランティア 高齢化	ボランティア活動についての仕組みづくりと周知、広報。高齢者の活性化。高齢者の力（時間）の有効活用を！（いずれ高齢者は他の人々のお世話になるわけですから、元気なうちに世話を手伝うようにさせる）
ボランティア	川崎市のボランティアに不定期で参加しています。ボランティアには積極的ではないタイプですが、友人（60代）に誘われました。大切なのは継続する人材育成かと思えます。主婦は子育てや介護と、夫が定年するまではあまり自由が無いので、一時的な体験、頼れる先輩に学び、いつか参加できる時期が来たらと考えています。もし利用者側になった時にも、ボランティア経験があると良いと思っています。
ボランティア	ボランティアに任せることなく、自治体でやれるようになってほしい。
ボランティア	ボランティアの貯蓄通帳を作り（点数）必要になったら、まずその点数からお願いしたい。（ゴミ出し、買い物など）年齢に関係なく、できる時にできることを！そのような仕組みがあればと思います。
ボランティア 安心	誰もが安心して暮らしていける地域。ボランティアの育成。
ボランティア	多くの方が気軽に参加できるボランティアのシステムづくり、インターネットを活用したボランティア登録、募集など、短時間でも参加可能なシステムづくり等
ボランティア	若い方がボランティアに参加し、活動してくださること。

（自立）

自立	自分のことは自分や家族でやっていきたい。
自立	自分で動けること。
自立	正直言って、10年後は分かりませんが、自分は負けず頑張ります

自立	普通に生活をしていられる時は自分の責任で生活していきたい。本当に生きるのに困った時の支援があれば心穏やかに生活していける
自立	若い世代ばかりに負担を求めずに、誰もが自分にできることを見つけて、実行するような風土づくり。「誰かにやってほしい」という要望ばかりでなく、「自分は・・・をする」という意識を持てるように環境づくりをする。
自立	認知症予防の講習会の案内を時々見かけますが、超高齢化社会に対応する私自身も受け身ではなく、自分から進んで活動を起こさなければ心身ともに老いるばかりです。口腔ケア、ウォーキング、楽器演奏、音読、天声人語の書き写しなど、個人的にはやっておりますが、果たして自分が10年後も継続できているかどうか、自身はありません。世の中にはいろいろな考えの人がいます。心が素直でなければ、どんな催し物をして参加をしてくれませんか。意識改革から始めてください。
自立	自立して生活していくこと。
自立	長く自分のことは自分でできる日常が大切。そのための自己管理、それをサポートする区役所の在り方。
自立	高齢化社会の中で、自立できる福祉保健が大切だと思います。イベントや勉強会などを含めた参加できる環境をハードルを下げて、誰でも、笑顔で「ふらり」と顔が出せる場が必要だと思います。個々の人権も大切にされる時代ですが、うまく周りの付き合いを大事にできる、今が大切に思います。逆に言うと、付き合いにくい現実が今あるように思うのです。

(仕事)

仕事	目的、生き甲斐、ライフワークバランス
仕事	仕事も収入もない人の悩みを聞いてもらえること。
仕事	婦人の職場参加が増えるには、託児所の充実が重要。小学生、中学生の学童保育の充実と、保育時間内の延長。

3 「機会・場のあるまちづくり」に関連する意見

(環境・場)

環境	安全で安心して暮らせる地域環境を長期的に維持、向上させてゆくこと。
環境	緑区内に多い緑地の乱開発に心を痛める。例えば老人ホームは家族から近い場所に設置し、皆で行き来できる環境が大事。ミニ開発業者が必要な場所も利益の為に乱開発する行動を止められないのか。せつかく緑の多い区の名前が汚されてしまう。10年後、20年後の人口構成を含め、モデル地域として積極的に計画を推進してほしい。
環境	高齢者医療費が減り、健康寿命が延びる活動。四季の森公園など、誇りに感じる緑、自然環境をしっかり守ること。電柱のない道、美しい街並みづくりの活動（散歩したくなる街）
環境	緑、自然を大切にしていって欲しいと思います。
環境	木を植えたりして緑を増やし、夏場でも涼しい場所を作ることで、子供たちが外で積極的に遊びたくなるような緑地化。
環境	公園やスポーツ施設の整備。（増設）。住民票などの書類を、もっと簡単に取れるようになるといい。（カードを使って機械でのように）
環境	人と人とのつながりが大切だと思います。そのためには昔ながらの商店街の存在は大きいと思いますが、残念ながら長津田駅前は無機質で視覚的にもアンバランスな開発を進めてしまい、精神衛生ということを感じます。緑区には田畑や緑が残されていますので、今後はこれらを最大限に生かし（例えば無施肥無農薬の農業を推進し、オーガニックの地域を売りにしたり）、商店街を作り、または活性化させ、人々の交流を促し、建物は低層にして空がたくさん見えるようにし、街並みを美しくして、人々の心に与える影響にも配慮したり・・・。昔ながらの街では、利益率が悪いと考えられるかもしれませんが、人が集まり、また、安心安全で暮らせる街では永続的な収入が見込めます。

環境	公園の整備
環境	街が好きだと思えることが大切だと思います。道路の整備、お店の多様性、保育園などの福祉系の充実など、生活しやすい街だと、ストレスもなく、人を思いやれる心も生まれると思うから。
環境	買い物難民のために、買い物バスとか巡回マーケットとか、出かけられない老人の助けになるシステムができると助かります。スーパーなどからの配達制度でも良いが、私企業のサービスを促し、また、サポートする働きがあると良いですね。
環境	地域の人口よりも、体育館やホール数が少なく、災害があった時に避難する場所が圧倒的に少ないので心配。マンションは人が増えるのもういらぬ。公園、図書館も欲しい。(公園は小さいのがあるが、ボール遊び禁止)
環境	自給自足が始められる環境。地域の人たちと関われる環境。
環境	公園の整備、特に近隣公園。日陰を作る高い木は多く、見通し、風通しを悪くする低い木は取り払う。痴漢や暴力沙汰の起きない環境を作り、人が集まり利用しやすくする。
環境	バリアフリーの拡大。歩道の増設。
環境	障がい者がもっと住みやすい街づくり。特に鴨居駅南口周辺。
環境	ちょっとしたイベントや講演、また、日々の買い物が不便なくできるように、バス便の充実が大切だと思います。若しくは、気軽に依頼できる買い物ボランティア制度の整備が望まれると思います。
環境	緑地の保全のための適切な政策を実施すること。市街地再開発と同時に、誰でも自由に集えるような公園や集会場所を公的な機関が数多く持つこと。開発事業者に場所を提供してもらう政策が必要。
環境	色々な行事(活動に)参加するための交通アクセスの充実。特に高齢者が簡単に行き来することのできる道路整備など。
環境	区民のくつろげる公園や自然環境の維持。地域での行事、イベント。健康に対する関心を高める→病院や薬に頼り過ぎない健康的な生活。
健康	
環境	緑を広く残し、住民の憩いの場を保ちたい。
環境	住みよい街づくり。
環境	坂が多い地域なので、ひざの悪い年配の方が外出するのが億劫になっていると思う。ベビーカーも坂で押しづらい。道路を整備、無料短距離バス等、地域のすべての方が気軽に外出できたらよいと思う。

4 「情報が入手しやすいまちづくり」に関連する意見

(情報)

情報	安心して暮らし続けるための情報発信。
情報 つながり	・社会的弱者(子ども、高齢者、障がい者)を支える世代に対して、情報共有を定期的にかつ詳細に行うこと。 ・地域住民に顔見知りがたくさん居るようにすること。
情報	困った時に、聞ける窓口が(手軽さ、気軽さ、わかりやすさ)安心な状態。 ・防犯パトロール。警察と自治会が連携した深夜のパトロール強化。 ・自治会班長、組長レベルで道路局のハマロードサポートと連動させて側道や道路の草取り作業→地域の横軸のつながりが広がると共に道路の除草も図れる。 ・緑区ホームページに育児・医療/治療・高齢者介護などの悩みや体験談を掲載する→様々な意見を出し交流できる場の提供になる。
情報 安心	
情報	近年「生まれて初めて体験した」「50年に1度の～」などと天災や気候条件が大きく変化しています。福祉保健に特に限ったことではありませんが、大切な情報、連絡を伝えるシステムを確立させることが重要だと思います。ライフラインが乱れた時でも対応できる組織と現場作りが理想です。
情報	メールなど、WEBの活用。
情報	情報の徹底により、区民一人一人の意識を高めること。意識が無ければ何年たっても何も起こらない(無関心)

情報	インターネット利用した次世代的な取り組みが必要と思科致します。また、役所は営業日、時間が決まっているため、24時間対応可能なプラットフォームの形式も、今後重要になってくるはずです。
情報	色々なことが実施されているようですが、現実にとりだだけの人が認知していますか？地域の活動を末端まで分かるようにしてほしい。
情報	子育て支援や介護関係など、これから誰でも課題になるであろうことの情報提供。
情報	困った時の相談窓口を区民一人一人が知っていること。
情報	何か困ったこと、相談したいことがある時、どこに連絡すれば良いか分かる様なシステムがあると安心かと思う。
情報	緑区としての支援が何があるのかわかるようにすることが大切と思います。
情報	気軽に何でも相談できる窓口がたくさんあるといいと思う。色々な面に対して。
情報	個人の悩みや問題は多様なので難しいですが、いろいろな情報提供をして頂けるとありがたいです。問題解決のヒントになるような情報が欲しいです。
情報	地域にどんどん講習や宣伝活動を実行する。
情報	現在地域とのつながりが薄いのが、今後年を取るにつれ、何らかの活動に関わっていききたいので、情報を入手しやすいようにしてほしい。
情報	区の福祉保健に関するサービスや情報は住民が探したり調べたりしなくても聞こえてくるくらい緑区の積極的な活動が必要だと思います。
情報	ニーズに合わせた情報提供。どこに問い合わせをすれば知り得るのかを分かりやすくしてほしい。
情報	必要な個人情報が必要としている人に届けられないのが現状ある。活動が制限されていないか？行政も考えてほしい。
情報	区民の福祉保健に対する意識を高めるために、情報を発信し続けることが大切だと思います。
情報	広報など、取組みを新聞などに入れ続けてほしい。必ず目に入ると思います。元気な内容希望します。
情報	今はインターネット時代だが、パソコンなどを持たない人にとっての情報の取り方を教えてほしい。
情報	情報の共有。誰でも必要な情報が入手しやすいこと。
情報	いつでも相談できる窓口があること（子ども、高齢者、その他）
情報	正直、今の時代の変化の速さを思うと、10年後の世の中のことには思い浮かばない。ただ、10年後は今以上に高齢化が進んでいることは、容易に想像できる。今でも情報の伝達が言葉や書き物からではなく、パソコン、スマホなどを見ることによって知ることになりつつある。10年後はそれが当たり前となっていると思うが、反面、言葉を交わすことや字を書くことといった生きた情報伝達が無くなり、高齢者の孤独化が助長されていく心配が・・・。
情報 つながり	各自の意識も高める。世代間の交流、情報の共有。

5 「安全・安心・健康」のまちづくりに関連する意見

(高齢化)

高齢化	町の住民の高齢化がますます進むと思うので、（自身は生存していない）できる限り自宅あるいは同じ地域で、最後まで暮らし続けられるような計画・活動を希望したい。
高齢化	高齢者、障害者に対する支援体制の充実。何でも手に入る商業施設（衣類、靴類、100円ショップ等）がほしい。
高齢化	高齢者支援活動・防犯対策・健康管理支援等々。
高齢化	高齢者対策
高齢化	高齢者の見守り

高齢化 安心	安全、防災、減災にとりくむまちづくり。 高齢化に対応したまちづくり。
高齢化	介護サービスやケアの充実
高齢化	高齢化社会に伴い、地域あげでの自治会・老人会等の活動の継続していくこと
高齢化	介護は金銭的、肉体的、精神的に負担が大きく、それは民間側（施設・サービスで働く人達）にとっても同じである。したがって「介護環境を充実させること」ばかり考えていては、大元の問題解決にならない。つまり、「介護を必要としない老後」が最良であり、「心身ともに健康でいられる環境を作っていく事」が大事だと思う。その1つの方法として「老後においても“社会”と接している事」が大切と考える。
高齢化	高齢者のための情報
高齢化 健康	まずは各自の健康第一、予防医療の充実。 独居老人が今後増加すると思いますが、対策として、ケアハウスの充実、特養の充実が望まれます。
高齢化	高齢者のための「生きがい」や「居場所」を見つけてあげられるような活動ができるか
高齢化	健康維持や閉じこもりをなくす為に、高齢者が気軽に集える場所の提供や企画が大切だと思う。
高齢化	自治会に加入していない老人は、区の情報が全く入ってこないと思うので、そういう人たちの把握と情報の発信が必要だと思う。
高齢化	昭和を支え、建て直した人たちに、感謝、お礼の気持ちを伝えたい。
高齢化	老人が集って積極的になれるようなところが欲しい。低料金の昼食、お茶などできる場所づくり。
高齢化	これからどんどん高齢化が進むので、お年寄りが健康で生き甲斐が持てるような社会。「時間はあるけどすることが無い」では、人間は生きていけないと思う。
高齢化	歳を重ねるごとに外出するのが億劫になる為、広報にて情報を知らせてほしいと思います。（高齢者用広報）
高齢化	いつまでも元気で過ごしたい。食事に気を付け、ヘルパーさんのお手伝いに感謝しております。
高齢化	介護保険を利用する際に、もっとわかりやすい説明が欲しい。
高齢化	一人、または二人暮らしの老人が増えるので、老人世帯の連絡網の作成と、老人の居住者マップの作成。
高齢化	高齢者への配慮
高齢化	老人福祉を頼りと思う心が問題。基本的に自己責任であり、努力していない人が人並みの生活を望むのは問題である。努力してそれでも困っているならば福祉の対象。努力しない人は強制労働もやむなし。
高齢化	超高齢化社会への対応。①災害時で、要支援者への対応（支援者と被支援者の認定）。自治会や民生委員がデータを持っていても、守秘義務やプライバシーの観点から実質機能していない。もっとオープンな仕組づくりが必要と思います。②安全な街づくり。バリアフリー化、災害時設備、用具の充実。自治会、警察、役所、民生委員等の横の連携体制づくり。
高齢化	高齢者介護施設の充実
高齢化	開発後の年月が長い団地では、高齢化がすでに進んでおり、自治会や民生委員の活動も機能不全になりつつある。また、外国の方の住民も増えている。広範な住民が少しでも顔見知りになれる機会、場を作っていくことが必要だが。
高齢化	マンションに住んでいるので、普段から住民と接する機会はあるほうですが、都会の孤独死などのニュースが報道されると、この地域ではあってほしくないと思うので、お年寄りの方への目配りは必要だと思っています。
高齢化	ある一定の年齢に達した方がいる家庭に、定期的な訪問が必要だと思います。介護サービスなどを利用しないで孤立している家庭をなくすためと、孤独死の方がいなくなればと思っています。
高齢化	高齢者（元気な）が子供、障害者、元気でない高齢者の支援をする機会が増えることが10年後も大切です。

高齡化 ボラ	ボランティア活動についての仕組みづくりと周知、広報。高齡者の活性化。高齡者の力（時間）の有効活用を！（いずれ高齡者は他の人々のお世話になるわけですから、元気なうちに世話を手伝うようにさせる）
高齡化	10年後、周りも老人ばかりになり、それぞれ大変なことになりそうです。隣同士の絆を強め、互いに助けられることは手を貸し合い、顔の見える場所づくりをしていかなければと思います。
高齡化	高齡者の在宅生活が1日でも長くできるように、訪問検診のシステムができると良いと思う（保健師による問診）。必要なら、受診、または老健の利用、デイサービスの利用などのアドバイスも。
高齡化	高齡者の一人暮らしへのサポート
高齡化	高齡者が多いので、地域のつながりが必要だと思う。
高齡化	高齡化が進むので、地域で老人などを見守る体制が必要と思う。
高齡化	独居高齡者の把握。地域での支え合い。あいさつの声が多い地域。
高齡化	今も近所には高齡者が多いが、今後も増え続けると思うので、近所づきあいや、顔見知りを作ることすごく大切だと思う。どこの家にお年寄りが住んでいるとか、一人暮らしをしているとか、近所を気にかけて生活することが大事だと思う。
高齡化	老人が家に閉じこもらずに積極的に活動できる場があると良い。
高齡化	これから益々の高齡化社会になるため、安心して自立生活ができる連携が大切に思う。（活躍できる場等の提供）
高齡化	高齡化社会
高齡化 つながり 次世代	子どもがのびのび育ち、遊べる自然、場所があること。高齡者が安全に生活できる街づくり。交流の場（お祭り、登下校時見守りなど）
高齡化 次世代	地域のつながりの維持。（高齡者が増えている）。若い方々に住んでもらえるような環境を増やして、高齡者と若い人とのバランスが適正になるようお願いしたい。
高齡化	一人暮らし老人に対する声かけ、見回り。
高齡化	一人で生活なさっている方への見守りと、何かあった時の身内への知らせ方をはっきりしておくこと。
高齡化	私は10年後は80歳。その時にはいろいろな病気になるかもしれないので、健康でいたいと思いますが、介護が充実していれば良いと思います。
高齡化	年配の方が増えてきているので、歩道の確保や段差のない道を増やしてほしい。近隣にも年を取り、足腰が弱くなってきている方（ご夫婦）がいるので、買い物など手伝いができることがあればと思う。ただ、いつも気を使ってくれるので、もっと気軽に手伝えればと思う。
高齡化	地域と言っても、年を重ねるとなかなか出たくなくなるので、本当に自分の家の近くで、例えば週に1回でも1時間くらい同じことをして、そのあと気楽に話ができる場を作してほしい。今の地域の健康づくり教室はありがたいが自分の居場所が無い気がする。
高齡化	現在元気な75歳ですので、地域の人たちと支え合って楽しく過ごしています。でも、いつまでも健康でいられるとは思いません。先のことを考えると、不安は尽きなく、これは公の範疇ではないかもしれませんが、低所得者でも安心して得られる自宅介護、老人施設への入居などが、この区に住居する限り可能だったら、どんなにいいことかと思えます。
高齡化	今後の高齡化社会に向けて、高齡者同士が活動できる場所や活動をもっと考えて広げて作ってほしい。公的支援をもっと望んでいます。介護認定を受けている人のデイサービスだけでなく、介護認定を受けていない人の行けるような場や活動があればもっと互いのつながりもでき、支え合っていける地域社会になると思います。
高齡化	高齡者対策。
高齡化	今よりも老齡化が進んでいると思うので、近所の方々と日ごろからのふれあい、話し合いなどを通して、気軽に声をかけられる生活が、いざという時に助け合える関係になる為に必要だと思います。
高齡化	老人保護、およびそのシステムづくり

高齢化	老人が健康で暮らせる環境づくり
高齢化	私ももう 86 歳になりましたので、10 年後のことなどは考えておりません。今の日々を大切に健康に気を付けて過ごしております。
高齢化	マンション（都市機構）に住んでいますが、一人暮らし、夫婦（こどもがいない）等、みなさん将来のことをとても心配しています。いずれホームに入居しないと困る方が多数です。正しいきちんとした情報が必要です。緑区、または横浜市の老人ホーム（有料でも）の冊子があると良いと思います。
高齢化	現在自分は 65 歳なので、10 年後は 75 歳になる。一番不安なのは、独り身の私が病気になった時、そばで看取ってくれる人がいてくれるかどうか。その部分を今から少しでも福祉保健に携わっている方々がアイデアを出し合い、老人（特に独り身の）の気持ち、状況になって考え、案を作成して行って欲しい。
高齢化	私の住んでいる地区も高齢化が進んでいます。車いすでも通れる歩道の整備も必要と思います。近隣の高齢者の把握も大切だと思います。
高齢化 次世代	独居老人に対する取組み、支援。支援を必要とする、高齢者への働きかけ。保育面で安定した場があり、安心して産み育てられる環境。
高齢化	高齢化に対する対策。認知症の支え合い。在宅医療に対する地域の支え合い。
高齢化	高齢者、弱者保護。
高齢化	高齢者の一人暮らしが一層増えるだろうから、その人たちのケアが最優先だが、若く独身の人こそ何も関わりが無く、知らないことが多いと思う。
高齢化	高齢者世帯が増えてきており、一人住まいの者も増加している現在、個人情報保護法を盾に出所でもそのような人々を把握できていない。各地区で把握していると思うが、逆に住人は全然わかっていない。これをどうにかできないものか。
高齢化	今以上に高齢化社会となっていくのを想定して、老人の方を支えたり見守ることも必要ですが、老人の方の活躍できる場ややりがい、生き甲斐ともなるような場も、拡大していくべきだと思います。どの世代も生き生きと生活していける社会は理想ですね。
高齢化	高齢者が生き生きと生活できる仕組みづくり
高齢化	長寿社会に対する健康増進と、安心して暮らせる街づくり。
高齢化	高齢者に情報を分かりやすく提供すること。民生委員の増員。
高齢化	リーズナブルな料金による高齢者に対する福祉の充実。
高齢化 医療	近隣に総合病院ができるのが望ましい。軽費で入所できる老人施設、グループホームができることが望ましい。
高齢化 健康	高齢者でも参加できる運動があればいいと思います。
高齢化 次世代	高齢者の一人暮らしが増えてくると思うので、近所の方たちで安否確認がすぐにできるようにしていくこと。乳幼児を安心して育てていけること。若い人たちが楽しく参加できる行事。
高齢化 つながり	地域とのつながり、また、高齢者の雇用の場の拡大。
高齢化	高齢化が進むために、より一層の福祉の充実と医療の完備が必要と感じます。ホームヘルパーの完備が重要だと思います。
高齢化	高齢化していったとしても活動しやすい体制づくりや行政の支援体制の維持。
高齢化	介護施設、介護費用の対策。
高齢化	老人が安心して暮らせる環境整備。
高齢化	一人住まい高齢者への支援（日常生活面、介護面）
高齢化	高齢化がますます進むので、日ごろからの声かけ（隣近所への）がより大切になると思います。
高齢化	高齢者の対策。
高齢化	NHK スペシャルやチョイスなどでやっていた、認知症予防のプログラムをやってほしい。バスが非常に不便なので、無料駐車場がないと行かない。しりとりなど、前頭葉を使った運動とか、デュアルタスクが効果的らしい。
高齢化	今より更に高齢者社会になるので、一人暮らしの人が増えると思います。話し相手と安否確認の声かけが大切だと思う。

高齢化	廃校になった場所を特養ホームにしたらいいと思います。最寄駅から近いですし、仕事の行帰りに会いに行けます。難病の人に優しい医療費負担をお願いいたします。特に難病でもまだ認められていない病気もあるようなので。
高齢化	将来家の中で一人暮らしになったとしても、地域の中で孤独ではないと思えるような地域との関わりが大切だと思う。
高齢化	独居老人の対策。
高齢化	10年後の緑区は、自分も含めておそらく4人に1人は高齢者になるのではないかと予想している。区民が安全に健やかに暮らしていくために、高齢者が率先して自助の力を高めていくことが大切だと思う。特に歯の手入れは健康に大きく影響するので、今以上に地域社会全体で啓発に取り組んでいただきたい。
高齢化	一人老人への対応。官民共同（連結）での管理。
高齢化	高齢者も働ける環境（やりがいがあると元気でいられるし、教わることも多いだろう）
高齢化	できるだけ自立した生活を維持できるようなサポートが必要だと思います。
高齢化	一人暮らしの高齢者と一緒に食事をする場を作る。食事を作るサービスはあっても、一緒に食べる機会はまだまだ少ないと思われる。
高齢化	地域における連携（人とのつながり）。健康づくり（年を取ると筋力をつけていかなければいけないのに、つけることができない。外出が困難になるので。）、地域で体力づくりをする必要があるのではないかと・・・。予防運動を含め。
高齢化	少子高齢化の進展から、労働力不足が懸念される。高齢者福祉は福祉サービスに限定せず、いかに元気な高齢者を創出するかが重要で、労働をすべての政策の中心にすべきと考える。
高齢化	高齢化の時代に誰もが健康で安心安全な社会であり続けるために、何が必要であるかを考えることが大切だと思います。
高齢化	高齢化社会からの脱却。
高齢化	もう少し気軽に入れる施設があったらと思います。
高齢化	近くのデイサービス。
高齢化	一人暮らしの介護施設の増設。近隣者との付き合い方など。
高齢化	少子高齢化対策。
高齢化	益々年寄りが増えていくと思うので、年寄り目線での色々なサービスや配慮をしてほしい。外へ出たい気持ちはあっても、だんだんと出られず家にこもっている人もたくさんいると思う。家族はいるが、仕事があり、迷惑をかけたくないので、在宅の人用のサービスなどがあると良いかと思うが、情報が悪用されると心配である。
高齢化	単身の高齢者が経済的にも安心して住める住宅が多くあれば良いと思います。
高齢化	緑区も当地区も、今後高齢化が急速に進むとともに、高齢者の独居世帯も急増が見込まれます。この状況の下で高齢者が安心して住み続けられるためには、地域ぐるみで、とりわけ近隣住民による日常の見守り、安否確認や災害時要援護者支援等の助け合う体制、組織づくりが区にとっても、これからも重要課題の一つとなるでしょう。
高齢化	いくつになっても「必要とされている」ことは日常生活の活力。毎日ただ家にいるのでは老化現象に加速力を与えてしまう。緑区は基本、丘が連なり、坂が多いので、出歩くだけでも疲れるが、それだけでも立派な運動、リハビリである。外出する機会、集まる場所、きっかけを作り、リズムある外出を続け、区内で健康を維持していけるプランが確立されると良いと思う。
高齢化	一人住まいになった時、地域の人が見守ってくれ、一人でも出かけてお話ができるところを作ってほしい（気軽に）
高齢化	最近老人の孤独死が近所でもあり、不安になりお互い元気ですかと電話したり、集ったりとできると良いと思います。お茶会は老人にとって何とも言えないくらい楽しいことです。ぜひ続くことを祈っています。
高齢化	年寄りが孤立しない、いつまでも、いつまでも集まれるコミュニティであること。
高齢化	自治会で地域の見守り活動など、高齢者の声かけなどが大切だと思います。
高齢化	私の住んでいる地域は特に高齢者が多く、一人暮らし、空き家が増えると思えば荒れますので、地域のつながりが大切に思います。
高齢化	介護施設の増設。介護士の増員。介護士の待遇をよくする。給料、賃金のアップ。

高齢化	介護支援の充実をお願いしたいと思います。
高齢化	老人が住みやすい街に、皆さんで助け合っていけたら良いと思います。自分自身の自立も大事だと思います。
高齢化	高齢者の増加が考えられます。これまで以上に助け合いも必要ですが、健康寿命を延ばすことに重点を置いた方が良いと思います。個人の自覚を促す取り組みを期待します。
高齢化	10年後には高齢化社会がさらに進行し、高齢者の単身生活者も増加する方向だと思うので、そういった方々が孤立無縁化しないように、地域ぐるみでつながりを持てるシステムの確立が必要です。
高齢化	高齢者対策。
高齢化	今後も地域住民の高齢化が進むと思いますので、介護予防や認知症の予防につながる活動を行い、また、続けてほしいと思います。
高齢化 つながり	10年後は今よりお年寄りが増えていると思います。一人住まいのお年寄りもすごく増えていると思います。孤独死ということも増えるかもしれません。自治会でいろいろとイベントをしたり、声を掛け合って、交流があればいいかと思います。
高齢化	高齢になっても、健康ならば働きかける環境であること。

(健康)

健康	個人の体力測定、健康チェック、気がるに参加できる所があれば。 楽しく身体を動かす場所・サークル・教室。生きがいをづくりをしたい。
健康	ますます高齢化社会になるので、体力を維持するための対策。公的と個人的の両面から。
健康	住んでいる地区では数年前から早朝ラジオ体操をやっているのですが、皆の健康維持に良いことは無論、その前後のおしゃべり、大空の下での解放感、自然のすばらしさを実感。これが生きている限り続けたいと願っています。
健康 高齢化	まずは各自の健康第一、予防医療の充実。 独居老人が今後増加すると思いますが、対策として、ケアハウスの充実、特養の充実が望まれます。
健康	・病気にかからない体力づくり ・1日1万歩以上のウォーキング
健康	なるべく病院と薬に頼らないこと。食事に頼ること。
健康	無料検診の充実等。
健康	健康が1番
健康	地区センターの体操教室を利用しますが、10年後75歳になると遠いので、町内会館などで開催してもらえると参加しやすい。
健康	中山にあるようなスポーツセンターが、歩いて行けるところにあったらいいと思う。体力維持のために、みんなが気軽に少しでもいいから日々運動できる環境が大切だと思う。
健康 つながり	健康維持できる取組み。地域参加（交流の場、ボランティア活動など）
健康	各自が健康であることが一番大事だと思いますので、そのためには運動する場があって、いつでもできる場所が必要かなと思います。
健康	遊休農地を利用した健康づくり及び交流の場を行政が率先して作ると良いのでは。農家も助かるし、高齢者も喜ぶと思います。作った野菜を販売できたりすると、さらに良いと思います。
健康	健康年齢の上昇、孤独死の撲滅、安全な食材の提供。
健康 高齢化	高齢者でも参加できる運動があればいいと思います。
健康	歩きながらの煙草をやめさせるよう、どうしたらよいか考え、実行してほしいと思う。

健康	一人一人が健康であるための努力をし、それが無理になった時、相談でき、速やかに利用できることが理想だと思っています。（個人として）
健康	足腰が丈夫でいろいろなサークルにも出かけ、みなさんと楽しく過ごせているので、このままの状態でも過ごせたら良いです。
健康	自分が精神的にも肉体的にも健康である事。
健康	緑スポーツセンターの教室を使って、体力向上に頑張ってます。ジム系を、もう少し体に易しくできるところがあったらいいと思います。
健康	散歩
健康	特に高齢者に対する自立した生活ができるよう、健康を保持するための運動（体力面）や知識を付与して頂ける機会を少しでも多く持たせてほしいと思います。
健康	運動ができれば、外に出、身体を動かすようにしていきたい。
健康	健康。
健康	元気な人々を作る取組み。疾病予防のために良いとされる食物を推奨し、身体が改善されたことを裏づける具体的な数値を測定できる仕組みをつくる。介護保険適用外の元気なお年寄りたちの健康維持の為に集まって、簡単な体操やレクリエーションができる場を作る。家で一人でも健康維持（体力、筋力維持）できる簡単な運動方法や、ストレッチの方法をまとめたパンフの配布など。
健康	健康的な食事教育。
健康	定期的な健診と健康診断。
健康	継続できる健康プログラムがあればいいのにとおもいます。
健康	自分自身が健康である事。そうでないと、地域のこと、近所のことなどに参加するゆとりが生まれてこないと思います。
健康	適度の運動。
健康	歩く運動（毎日 8000 歩）。健康診断の働きかけ。
健康	自身の健康維持。
健康	難しいことでよくわからないが、年に1度の健康診断（レントゲン含む）を実行してほしい。私の周りで独身者が多くみられます。簡単にできる体にいいレシピの指導、忙しいお母さんには時間のある時作り置きできる栄養のある食べ物、レンジで食べられるような指導。
健康	自分自身が健康で少しでも世の中に関わること。
健康	区民の健康状態をあらかじめ把握しておき、定期的に本人へ検診への呼びかけを行う。（健康診断などで）医療費を減らすことに繋がる。生活習慣改善の啓蒙。
健康	気軽に健康診断できる環境。
健康	自己健康管理が重要だと思っています。生活も前向きに現状維持が続けられる努力が必要だと思っています。
健康	健康に関する検査、診断等も含めて無料か定額で実施できるようにしてほしい。
健康	健康である事。
健康	介護予防、健康づくり活動（体操）が大切だと思う。

（医療）

医療	地域医療の充実、とくに訪問診療、看護。
医療	狭い専門知識だけでなく、総合的に患者を診られる。もうけ主義に走らない、質の高い医者、待ち時間の効率的な、かつ、合理的な投薬のできる病院の設置。
医療	赤ちゃんから幼少期の成長を診て頂く、心理学カウンセラーが役所まで行かなくても地区にいてほしい。
医療 高齢化	近隣に総合病院ができるのが望ましい。軽費で入所できる老人施設、グループホームができることが望ましい。
医療	質のよい医師がいる（総合）病院の充実。
医療 安心	子どもを事件や犯罪から守る街づくり。休日診療など、緊急時に受診可能な医療機関の充実。

(安心)

安心	安全、防災、減災にとりくむまちづくり。
高齢化	高齢化に対応したまちづくり。
安心	電子機器を使わずとも、安否確認ができ、電気に頼らないよう日々を過ごす。19～20時頃、地域のパトロールか分からないですが、50～60代位の女性が3～4人で歩いていました。仕事が終わる時間がそのくらいになるのですが、パトロールらしき人がいると安心します。引っ越して約1年になりますが、嫌な経験を2度もしました。夜ではなかったので防ぐことはできなかったと思われます。ただ、パトロールのようなものがあるととても安心です。
安心	障がい者、高齢者のための理解をして、地域でも安心して暮らしていけるようになること。
安心	パトロールなど安全見守り活動を、見える（見せる）活動として行う。
安心	誰もが安全に暮らせる街づくり。
安心 ボラ	誰もが安心して暮らしていける地域。ボランティアの育成。
安心	防犯パトロール（夜間等の見回り）。交通安全運動。自転車に乗る人のマナー。歩道が狭くて危ない。車との距離もすれすれ。
安心	防犯、健康の安全。
安心	駅前など、交通量が多い場所で未だ農道時代の道の細さのところの早期の整備。高齢化が進むであろうことがすでに見えているのに、現状鴨居、中山、長津田駅前は、若いものでも歩いていて怖い。日常の買い物など運動の為に歩きたくても危ない。（運転者にとってもストレス）
安心	安全安心のため、中山町の道路を整備し、お年寄りの方や体が不自由な方も生活しやすくしてほしい。バスが通る道なのに狭くて歩道もない道が、生活上通らなくてはいけない道になっている。
安心	災害があった場合の近所の人との連携、協力体制の確保、老人、子供の安全確保のための活動。
安心	誰もが安心して住める地域になること。
安心	マンネリ化にならない防犯防災活動の実施と、現在認知症の為に具体的活動について、ケアプラザを中心に実施しているが、単一自治会で引き続き行うべきと思う。福祉保健センターの取組みとしては少ない陣客の中で大変と思いますが、地域のイベントに参加すべきと思う。
安心 医療	子どもを事件や犯罪から守る街づくり。休日診療など、緊急時に受診可能な医療機関の充実。

(防災)

防災	再び大地震が近づいているらしいので、防災を重点的に考慮し、対策を練っておきたいものであると思う。
防災	防災に力を入れること。あまり宅地を狭めないでほしい。今の中山は裏に入ると細い道やがけが10メートル以上あり、通り抜けられない。今、広島のがけ崩れによる死者は他人事とは思えない。普通の住宅が安心して住める街になるよう密集を避けたい。
防災	災害に強い街、安全な街、ごみのないきれいな街づくり。
防災	地域での「つながり」のある街づくり・・・一声かけあい運動（あいさつ運動）の継続実施。安全、安心、健康の街づくり…猛暑やゲリラ豪雨など地球温暖化の影響と思われる現象が近年頻繁に起こっており、また、首都直下型地震、南関東地震の発生が懸念されることから、斜面緑地開発などについての規制や詳細な各地ごとのハザードマップの作成、住民の退避、避難方法などソフト面での充実。
防災	地域の細かいハザードマップを街中で目につきやすいところに多数設置し、地域内の意識を高める。高齢者へのサービス、健康、防災などのケアを高める。

(行政)

行政	10年先でなく現在欠けている事があります。介護・福祉に関してあまりにも上からの目線です。本当に何を一番必要としているか、してほしいかという事など、全くおきざりです。係の人が若いので、私達の年齢にならないとわからない部分があると思いますが、して欲しいサイドに立って、寄りそって考えてください。介護保険料を返して欲しい。自分たちで人を頼んだ方が良いのですから。下からの声を出して厚生省まで届くように。オシキセのワクが決まっていますからと改善する気もなく YESMAN 的です。
行政	住民ひとりひとりに対する誠実な対応。
行政	問い合わせがすぐにできる役所（どのように対処したらいいか教えてもらえるように）
行政	独居高齢者や単身者の精神疾患の方が時間外（役所の）でも相談可能な体制が必要だと思う。（近所にいるから）行政の支援は限りあるが、後期高齢者の保健師等の定期訪問とかも必要かと思う（介護保険を使わない人もいるので発見するため）
行政	このアンケートは大切だと思います。「ためになる」と思って、区が何らかの行事を開催しても、それが一人一人区民の需要を満たさないのであれば活性化はしないでしょう。そこでアンケートを取ることで区民の大まかな需要を知る、ということは、区民に対し、何らかの援助をする時に役立つのではないのでしょうか。
行政	どんな活動でも継続していくこと。活動の内容などをフィードバック、実行していくこと。例えば、このアンケートのフィードバックなどを確実にして頂きたいと思います。（アンケートを送ったところには結果も送るとか）
行政	引っ越してきてから何の広報情報等も届いていないので（前に住んでいたところは各家庭に入っていた）。日、祝以外の休みのないものにとっては、福祉保健課の意味も必要性も感じられないでいる。
行政	区役所職員の積極的介入。民間任せな部分を減らしていく。
行政	充実した制度。
行政	理想とすれば、区民一人一人に目が届き、困難を抱えた人の手助けを皆ができること。困っていることを気軽に相談に行ける役所の窓口、機関があること。
行政	いつも感じ思うのですが、区役所職員も「区民」ということです。接していると、「えっ」と感じる事が多々あります。区民として参加することを願います。
行政	相談事業の拡充（誰でも気軽にどんなことでも、深いレベルでの対応ができるような耳と口と手）。三つの層での相談（①第一段階、窓口→振り分け②第二段階、分野別・・a) 生涯的→①出産②育児③教育④青少年⑤就労⑥労働⑦退職（後）⑧老齢⑨死（本人及び家族）。b) 領域別→①医療②福祉（障がい者のみならず）③法律④防災⑤インフラ。第三段階、各分野、領域において専門的相談（例えば法律でいえば、相続に絞った相談）。肝心なことは、この相談事業が制度化されうるとすれば、それをどのように広く区民に伝えられるかということ。
行政	区役所の担当職員の量的・質的強化。職員を運用し成果を評価する仕組みの設計。判断力低下老人の（財産の）公的な保護を、不正行為の生ずるおそれなく執行する仕組み（の設計・実行・見通しのサイクル）
行政	行政というものはそもそも住民に対してのサービス業と考えます。従って、休日も業務を行うことを検討してください。
行政	10年後ではなく、今すぐ役所は住民に対するサービスサービス業であり、元資は税金であることを自覚し、お役所仕事を脱し、民間のよいところを取入れてサービスを向上し、特に住民に対する対するサービスであるからには、土日も開庁してもらえよう希望します。

(その他・未分類)

現在参加中で、今後も続けてほしい活動、外にもあれば尚よい。地域のゴルフ会。地域のマージャン会。

地域のニーズに柔軟に対応すること

活動のPRが大切（何をやっているのかわからない）

区計画。5つの基本があればその目標は大切だと思います。

何があるか不安な世の中、そして長生きな世の中、子育て、障害者、老人を自然な形で助けられる、手を差し伸べられる社会になれる場所、チャンスがある、作る必要性があると思います。体力づくり、トレーニングルームを無料でやれる場とか。

福祉保健の面で本当に困っている人のニーズを早く見つけ、対策を講じてやること。

おたがい様という心

現在もそうですが、自分から助けてほしいという方は少ないと思います。そのような方をどのように探し、手助けしていくか…。自分も段々いろいろなことが面倒になり、買い物も仕事に行く日、または家族に頼む、そのような状況にあります。以前は情報発信の手伝いもしていましたが、今はやる気がうせてしまい、仕方なく今も手伝っているような有様です。歳をとった時助けが必要な人を探し出すシステム（若いお母さんも）。

平等な社会

基本目標の継続

自身の10年後は分かりません。しかし10年後の為にも、1日1日を大事に生きていくことが大切なのではないでしょうか。

住民一人一人が福祉保健のことを当事者として考える機会を得るための行政の働きかけ。

定年後の男性の生きがい（目標）のサポート。

地域のイベント。みんなで里山の環境保全に参加すること。積極的に運動して、健康を維持する人にインセンティブを与える。

安全、安心、健康の街づくり。

他人への思いやり

一人一人の人権を本当に考えてなされているか、常に立ち返って進めていくことを希望しています。

人の減少などで地域が小さくなってきているように思う。現在の取組みが同じように続くことを願っています。（自分が高齢になった時）

一人一人、必要に応じた福祉保健を受けられるメニューが準備されていること

福祉保健がどのようなことか分かりにくくて、難しい感じがする。

地区全体で取り組む活動を継続して行うこと。

あれもこれもと要求せず、与えず、継続可能なことを実施。

リーダーの人柄。

市民は求めるばかりで、10年後はさらにそれが増しているような気がする。テレビや新聞は悪い情報ばかり流していないで、国自体がまとまって助け合っていくことが大切だと思う。

まさに少子高齢化にどう対応するのかの方針を明確化。

自分も老人になり、ますます老人だらけになる。健康づくり、楽しみづくり、外出手段、老人用品等、安い費用でできたらいい（しかし停滞し、活気のない社会にしないための方策が思いつかないで困っている）

福祉保健のために大切にしたい。

福祉協議会や地域ケアプラザ、他、名前は知っていても何をどうしているのか？どこにあるのかさえ知らないことに答えようもなく残念です。私のような人は福祉保健って？？多いのでは。

みんなが平等な福祉を受けられる区（区単位では無理な内容ですが）。平等とはみんなが公平に受けられるという意味ではなく、年金のような世代間扶養みたいな感じでお金があるところからもらい、ないところを補えるようになると良いと思う。今は貯蓄がある老人でも敬老パスは所得で決まるのももらっていたり、シングルマザーで正社員になれるのになると助成が受けられないとパートのままだったり、できるのにやらない人が周りにいるし、それを一律に支援していたらきりがいいから。

地域での活性化よりも、いかに個人をサポートできるか。（高齢者がこの地域はさらに多くなるのが予想されるので）。やはり近所付き合いは面倒な部分も多い。医療、介護、行政による面接のサポート。

区と区民、近隣同士の信頼関係の成立。その上で、区がリードして様々な活動を行うことだ

と思う。
本当に支援の必要な人たちがいるとき、すぐに手を差し伸べてあげる環境づくりができていくこと。
福祉保健と言われていても、日常の生活の中で具体的に何のことなのかぴんと来ない。10年後の大切と言われても、具体的にと言われていても…福祉保健ということにもっと啓蒙しなければと思う。
支援が必要な人が支援を受けやすいような組織づくり。必要な人が情報が無くて支援を求められないということが無いようにしたい。
福祉を受ける人が子ども、高齢者だけに偏ることが無く、区民一人一人平等に受けられるようにしてほしい。
10年後、生きていくかも分からないため、考えてもらえない。
10年後となると、やはり子育てと介護の問題だと思う。施設の充実と近所との支え合いが必須であると感じる。
ささえ愛プランの存在を知らなかったの、10年後にはもっと知られていて、もっと区民が活用して参加するようにできる活動をしていくのが大切なのかと思いました。
地域特性を生かした福祉活動。
誰もが参加しやすいお祭りや季節行事、イベントは大切と思います。
健康保険、赤字の解消。少子化で「入」は減少。「出」を押さえねばならない。いつか「生かす医療(誰でも)」をやめて、楽に死なす医療に踏み切らねばならない。
子どもと高齢者や障がい者への福祉保健の対応の場、施設の充実。
生活保護費が本当に必要とされるご家庭に届くこと。
弱者救済、人とのつながり。
今行っていることの継続が、そして改善することがあれば連々実行することが大切なことと思います。(区民の福祉、保健は第1だと思います)
世代を超えての活動であり、「福祉保健」を「保健福祉」と見方を変えて計画してはどうか? ~10代に少年層、20~30代に若人層、40~50代に中年層、60~70代に熟年層、80代~老年層。年代を超えて障がい者と層別をすると、年代ごとに心身の変化もあり、各世代保健活動は必要となる。保健は自主的活動であり、意味ある活動となるのではないか。10年後は老人ばかりで、福祉活動を支える人の啓蒙が今から必要ではないだろうか。
地域でのつながり、安心安全、そして健康はいつまでも続きますように。区計画、大事に進めて頂きたいと思います。
老若を問わず、その地域において、存在価値を持てるような活動施策。
日常活動しているので時間が無く、身近な地域活動では申し訳ないですが関わっていません。年齢と共に縮小しようと心がけていますので、機会ができれば関心を持っていきたい。
福祉、介護施設の拡充とその情報。
都筑区にいた時空き巣に入られたので、隣同士気を使うことを宣伝する。
サポートする側の負担を軽減すること。
「みどりのわ、ささえ愛プラン」をもっと身近なものにすること。
地域のお祭りや行事(老人、子供、ともに参加できるもの)健康チェックの活動(老人向け)。区役所などに出向くのが大変な時もあると思うので、地域ごとなど。
平和な世界でありますように。
気軽に支援を受けられる。地域での声かけ。
10年後も継続して活動していること。
10年後、自分が70代になった時、健康であることを願いますが、もっと皆が福祉の在り方、利用の仕方など分からない人もいると思うので、子を持つ若い親たちも含め、安心して住めるよう輪を広げて行って欲しいと思います。
緑(木)が大切!人と人とのつながり、老人を大切に思いやりのある人間になってほしいです。全ての人が。
お年寄りも障がいのある方も外国の方などなど、多様性を求められる時代です。もう常識にとられることなく、その人らしく、生きられること、サービスを受けやすい制度に…引きこもりや不登校支援も望みます

健康、安全、安心して暮らせばよいと思っています。命ある限り。

緑区だからこそその特色を生かしての10年後には、全国のモデルとなる「福祉保健コングロマリット」を構築ください。＜地の利と緑（自然）と区民力との融合での教育、医療、福祉の各施設連携による「福祉保健コングロマリット」の構築＞①緑（地の利）力・・・東急、JRのクロスによる横浜都心、東京都下（町田、八王子等）、全方位との交通の利便②緑（自然）力・・・四季の森公園、三保市民の森、新治市民の森、玄海田公園などの豊富な緑（自然）③緑（区民）力・・・「みどりのわ、ささえ愛プラン」推進による区民一人一人の福祉保健への理解アップと活動、組織力。既存の福祉学校、病院、福祉施設をはじめ重症障害者施設等や理学療法士等の学校等の新たな教育、福祉施設も含めたゆりかごから墓場までの教育、医療、福祉施設の一環（すべて緑区内で完結）の「福祉保健コングロマリット」の構築を願います。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」が大きな柱となることを望みます。

「困っている人を助ける」ということは、本人と市民、そして福祉、保健などの（社会福祉士、精神保健福祉士）専門職の協働が重要だと思います。専門職、特にソーシャルワーカーの活用がなければならないと思います。

継続が力だと思います。

様々な事象も基本的に個人の努力が喫緊と考える。

区計画の5つの基本目標（みどりのわ基本理念）に肉付け、具体化、情報の共有（本アンケート含む）に高齢者、年少者、身障者も含む弱者の受身、排除疎外感のない、積極的参加への環境づくりへ。スピード化、活性化が必要と思う。

60代の人より、30代の人の方が出入り（引っ越し）は多いと思います。新しく転入したり、短期間で転出していく人を（家族を）どう取り組んでいくか。

更に高齢化社会でどう取り組むか。若い中高大学生との理解協力。外国人の受け入れ。

10年後の大切さを考える前に、今を考える工夫が欲しい。

つながり。

福祉保健が続くこと。

まだ年齢的に夜と土日の休みしか家にいないので、今回のアンケートのような内容は普段考えたこともないようなものですが、まずは住民が仲良く気軽に輪が作れるように、緑区独自の一体感の持てる何かがあれば、自然に支え合える関係になるのではないのでしょうか。緑区で良かったと思えるものを。

p7（問28 福祉保健の取組）のような取組みの継続で、住みやすい地域を保ち続けること。人手不足を補うこと。

(2) 問 30 『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対する意見

全回答者のうち、21.1%に記載があった。

計画に対する意見としては、「知らなかった」「周知が必要」など、計画の周知に関するものが多くなっている。また、福祉保健について、地域の生活環境について、区役所について、様々な意見が記述されている。

(複数の内容にわたる記述があり、それぞれに分類しているので、以下の意見の総数は、回答の総数には一致しない)

(計画の認知、周知について)

残念ながら今まで知る機会がありませんでした。

地域福祉保健計画をもっとみんなに知ってもらうことが大事だと思います。

何をしているのかわからないですが、地道にやってください。

本当は自分から情報収集をしないといけないところだけど、このアンケートに回答するまでちつとも存在をわかっていませんでした。告知が大事だけど、拡げていく良い方法はないか？難しいところだと思います。

存在を知りませんでした。今後は活動の広報にも注力されたらいかがでしょうか。

- ・地域福祉としての活動が目に見えない
- ・住んで、あまり福祉活動の実態が把握できない
- ・もっと活動の宣伝をやってもらいたい
- ・ああ福祉活動が行われているなどといったことが感じられるようにしてほしい。

具体的にどんな活動をしているのかよくわからないので、区報に載せるなど、具体的に何をしているか、何をしようとしているのかを知る機会があるべきだと思います。

5つの基本目標は、今回のアンケートで理解できましたが、具体的に何をやっているのかが見えない。もっと皆が知ることができるように、回覧など回すと良いと思います。

今回ホームページを見て、「黄色いバンダナ」の存在を知りました。もっと周知を徹底したほうが良いと思います。

地域のボランティア活動について、情報が無い。自分が少しでも力になれることがあればと思っているが、情報が一部にしか伝わっていない。

講演会や講座には(参加者は)一部の人のみ。もっと情報を広める、周知できる工夫、興味を引く工夫が必要だと思います。

区民になかなか知られていません。様々な機会でアピールしてほしいです。

このアンケートが来るまで、計画の存在すら知りませんでした。区民全員に伝えることが無ければ意味はないと思います。周りに知っている人は一人もいません。私の住んでいる長津田地域では、人も車も増え、昔とは様子が変わってきました。ただ「住みやすい」「ずっと住んでいたい」という町であることは変わりません。緑区をより良い区にするためにも、良い計画だと感じました。ぜひ多くの人に伝えて頂きたいと思います。

情報が少ない

今回初めて地域福祉保健計画という言葉を知りました。まだどういうものなのか詳しく知りません。区民への情報発信をもっと強化して頂けると良いのではないのでしょうか？

お互いに支え合うプラン、知りませんでした。これからは特に必要なことと思いますが、今はお手伝いできません。すみません。

ピーアールが少ない

地域福祉保健計画と言っても、回覧板すら来ないので、情報が入手できないので、全然わかりません。

今回初めて「みどりのわ・ささえ愛プラン」を知りましたので、関心を持って生活したいと思いました。

このような計画をしている行政のことを知らなかったです。行政に疎い自分を改めて感じました。「誰もが安心して・・・」の基本理念は、すばらしいと思います。うちも地域でも高齢者が増えていけるようなので、健康な元気な高齢者になって頂いたらいいなと思います。イベントでも誰もが参加しやすい風土になるといいなと思っています。

緑区に移り住み4年になりますが、このような保健計画があるとは知りませんでした。中年世代はなかなか福祉保健に関わることが少ないため、幅広い活動の提供の情報の発信を期待します。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」のことは初めて知りました。一人住まいになって「遠くの親戚より近くの他人」という言葉を身に染みて感じています。自分から積極的に隣近所と仲良くお付き合いしていきたいと思っています。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」は初めて知りました。本当に何もかも勉強不足でした。反省させられました。高齢者でも、自分のことはできて、79歳の主人も助けて、負けずに1日1日を過ごしてゆきたいと思っています。こちらこそ、ありがとうございました。

まず知らせることから出発。知らなければ行動せず。

私自身、知らないことがいっぱいありました。少しずつでも勉強していきたいと思っています。携わって下っている皆様ご苦労様です。

福祉保健の情報はほとんど知らなかったの、知らせる機会を増やしたほうが良い。

そういったプランが存在すること自体知らなかった。チラシや広告などでもっと認知させる必要があるのでは？

これからこの機会をとらえて、十分UPの方向で勉強し、関心を持って生活していきます。

認知度が低すぎる。知らない人が多いと思われる。

情報が少なく、そのような計画があることも知らなかった。もっといろいろな手段を活用して、周知する必要がある。

計画を施策しても、住民には浸透していかないと思います。計画や区の行政から「緑区を本当に良くしたい」という気概は感じられませんし、住民も人任せで自ら考え、行動している人は少数です。愛着心が薄いようで、緑区がその特色を打ち出せず、自慢できる街ではないということなのかもしれません。緑区は横浜市の他の区や隣の町田市と比べると、いろいろな面で遅れているという声をよく聞きますが、私は目指すところがちょっと違うのではないかと感じます（緑区にふさわしくない）。埼玉県小川町のように「有機農業の町」づくりをしたり、東京の下町のように商店街を大切にしたり、長野県のどこかの町のように「医療に係るお金が日本一少ない」を目指したり、65歳以上の人や障害者がたくさん働ける街にしたり、緑区にもっとあった目標があるように思います。

緑区に引越をして間がないため、いろいろな情報を把握し参加できることがあれば参加させていただきたいと思っています。

周知。

活動内容が区民に知られていないと思います。広報等の活動に励んでください。

あまり意識をしたことが無く過ごしておりました。広報誌など、ゆっくり目を通すようにしたいと思っています。

どんな活動をしているのか情報が得られる場が少ないため。イベントや地域新聞などによる活動アピールをしてほしい。その中で、地域の人々が助け合うことや、どんな活動をしていけるのか考えていけるようになると良いと思います。

このような活動があることをケアプラザで働くようになって知った。知っている人はかなり少ないと思う。知っている人たちの中で持ち回りの印象が強い。

日中、仕事で自宅にいないことが多いためなのか、自分が疎いのか、地域福祉保健計画など知らずにいました。もっと目のつくところに宣伝をして頂けると、気付き、身近にも感じるができると思います。

分かりやすい説明が掲示されることが必要と思います。

地域福祉保健計画（平成23～27年度）のこと、年度計画のこと、実施状況のこと、問題点、新たな課題など、なお一層区民一人一人に浸透するよう、各地区に出向き説明する機会も必要なのでは。

まだまだ一般地域住民に浸透していないことは問題がある。計画などについて抽象的なことでなく、住民にとって具体的な、かつ取り組みやすいように努めるべき。

3年近く住んでいるが何をしているか知らない。もっと知る機会の場所があったりしてもいいのでは。

緑区で主体的に福祉保健活動を行っている、アレンジしていることに敬意を表するとともに、すばらしいと思っています。

誰もが情報にアクセスできること。

団体、委員等の活動内容や、委員募集方法等情報が入ってこない。

担当者の本気度が伝わってくるようなPR、情報提供をお願いします。形式的、事務的な通り一遍の内容はいりません。

名前さえ分からなかった。情報をもっと発信すべき。

活動の報告ではなく、今後の予定を中心にネットを利用した情報提供のシステム強化。

具体的にどのようなことを行っているのか分からない。インターネットで調べても詳しい内容が把握できない。

初めて知った「みどりのわ、ささえ愛プラン」なので、答えは出ません。もっと勉強してからにします。

区民の誰も（特に高齢者）が「みどりのわ、ささえ愛プラン」をよく知ること。

今回アンケートをいただき、自分が今何をできるか、考えるいい機会だったと思います。普段から挨拶は大切にしています。子供たちにも日ごろそう教えています。知らない人でも何度か挨拶していると、顔見知りになり、笑顔で接するようになれるのもうれしい日々の中の出来事です。

今まであまり目にしてなかったですが、これから自治会の掲示板や図書館内の掲示板を通して密接なつながりを持ちたいと思います。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」の名前すら知りませんでした。もっとPRしたほうが良いと思います。

特に知らなかったなので、もっと情報を広めていったほうが良いと思いました。

福祉保健が具体的にどのような活動をしているか分かりません。日ごろ、何らかの恩恵を受けているのだと思いますが、それらを区の福祉保健のおかげである、または担当であると考えたことが無いので、もし意見があるとしても伝える先が分かりません。ですので、「緑区の福祉保健のために」と上記のアンケートでどういった事柄が福祉保健に該当するのか、何ができるのかが分かりません。

どんなことをやっているか、知ろうと努力するようにしたいと思います。

メルマガなどネットの配信があれば使用してみたい。（紙媒体はあまり見ないし、現在の小学校の親などのスマホ普及率を考慮すると、積極的に取り入れたほうが良いと思う）年配の人向けの印象が強く残念に思う。料理教室に参加したとき、自分より年上の人ばかりだった。

第2期の内、23～25年はすでに経過しているが、この期間の計画案と、その実施状況が示されていない。今後の具体的な計画案が示されていない。

知りませんでした。今後は当該計画に注視していきます。

こちらが関心を持たなければ届いてこない。

この冊子が来るまで、緑区がそのような取り組みを行っていることは知りませんでした。

ホームページがとても不親切。必要な情報が入手しにくい。

私の勉強不足なのかもしれませんが、いまいち内容が見えないので、区民への周知に努めてほしい。

自分の地域のことは全く知らない。回覧板なども情報がたくさん（いらぬものもたくさん）あり、最近読んでいないことに気が付きました。果たしてほかの方はどれくらい読んでいるのかしら。

正直、緑区で実施している福祉保健計画の内容は知りません。地区社協と区の福祉保健課は別の計画ではなく、同じ統一された計画の下、実施されていることと思いますが、緑区では、できる限り協力できるところは協力して、地域に貢献できればと考えています。ただ、今は子育てでいっぱいなので、もう少し先になりそうです。

同じ情報とか広報などは、繰り返し期間を経て行くことであり、認識、確認されることと思いますので、今後もよろしくご検討ください。

今回このアンケートで初めて「みどりのわ、ささえ愛プラン」を知りました。

今後は意識を持って地域での活動を知りたい。

みどりのわ、ささえ愛プランは不勉強でよく知りません。多くの方が私と同様だと思います。日々の生活の中でこのプランが密接に関わっているものでなければ、市民の中に浸透することは難しいと思います。

緑区の福祉保健に関しては詳しいことが分かりません。方法がありましたらお願いします。

計画案が一般住民になかなか届かないような気がします。

このような活動があることは全く知りませんでした。「みどりのわ、ささえ愛プラン」も分かりにくく、聞いたこともない。「みどりのわ」だけの方が覚えやすく感じます。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」を初めて知りました。せっかくイベントや取り組みをやっているも、それが周知されなければあまり意味がない。横浜市や区のHPの上部にそのバーナーを大きく表示すると良いと思う。民間の検索エンジンやHPで広告として、3秒くらいで表示が変わるやつで表示してはどうか。

こういったアンケートが来なければ知らなかったことが多い。もっとおせっかいなくらいにボランティアやその他の活動に関し、区民全員が知る機会を情報として流すべきではないか。

広報などで具体的な実績や評価等関心のある人々には伝わるようにすべき。個人的には全く伝わってくる感じがしない。

若者に触れる機会があまりないような気がします。

初めて知りました。今後も、地域生活を豊かにするべく、発展することを願います。

今のところよくわからない。

知らなかったのでもっとわかる、知ることができるように情報を出してほしいです。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」の活動内容は全く知りませんでした。より一層の「PR」が必要でしょう。(無関心すぎました)

「みどりのわ、ささえ愛プラン」等区民に内容、仕事などを知らせて協力する気持ちを持たせる。

正直、自治体との関わりがほとんどない。高齢者や子供がいないと、収集する必要のある情報がない。

認知度が低いと思う。若い人たちも興味を持ってもらうための方法が必要ではないか。

私もこのアンケート用紙を受け取る前はこのプランを知りませんでしたので、PRが必要だと思います。

地域のことにあまりにも無関心だった。このアンケートを機に、もっと地域のことに興味を持ち、老後まで緑区で暮らしていきたい。

せっかくの計画や活動なのに、一部の人にしか知られていない感がある。一般の方々にも身近で利用しやすい(利用したいと思わせる)活動にできたらいいなと思います。

今まではあまり感じる事が無かったのですが、身近な問題として勉強していきたいと思います。

貴団体の活動内容を区民にもっとアピールし、参加協力しやすい環境を作ると良いと思います。特に30~40代が興味を持って活動に加わるような企画を期待します。

これまで全く知らないプランだったので、日ごろから福祉の意識をもっと高めて、その内容を理解していかなければならないと思いました。

緑区の計画「みどりのわ、ささえ愛プラン」があることさえも知らなかったです。もっと区民一人一人に知ってもらうような方法を考えてほしいです。

初めて知ったので、今のところ特になし。

住民の気持をくんでいただく機会をお与えいただき誠にありがとうございます。プランについてはよく知りませんでしたが、知るいいきっかけになりました。ありがとうございます。

存在を知らない人が多いのでは？

・ネーミングがよくわからない。何について伝えたいのか？ ・「地域」とか「福祉」とか同じような名前が多すぎ ・今すぐできることはすぐやるべき

福祉保健活動は、画一的、統一的に行うのではなく、理想は個々人のニーズにあった活動と思います。個々人に対するきめ細かな対応、活動が重要と思います。10年後を見すえた活動計画をお願いいたします。

他の自治体も同じ悩みでいると思うので、他のを参考にしてやるのもいいかも（成功している事例があるはず）地方は年齢の高い地区もあるので。

福祉政策は必ず計画に反対する者が出てくる。従って長期プランが重要であり、その場しのぎの一過性の政策は危険。誰もが納得する、反対があっても長期プランで納得してもらうことが大切。

新しい取り組みを検討するときは、まず現状の把握と、そこで浮かんできた問題点を潰していくことを考えてほしいと思います。その取り組みにすでに取り組んでいる団体との連携とか。組織だけがたくさん増えても意味はないと思います。公共施設等の窓口、利用者の連絡会や調整会議などは、なるべく土曜日や祝日、夜間に設定して頂きたい。会社勤めをしていると参加できず、非常に困っています。色々な受け口を公共性のある活動には求めます。

福祉保健の幅を広く薄くしないで、本当に必要なところに集中してほしい。

興味ある人が参加し、協力すれば良いと思う。今の年寄りばかり優遇してはいけないのでは？

ささえ愛ならば、一人一人の老人人口を知り、行動していくしかないと思います。他人他人の話を聞く耳を持ち、コツコツと地道にやっていくのが、市民からもやってくれているという目に映るはずで。まずは、お手本になって、少しずつ少しずつ身近な問題から、気づき、改善して頂きたいです。

安全、健康の面では、中山駅前の喫煙所をなくしてほしいとずっと思っている。妊娠中から不快で、喫煙者で道がふさがり通りにくい。子供の多い地域で健康を目指す割には、駅前で真逆の場所があることが納得できない。

老人問題（介護）と同じくらい、子育てで苦勞している若い両親を地域で感じることがあります。子育てのストレスから、夜には子育て中の親の叱る大声や、子供の泣く声などが聞こえてくることが多いです。問題が起こる前に、健全な親子関係の学びの場所をささえ愛プランの中に入れて頂ければありがたいと思います。

民間の意見をもっと取り入れて柔軟な対応をしてほしい。

押し付けがましい活動には反対なので「みどりのわ、ささえ愛プラン」の計画も対象者に押し付けることなく、むしろ気持ちにさせておくくらいのおおらかな計画を実行して頂きたいをお願いします。役所やケアプラザ等の方々は一生涯懸命やってくれていると思う。市民の心がけややる気などが無いのが現実だと思う。あまり支援しすぎると、市民はだんだん当たり前と思い、ありがたみを感じなくなってしまう。「支え合う」というのはお互い様とのことだが、「公的機関の人がやるべき」という一方的なものになっていることは心配だ。

防犯、防災も計画に位置付けるのでしょうか？であれば、もしもの時の対策や日ごろの備えなどについて、もっと周知してもらえればと思います。

アンケートの文面から見て、地域福祉保健課の方々がいかに心配りをしているか、ありがたいと思います。ただ、高齢者には難しい文面にすると、理解できませんので、昔日のように、隣組の交流ができればいいと思います。現在の隣組は回覧板だけ回して（ポストの中）しまっているだけ……。隣組がしっかりいれば自然に地域福祉での活動も理解できるのではないかと思います。アンケート以外のことを申し上げてごめんなさい。

問 29 と同じ。【以下、問 29 より転記】緑区だからこそその特色を生かしての 10 年後には、全国のモデルとなる「福祉保健コングロマリット」を構築ください。＜地の利と緑（自然）と区民力との融合での教育、医療、福祉の各施設連携による「福祉保健コングロマリット」の構築＞①緑（地の利）力・・・東急、JR のクロスによる横浜都心、東京都下（町田、八王子等）、全方位との交通の利便②緑（自然）力・・・四季の森公園、三保市民の森、新治市民の森、玄海田公園などの豊富な緑（自然）③緑（区民）力・・・「みどりのわ、ささえ愛プラン」推進による区民一人一人の福祉保健への理解アップと活動、組織力。既存の福祉学校、病院、福祉施設をはじめ重症障害者施設等や理学療法士等の学校等の新たな教育、福祉施設も含めたゆりかごから墓場までの教育、医療、福祉施設の一環（すべて緑区内で完結）の「福祉保健コングロマリット」の構築を願います。

私は、福祉=公的扶助、扶助=助け合いだと思います。従って、「福祉」というと、生活弱者へ手を差し伸べる活動というイメージがついて回ります。もともとの「助け合い」の精神は、日ごろから顔見知りで心が交っている関係の助け合いなら、感激も大きいし、喜びも大きい。しかし、緑区民の20人中19人は元々よそから来た住民とのことですので、おのずから他人意識が一般的です。「みどりのわ、ささえ愛プラン」というスローガンはいいが、昔の「向こう三軒両隣」も精神を、今育んでいくことの方が、これからの福祉行政を進めるうえで大切ではないだろうかと思っています。

(町内会、自治会加入率向上こそが、福祉社会への近道だと思います。被利用者(?) 該当者(?) 宅の町内会または自治会加入率又は加入意識の調査をしてみたいかでしょうか。その前に、各町内ごとの加入率を押さえて、現状把握と将来予測をしてみるのも一考ですね。弱者の救済も大切ですが、なぜ弱者になったのか、どうして弱者が生まれてきているのか、弱者を減らす仕掛けや制度をどう作っていくかを考えることがもっと大切ではないでしょうか。これからますます増えます。知恵と汗と時間が必要です。

いまいち情報をどこで入手していいのかわからない。

みどりのわ、ささえ愛プラン、緑区の保健に対して意見があれば良い。

防災、防犯、高齢化、育児…様々な対応が必要とされる中、このような取り組みがあることは良いことで、さらに今後期待したい。

「みどりのわ、ささえ愛プラン」における地域別計画を基にした地域での活動が活発になってきていると感じています。特に防災に対しての具体的な取り組みは支援を必要とする立場の方々にとって、大変心強いものだと思います。通勤や通学のため地域を離れる時間が長い方たちにも、この計画が自分たちの家族や住まい、地域を守る為でもあるということを発信して、皆さんの理解と関心を深めて頂けたらと願います。

基本目標達成のための具体的な施策、計画案の作成、進捗のチェック、住民への周知。

みどりのわ、ささえ愛プランも第2期に入り、区計画、地区別計画とも、課題や目標はかなり明確になってきていると思います。この広範な計画を着実に推進し、期中に極力具体化していくことが今必要なことでしょう。

日ごろのみどりのわ、ささえ愛プランに期待しております。

推進されている方々に感謝します。

常に実態に合わせたことを行ってほしい。計画などに変更中止もスムーズに！

1 「つながりのあるまちづくり」に関連する意見

(つながり)

つながり 一部の方達だけでなく、子どもからシニアと幅広い世代の交流も必要かな？それで子育てで悩んでいる人達とか介護で悩んでいる人達が問題解決しなくても、話する事で気持ちが軽くなればよいと思う。

つながり 地域の隣人との声かけ。

つながり 私は子供がいません。でも愛犬を飼っています。愛犬と散歩すると皆が声をかけてくれ、引っ越してきた当初、知り合いのいない、人も歩いてない、寂しい街が、心優しい人がたくさんいるよい町だと今では思っています。愛犬にも優しい緑区、愛犬家の人々も愛犬を通して役に立てることを考えていって欲しいです。

つながり 子どもと高齢者とのつながり。気軽に参加できるおしゃべりサロン、歌の会、200~300円程度でできるレジャー、ペットを介したつながり、パトロールなどの場を広げて頂きたいと思います。

つながり 地域でのつながりと言っても、自治会役員などの任期中は全うしますが、その後の活動となると、ほとんどの方が参加しません。それは割り当てで押し付けられたりする場合が多いからです。自分から進んでやれる人は、健康である、金銭的にも不自由をしていない、時間がる様な方ばかりです。ひがみ、意固地な態度をとっているような相手に対して、いかに心を開いてもらえるか？笑顔を大切であるとは言いますが、強要はダメです。何事も自分から進んでやろうという意思がないと、手を差し伸べても無理なのではないか？みんな

	なが相手の立場になって考え行動する社会なら、犯罪は起きたりしません。自分だけ良ければいいという人が多いのですね。
つながり	NHK の番組などから、無縁社会がいけないことと言われるようになってきた。なぜ？人はストレスの大元。少なからず人々もそう思うところがあったので、徐々にこのような人付き合いの希薄な世の中になってきたんだと思う。私は今一人で暮らせてすごく幸せ。誰もが多勢でワイワイが好きなわけではない。一生懸命目をそらしているのに、無理やり挨拶してじろじろと見るのはやめてほしい。まさに監視。
つながり	隣近所と関わりを持つようにしていますが、相手方からは不審がられることも多くあります。今の時代だからかなのか、仕方ないとは思いますが、地方の地域のようなつながりを持てればと感じます。
つながり	人間としての思いやりやこの世に生かされているという気持ちが大事なことと思います。昔のように隣近所との関係を築くためには、教育が大切であると思います。現在は、高等教育を受けている割には、未熟者が多いような気がします。自己中心に行動する者をなくし、地域で育てていくことが大事で、スタートできることと思います。

(次世代)

次世代	地域子育て支援体制の充実。 「汽車ポッポ公園」のような緑の多い憩える場所（公園あるいは遊歩道）があればよいと思う。（長津田にはこのような場所が少ない）
次世代	動物の命も人間と同じ大切なこの世に1つしかないという事を徹底的に子どもたちにも教育を行ってほしい！！
次世代	子育て世代の中には、片親家庭もいらっしゃいます。生活ギリギリ（または生活保護）で、満足に食事ができずにいる方もいるかと思います。「フードバンク」というのもTVで拝見しました。緑区内で「フードバンク」を立ち上げてもらえないでしょうか。子供たちの安否確認、片親の生活安定情報提供。貧困から脱することも大事なことです。
次世代	緑区は子育て支援が少し少ないと感じます。母子体操教室やリトミック、就学前の子が遊べる場の整備をして頂けたら、他市や地区と変わらずに参加できる機会が増えると思います。
次世代	赤ちゃん教室で、同じ位の月齢の子どもやお母さんと知り合えたので、心強かったです。
次世代	子ども（未就園児）や若い世代の母親向けヨガなどの体操教室などが少なすぎる。私の住んでいる地域は特にない！未就園児などは毎週あってもいいと思う（近隣ケアプラザのように週1ぐらいあるとよい）。すべて高齢者向けでケアプラザも全く活気が無い！
次世代	行政、自治会、学校、家庭、地域の連携など、青少年健全育成と非行防止へ町ぐるみの取り組みが必要。保護司の世話になる前の段階での対応、強化が必要と思う。

(担い手)

担い手	お世話役の献身的な活動に経緯を表し、感謝している。但し自分ではなかなかできない。人それぞれ、仕方がないが。お世話役やリーダーを積極的に区が養成または発掘する工夫が必要か。
担い手	下々の役員として多少手伝わさせていただきましたが、上の役員の熱心さ、優しさには感謝するのみです。
担い手	各家庭のSOSの時、相談できる窓口があるのになかなか探せない現状もあるようです。こんな時は地域の誰かが近くに来て相談できたりする、「この人に相談を・・・」と呼びかけてくれると、子育てや介護の時助かる。
担い手	活動が盛んになるほど自治会の班長になった時の負担が増えそうです。気軽に自治会に参加できる、そして行事にも参加しやすいようになるといいのですが・・・。
担い手	何かの協力に対して、ポイント制にして、困った時使えるシステムでお互いに助け合う。お金じゃなく、そうすることで気軽にためたり、やれたりしたら自然な気持ちで、お互いを思いやれるようになるきっかけとなるのでは。

担い手	シニアボランティアポイントなど、先輩の人たちがボランティアに参加しやすい取組みがあるが、もっと若者の参加を促すことも必要だと思う。私は、20代でボランティアなどに参加したいと思うが、どんなボランティアがあるのかなどの情報がもっとほしい。
担い手	日ごろ感じていること。積極的に自治会に加入し、助け合いの心を持ってほしいです。
担い手	本当に様々な地域の活動に積極的に参加しているみなさん、それから関わり合いに感謝するとともに大切に思います。自治会の役員になるまでは分かりませんでしたが、とても大切であり、これからもずっと関わり合いながら生活していきたいと思います。何かできることを見つけて、積極的に取り組んでいきたいと思います。
担い手	孫の子育ての様子を見てみると、昔より福祉保健の方々からの声かけやサポートがあり、「新米ママ」はとても助かっているようです。特に一人で初めての子どもを世話していくのはかなり大変なので、頼りにしている方も多いのではと感じます。これからももっと多くの子どもが元気に育ちますように・・・と思います。そして、多くの子どもが元気に育ちますように・・・と思います。日本の若返りのために。
担い手	自分の知らないところでも、働いてくださる方がいらっしゃることにとっても感謝しています。
担い手	自治会参加者は地元民かサークル、学校のママ友が活動しているが、地域参加の活動になると良いと思っています。緑区は他からの参入住民が多いので、PRが必要と思います。
担い手	高齢化により年の方が多いため、福祉保健活動にもっと若い世代の人たちの参加も促すのはいかがでしょうか。(年寄りの方にも、若さを維持するため、積極的に参加してほしい)
担い手	健康上の問題もあり、参加できませんが、活動に協力してくださっている方には感謝いたします。社会のたくさんの方々を支えられて現実の生活があることを一人一人が自覚して生きていくことが地域福祉の向上につながると思います。
担い手	様々な組織があるが、リーダーには個性より温かい人が必要。
担い手	福祉保健に関してですが、無償ボランティアの方々だけでは支援人員や活動内容に限界があるように感じます。これからは交通費の支給やささやかな報酬などが出る、有償ボランティアを増やしていただくと、より柔軟な活動ができるのではと思います。
担い手	時々ボランティア等の募集など回覧板で見めるのですが、なかなか日々の生活に追われて、この先も地域のために活動することなど難しいと思います。今の60、70代の方々が登下校の見回りをされていて助かっておりますが、私たちの年ごろには生活には、ゆとりもなく、今回のプランの基本理念がぴんと来ないです。
担い手	霧が丘ケアプラザを活用していますが、スタッフの方たちが明るく利用しやすいです。が、入り口がちょっと暗いので、もう少し明るい雰囲気になるといいです。
担い手	ボランティア活動が盛んでよいことですので、この活動が続きますように願います。
担い手	シルバーの人材を生かした仕事をどんどん増やしていただきたいと思います。日数や時間など少なくとも良いので。人生に張り合いができ、いきいきと暮らせます。

(地域での取組)

取組	中山町はささえあいカードやバンダナ、リボンなど活動がよいと思う。
取組	中山自治会の「無事です」の玄関先に下がっていた。地域の輪を感じました。
取組	黄色いリボンの使い方が自治会ごとに違うのはどうか。例、黄色いリボン→助けが必要。黄色いリボン→助け不要、安全です。

2 「ひとりひとりの力が発揮できるまちづくり」に関連する意見

(この分類に該当する意見は無し)

3 「機会・場のあるまちづくり」に関連する意見

(この分類に該当する意見は無し)

4 「情報が入手しやすいまちづくり」に関連する意見

(情報)

情報	緑区に親しい知人も少なく、永住の予定もなく、広く地域と関わることには不安（不特定多数と知り合って引っ越した後、個人情報が多く残っても、私ができる範囲で知ることができなくなりそうです）。また、常に在宅しているわけでもないので、災害や防犯についてはメールなどで知ることができると安心です。将来、病気や親を引き取り介護となった時に備えるなら、こちらから知りたい情報に、知りたいときにアクセスしやすいと助かります。（緑区の情報にアクセスしにくいのは難しいので）
情報	医療関係の仕事をしていて、病気や介護、経済的に困っていても、地域に相談し支援を求めることができることを知らない方が多いと思います。そのような方々には、情報を得る方法を知らない、特に持たない人もいます。地域や区の実情を住民一人一人に知ってもらうことは難しいのかもしれませんが、大きな課題かと思えます。
情報	自治会での回覧について。目は通していますが、毎回特別必要な内容には感じられず、単に回す作業となっているように思います。至急の内容は掲示板でよく、日中不在にする家も多いので、今の状況を見直してみても良いのではないのでしょうか。
情報	回覧板での大きな文字、分かりやすい内容などでのお知らせ
情報	同上【以下、問 29 より転記】理想とすれば、区民一人一人に目が届き、困難を抱えた人の手助けを皆ができること。困っていることを気軽に相談に行ける役所の窓口、機関があること。
情報	地域のつながりの活性化を図る広報の政策及び充実。
情報	若い人に情報が届くように、SNSや動画を利用すると良いと思います。
情報	高齢者の通院補助サービスなどの情報、各種ボランティア活動（例えば精神障碍者の更生、社会復帰の補助）の情報が少ない。

5 「安全・安心・健康」のまちづくりに関連する意見

((支援などの) 対象者)

対象	老人、子供には手厚い福祉になっていると感じています。でも、20代～50代までの福祉サービスは何かあるのでしょうか？全く知りません。市民皆にお願いします。
対象	世の中には、社会生活が不器用で、落ちこぼれている者がいると思われれます。（数は少ないと思いますが）。その様な者の目に留まる様な配慮をお願いします。
対象	最近地域でボランティアの方が主になっての「お茶飲み会」の集まりが良く目に留まりますが、一部の方たちだけの集まりのような気がします。ではどうしたらよいか私自身も解決の方法は分かりません。
対象	一般の子どもや高齢者に関しては年々支援が充実してきていることが感じられますが、障害者に関しては薄い気がします。特に聴覚障害者に関しては引きこもりになりやすく、また、高齢になればなるほど難聴者が増えていくのは明らかなのに、その交流の場はありません。他県では「手話=言語」という法律が認められ、一般の間にも手話は浸透してきていますが、せっかく覚えても交流する場所が無いという声をよく耳にします。昔から精神障害者支援のためのレストランは見かけますが、手話カフェが一つくらいあっても良いのではないかと日ごろから思っています。
対象	見守り、声かけはしてほしい人としてほしくない人がいると思う。老人だから、一人世帯だからとかいうくくりではなく、意思をはっきりさせた方が、支援する側もやりやすいと思う。両方嫌な思いをしなくて済む。
対象	介護保険が、身体は元気で認知症の人にももっと使えるようにしてほしい。寝たきりよりも悲劇である。公的老人ホームももっと欲しい。金持ちしか入れない。
対象	貧困家庭を把握して、孤独死(特に若い人の)など、防がなければならない。
対象	福祉は高齢者にだけではダメであり、偏りがある。子供の安全への活動。
対象	難病者の会があってもいいのではないかと。(病名別でもいい)。ケアプラザや地区センターの内容をもう少し詳しく知りたい。

対象	支えを必要としている人にはさらに積極的に、それを拒む、否定する人には少しでも理解してもらえるように、繋がる社会にできればいいと思います。
----	----------------------------------------------------------------------

(防災)

防災	中山中学校や小学校に行く前に、逃げ場の広場がもっと老人には必要と思う。
----	-------------------------------------

(健康)

健康	検尿や血液検査など、病院へ行くほどかな…と持っているときに、自覚できる身近な検査巡回がほしい。
----	-------------------------------------------------

(高齢者)

高齢者	将来寝たきりにならないための体操教室等を年齢を限定せず、誰もが参加できるようにしてほしい。
高齢者	これからお世話になる年齢になりましたが、自分が年を取って初めて感じるのが(福祉保健の活動の認識)多くなりました。活動を若い人たちに知って頂くことがいいかと・・・
高齢者	老人が受ける詐欺事件が多発している折、その予防策、警察との連携等、考慮してほしい。
高齢者	親世代(65~70歳)の健康について。気軽に利用できる健康診断などをやって頂けるとありがたいです。(やっているのに知らないだけでしたら申し訳ありません)
高齢者	福祉の充実化。お年寄りを敬う心。
高齢者	一人暮らしの方が2・3日見えない時など、知らせても積極的に訪問してもらいたい。1・2度行ったが答えが無かったでは済まないと思います。
高齢者	一人暮らしの老人など周りとの交流が無いので、気が付かないことが多いため、よそから情報が入った場合、すぐ対応して頂きたい。
高齢者	誰でも必ず身のまわりのことさえ不自由になってしまう時が来るのは避けられない。収入が少ない人でも、必要なサービスが受けられるようであつたらいいと思う。
高齢者	本当に支え合いはできるのか?月2回介護老人をショートステイに出しているが、自身の生活の中でこれが50パーセント以上を占めているので、支え合いがあるとは思わない。
高齢者	介護認定を受けていない高齢者の現状をチェックするシステムを取れたらよいと思う。自分で手続きができない高齢者もいると思う。一人暮らしの年寄りも多いのでは?
高齢者	高齢者体操を地区センターで、シニア大学に参加させて頂いております。とても良い時間を送っており、今後も続けられるよう、健康には留意したいと思います。緑公会堂における講演会などにも参加しております。
高齢者	高齢者が健康でありたいと思う気持ちを実践できる場の提供や、そのための情報を知らせていただければと思います。
高齢者	一人暮らしをしているお年寄りの方のケアはどのようになっているか知りたいです(取組みや頻度など)。
高齢者	老人のいる家を見守ってあげる。分からないことは教える、教えてくれるときはどこに聞けばよいか、区役所で良いのでしょうか。今は老人ホームに入っているのですが、外部のことは何もわからない(災害時の時のことなど、不安がるが聞くこともできない)

区域での生活全般

(地域の生活環境)

環境	駅前や道(歩きながら)でタバコを吸っている人がとても多い。小さい子供に危険であるばかりではなく、たばこの吸い殻もよく落ちている。非常に不愉快。区として対策をして頂きたい。とても臭いので。
環境	長津田駅に大型スーパーが一軒しかないため、不便です。憩いの場が欲しい。入場料は、有料でも子供から高齢者が利用できる。多目的室があれば良いと思う。

環境	バイクなど盗難、いたづらをなくし、中学生、高校生の非行がなくなる社会。近所に緑はあるが、自宅から駅まで木々を伐採され、真夏は影が無くなって、買い物の往復が辛い。高齢者が日陰で休める場所を作ってあげてほしい。坂道の登りは本当に辛そうにされている方を見て感じる。また、歩行者優先にしてもらいたい。自転車も歩行にしてほしい。スピードを出して下ってくる自転車は脅威に感じる。小さな子供たちが安心して歩ける歩道にしてもらいたい。
環境	公園も木や花の手入れがされておらず、伸び放題。植え方も広い通りから目が行き届かないくらいぐちゃぐちゃに植えてあるので、きちんと市で手入れをしてほしい。(草むしりやゴミ拾いは自治会でやっています) 杉山原公園。
環境	緑区は長津田小近くか、中山のあたりは良いと思うが、みなみ台の近くには公的な福祉施設が全くない気がします。現在、若い人が多いためだと思われませんが、今後、みなみ台は近くをどのようにするのか、関心があります。
環境	長津田駅北口側がきれいに整備されました。できれば緑の植物を植えたりして、癒される場所であるといいです。
環境	今回初めて「みどりのわ、ささえ愛プラン」を知りました。地域の方の健康のために運動できるところ、ジムみたいなどころ、プールが安く利用できたらいいと思います。以前いた港北区はプールやジムが充実していたのに、緑区(鴨居)は全然なくて残念です。あと、大きな公園もなく悲しいです。子供と長時間遊べるような戸外の遊具がたくさんある公園が欲しい。

(区に対して)

区	緑区の場合、中山エリアや鴨居エリアともに道路が狭い/歩道が無いか狭いといった状況が改善されていません。 駅前再整備や都市計画道路整備といった最も身近なハード面の整備を進めてください。常に交通災害や踏切事故の危険性が伴う社会では高齢者、障害者にとって生活しづらいのが実情です。緑区の防災/減災にもっとも求められるのはハードの整備です。それが体感できる先10年にしてください。
区	日ごろ活動していませんので言いづらいですが、区主催のもので、きめ細やかさが足りないと感じるものも過去いくつかあったように思います。本当に必要な人が参加できる体制になっているか? 人数合わせに走ることも。ボランティア側としても、図書券を頂いたりして、これではボランティアでないなと思ったこともありました。そのうち、そんな習慣にも慣れてしまっ・・・。現在はどうか知りません。
区	障害者手帳を交付されている方や、交付に至らないが相談されたり悩んだりされている方が多いと思います。知人に助けを求めたり、逆に助ける側も、どう声かけしたらいいか分からないため、区の方でしっかりサポートしてもらいたいと思います。
区	区役所職員の介入を積極的に行ってほしい。
区	地区別で年齢別の人が何人くらいいるか、(70~100歳くらいまで)自治体を通して知りたい。人数だけでいいです。声かけが必要な時に重要かと思います。
区	横浜市や区が実行するイベントは常に分かりにくく、不満が多い。利用者、市民のために実施するよりも、市や区のために実施しているように思えてならない。改善を要望します。
区	窓口は悩みを親身に聞いてくれない。自分の担当じゃないとかいろいろ言われる。だから相談に行きたくなくなる。
区	家族の病気で役所に相談したいことが山ほどあるが、福祉保健課の窓口が奥まっついて入りづらい雰囲気があり、相談できなかった。情報を知りえる人(公務員の方など)はうまい具合に福祉を利用しているが、どこに相談していいか分からない人がいることも知ってほしいです。

区	子どもの検診で問診の時、保健婦さんのお話ホッとすることもありましたが、逆に不快に感じることも何回かありました。緊張で答えられない子供へのきつめの態度……。第2子出産後に上の子の検診で不安や赤ちゃん返りの話をすると「突然現れたから当然」と言われ、少し納得いきませんでした。他の区の友人は「旦那が浮気相手を連れてきて今日から同居しますと言われたのと同じ」と表現されたそうです。それくらいのショックだというのは分かりますが、産後不安な母親には、大変悲しく、怒りも感じます。心の支えになる保健婦さんにも出会っていますが、そうでない方も多く思います。そういう点を改めて考えて頂けたらと、この機会に書かせてもらいます。
区	住んでいる地区では地域が利用できる公共施設がありません。働きかけをお願いします。
区	市の協力体制が無いと続かない（自治会任せにしない）。
区	保健師さんたちの忙しいこと、人数が増やせないのですか？コンシェルジュさんもよろしくをお願いします。赤ちゃんから大人まで、穴の開かない支援、繋がっている支援、理想でしょうか？
区	ベビーカーでの外出が多いのですが、道端の雑草が生い茂って道をふさいでしまっているところが多く散見されます。草がちょうど子供の目あたりに伸びていて危ないところもあります。事故を防ぐためにも道端の草は除いていただきたいです。出産後、家事育児が大変で乳腺炎になったりと、わらにもすがる思いで区役所にTELしたことがあります。お話を聞いてもらえるだけでも気分転換になったかとも思います。その時の対応者の方の個性だったのかもしれませんが、とにかく聞いて寄り添う、その方の立場になって考えてみるという対応が、区役所員だけでなく、地域住民一人一人が自然にできる街づくりができれば、温かい真心にあふれた町が今後も続いていくのではないかと考えます。

(その他)

	とてもきめ細やかな活動をされていると感じております。
	細やかな助けがとてもありがたいです。何事もパッパと片すのでなくゆっくりと考えながら手伝っていただけるととてもよいと思います。
	もう少し回数を増やしていただけると……。ムリでしょうね。
	横浜で一番よい地域を目指してください。
	病気になった時、歩けない時など、短期にお手伝い頂けるところがあると有難いと常に思っております。例えば、風邪をひいたときなどの食料の買い出しなど。
	前の通りで結構。【以下、問 29 を転記】いい地区なので住みやすい。霧が丘は好きです。人がいい地域です。親しみやすい人が多い、優しさがある。
	自助努力を促す。
	空き巣や不審者などの情報を伝えてほしい。場所などが知れば近くの人たちも気を付けるし、ご近所同士で支え合ったりできると思う。
	地域のために色々和努力されておられること、大変感謝して多ります。当家は83歳2人暮らしなので、何かとお世話になります。
	介護支援の充実。
	私は現在テレビと読書で1日を過ごしている。いわば「自助」中心の生活である。人生の先行きは長くはないが、孤独な状況にならないように心がけたい。
	よくやって下さっています。住民がもっと協力的になることを望みます。
	バランスを持って人と接して下さることをお願いします。
	活動に対しての理解と協力。
	以前家族の介護が必要だったとき、行政に相談に行っても、なかなか思わしくなく、家族だけで苦しかった。介護は多くの人の手があると、介護される側もする側も楽になると思う。高齢化が進むこれからは、地域で助け合えるような仕組みが充実すると良いと思う。
	地域での健康づくり、ウォーキング活動。
	手続きが大変なので簡単にしてほしい。
	十人十色、百人百色で高齢者のライフスタイルも人それぞれです。従い、十把一絡げな対応

は要注意と考えます。

公的なことは平日活動を中心に考えられていて、昼間は東京方面や横浜の外へ出ている住民に対しての機会があまりないのではと思います。勉強不足でいろいろあると言われそうですが、普段普通に生活している私にはそう思えます。

関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。自立できる老人になる為の工夫、実践が、今一番大事なこととなりました。72歳の老人です。

座談会のような気軽に意見交換ができる場があれば良いなと思うことがあります。

個人情報被害の為、近所づきあいが希薄になっています。社会情報として、共有することが大切だと思います。「みどりのわ、ささえ愛プラン」は、よくわかりませんが、神奈川区にフルタイムで働いている娘と孫がおり、週2, 3日通っています。その近所版かな？と考えています。孫の手が離れたら、協力できそうです。

4年前に八王子のみなみ野より移りました。八王子は南大沢にシニアのためのいろいろ健康や趣味の場所があり、週2回通っていました。緑区ではそんな場所があるのでしょうか。

助けることも大切だが、自立することが一番だと思うので、まずそれをもっと促進するにはどうしたらよいかをもっと考えていけたらいいと思う。

平日は忙しいので、休日に人が集まりコミュニケーションが取れる機会を増やす。また、そういうところへいけない人にも何か工夫して活動していく。

第7章 考察

本調査から、あいさつや声かけに積極的で、地域の活動への参加経験やネットワークのある区民がいる一方で、隣近所で困っている人への手助けや地域活動への参加など「将来はできそう」「関わりたい」との思いを持ちつつも、実践できていない人が多いことがわかった。地域福祉保健の推進という点からは、これらの、思いを持ちつつ踏み出していない人が地域に関わるためのきっかけや場をつくることが重要となろう。

また、地域活動への参加経験や近隣への声かけなど、地域との関係に積極的な人は健康観が高いことが分かった。地域とのつながりが、個人の健康づくりにもつながると考えられる。

さらに、地域の活動や人のネットワーク、活動の情報などについての「自治会」の重要性も改めて確認された。

以下、アンケートの構成にそって、回答の特徴的な傾向や、地域福祉保健計画の視点で着目すべき点などをまとめる。

① 回答者属性

- ・アンケートでは、各地区、各年齢層からの回答が得られたが、60歳代・70歳代がそれぞれ2割を占めるとともに、65歳以上の割合が、過去の調査よりも高くなるなど、高齢化を反映している。しかし、回答者の65歳以上の割合は4割近くで、区民の高齢化率よりも高く、シニア世代から積極的な回答があったと考えられる。
- ・地区別にみると、全地区で居住歴が「10年以上」の人が多いが、中でも竹山地区では「10年以上」が94.6%と多くなっている。長津田地区や鴨居地区では他地区に比べ居住年数の浅い住民が多くなっている。あいさつや声かけは、竹山地区や十日市場団地地区など、古くからの集合住宅団地の多い地域で積極的に行われていることがわかった。

② 各設問の結果のまとめ

地域との関わり

- ・自治会加入率は、前回調査（83.9%）よりも若干下がった（81.2%）とはいえ、8割以上を維持している。
- ・居住歴との関係でみると、居住歴が長いほど自治会加入率が高く、また居住歴5年未満と5年以上で加入状況が大きく変わっている。
- ・地域のイベントへの参加経験は半数以上がないと回答し、参加したことがあるのは4割台にとどまっている。参加した内容では、自治会活動に関連するものが大多数で、「地域での活動」の中心を自治会が担っていることがわかる。
- ・あいさつや声かけに積極的な人は、助け合いの経験も高いことが分かった。また、自治会加入者も、非加入者に比べ、助け合いの経験が高くなっている。

地域でのボランティア

- ・隣近所への手助けを実際に行っている人の割合は低い（最も多い「安否確認の声かけ」が6.5%）が、将来できそうなことという設問では、半数の人が「安否確認の声かけ」を選択

するなど、地域での見守りの必要性は認識され、協力の意識も高いと言える。

- ・地域のボランティア活動に参加するための条件は、「気軽に参加できる」(59.6%)や「自分のやりがいや生きがいになる」(26.5%)や「自分の趣味や特技にあっている」(22.8%)の回答が高くなっている。気軽さとともに、自分がやることの楽しみや意義を見いだせることが、重視されている。

地域活動の場

- ・ボランティア活動などに参加することについて、「機会はないがいずれ参加したいと思っている」という回答が3割近くあった。他の設問の地域活動への関わり意向や隣近所への手助けと同様、意識を持ちながらもきっかけを得られない人が多くいることが分かり、このことに対しては、情報や機会を提供して行くことが求められる。
- ・また、地域活動の施設に求めるものとして「気軽に集まれるスペースがあること」を半数以上(51.3%)が回答しており、こういった場の整備も、これまで地域の活動に参加できなかった人が活動に参加したり、地域との関わりを深めるきっかけとして重要であると考えられる。
- ・自治会の加入状況でみると、加入者は、参加しているかどうかに関わらず、「機会がある」という回答が多くなっている。

福祉保健に関する情報

- ・地域の福祉保健に関する情報では「健康づくりや検診の情報」が求められている(全体で50.3%)が、年代により、知りたい情報は異なっている。
- ・情報の入手手段は従来からある市の広報や回覧板・掲示板などの回答の割合が高い(ともに約6割)が、インターネットがそれに次いで4割を超えている。回答者の年齢層が高いことを考慮すると、インターネットになじんだ世代が成長する今後は、インターネット利用による福祉保健情報の入手は、さらに高まることが考えられる。
- ・自治会加入状況別にみると、加入者の方が、非加入者に比べ知っているという回答した福祉保健に関する資源(組織や委員・施設など)の選択肢が多くなっており、自治会を通して福祉保健の資源と接していることが分かる。
- ・また、あいさつや声かけに積極的な人も、福祉保健の資源をよく知っていることが分かった。

安全安心

- ・水や食料の備蓄や家具転倒防止など「自助」に関することや、広域避難場所の認知などは意識が高いものの、地域の防災訓練への参加や最も身近な避難場所であるいつとき避難場所の確認、地域防災拠点の確認などは低く、防災面での「共助」の実践はまだあまり高くない。
- ・しかし、「自主防災組織づくり」を必要な取組として回答する人は多く(全体の53.1%)、共助の重要性は意識されている。

健康

- ・自分自身の健康については、年代による差が大きく、若いほど「よい」「まあよい」の回答

が多く、高齢の方が「よくない」「あまりよくない」の割合が高くなる傾向にある。

- ・あいさつや声かけの状況でみると、あいさつや声かけを積極的にしている人は、自分が健康であるという意識を持っている。

地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度

- ・「知らなかった」が4分の3近くを占め、認知度は低い。
- ・とくに重要な福祉保健の取組としては、6割が「安全・安心・健康」を挙げ、地域でのつながりのあるまちづくりがそれに次いでいる。

③ 自由回答

自由回答の設問については、「緑区の福祉保健のために、10年後も大切だと思うこと」には4割近く（37.9%）、『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対する意見」では2割を超える記述があった。

両設問の主な意見（要旨）をテーマごとにみると、次のようなものがある。

なお、『みどりのわ・ささえ愛プラン』や緑区の福祉保健に対する意見」については、「このアンケートで計画のことを知った」というものが増えており、今後も周知・広報を充実させて行く必要がある

○高齢化・高齢者

- ・高齢者の支援策（体制）、施設、介護保険などの充実
- ・高齢化社会に対応したまちづくり（防犯、買い物の利便性、安全に歩ける道）
- ・高齢者の居場所、生きがいづくり
- ・高齢者への情報提供、ニーズ把握

○子ども

- ・子育て支援拠点「いっぽ」などを利用、今後もあるとよい
- ・10年後を考えるなら子どものことが大事
- ・安心して子どもを産める場所・環境、子どもがのびのび育つ環境
- ・子どもの教育
- ・子どもの安全安心なまち

○つながり・助け合い・コミュニティ

- ・近所の交流
- ・あいさつ、声かけ
- ・安否確認
- ・連携（住民同士、学校と地域、世代間交流）
- ・孤立防止

○健康

- ・体力維持・増進

- ・介護予防
- ・医療機関の充実

- 情報・相談窓口
 - ・高齢者への情報提供、ニーズ把握
 - ・身近に相談できるところの設置、相談事業の拡充
 - ・広報の充実・情報発信の強化

- 計画について
 - ・このアンケートで知った
 - ・もっと広報すべき
 - ・計画への期待、重要性
 - ・計画がわからない